

令和元年度

病院年報

Yearly Report of Hospital

公立藤岡総合病院



病院年報

公立藤岡総合病院



しらさぎの里



令和元年度病院年報発刊に寄せて

病院長 塚田 義人

2019年度の公立藤岡総合病院の年報が完成しました。今年度は、外来と病棟の再統合後の一年半を経過した後の病院稼働となります。統合後の各部署の微調整を残しつつも新病院として本格的な運用が進んだ一年であったと思います。新規に開設した回復期リハビリ病棟も軌道に乗ってきています。今年には以下のように複数の外部評価を受ける一年でありましたし、いくつかの輝かしい顕彰に浴した年でもありました。慌ただしい年明け早々には医療マネジメント学会群馬大会の幹事も無事果たせました。さらに、年度末が近付いた2月以降は新型コロナ肺炎の診療体制整備に追われるようになるなど気の休まる暇が乏しかったと思います。

まず1月に受審した卒後臨床研修病院の機能評価において見事エクセレント賞をいただくことから新年度は始まっています。全国8番目の認定です。2005年から始まった当院の初期臨床研修は当初研修生の確保に苦心する場面もありましたが、病院を挙げての指導の充実を図ったことにより徐々に内外の評価が上がり、研修先を選ぶ学生からも熱い視線を注がれるようになりました。近年は意欲溢れる研修医が集まり病院に活気を与えています。研修医指導に完成形はなく、慢心をするとすぐに質の低下を見抜かれてしまいます。レベルの高い病院を見習いさらに優れた研修施設にしていく必要があります。

7月には、栄養室も栄養関係功労賞の表彰を厚労省からいただいております。これまで当院が行ってきた診療の大切な一環をなす栄養指導活動がようやく外部からの評価を得ることができ大変喜ばしいことです。さらに、9月には、同じく厚労省から救急功労賞を受賞しました。全国の病院の中で15病院の受賞です。正式な救急センター組織と人員を配備していない状況で、地域の救急医療への貢献が顕著であったことが評価されたものです。群馬県内の中でも3次救急を担う高次救命救急センターに次ぐ立ち位置で日夜救急診療に携わっていただいているスタッフの皆さんと榮譽を分かち合いたいと思います。

DPC機能評価係数IIの今年度改訂においては、当院は一般病院群1490病院中の第8位の高い係数を与えられました（昨年は35位）。もちろん群馬県内では最高の数字です。地域医療、救急医療、効率性、複雑性、カバー率などの観点からの総合的評価になります。当院がいかに地域に密着しながらも総合的かつ専門性の高い診療を効率よく行っているかを実証されたことになります。ただしこの高い係数が十分な診療収入の実績に結び付くためには患者数の確保が大前提となります。当病院の医療は地域外からの患者流入も多い反面、流出もまた多く、特に現在の専門性で十分に対応しきれない領域の患者さんを当院の診療で完結できるように診療体制を充実する必要があります。

12月には、病院機能評価3rdG:Ver.2.0を受審しました。終末期の医療を中心とした倫理的検討の場面がまだ整備されていないとの指摘を受けています。超高齢化時代の地域医療において必須となる事柄です。大きな宿題に本格的に取り組む必要があります。また1月には健診部門の機能評価、輸血部門の機能評価(I&A)も無事済ませることができ、現時点で求められる一流の水準を確保する良い機会になりました。

一連の機能評価、表彰はあくまで過去の実績の評価であり、決して明日以降の業務の質を保証するものではありません。機能評価を受審するにあたって見えてきた問題点を洗い直して、より良い解決策を講じ、持続的発展を図る必要があります。また新しいスタッフへの絶えざる研修指導も必要不可欠です。この報告書が病院の進化のための土台として役立てば幸いです。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

I 病院の現況

1. 病院の概要	1
2. 組合構成団体の地勢と位置	4
3. 歴史と沿革	6
4. 建物配置図及び面積表	12
5. 建物設備の概要	13
6. 主要医療機器	24
7. 令和元年度導入医療機器	28
8. 医療法に関する許可承認事項	29

II 組織及び職員の現況

1. 組織	32
2. 職員数	33
3. 主要役職員名簿	35
4. 議会	37

III 院内会議及び委員会

1. 会議	38
2. 委員会	38

IV 学会及び研修会

V 研究業績

1. 論文	52
2. 学会及び研究発表	54
3. 講演	60
4. 講演会・研修会開催実績	64
5. 院内学会	68
6. 看護部院内研修	76
7. 認定看護師の活動記録	81
8. CPC	99
9. 教育実習生・研修生受入実績	101
10. 医師臨床研修制度	103

VI 購入図書

VII 経営状況

1. 損益計算書	116
2. 貸借対照表	117
3. 経営分析	118

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況	119
2. 診療請求の現況	131
3. 救急患者の状況	134
4. 分娩件数	136
5. 剖検数	136
6. 内視鏡件数	136
7. 循環器科	137
8. 手術件数	137
9. 薬剤部	154
10. 放射線室	157
11. 検査室	161

12. リハビリテーション室	164
13. 栄養室	166
14. 人工透析室	166
15. 患者支援センター	167
16. 健診センター	169
17. 母親学級	169

IX 群馬県立赤城養護学校

公立藤岡総合病院分教室	170
-------------	-----

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設 しらさぎの里】

【訪問看護ステーション はるかぜ】

I 施設の現況

1. 施設の概要	172
2. 歴史と沿革	174

II 職員の現況

1. 職員数	175
2. 主要役職員名簿	175

III 学会及び研修会

IV 教育実習生・研修生受入実績

V 経営状況

1. 損益計算書	179
2. 貸借対照表	181
3. 経営分析	182

VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」	183
2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」	185

業務概要

1. 診療部	186
2. 薬剤部	201
3. 診療支援部	202
4. 看護部	208
5. 経営管理部	221
6. 研修管理センター	224
7. 安全管理センター	225
8. 患者支援センター	227
9. 緩和ケアセンター	227
10. しらさぎの里管理課	228

病院行事

1. 主な病院行事	229
2. 職員健康管理	230
3. 職員共済行事	230

病 院 事 業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
2. 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
3. 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
4. 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基本方針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。
2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。
3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

I 病院の現況

1. 病院の概要 (令和2年3月31日現在)

名称	公立藤岡総合病院
所在地	群馬県藤岡市中栗須 813 番地 1
電話番号等	TEL : 0274 (22) 3311 (代表) FAX : 0274 (24) 3161 E-mail : somu@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市
病院長	塚田 義人
病床数	399 床 (一般 395 床、感染症 4 床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科 (27 科)
施設	敷地面積 40,807.91 m ² ・職員駐車場面積 16,478 m ² 延床面積 34,275.33 m ² 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 規模 地上 7 階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟 附帯施設 駐車場 約 1,000 台 (患者用 約 300 台) 訪問看護ステーション「はるかぜ」 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室 院内保育所
診療指定	保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関 (更生医療・育成医療・精神通院)、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費 (指定難病) 指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC 対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定

施設基準 【基本診療料】

歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準	歯科外来診療環境体制加算 1
急性期一般入院料 1	超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算 2	医師事務作業補助体制加算 2 (40 対 1)
急性期看護補助体制加算 (50 対 1)	看護職員夜間配置加算 (16 対 1 配置加算 1)
療養環境加算	重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算 1	無菌治療室管理加算 2
栄養サポートチーム加算	医療安全対策加算 1
医療安全対策地域連携加算 1	感染防止対策加算 1
感染防止対策地域連携加算	抗菌薬適正使用加算
患者サポート体制充実加算	ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算	総合評価加算
後発医薬品使用体制加算 1	病棟薬剤業務実加算 1
データ提出加算 2	入退院支援加算 1
地域連携診療計画加算	入院時支援加算
認知症ケア加算 2	小児入院医療管理料 4
小児入院医療管理料の注 2 に規定する加算	回復期リハビリテーション病棟入院料 1
地域包括ケア病棟入院料 2	看護職員配置加算

【特掲診療料】

歯科疾患管理料の注 11 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	
糖尿病合併症管理料	がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ	がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ	糖尿病透析予防指導管理料
乳腺重症化予防ケア・指導料	
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算	
外来放射線照射診療料	開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料	薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1	医療機器安全管理料 2
医療機器安全管理料 (歯科)	

持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
 骨髓微小残存病変測定
 検体検査管理加算 (I)
 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
 神経学的検査
 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
 外来化学療法加算 1
 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)
 運動器リハビリテーション料 (I)
 がん患者リハビリテーション料
 人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1)
 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 手術用顕微鏡加算
 脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 大動脈バルーンポンピング法 (IABP 法)
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
 輸血管理料 II
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
 麻酔管理料 (I)
 外来放射線治療加算
 1 回線量増加加算 (全乳房照射)
 体外照射呼吸性移動対策加算
 クラウン・ブリッジ維持管理料

【入院時食事療養費】

入院時食事療養費 (I)

【保険外併用療養費】

入院医療に係る特別の療養環境の提供

200 床以上の病院の初診

金属床による総義歯の提供

遺伝学的検査

HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)

検体検査管理加算 (IV)

長期継続頭蓋内脳波検査

小児食物アレルギー負荷検査

CT 撮影及び MRI 撮影

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)

呼吸器リハビリテーション料 (I)

歯科口腔リハビリテーション料 2

導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算

下肢末梢動脈疾患指導管理加算

CAD/CAM 冠

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術

輸血適正使用加算

胃瘦造設時嚥下機能評価加算

歯根端切除手術の注 3

放射線治療専任加算

高エネルギー放射線治療

画像誘導放射線治療加算 (IGRT)

定位放射線治療

時間外診察

入院期間 180 日を超える入院

教育指定

日本内科学会認定医制度教育関連病院
 日本呼吸器学会認定施設
 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
 日本腎臓学会研修施設
 日本透析医学会専門医制度認定施設
 日本血液学会血液研修施設
 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
 日本静脈経腸栄養学会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
 日本静脈経腸栄養学会 NST (栄養サポートチーム) 専門療法士実地修練施設
 日本栄養療法推進協議会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 日本呼吸器外科学会専門医合同委員会専門研修連携施設
 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
 日本消化器病学会専門医制度認定施設
 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 (特別連携施設)
 日本緩和医療学会認定研修施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本リウマチ学会教育施設
 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
 日本脳卒中学会認定研修教育病院
 日本脳神経血管内治療学会研修施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 日本病理学会研修協力施設

日本臨床細胞学会認定施設
日本手外科学会基幹研修施設
日本気管食道科学会研修施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本人間ドック学会研修施設日本神経学会専門医制度教育関連施設

人間ドック 日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定

人工透析室 ベッド数 29床

救急体制 救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）

ガン検診治療施設 リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用CT、MRI、PET - CT

リハビリテーション施設 運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室

未熟児施設 ベッド数4床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECGモニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンブレンダー、保育器

病理解剖施設 病理検査室、解剖室、固定標本室

2. 組合構成団体の地勢と位置

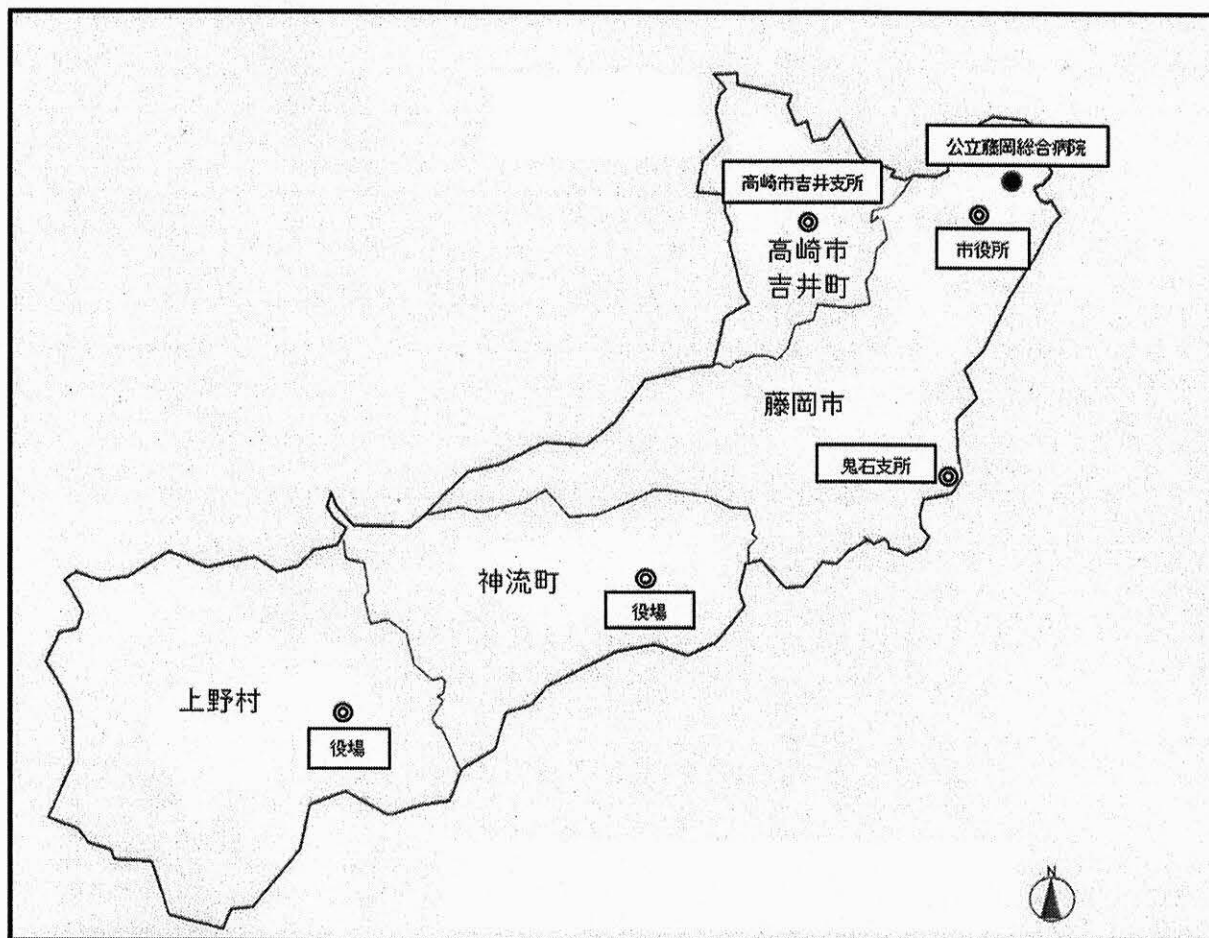
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km² で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の 2市1町1村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年 6 月 1 日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉢、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。



【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分

JR 高崎線 新町駅から車で 10 分

上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分



3. 歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床 群馬県指令第363号）（一般25床 結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長 森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）（一般28床 結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長 中川 恭一
6月1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長 藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急告示病院
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類 結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡ 2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長 大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ 49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入 (CT-W3-10形)
31日	医師住宅建築 (木造2階建、112㎡) 看護婦寮竣工 (鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡) (36人収容) カルテ倉庫建築 (ブロック造)
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (増改築)
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事)
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容 (落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子) 日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影 ~9月26日
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (医師1名、看護婦20名)
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (看護婦13名)
9月7日	中国研修医来院 (陳 君三、白 本寛) (6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影 ~11月23日
12月18日	病院使用許可 (中央診療棟、新設病棟)
23日	病院開設許可事項一部変更許可 (旧病棟改修)
昭和61年6月14日	病院使用許可 (旧病棟)
30日	病院増改築工事竣工 (413床) (一般370床、結核33床、伝染10床) 病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可 (運動療法室、救急処置室、外来診療)
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可 (麻酔科開設、麻酔科外来) 中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可 (麻酔科外来)
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認 (20床)
1月29日	短期人間ドック施設認定 (日本病院会)
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可 (泌尿器科外来)
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院 (夏 中洵、顧 曉紅) (3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT買替 (QUANTEX-RX形)
8月1日	ミキシング業務開始 (外科病棟)
9月22日	患者専用駐車場用地取得 (1,059.44㎡)
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工 (8床 281.9㎡)
30日	病院使用許可 (人間ドック室)
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (放射線棟増築工事)
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工 (鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡) 放射線治療システム (ライナック)・シンチカメラ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長 小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証 (放射線棟)
11日	病院施設使用許可 (放射線棟)
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認 (作業療法Ⅱ)
12月25日	病院施設使用許可 (皮膚科外来)
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制 (週40時間勤務) 実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般11床増床)
31日	病院使用許可 (424床) (一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (MRI棟増築工事)
平成8年2月5日	病院施設使用許可 (MRI棟2階部分)
2月24日	病院施設使用許可 (MRI棟)

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可 名称変更 公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらさぎの里」開設 入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名 病院施設使用許可（414床）（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらさぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急病院
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更） 組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名）） 病院施設使用許可（418床）（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床） 精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可 （名称変更 組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令 医第221号）
4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長 鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床） （神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる （藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町）
	院内保育所閉所
平成16年3月31日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
6月15日	手術棟増改築工事着工
7月29日	病院開設許可事項一部変更許可 手術棟（3階建）増設
10月1日	管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号-145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可 手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261-2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver. 4.0） 認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退 （藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166-1号） DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始

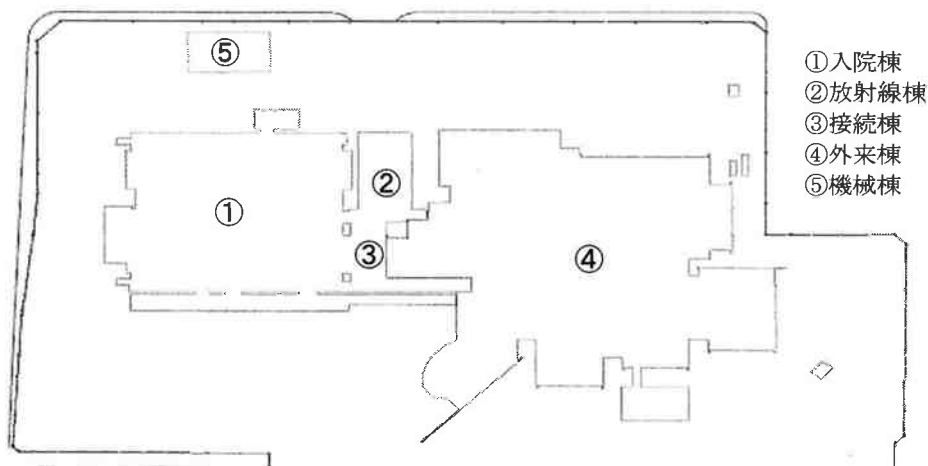
19日	体外式衝撃波結石破砕装置更新
平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128-7号） 認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設 給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可 （群馬県指令市第30033-6号）
5月31日	新医療情報システム更新（オーダーリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併 配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。 （藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver. 6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571-2号 審査体制区分3 Ver. 6.0） 認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128-21号） 認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号） 指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第2次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-5号） 認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長 石崎 政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（3）→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号） MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
平成27年4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定） 認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日
	病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver. 1.0）一般病院2） 認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設 東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院 新入院棟建設・附属外来センター改修工事 起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号） 認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院 新入院棟 竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院 開設許可 (群馬県指令医第166-44号) 病床数 一般病床410床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック20床)、感染症病床4床 合計414床 診療科目 内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転 新公立藤岡総合病院 開院 陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT) 導入
12月1日	保険医療機関指定 (関厚発第105号) 指定期間：平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院 旧附属外来センター改修工事 竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般病床15床廃止)
平成30年4月1日	病床数変更 一般病床395床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック5床)、感染症病床4床 合計399床 歯科口腔外科外来開設 形成外科外来開設
平成30年8月31日	職員駐車場整備工事 竣工
平成31年4月1日	第八代病院長 塚田 義人 臨床研修評価機構認定 (更新、エクセレント賞) 指定期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日
令和元年10月1日	16列マルチスライスCT搭載型SPECT装置 (SPECT-CT) 更新
令和2年2月1日	救急医療告示病院認定 (更新) (群馬県医第128-28号) 指定期間：令和2年2月1日～令和5年1月31日
3月6日	病院機能評価認定 (機能種別版評価項目3rdG (Ver. 2.0) 一般病院2) 指定期間：令和2年6月20日～令和7年6月19日

* 附属外来センター(平成14年4月1日～平成29年10月31日)

平成12年12月27日	病院開設許可 20床 (群馬県指令医第221号) 病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可 20床 (その他の病床)
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院 初代 外来センター長 田中 壯佑 保険医療機関の指定 生活保護法に基づく医療機関指定 結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可 19床 (藤保指令第203-1号)
3月14日	診療所施設使用許可 19床 (一般19床)
3月24日	病院廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
3月31日	保険医療機関廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
4月1日	病院から診療所へ変更 保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定 (認定第92号)
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関 (精神通院医療) 指定
4月1日	第二代 外来センター長 田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届 (診療日及び診療時間の変更)
4月1日	土曜診療の休診 リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長 清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認 (化学療法室増築)
11月27日	化学療法室竣工 (218.77㎡)
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査 人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



- ①入院棟
- ②放射線棟
- ③接続棟
- ④外来棟
- ⑤機械棟

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	HCU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ペインクリニック 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理センター 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 リハビリテーション室、ME室 会議室、スタッフルーム、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ステーション 臨床検査室、内視鏡センター 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急センター 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災センター、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアセンター 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんサロ 薬局、お薬カウ、栄養相談室 検査センター、画像診断センター 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来スタッフ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 リ社諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46m ²			
6階	2,662.91m ²			
5階	2,662.91m ²			
4階	2,841.31m ²			(搭屋) 81.41m ²
3階	3,063.55m ²	42.15m ²		1,430.66m ²
2階	3,063.55m ²	469.83m ²	353.82m ²	5,180.45m ²
1階	3,065.50m ²	469.83m ²	353.82m ²	6,402.17m ²
計	19,491.19m ²	981.81m ²	707.64m ²	13,094.69m ²

構造

- ①入院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造
- ②放射線棟 鉄筋コンクリート造
- ③接続棟 鉄骨造
- ④外来棟 鉄筋コンクリート造

敷地面積 40,807.91m² 職員駐車場面積 16,478m²

5. 建物設備の概要

* 入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E 温水ポンプ(熱交換器二次側) 40LPD52.2E	暖房 暖房	2 2
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204~804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100~1150m3/h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D~1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXYP224DA~900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB~71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB~36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYKP22C~71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB~80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ~140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC~160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C~90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB~28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF~280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT~SZRC140BAD	冷房・暖房	5
		店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA~SZRH160BA	冷房・暖房	3
厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2		
設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7		
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw~11kw 床置	排気	7
		片吸込リミットロードファン 1.5kw~5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リミットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

番号	名称	規格	内訳	数量
13	換気扇	有圧扇 EWF-30 BTA-Q~35 CTA-Q	給気	4
		天井扇 VD-23ZQ8-W	給気	1
		天井扇 VD-18ZX10-FP	排気	1
14	全熱交換機	天井埋込ダクト形 VAM25GAMS 250m3/h~100GAMES 1000m3/h		7
15	フィルターユニット	RIフィルターユニット(放射線系統) PTS-D4(2+2)PHC-S-AS	排気	1
		HEPAフィルターユニット(感染系統) 1×1.5H-POS-AS	排気	1
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-SAS-DS-AS他	給気	31
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-EAS-FS-AS	排気	1
		プレフィルター K-2×3.5P-NG-SP他	給気	7
16	風量制御装置	定風量装置 CDY-150-24他	給気	39
		定風量装置 CDY-150-24他	排気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	給気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	排気	1
17	自動制御機器 (空調)	デジタル設定器 QY7205A3011	FCU・RH用	一式
		温度検出器 TY7043Z0P00	FCU・RH用	一式
		湿度検出器 HY7043T1000	室内用 (計測)	一式
		温湿度発信機 HTY7043T1P00	室内用 (計測)	一式
		温度発信機 TY7803C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7803T1P00	外気用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7903C000M (通信タイプ)	ダクト用	一式
		湿度調節器 HY6000Z2000	室内用 (加湿)	一式
		温度検出器 TY7830B1015・1030	配管・貯湯槽用	一式
		盤表面型表示設定器 QY5100W0000	盤面取付	一式
		差圧発信器 JTD930A	熱源バイパス用	一式
		温度指示調節器 R36	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY5206W1000	CAV・VAV用	一式
		デジタル調節器 WY5205W1010	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY5205W2100	RH用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q	熱源機用	一式
		台数制御ユニット WY2000P	ポンプ用	一式
		電磁流量計 (変換器) MGG10C	熱源用	一式
		電磁流量計 (検出部) MGG11D	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IA	熱源用 (on/off)	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IAP	熱源用 (比例)	一式
		電動ボール弁 VY6100D	冷却塔用	一式
		小型電動二方ボール弁 VY6202A0012	FCU用 (on/off)	一式
		小型電動二方弁 VY5502A0021	RH用 (比例)	一式
		アクチュエータ MY5560C0000	RH用 (比例)	一式
		電動二方弁 VY5165K (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動二方弁 FVY5160J (通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動二方弁 (通信タイプ) VY5113J	熱源バイパス用	一式
		三方弁 V5065A6078	熱源用	一式
		アクチュエータ QY9403B0001	熱源用	一式
		三方弁 VY5303A0041	熱源用	一式
		アクチュエータ MY5301A1001	熱源用	一式
		積算熱量計 WTY8000A1201	熱源用	一式
		温度検出器 TY7840B1015 (熱量計専用)	熱源用	一式
		ダンパモータ MY8040A2001 (通信タイプ)	空調機用	一式
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
電磁弁 WS-22	受水槽用	一式		
漏水センサ AD-RS (発色タイプ)	漏水監視	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
18	CGS設備	ガスエンジン発電設備389KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
19	中央監視設備	savic-net FX2		一式
		BEMS管理		
		システム制御盤 空調制御盤		

番号	名称	規格	内訳	数量
20	スプリンクラー設備	加圧送水装置		1
		ステンレスパネル 溶接形消火用補給水槽	1000×1000×1500H	1
		一次圧力調整弁	WVM-02T型	1
		湿式 K50/60 流水検知装置	GNA-EA80	7
		スプリンクラー末端試験装置	GSF-C80	7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	EZ72-Q80A (1909個) EZ96-Q80A(31個)	1,940
	補助散水栓格納箱			70
21	連結送水管	放水口格納箱		7
		媒介金具 差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付		7
		埋込型双口送水口 100×65×65	スプリンクラー用×1 連結送水管×2	1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付 (100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具 差込式キャップ65A (受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD 評14-011号	フード・ダクト用	1
		KGL-34D 評14-012号	ダクト用	1
		KGL-34RF 評14-013号	小型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34R2 評14-014号	大型レンジ・フラーヤ用	1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット 83L 20.3m3 36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク 5,000ℓ		1
		定置型センサーユニット 液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド 2列36本		1
		センサーユニット 予備酸素用		1
		笑気マニフォールド FML-D 2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド FML-D 2列4本		1
		窒素マニホールド FMN-D 2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット CUBE-D 3.7kw		1
		センサーユニット 空気用		1
		非治療用空気減圧装置 (センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ オイル式 8.0kw		2
		吸引タンク 1,000ℓ		2
		センサーユニット 吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤 自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット NSVタイプ		各室
		天井吊り下げ型アウトレット		26
シャットオフバルブ		46		
シーリングペンダント	手術室	各室		
余剰ガスフローコントロールユニット	手術室	各室		
高圧窒素アウトレット	手術室	各室		
MMII型エリアモニター		5		
MMIII型中央監視モニターL		2		
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付 81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1 加圧給水ポンプユニット 7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2 ラインポンプ(SUS製) 32A 110L 0.25KW		2
		PWH-HW1,2 ラインポンプ(SUS製) 25A 30L 0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ 50A 100L 0.4KW~65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ 80A 400L 1.5KW~5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2 密閉式膨張タンク 1000φ×2500H 1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE 貯湯先止め式床下設置型 25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1 4槽式耐火防水型 パイプ接続天吊 285L		2
		GT-2 パイプ導入型 地中埋設型 85L		1

番号	名称	規格	内訳	数量
35	RI排水処理	J-1 浄化槽 合併処理浄化槽 5人槽		1
		T-1 分配槽 SUSパネルタンク 1000×1500×1000 h 1.5m ³		1
		T-2~4 貯留槽 SUSパネルタンク 2500×3000×2500 h 5m ³ ×3		1
		P-1-1,2 分配ポンプ 50A 150L 0.4KW		2
		P-2-1,2 P-3-1,2 移送ポンプ 50A 150L 0.4KW		4
		P-4-1,2 放流ポンプ 50A 150L 0.75KW		2
		P-5-1,2 ピット配ポンプ 40A 150L 0.4KW		2
		排水処理制御盤 排水処理モニター類		1 一式
36	排水処理	流動担体 樹脂製 結合固定化担体		一式
		中和緩衝槽スクリーン 1m ³ 閉止板		1
		誘導剤槽 PVC製 50L 注入ポンプ 0.025KW		1
		厨房調整槽ブロワ 50A 0.97m/分 1.5KW		1
		厨房調整ポンプ 50A 0.07m/分 0.4KW		2
		自動スクリーン 自動掻揚型 0.025KW		1
		ばっ気ブロワ 80A 3.72m/分 3.7KW		1
		流動担体 樹脂製 結合固定化担体		1
		生物流動床スクリーン SUS製		2
		返送ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		分配計量計 樹脂製Vノッチ		1
		放流ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		感染系スクリーン PVC製		1
		感染系減水ポンプ 50A 0.09m/分 0.4KW		1
		消毒反応槽 0.75m ³ FRP製 攪拌機 0.2KW		1
		検査系スクリーン バスケット型 PVC型		1
		検査系原水槽ブロワ 20A 0.11m/分 0.086KW		1
		感染系原水ポンプ 50A 0.01m/分 0.4KW		1
		中和反応槽 FRP製 攪拌機 0.1KW		1
		消毒薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1
還元剤薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
酸薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
アルカリ薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1		
脱臭装置 樹脂製 12m/分 0.7KW		1		
37	受変電設備	主受電盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		1
		分岐盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		16
		母線連絡盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KV		6
		保護装置過電流継電器		17
		保護装置不足電圧継電器		1
		保護装置方向地絡継電器		6
		変圧器動力 3相 200~750KVA 6,600/210V		8
		変圧器電灯 単相 100~300KVA 6,600/210 105V		7
		変圧器電灯 スコット 200KVA 6,600/210-105V		1
		変圧器動力 3相 200~500KVA 6,600/415V		3
		コンデンサ 3相 19.1kvar 243V	自動力率調整付	6
リアクトル 3相 319kvar 7.2kV		6		
38	発電設備	発電機 3φ 6.6kV 50Hz 1250KVA (1000kw)		1
		エンジン ガスタービン A重油 始動装置 蓄電池設備		
39	非常用直流電源装置	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 SNSX-400 108V 400AH 54セル(2V×54個)		1
40	テレビ共聴	UHF・BS 共聴システム		1
41	ナースコール	自動相互呼出通話		各病棟
42	構内電話	蓄積プログラム制御方式 (PCMデジタル制御方式)		1
		アナログ一般電話機		205
		デジタル多機能電話機		80

番号	名称	規格	内訳	数量
43	院内携帯電話設備	携帯電話機セットPHS方式 PHS接続装置		400 54
44	ペーシング設備	無		1
45	防災監視盤	自動火災報知設備 複合GR型(アナログ式) ガス漏れ警報設備 GN3VBAC 防火・防排煙設備 連動制御器	自動試験機能付	1 1 1 1
46	全館放送装置	放送盤：1640W 出力回線：90回線+一斉 非常用遠隔操作装置 非常用蓄電池設備 DC24V		1 2 1
47	通路誘導灯	バッテリー内蔵型		189
48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアバニックオープン			3
52	会議室AV装置 (大会議室)	大会議室 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA5500lm 150型16:10電動スクリーン コンパクトハイパワースピーカー シーリングスピーカー マイクロホン (ダイナミック、ワイヤレス)		一式 1 1 2 4 7
53	会議室AV装置 (中会議室)	中会議室1、2 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA4000lm 100型16:10電動スクリーン コンパクトスピーカー ワイヤレスアンテナ マイクロホン (ワイヤレス)		二式 2 2 2 4 4
54	映像システム	手術室監視ITV 23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー 19V型ワイド液晶ディスプレイモニター 監視用PC (23型液晶モニター) 屋内ドーム型IPカメラ 新生児室監視ITV		一式 1 1 1 1 6 一式 1
	ITV (防犯監視用)	23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー ドーム型HDネットワークカメラ 操作用PC 24型カラー液晶モニター メインメモリ8GB以上 ネットワークレコーダー データ保護用兼動作補償用UPS スイッチングHUB 室内固定ドーム型カメラ メディアコンバーター		1 1 2 2 24 2
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ (HIS) データ保護用兼動作補償用UPS 非接触カード登録機 スイッチングHUB ロギングプリンタ 連動コントローラ IDコントローラ (IDC4、8) 非接触カードリーダー UPS メディアコンバーター 非接触カード		1 1 1 3 1 1 12 52 2 2 1,000
56	無停電装置(UPS)	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 200kVA 400Ah/10hr 186℃ℓ		1

番号	名称	規格	内訳	数量
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカ		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用 2方向 1750kg(26名) 90m/min		1
		寝台用 2方向 1000kg(15名) 90m/min		3
		寝台用 1方向 1000kg(15名) 90m/min		2
		寝台用 2方向 1150kg(17名) 90m/min		1

*外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式プラインスクリューチラーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1
3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS 冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L	冷房	1
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545	冷房	1
		冷温水ポンプ M100-III-2~M150-II-1	冷房・暖房	3
		冷温水薬液注入装置1式	冷房・暖房	2
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W	冷房・暖房	1
		天カセツイン SMYGP280BD	冷房・暖房	1
		天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C	冷房・暖房	2
		電算型加湿器付 DSRJ400PA	冷房・暖房	1
		天カセ形 SHYCP112C	冷房・暖房	1
		天埋形 SHYGP80B	冷房・暖房	1
		冷専床置形 SVDP140AR~280AR	冷房	4
		天カセ形 SHYGP40CV	冷房	2
		冷専壁掛形 SAP80B	冷房	1
		マルチ形室外機 RSXYP280KC	冷房・暖房	2
		マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSP22KC	冷房・暖房	20
		マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC	冷房・暖房	3
		外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付 RSXYJ140KC~224KC	冷房・暖房	5
		床置き R Z Y P 8 0 B A	冷房	1
床置き P R - A P 1 4 0	冷房	1		
マルチ型室外機 R X Y P 5 0 0 B A	冷房・暖房	1		
天カセ形マルチ型室内機 F X Y P 5 6 B ~ F X Y F P 5 6 M	冷房・暖房	8		
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット (ツイン) RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B	冷房・暖房	2
		壁吸込ユニット (4台マルチ) RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B	冷房・暖房	1
		フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	16
8	空調機	ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	11
		エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 ST-50他	冷房・暖房	18
9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他	冷房・暖房	352
		天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房	87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊		63
		ベルト掛け 床置 排煙ファン		2
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h 外		4
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h 外		9
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20		1
		温度調節器 MD-511		1
		埋設用温度ヒーター S-515M		1
		電気床暖房制御盤 EH-1		8
15	自動制御機器 (空調)	ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001	FCU用	一式
		温度検出器 TY7003Z0P00	室内用	一式
		湿度検出器 HY7003T1000	室内用	一式

番号	名称	規格	内訳	数量
15	自動制御機器 (空調)	温度検出器 TY7813Z0P00	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7813T1P0	外気用	一式
		屋外センサーシールド DY8000A1001	外気用	一式
		ユニット用温度検出器 TY7820Z0P00	FCU用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7913T1P0	ダクト用	一式
		温度検出器 TY7830B1015	配管用	一式
		温度調節器 T675A1896	配管用	一式
		差圧発信器 JTD930A111A1XXXX1XX	熱源バイパス弁用	一式
		温度指示調節器 R310DA00030	盤面取付	一式
		差圧指示調節器 R315GA00030	盤面取付	一式
		温度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		湿度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY7211B2101	AHU用	一式
		デジタル調節器 WY7205W5211	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY7205W6212	FCU用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q1411010B	熱源用	一式
		冷却水ブロー調節器 R7010B	冷却塔用	一式
		電磁流量計 (変換器) MGG10C-DA1A-XBXX-X	熱源用	一式
		電磁流量計 (検出部) MGG11D-125E11LS1AHA-X1-X	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 616J-M		一式
		電動ボール弁 VY6100D20		一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0011		一式
		電動ニ方弁 VY5110F		一式
小型比例ニ方弁 VY5912A		一式		
アクアチュエータ M7410C		一式		
モジュトロモータ M904F1076		一式		
バルブリンケージ Q455C		一式		
ニ方弁 V5064A		一式		
ダンパモータ GBB131.1E	ダクト用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
16	ガスタービン発電設備	500KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
17	GS・直流電源装置	整流器 三相 三線 200V 50HZ		一式
18	無停電電源装置 (UPS)	20KVA 無停電電源装置		1
		バッテリー盤 50AH×180セル 入出力盤		一式 1
19	屋内キュービクル式受変電設備	6.6KVA 1回線 高圧スイッチギア 気中絶縁形 三相3線 7.2Kv 600A 50Hz 単一母線方式 遮断器 水平引出、自動連結形 7.2KV 600A 12.5KA サイクル3 DC100V電動ばね操作 計器用変圧器 エポキシレジンモールド形 6600 : 110V 100VA以上 1P級 零相蓄電器 硝子分圧形 6.9KV 変流器 エポキシレジンモールド形 6.9KV n > 10以上 零相変流器 エポキシレジンモールド形 進相用コンデンサ ガス絶縁形 7020KV 530kvar 三相 50Hz 直列リアクトル モールド形 6.6KV L=6% 三相 50HZ 動力変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6kv 二次415V 210V 照明変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6Kv 二次105/210V 二次単相 3線 真空コンダクタ (VCS) 3極単投 電磁操作 固定形 6.6KV 200A 低圧絶縁監視装置 IR電流検出方式		一式
20	動力制御盤	屋内自立型 P-1-MR 3.7kw 6.5kw 39.0kw 48.06kw 61.48kw	各所	一式
21	電灯・コンセント分電盤	屋内自立型 PL-1-ER 9.68kw 9.8kw	各所	一式
		屋内自立型 PL-2-BAI 0.66KVA 0.15KVA		1
22	総合盤・端子盤	音声警報フック型防災アンプ		1
		防災監視盤		1
		ヘッドエンド装置収納架		1
		非常電話主コントロールユニット、ドアホン		1

番号	名称	規格	内訳	数量
22	総合盤・端子盤	エレベーター監視盤		1
		医療ガス情報監視システム、誘導灯信号装置		1
		入館入室管理盤-1、2		2
		ITV監視制御盤		1
		ナースコール表示パソコン		1
		システム制御盤		1
		空調制御盤		1
		コーナー継ぎ板		1
		床暖房用中継端子盤		17
23	手元開閉基盤	手元開閉基盤 (50AFx1)		11
24	変圧器	単相300kVAモールド変圧器 RCT-N21		4
		100kVAスコットモールド変圧器 RCTQ-N21		1
		三相300kVAモールド変圧器 RCT-N21 外		6
25	コンデンサー・リアクトル	高圧進相コンデンサ AF702261KHA1 外		2
		高圧進相コンデンサ用6%直列リアクトル CR702261KDE5 外		2
		低圧進相コンデンサ設備 LB3-S形 LB322B5025S26		2
26	照明器具	多種	各所	4,516
27	フル2線ネットワークコントロールユニット	WR3385K	照明中央制御	1
		WR3386K	照明中央制御	1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式
31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031、2101		15
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		50
		ドアホン親機1局 SHN-1BA		1
		夜間受付子機 SG-330-1A		1
33	人間ドックナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20~160		一式
34	健診センターインターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101		一式
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		4
35	手術室インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J		1
		インターカムステーション HF-250M		7
		手術室用子機 BA-303		3
		手術室インターホン制御ボックス BA-303		3
		足押式押ボタン BB-513A-4S		3
		ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35		11
		画像記録装置 WJ-DR200		1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム		一式
		外待合表示盤 (42インチ) KD01037-B148		9
		診察室表示盤 KD01037-B149		36
		表示制御パソコン KD96002-L873 外		8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE		一式
		カードホルダ		20
		パッシブセンサー		7
		マグネットセンサー		12
40	高速光電送設備	キャノビーム DT-50/622 データ伝送速度 622Mbps 最大伝送距離 1,500m		一式
41	電話設備	D2000交換機 (TypeMA)		1
		通話料金管理装置 PS4080A CNSA		1
		多機能電話 DI2106C		38
		アナログ一般電話機 DA2029C		203
		PHS TC-631SE		78

番号	名称	規格	内訳	数量
42	音響・映像設備	コンパクトミキサー WR-X02		1
		ステレオカセットデッキ RS-TR575-K		1
		デジタルグラフィックイコライザー SRQ-2031/4015		1
		MD/CDプレーヤー MXD-D40		1
		VTR NV-SVB300		1
		ワイヤレス受信機 WX-4020B		1
		チューナーユニット WX-D4000A		1
		2ウェイスピーカー WS-AT80		2
		天井スピーカー WS-A22		2
		液晶プロジェクター TH-PKL6500		1
電動式スクリーン EA-V100BS		1		
43	自動火災報知設備	防災監視盤 HRK-ADS254FGA		1
		表示盤 HEX-1PE-D		2
		熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60L/70L		109
		煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A		454
		消火栓組込型 HURB-10BL		34
		発信機 PPE-1U		34
		表示灯 TL-13D		34
		自動開閉装置 ARS-B 104		16
		ガス漏れ検知器 KN-35B		6
		火災通報装置 FCA-BBW01		1
44	中央監視設備	s a v i c - n e t E V model30 音声警報ラック型防災アンプ 防災監視盤 ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架 エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム 誘導灯信号装置 CL-1-BOU 入館入室管理盤-1 入館入室管理盤-2 I T V 監視制御盤 ナースコール表示パソコン システム制御盤 空調制御盤		一式
45	避雷針設備	接地測定用端子函：建設省仕様 (TB-SSIA)		一式
46	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
47	自動ドア設備	両引自動扉		4台
		片引自動扉		16台
		二重片引自動扉		2台
		自閉式 (半自動) 引戸		一式
48	エレベーター	寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御		2台
		乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		1台
		乗用 750KG 60M/min インバータ制御		1台
		小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御		1台
		乗用 エスカレータ 9000人/h台 30M/min インバータ制御		2台
49	排煙	電動オペレーター用		一式
		開閉式トップライト 手動操作型		一式
		防火ドア		一式
		防火・防災シートシャッター		一式
		重量シャッター・グリルシャッター		一式
		防災垂壁・スクリーン		一式
50	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所
51	システムバス	シャワールームユニット	OP室	2
		ユニットバスルーム		22
52	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シャーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷庫全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式
53	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3		1
		高架水槽 (上水) NW型 5.0m3		1
		高架水槽 (雑水用) NW型 5.0m3		1

番号	名称	規格	内訳	数量	
54	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2	
		LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2	
		LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A		1	
		LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2		1	
		HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T		2	
		FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB		1	
		ジョッキーパーポンプ CHS-255-M1.5		1	
55	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75kw		28	
56	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SAT-155/6B		1	
57	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器 BH-130 349kw		1	
58	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2	
59	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300LS 300l		1	
60	厨房機器	多種		一式	
61	電気温水器	壁掛型電気湯沸器 EW-20N3C-BT 20l		2	
62	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589	
63	水飲器	オアシスウォータークーラー MLF8CR 自動洗浄機構付		6	
64	配管ユニット	バンネA型 640×240×150 上水/給湯/ガス/排水		1	
65	薬液回収タンク	ダイライトタンク SP 0.5m3 現像液/定着液		2	
66	スプリンクラー設備	加圧送水装置	GQH-FB72(1,217ヶ) GQH-FB96(8ヶ) 139℃ (3ヶ)	1	
		起動装置		1	
		閉鎖型スプリンクラーヘッド		1,228	
67	スプリンクラー設備器具	操作盤		1	
		流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80		5	
		圧力スイッチ GPS-EA10T		5	
		表示板 (自火報受信機)		1	
		呼水装置		1	
		建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB		34	
		埋込型送水口 N-EKSW1N-C		1	
68	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型		1	
		ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホール M-LGR (大容量タイプ)		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型		1	
		日立オイルフリーベピコン 3.7kw		2	
		SMC空冷式アフタークーラー HAA7		2	
		空気供給装置用タンク 500l		1	
		医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di		1	
		吸引供給装置メディラインパック 600l 2.2kw		2	
		吸引供給装置メディラインパック 600l 2.2kw 除菌フィルター		2	
		医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1	
		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12 (8チャンネル)		1	
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ		208	
			リール式アウトレット		17
			窒素圧力調整装置		3
	シャットオフバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型		18		
	余剰ガス回収システム イジェクタータイプ		9		
69	PH処理装置	原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw		2	
		着脱装置 TOK-3P (VANCS)		1	
		位置検出用スナッフフロート (レベルスイッチ) RF-5		13	
		PH処理装置 SPC0827		1	
		PH処理装置制御盤		1	
70	グリーストラップ	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H		1	
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型		1	

番号	名称	規格	内訳	数量
71	浄化槽	荒目スクリーン KS-200S-40		1
		微細目スクリーン KE-200S-2.5 31m3/H		1
		原水ポンプ TOS-50U4.75H-51		2
		貯水槽ポンプ TOS-50U4.75L-51		2
		放流ポンプ TOS-50B4.75-52		2
		レベルスイッチ RF-5		13
		滅菌器 I型		1
		調整攪拌プロアー BSS40		1
		ばっ気プロアー BE80E		2
		ディフューザー 20JD-200		1
		スカムスキマー フローティング		2
		電磁弁 PS-12		1
		風量計 FLG-N80A		1
		電磁式積算体積計 SW065E-C		1
		受信器 SR-2D		1
		換気扇 FY-3GTF2 ガード (1ヶ) 温度スイッチ (1台)		1
操作盤 屋内自立		1		
消泡装置 アワコロン		1		

6. 主要医療機器

所属	医療機器器具名	製造会社名	規格	数量	
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSHO	NDS-4000C	1式	
	全自動散薬分包機	TOSHO	i 0-9090EX4	1式	
	調剤システム	トーショー	Pervasive PSQL V10 外	1式	
放射線室 (カテ室)	循環器撮影装置	東芝	INFX-8000V	1式	
	DR式汎用X線透視診断装置	島津	SONIALVISION	1式	
	SPECT-CT装置	シーメンスヘルスケア株式会社	Symbia Intevo16	1式	
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Signa HDxt 1.5t	1式	
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン(株)	1417Q外	1式	
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタ (株)	AeroDR1717HQ2 外	2式	
	医用放射線画像管理情報システム (PACS)	コニカミノルタジャパン(株)	Neovista I - PACS	1式	
	放射線治療情報管理システム	インフォコム	Dr. View/R t i s	1式	
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン(株)	NEOVISTA I-PACS CS	1式	
	PET-CT装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式	
	血管造影X線診断装置	フィリップスエレクトロニクスジャパン	Diamond Select Allura Xper FD20/20	1式	
	マルチスライスCTスキャナ	GEヘルスケアジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式	
	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケアジャパン	Optima CT580W	1式	
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Explorer Newgrade ^{ハート・ジョイントアップ}	1式	
	放射線治療システム	VARIAN	CLINAC iX	1式	
	血管造影X線撮影装置	東芝メディカルシステムズ	INFX-8000V/JC ^{ハート・ジョイントアップ}	1式	
	インフォコム放射線レポート (v9) システム	コニカミノルタジャパン(株)	REPORT (iRedV9)	1式	
	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP - 21T	2台	
	結石破砕室	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエ	Delta II	1式
	検査室	検査システム (自動分析装置、臨床検査システム)	富士通	LAINS-X	1式
全自動細菌検査システム		シーメンスヘルスケア	Walkaway96plas	1式	
多項目自動血球分析装置		シメックス	XT-1800i	1式	
生化学自動分析装置		日立ハイテクノロジーズ	LABOSPECT006	1式	
便潜血自動分析装置		アルフレッサファーマ	ヘテクトNS-Prime	1式	
感染症検査業務支援システム		バックマン・コールター(株)	SMILE STB	1式	
病棟		カラードプラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500	1式
	生体情報モニター	日本光電外	CNS-9601外	1式	
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	LOGIQ-B00K	1台	
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	NANO-MAX	1台	
	ベットパンウォッシャー	アトムテック	731	10式	
	ECGモニター (HCU増設分を除く)	日本光電	PU-611R外	1式	
	産科カルテシステム	アトムテック	f カルテット	1式	
	胎児監視システム	アトムテック	FSV セントラルモニタ 外	1式	
	経皮の心肺補助システム	テルモ	HCS-CFP	1式	
	超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式	
	セントラルモニタ	日本光電工業	PU-611R他	1式	
	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパス	DP-27-B	1式	

H C U	セントラルモニタ	日本光電工業	CNS-6201 外	1式
	セントラルステーション	GEヘルスケアジャパン	B 650 外	1式
	集中治療室ビームシステム	美和医療電機	IS500 特注 外	1式

所属	医療機器器具名	製造会社名	規格	数量
人工透析室	多人数用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DR0-NX132H	1式
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式
	透析通信システム	日機装	FN-WEB 外	1式
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式
中央手術室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルシステムズ	OTV-S190外	2式
	超音波手術用システム	オリンパス外	UST-2001外	1式
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINS II	1式
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式
	電気手術器	コビディエンジャパン	Force Trial	2式
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルシステムズ (株)	3DV-190外	1式
	手術用顕微鏡システム	オリンパス	VISERA ELITEシステム	2式
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケアジャパン (株)	CSRESCAPE B650/Unity iCentral	1式
	手術顕微鏡	ツァイス	VISU150	1式
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式
	麻酔器	GEヘルスケアジャパン	Carestation 650	4式
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式
	無影灯	山田医療照明	IXM CJリフレ CJ16-TV55 外	6式
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMVARIO700	1式
	電気手術器	コビディエンジャパン	FT10バック	1式
	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント(株)	DR-140-ES7	1式
中央滅菌室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機 (株)	V-PRO max	1式
	高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機	WUS II -4100DX	1式
	ハイブリッド滅菌装置	ゲディング・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式
内視鏡室	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス	GIF-XP260NS	1式
	大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q260AL	1式
	内視鏡システム	オリンパス	CV-290 外	1式
	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス	Soleimo	1式
	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルシステムズ(株)	ESG-300 外	1式

臨床工学室	人工呼吸器	I M I	VELA	2台
	人工呼吸器	日本光電	サビーナ	4台
	人工呼吸器	HAMILTON	C1	9台
	人工呼吸器 (小児用)	東機質	SLE5000	1台
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ヘンチレーター	3台
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	ホシダグ 3000	2台
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電	WEP-4208	1式

*外来棟

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Signa 1.5T	1台
	全身用コンピュータ断層撮影装置	シーメンス	SOMATOM Definition AS+	2式
	X線透視診断撮影装置	日立メディコ	TU-3000DR	2式
	乳房用X線診断装置	日立メディコ	SELENIA	1式
	一般撮影画像処理装置	コミカミノルタ	無線型フラットパネルAeroDRシステム	2式
	CRシステム	富士フィルムメディカル	FCRXU-D1 外	1式
	X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY primo	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	PHILIPS Medical System	SONOS 5500	1台
	超音波診断装置	(株)フィリップス・ジャパン	EPIQ Elite	1式
内視鏡センター	内視鏡検査システム	オリンパスメディカルシステムズ	EU-M2000 外	1式
	内視鏡画像ファイリング装置	オリンパスメディカルシステムズ	MAJ-589 外	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	GIF-XP260NS 外	8式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	GIF-XQ260	11式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	PCF-Q260AZI 外	7式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	CV-260SL 外	1式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	CV-290 外	2式
	気管支ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ	BF-6C260 外	4式
産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Voluson S6	1台
	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Voluson E6	1台
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン株式会社	SONOVISTA GX30	1式
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタヘルスケア	SONIMAGE HS1	1台
小児科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Vivid i	1台
	ベットサイドモニター	日本光電	PVM-4761-Q20	1式
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	ENF-V3	1式
泌尿器科	泌尿器科内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ	TC-P2 外	1式
眼科	光干渉断層計 (OCT)	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式

歯科 口腔外科	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	クライ	1式
	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	シグノG50 セレクション外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ 外	ベラビューエポックス3DFアルファP外	1式
	電動式外科用ドリル (マーククラブ パワーシステム)	ビーズ・ブラウンエースクラブ	ELAN4 electro	1式
健診管理センター	乳房用X線撮影装置	日立製作所	Dimensions2D	1式
	一般X線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC-NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA 60	1式
	X線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度想定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン㈱	Plissimo MG	1式

7. 令和元年度主な導入医療機器

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
放射線棟2階	SPECT-CT装置	シーメンスヘルスケア(株)	Symbia Intevo16	1式
産婦人科外来	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン株式会社	SONOVISTA GX30	1式
入退院支援センター・外科外来	デジタル身長体重計	A&D	AD-6351	2式
北4階病棟	省力昇降機構付きストレッチャー	日進医療器	TY229FS-D	1式
検査室	超音波診断装置	(株)フィリップス・ジャパン	EPIQ Elite	1式
健康管理センター	自動体外式除細動器(AED)	日本光電	AED-3100	1式
形成外科外来	小型高周波電気手術器	コンメト	7-900-100S	1式
救急センター	電動式デジタルエアータニケット	ミズホ	MT-960	1式
薬剤部・歯科口腔外科外来	薬用冷蔵ショーケース	パナソニック	MPR-1014R-PJ・MPR-S163-PJ	2式
HCU・循環器室	血液凝固測定器 アクタライクミニⅡ	トライテック	5755	2式
南6階病棟	キューブスキャン	ジェイ・シー・ティー	BioCon-900	1式
検査室	一酸化窒素ガス分析装置	チェスト	NIOX VERO	1式
情報ラウンジ	垂直5段書架	ヤガミ	BS-5P	1台
レストラン	ウォーターサーバー	オートリ	HPT-363LP-0	1式
循環器室	医療従事者用 放射線防護メガネ	東レ・メディカル	Dr.B-Go 視力矯正レンズタイプ 81201	1式
北4階病棟	新生児体重計	アトム	デジタルインファントスケール/NS-608N	1式
手術室	光源装置	スミス・アント・ネフュー	ゼノン500XL光源装置	1式
MRI室(入院棟)	MRI室用パルスオキシメーター	杏林システマック	2460SYS	1式
小児科外来	ベットサイドモニター	日本光電	PVM-4761-Q20 外	1式
内視鏡センター(入院)	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルサイエンス(株)	ESG-300 外	1式
内視鏡センター(外来)	27型液晶モニター	ソニー	LMD-2735MD	1式
循環器室(脳外科)	アスピレーションポンプ	メディオスヒラタ	PMXENGN	1式
北4階病棟	非接触眼圧計(ノンコンタクトトノメーター)	ニテック	NT-530	1式
小児科外来	デュアル周波数体組成計 セパレートタイプ	TANITA	DC-430A シロセパレートタイプ	1式

8. 医療法に関する許可承認事項

(1) 施設基準一覧表

令和2年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	(歯初診) 第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	(一般入院) 第180号	平成30年9月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	(診療録2) 第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算2 (40対1)	(事補2) 第59号	平成29年11月1日
	急性期看護補助体制加算 (50対1)	(急性看護) 第62号	平成29年11月1日
	看護職員夜間配置加算 (16対1配置加算1)	(看護夜配) 第24号	令和元年9月1日
	療養環境加算	(療) 第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重) 第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第9号	平成29年11月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	(医療安全1) 第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む)	(感染防止1) 第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	(患者サポ) 第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第29号	平成29年11月1日
	総合評価加算	(総合評価) 第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	(データ提) 第75号	平成29年11月1日
	入退院支援加算1 (地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む)	(入退支) 第83号	平成30年4月1日
認知症ケア加算2	(認ケア) 第55号	平成29年11月1日	
小児入院医療管理料4 (注2に規定する加算を含む)	(小入4) 第25号	平成29年11月1日	
回復期リハビリテーション病棟入院料1	(回リ) 第8号	平成30年6月1日	
地域包括ケア病棟入院料2	(地包ケア2) 第43号	平成29年11月1日	
入院時食事療養費 (I)	(食) 第238号	平成29年11月1日	
特掲診療料	歯科疾患管理料の注1に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第297号	平成30年4月1日
	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第17号	平成29年11月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成29年11月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第12号	平成30年5月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	(救搬看護) 第24号	平成30年5月1日
	外来放射線照射診療料	(放射診) 第10号	平成29年11月1日
	開放型病院共同指導料	(開) 第16号	平成29年11月1日
	がん治療連携計画策定料	(がん計) 第22号	平成29年11月1日
	薬剤管理指導料	(薬) 第161号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料1	(機安1) 第59号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料2	(機安2) 第14号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第5号	平成30年4月1日
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第25号	令和元年5月1日
	遺伝学的検査	(遺伝検) 第6号	平成29年11月1日
	骨髓微小残存病変量測定	(骨髓測) 第1号	平成30年4月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (I)	(検I) 第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (IV)	(検IV) 第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びビシヤトルウォーキングテスト	(歩行) 第29号	平成29年11月1日
	長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第7号	平成29年11月1日
	神経学的検査	(神経) 第45号	平成29年11月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第24号	平成29年11月1日
	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断コ複) 第11号	平成29年11月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日
	外来化学療法加算1	(外化1) 第70号	平成29年11月1日
	無菌製剤処理料	(菌) 第77号	平成29年11月1日
	心大血管疾患リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(心I) 第19号	平成29年11月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(脳I) 第78号	平成29年11月1日
	運動器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(運I) 第104号	平成29年11月1日
	呼吸器リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(呼I) 第85号	平成29年11月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第39号	平成29年11月1日
	歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第127号	平成30年4月1日
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合1)	(人工腎臓) 第59号	平成30年4月1日	
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第11号	平成30年12月1日	
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第44号	平成30年4月1日	
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第38号	平成29年11月1日	
手術用顕微鏡加算	(手術微加) 第34号	平成30年4月1日	
CAD/CAM冠	(歯CAM) 第774号	平成30年4月1日	
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置置換術	(脳刺) 第10号	平成29年11月1日	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置置換術	(脊刺) 第12号	平成29年11月1日	

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
特 掲 診 療 料	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	(乳セ1)第22号	平成29年11月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ)第68号	平成29年11月1日
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	(大)第41号	平成29年11月1日
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎)第23号	平成29年11月1日
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前)第10号	平成30年5月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造)第73号	平成29年11月1日
	輸血管理料II	(輸血II)第52号	平成29年11月1日
	輸血適正使用加算	(輸適)第47号	平成29年11月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第37号	平成29年11月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)第37号	平成29年11月1日
	広範囲顎骨支持型装埋入手術	(人工歯根)第4号	平成30年8月1日
	歯根端切除手術の注3	(根切顕微)第31号	平成30年4月1日
	麻酔管理料(I)	(麻管I)第78号	平成29年11月1日
	放射線治療専任加算	(放専)第15号	平成29年11月1日
	外来放射線治療加算	(外放)第14号	平成29年11月1日
	高エネルギー放射線治療	(高放)第20号	平成29年11月1日
	1回線量増加加算(全乳房照射)	(増線)第10号	平成30年4月1日
	画像誘導放射線治療加算(IGRT)	(画誘)第12号	平成30年9月1日
	体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策)第10号	平成29年11月1日
	定位放射線治療	(直放)第12号	平成30年4月1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管)第1371号	平成30年4月1日	
	酸素の購入価格に関する届出書	(酸素)第12511号	平成31年4月1日
保 険 外 併 用 療 養 費	入院医療に係る特別の療養環境の提供	(入療養提供)第852号	令和元年10月1日
	時間外診察	(時間外診察)第45号	令和元年10月1日
	200床以上の病院の初診	(病院初診)第70号	令和元年10月1日
	入院期間が180日を超える入院	(超過入院)第339号	令和元年10月1日
	金属床による総義歯の提供	(金属総義歯)第1275号	令和元年10月1日

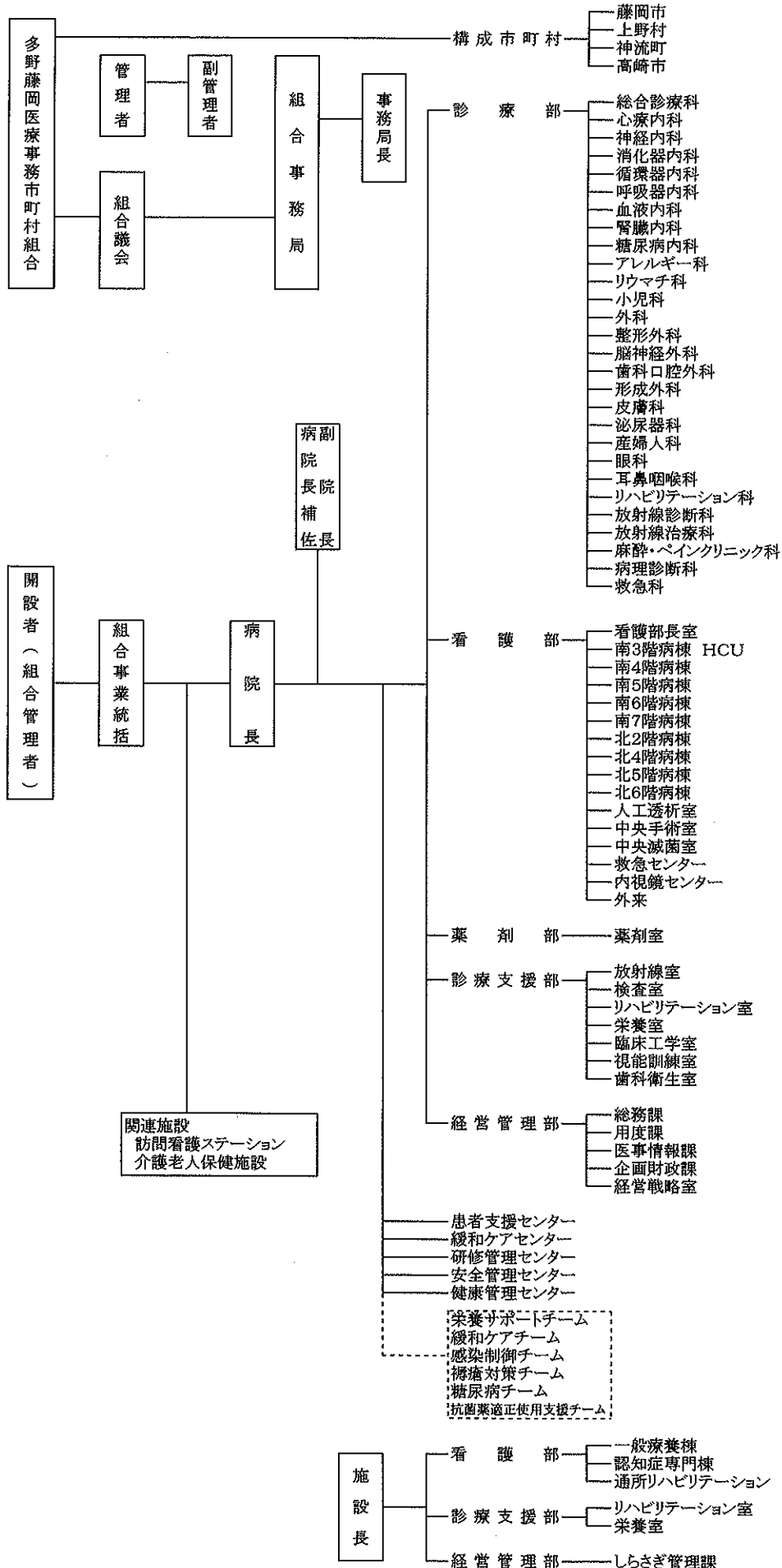
(2) 許可承認事項 (令和元年度分)

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
平成31年4月1日 (算定辞退年月日)		地域連携小児夜間・休日診療料1	関東信越 厚生局長	辞退届
令和元年5月13日	関厚発0513 第17号	神経学的検査の受理について	関東信越 厚生局長	(神経) 第45号
令和元年6月3日	関厚発0603 第75号	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定 の受理について	関東信越 厚生局長	(持血測) 第25号
令和元年7月5日	関厚発0705 第15号	CAD/CAM冠の受理について	関東信越 厚生局長	(歯CAD) 第774号
令和元年8月1日 (算定辞退年月日)		緩和ケア診療加算	関東信越 厚生局長	辞退届
令和元年8月1日 (算定辞退年月日)		外来緩和ケア加算	関東信越 厚生局長	辞退届
令和元年10月30日	関厚発1030 第18号	看護職員夜間配置加算(16対1配置加算1)の 受理について	関東信越 厚生局長	(看夜配) 第24号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		CT撮影及びMRI撮影の受理について	関東信越 厚生局長	(C・M) 第341号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		特別の療養環境の提供	関東信越 厚生局長	(入療養提供) 第852号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		時間外診察	関東信越 厚生局長	(時間外診察) 第45号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		200床以上の病院の初診	関東信越 厚生局長	(病院初診) 第70号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		入院期間が180日を超える入院	関東信越 厚生局長	(超過入院) 第339号
令和元年10月1日 (算定開始年月日)		金属床による総義歯の提供の実施	関東信越 厚生局長	(金属総義歯) 第1275号
令和元年11月28日	関厚発1128 第3号	感染防止対策加算1・感染防止対策地域連携加 算・抗菌薬適正使用支援加算の受理について	関東信越 厚生局長	(感染防止1) 第25号
令和2年1月28日	関厚発0128 第29号	療養環境加算の受理について	関東信越 厚生局長	(療) 第113号

II 組織及び職員の現況

令和2年3月31日現在

1. 組織



2. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

(単位：人)

部門・職種別		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
診療部	医師	70	66	4	75	71	4	74	69	5
		70	66	4	75	71	4	74	69	5
薬剤部	薬剤師	20	20		19	19		21	21	
	再任用	1	1		2	2		2	1	1
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		24	21	3	24	21	3	26	22	4
診療支援部	診療放射線技師	20	20		22	22		21	21	
	再任用	1	1							
	臨床検査技師	22	19	3	26	19	7	25	18	7
	再任用				1	1		1	1	
	理学療法士	27	27		27	27		29	28	1
	再任用				1	1		1	1	
	作業療法士	13	13		13	13		13	12	1
	言語聴覚士	5	5		6	6		7	7	
	看護師									
	栄養士	6	6		6	6		5	5	
	再任用							1	1	
	臨床工学技士	7	7		7	7		7	7	
視能訓練士	2	2		2	2		2	2		
歯科衛生士				2	2		2	2		
		103	100	3	113	106	7	114	105	9
看護部	看護師	319	285	34	316	281	35	316	289	27
	再任用	4	4		7	7		5	5	
	准看護師	8	5	3	8	5	3	7	4	3
	介護福祉士	1	1		1	1		2	2	
	看護助手	24	7	17	27	7	20	17	6	11
							1	1		
		356	302	54	359	301	58	348	307	41
経営管理部	事務員	43	32	11	38	31	7	39	30	9
	再任用							2	2	
	相談指導員									
	その他労務				1	1				
		43	32	11	39	32	7	41	32	9
患者支援センター	看護師	4	3	1	6	5	1	4	4	
	再任用	1	1		2	2		2	2	
	相談指導員	8	8		8	8		8	8	
	再任用				1	1		1	1	
	事務員	3	3		3	3		3	3	
	再任用							1	1	
		16	15	1	20	19	1	18	18	

部門・職種別		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
緩和ケアセンター	看護師	3	2	1	3	2	1	2	2	
	相談指導員	1	1		1	1		1	1	
	事務員	1	1							
		5	4	1	4	3	1	3	3	
研修管理センター	研修医	14		14	15		15	14		14
	看護師	1	1							
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		18	3	15	18	2	16	17	2	15
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員	5	5		5	5		6	6	
	再任用	1	1		1	1				
	その他労務	3	1	2	1		1	2	1	1
	再任用	1	1		1	1				
		12	10	2	10	9	1	10	9	1
健康管理センター	事務員	1	1		1	1		1	1	
		1	1		1	1		1	1	
合計		648	554	94	663	565	98	652	568	84

※地域医療支援連携センターは、平成29年11月1日より患者支援センターに名称変更。

3. 主要役職員名簿

令和2年3月31日

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
管理者	新井 雅博	藤岡市長	脳神経外科 副院長	甲賀 英明	患者支援センター長
副管理者	田村 利男	神流町長	部長	若林 和樹	
組合事業統括兼病院長 病院長補佐	塚田 義人	安全管理センター長兼 内視鏡センター長	医長	富田 庸介	
副院長	設楽 芳範	患者支援センター長	歯科口腔外科 医長	高山 優	
副院長	甲賀 英明	研修管理センター長	医員	大隅 麻貴子	
副院長	井上 雅浩	救急センター長	皮膚科 部長	嶋岡 正利	
診療部 総合診療科 部長	神保 貴宏		泌尿器科 部長	武井 智幸	
消化器内科 部長	壁谷 建志		医長	坂本 亮一郎	
部長	山口 泰子		医員	縣 知弘	
循環器内科 副院長	井上 雅浩	救急センター長	産婦人科 統括部長	遠藤 究	臨床研修統括部長
部長	上飯島 徹	健康管理センター長	部長	片貝 栄樹	
部長	間瀬 由紀夫		医員	似内 敦志	
部長	植田 哲也		医員	周藤 周	
医長	高松 寛人		リハビリテーション科 副院長	清水 透	研修管理センター長
医長	小野 洋平		医員	矢島 賢司	
呼吸器内科 部長	中川 純一		放射線診断科 部長	神宮 晶子	
部長	池田 香仁		医長	熊坂 百香	
医長	内田 恵		放射線治療科 部長	塩谷 真里子	
血液内科 部長	外山 耕太郎		麻酔科・ペインクリニック科 統括部長	荒井 賢一	中央手術室統括部長兼救 急センター集中治療室担当 部長
医長	田原 研一		部長	牛込 嘉美	
医員	寺崎 幸恵		部長	田口 美ゆり	
医員	中山 敬太		部長	金井 真樹	
医員	松本 彬		医長	萩原 竜次	
腎臓内科 組合事業統括兼病院長 部長	塚田 義人		病理診断科 部長	吉田 孝友	
医長	太田 史絵		臨床研修医 2年次	半田 敬祐	
医長	田茂 真祐子		2年次	青木 友紀	
医員	月本 伸介		2年次	反町 隼人	
医員	木村 智子		2年次	坂本 康大	
医員	松崎 智平		2年次	河野 慧	
糖尿病内科 部長	中原 理恵子		2年次	塩原 望沙	
小児科 統括部長	渡部 登志雄	診療統括部長	1年次	伊藤 理望	
部長	小山 晴美		1年次	友金 佐光	
部長	相馬 洋紀		1年次	牛久保 陸生	
医員	岩脇 史郎		1年次	田嶋 千尋	
外科 病院長補佐	設楽 芳範	安全管理センター長兼 内視鏡センター長	1年次	土橋 美徳	
部長	中村 卓郎		1年次	石崎 正裕	
部長	中里 健		看護部 看護部長室		
部長	加藤 寿英		看護部長	田村 幸子	
部長	松本 明香		看護部長	染谷 由香里	
部長	熊倉 裕二		副看護部長	足利 章江	
部長	高橋 遼		南3階病棟 看護師長	樋口 美恵子	
部長	本橋 周子		副看護師長	高橋 久美子	
部長	本野 健太郎		副看護師長	児島 厚子	
部長	内田 真太郎		南4階病棟 看護師長	高橋 富士美	
整形外科 部長	中島 大輔		副看護師長	神岡 江	
部長	土田 ひとみ		副看護師	久保 愛	
部長	橋本 昌宏				
医員	藤澤 佳亮				
医員	工有 千信				
医員	中島 知貴				

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
南5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤巻 淳子 設楽 理枝 成田 雅子		栄養室 室長	福田 智春	
南6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤野 妙子 茂木 裕子 齊田 亜弓		臨床工学室 室長 グループリーダー	金子 修 宇津木 徹	
南7階病棟 看護師長 副看護師長	江原 忍 今井 美智代		視能訓練室 主査	宮本 恵子	
北2階病棟 看護師長 副看護師長	菊地 弘美 町田 かつ江		経営管理部 経営管理部長	新井 滋	
北4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	木部 和枝 原澤 優子 中村 道子		総務課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	堀越 輝雄 秋山 裕子 金澤 祐子 櫻井 力	
北5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	神宮 由香 高木 元美 石原 里美		用度課 課長 グループリーダー	新井 誠十郎 鈴木 晃	
北6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	原 敦子 青木 裕美 瀧上 まゆみ		医事情報課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	五十嵐 哲二 齋藤 功志 篠崎 清美 久保寺 正英	
人工透析室 看護師長	野村 香		企画財政課 次長兼課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	中里 光夫 新井 恵介 平澤 和興 富田 貴英	
中央手術室 看護師長 副看護師長	千木良 直子 宮原 裕三		経営戦略室 室長	清宮 きよ江	
内視鏡センター 看護師長	興口 裕		患者支援センター 副看護部長 課長兼事務統括 副看護師長 グループリーダー	花形 光枝 横坂 政彦 針谷 ゆかり 青木 雅代	
外来 看護師長 看護師長 副看護師長	吉田 富子 飯島 京子 南雲 和子		緩和ケアセンター 事務統括 看護師長 副看護師長	横坂 政彦 古池 きよみ 森崎 裕美	
薬剤部 薬剤部長	小幡 輝夫		研修管理センター 事務統括	金澤 祐子	
薬剤室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	堀口 裕之 久米 隆夫 櫻澤 千世 岩崎 英久		安全管理センター 事務統括 看護師長兼 リスクマネジャー 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	堀越 輝雄 斉藤 康行 黒澤 透 中 浩信 田畑 幸貴	
診療支援部 診療支援部長 副診療支援部長	櫻井 敏男 金子 修		健康管理センター 事務統括 グループリーダー	五十嵐 哲二 新井 美春	
放射線室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	高田 哲也 長島 純子 萩原 茂紀 岩村 隆夫 黒澤 琢磨				
検査室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	柴崎 洋一 井口 弘美 相馬 千恵子 奥田 康子				
リハビリテーション室 室長 グループリーダー グループリーダー	関根 圭介 松山 励悦 小林 真				

4. 議会

(1) 構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

(2) 議会開催状況（令和元年度）

令和元年 7月 11日 令和元年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会臨時会

令和元年 10月 29日 行政視察（藤沢市民病院 2日間）

令和元年 11月 19日 令和元年第3回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

令和 2年 2月 14日 令和2年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第 9号	監査委員の選任について	令和元年7月11日
報告第 1号	資金不足比率の報告について	令和元年11月19日
議案第10号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	令和元年11月19日
議案第11号	多野藤岡医療事務市町村組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	令和元年11月19日
議案第12号	多野藤岡医療事務市町村組合会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	令和元年11月19日
議案第13号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	令和元年11月19日
議案第14号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和元年11月19日
議案第15号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	令和元年11月19日
議案第16号	多野藤岡医療事務市町村組合旅費支給条例の一部改正について	令和元年11月19日
議案第17号	多野藤岡医療事務市町村組合行政不服審査法関係手数料条例の一部改正について	令和元年11月19日
議案第18号	平成30年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計決算認定について	令和元年11月19日
議案第19号	平成30年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	令和元年11月19日
議案第 1号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和2年2月14日
議案第 2号	多野藤岡医療事務市町村組合病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	令和2年2月14日
議案第 3号	多野藤岡医療事務市町村組合病院使用料条例の一部改正について	令和2年2月14日
議案第 4号	令和元年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第1号)について	令和2年2月14日
議案第 5号	令和元年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)について	令和2年2月14日
議案第 6号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	令和2年2月14日
議案第 7号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	令和2年2月14日

Ⅲ 院内会議及び委員会

1. 会議

名称	構成員	目的等	開催
幹部会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月1回
連絡調整会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、患者支援事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月1回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月1回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月2回
課長会議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室長会議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

2. 委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	病院長補佐、産業医、施設長、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、臨床工学室、視能訓練室、リハビリテーション室、栄養室、総務課長、総務課 計17人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月1回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター 計29人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月1回
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤部長、検査室、委託職員（日清医療食品）栄養室長、栄養室 計23人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月1回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、視能訓練室、経営管理部長、医事情報課長、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計31人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月1回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計11人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時

診療情報管理委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、放射線室長、検査室長、総務課長、医事情報課長、企画財政課、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	診療録管理等に関し、必要な事項を審議する。	2ヶ月に1回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課 計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
外来・病床管理委員会	副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、診療支援部長、医事情報課長、経営戦略室長、研修医、患者支援事務統括、患者支援センター 計 33 人	入院患者の診療計画に基づき、有効な病床利用を審議する。	月1回
褥瘡対策委員会	副院長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長、リハビリテーション室、用度課、安全管理センター、患者支援センター 計 16 人	褥瘡について予防と治療促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月1回
サービス向上委員会	病院長、副院長、看護部長、看護師長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、しらす管理課、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、経営戦略室、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課 計 24 人	病院の円滑な業務遂行と患者サービスの改善向上を図る。	月1回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、検査室長、総務課長、企画財政課、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）薬剤室 計 14 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月1回
倫理審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、薬剤室、検査室長、企画財政課、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）総務課長、総務課 計 16 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、薬剤室長、用度課長、用度課、薬剤室 計 14 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、統括部長、部長、副看護部長、副看護師長、診療支援部長、用度課、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室長、委託業者（カンサン）安全管理センター 計 14 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年1回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、副院長、部長、放射線室長、検査室長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室 計 11 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年1回
防火・防災対策委員会	病院長、防火・防災管理者、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計 17 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年3回

中央手術室 運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、検査室、放射線室、医事情報課長、用度課長 計16人	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時
職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計12人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時
医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課 計13人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター 運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室長、放射線室、検査室、患者支援事務統括、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計26人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月1回
広報委員会	病院長、副院長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、リハビリテーション室長、総務課、医事情報課長、しらすぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、研修管理センター、経営戦略室、企画財政課長、企画財政課 計20人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス 委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、経営戦略室長、医事情報課 計28人	入院診療計画書作成を確立し、在院日数の短縮を図る。	月1回
電子化情報委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、企画財政課、委託業者（高崎共同センター） 計30人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	副院長、統括部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、用度課長、企画財政課、しらすぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター 計13人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、副院長、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室長、リハビリテーション室、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課 計30人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月1回
研修委員会	副院長、統括部長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、しらすぎ管理課、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計18人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年4回

職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計12人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時
ICLS委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援センター 計15人	組合全職員がBLS及びICLSを学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年4回
勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター 計15人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師への勤務負担について検討する。	随時
透析機器安全管理委員会	部長、看護師長、看護師、専従リスマネージャー、副診療支援部長、安全管理センター、臨床工学室 計12人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
SPD委員会	病院長、副院長、統括部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、医事情報課、用度課長、用度課 計17人	公立藤岡総合病院において使用する診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年2回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、放射線室長、検査室長、栄養室長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員(ソラスト)、健康管理センター 計14人	地域住民及び公立藤岡総合病院における職員の健康推進を図る。	随時
糖尿病治療支援委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室長、栄養室、緩和ケアセンター、患者支援センター 計16人	公立藤岡総合病院及び附属外来センターにおける糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共にQOLの向上を促す。	随時
研修管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター 計34人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
TQM委員会	病院長、病院長補佐、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、経営戦略室、計10人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診療報酬委員会	病院長、副看護部長、経営管理部長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員(ソラスト)医事情報課長 計7人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内視鏡センター運営委員会	病院長補佐、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、看護師、放射線室、検査室、医事情報課、企画財政課 計15人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時

IV 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
第59回日本呼吸器学会学術講演会	東京都	4月	4人
第63回日本リウマチ学会	京都市	4月	2人
第119回日本外科学会定期学術集会	大阪市	4月	3人
第62回日本手外科学会学術集会	札幌市	4月	1人
日本リウマチ学会/第63回日本リウマチ学会学術集会	京都市	4月	1人
第16回日本口腔ケア学会総会学術大会	名古屋市	4月	2人
第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋市	4月	3人
第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋市	4月	2人
H31群馬県スポーツDr協議会/日本整形外科学会教育研修会	前橋市	4月	1人
第78回日本医学放射線学会総会	横浜市	4月	3人
第116回日本内科学会総会/第30回日本医学会総会	名古屋市	4月	8人
第301回ICD講習会	名古屋市	4月	1人
第105回日本消化器病学会総会	金沢市	5月	1人
第234回日本呼吸器学会関東地方会	東京都	5月	1人
H31全自病関東ブロック会議	横須賀市	5月	1人
第62回日本糖尿病学会総会	仙台市	5月	1人
ハーモニックHD1000i講習会	川崎市	5月	7人
第6回HBOC教育セミナー	東京都	5月	1人
第56回日本小児外科学会学術集会	福岡市	5月	1人
第92回日本整形外科学会学術総会	横浜市	5月	1人
第39回日本脳神経外科コンgres総会	横浜市	5月	2人
第207回日本口腔外科学会関東支部学術集会	東京都	5月	1人
第108回日本病理学会総会	東京都	5月	1人
第66回日本麻酔科学会学術集会	神戸市	5月	3人
第34回群馬乳腺臨床懇話会	前橋市	5月	1人
第304回ICD講習会	東京都	5月	1人
第55回日本肝臓学会総会	東京都	6月	1人
ICT相互チェック	渋川市	6月	1人
第20回CTOclub	名古屋市	6月	1人
第252回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	6月	1人
第24回日本緩和医療学会学術大会	横浜市	6月	1人
JALSG会議、2019年度第1回合同班会議	名古屋市	6月	1人
第41回日本血栓止血学会学術集会	津市	6月	1人
第64回日本透析医学会学術集会、総会	横浜市	6月	2人
第62回日本腎臓病学会学術集会	名古屋市	6月	2人
第68回日本アレルギー学会学術大会	東京都	6月	1人
第72回群馬小児喘息研究会	前橋市	6月	1人
第54回日本小児腎臓病学会学術集会	大阪市	6月	1人
医療安全管理者養成講習会	東京都	6月	1人
日本外科代謝栄養学会会計監査会	東京都	6月	1人
NCP見学	桐生市	6月	1人
第16回日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	東京都	6月	1人
第27回日本緩和医学学会教育セミナー/学術大会	横浜市	6月	2人
臨床研修病院ガイダンスレジナビ2019	千葉市	6月	1人
第56回日本リハビリテーション医学会学術集会	神戸市	6月	1人
第16回麻酔科学サマーセミナー	沖縄市	6月	1人
第52回IBDclubJr.研究会	東京都	6月	1人
第38回日本消化器内視鏡学会関東セミナー	千葉市	7月	1人
2019日本消化器内視鏡学会専門医試験	東京都	7月	1人
TOPIC2019	東京都	7月	3人
群馬県公立病院協議会	伊香保町	7月	1人
感染対策担当者セミナー(第1クール)	東京都	7月	1人
JANISデータ提出・活用のための説明会	東京都	7月	1人
第2回乳房再建用エキスパンダー/インプラント講習会	東京都	7月	1人
第74回日本消化器外科学会総会	東京都	7月	1人
日本外科代謝栄養学会、評議員会/第56回学術集会	神戸市	7月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第27回日本乳癌学会学術総会	東京都	7月	1人
第52回日本整形外科学会、骨・軟部腫瘍学会学術集会	川崎市	7月	1人
H31認知症サポート医養成研修	東京都	7月	1人
脳血管内治療ブラッシュアップセミナー	神戸市	7月	1人
第102回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	7月	1人
第53回日本ペインクリニック学会	熊本市	7月	1人
第43回日本消化器内視鏡学会セミナー	横浜市	8月	1人
第36回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
第59回臨床呼吸機能講習会	京都市	8月	1人
第14回CQI研究会	東京都	8月	1人
第39回泌尿器腹腔鏡ビデオ講習会	川崎市	8月	1人
第28回放射線診断専門医認定試験	東京都	8月	1人
病院感染性制御担当者育成講習会2回目	東京都	8月	1人
第34回群馬県冠血管治療懇談会	前橋市	9月	1人
第27回群馬県救急医療懇談会	中之条町	9月	1人
第47回総合内科専門医資格認定試験	東京都	9月	1人
群馬県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修	前橋市	9月	1人
2019小児T&A金沢コース	金沢市	9月	1人
第48回日本リウマチの外科学会	京都市	9月	1人
第38回日本運動器移植、再生医学研究会	東京都	9月	1人
第27回職業リハビリテーション研修会	岡山市	9月	1人
放射線業務従事者のための放射線障害防止法講習会	東京都	9月	1人
第35回群馬県産科研究会	前橋市	9月	1人
元年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰	東京都	9月	1人
病院感染制御担当者育成講習会3回目	東京都	9月	1人
第47回群馬小児循環器研究会	前橋市	9月	1人
第55回マンモグラフィ更新講習会	東京都	10月	1人
第23回日本心不全学会学術集会	広島市	10月	1人
組合議員視察研修	藤沢市	10月	1人
第49回日本腎臓学会東部学術大会	東京都	10月	1人
病院感染制御担当者育成講習会4回目	東京都	10月	1人
第56回日本アレルギー学会専門医認定教育セミナー	東京都	10月	1人
第70回群馬県小児科医会総会・学術講演会	高崎市	10月	1人
第78回日本脳神経外科学会学術集会	大阪市	10月	1人
第57回日本癌治療学会学術集会	福岡市	10月	2人
第84回日本泌尿器科学会東部総会	東京都	10月	1人
第138回関東連合産婦人科学会総会・学術集会	前橋市	10月	1人
第67回整形外科カレントコンセプト	東京都	10月	1人
第54回日本脊髄障害医学会	秋田市	10月	1人
JDDW2019第27回日本消化器関連学会	神戸市	11月	2人
第十三回中日本ライブデモンストレーション	高崎市	11月	1人
第24回アジア太平洋呼吸器学会	ベトナム	11月	1人
全自病群馬県支部定時総会	高崎市	11月	1人
第25回日本腹膜透析医学会学術集会総会	広島市	11月	2人
2019がん治療認定医教育セミナー認定医試験	大阪市	11月	2人
病院感染性制御担当者育成講習会第6回	東京都	11月	1人
プログラム責任者養成講習会	船橋市	11月	1人
感染対策担当者セミナー(第2クール)	東京都	11月	1人
第56回日本小児アレルギー学会学術大会	千葉市	11月	1人
第81回日本臨床外科学会総会/日本外科代謝栄養学会	高知市	11月	3人
第27回日本消化器関連学会	神戸市	11月	1人
第24回日本歯科放射線学会臨床画像大会	福岡市	11月	1人
第103回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	11月	1人
第71回西日本泌尿器科学会総会	松江市	11月	1人
日本放射線腫瘍学会第32回学術大会	名古屋市	11月	1人
第39回日本臨床麻酔学会大会	軽井沢町	11月	3人
第60回日本肺癌学会学術集会	大阪市	12月	2人
第30回日本リウマチ学会関東支部学術集会	東京都	12月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
関節超音波検査初心者向け講習会	東京都	12月	1人
第6回日本アレルギー学会総合アレルギー講習会	横浜市	12月	1人
第32回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	12月	1人
第16回藤岡ICLSコース	藤岡市	12月	1人
第37回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
感染対策担当者セミナー(第3クール)	東京都	1月	1人
院内感染対策講習会	東京都	1月	1人
日本医療マネジメント学会 第9回群馬県支部学術集会	藤岡市	1月	1人
第38回日本口腔腫瘍学会総会学術大会/教育研修会	東京都	1月	1人
第38回群馬消化器病研究会	前橋市	2月	1人
地方公務員安全衛生推進協会産業医研修会	東京都	2月	1人
産業保健セミナー	高崎市	2月	1人
第255回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	2月	1人
第32回日本肘関節学会学術集会	奈良市	2月	1人
第30回日本間脳下垂体腫瘍学会	東京都	2月	1人
日本整形外科学会/第17回群馬リハビリテーション医学研究会	前橋市	2月	1人
薬剤部			
第67回日本化学療法学会総会	東京都	5月	2人
2019NST専門療法士更新必須セミナー	東京都	5月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会	前橋市	6月	2人
第13回日本緩和医療薬学会年会	千葉市	6月	1人
日本病院薬剤師会関東ブロック第49回学術大会	甲府市	8月	2人
第36回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
第66回日本化学療法学会東日本支部総会	仙台市	10月	1人
臨床研究セミナー2019	東京都	10月	1人
第13回日本腎臓病薬物療法学会学術集会総会	熊本市	11月	1人
第67回日本化学療法学会西日本支部総会	浜松市	11月	1人
令和元年群馬県病院薬剤師会新任薬剤師研修会	前橋市	11月	1人
群馬病院薬学研修会	前橋市	12月	1人
小児薬物療法研修会	東京都	12月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	12月	1人
第37回北関東感染対策懇話会 世話人会	前橋市	1月	2人
第57回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	横浜市	1月	3人
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2020	福岡市	3月	1人
放射線室			
2019国際医用画像総合展	横浜市	4月	3人
第75回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	4月	1人
群馬MR研究会	前橋市	5月	1人
第7回群馬GE User's Meeting	前橋市	5月	1人
DIRミーティング	前橋市	6月	1人
第24回TCEL MR meeting	東京都	6月	2人
第1回関東MR研究会	佐久市	6月	2人
ぐんまちゃん研究会	前橋市	6月	1人
群馬MR研究会	前橋市	6月	3人
第28回群馬CT研究会	太田市	6月	3人
第2回MITEC	前橋市	6月	1人
第5回CV-NET信州	松本市	6月	1人
群馬Gyro Users Meeting	前橋市	6月	2人
東京MR研究会	東京都	7月	1人
第29回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	前橋市	7月	1人
第294回OpenFilmConference	前橋市	7月	1人
業務拡大に伴う統一講習会	前橋市	7月	2人
2019日本放射線治療専門放射線技師認定教育セミナー	東京都	8月	1人
第162回マンモグラフィ更新講習会	東京都	8月	1人
Global Standard CT Symposium2019	東京都	8月	1人
第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	前橋市	9月	3人
臨床実習指導者会議	高崎市	9月	1人
放射線障害防止法講習会	東京都	9月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第11回Body PWI研究会	東京都	9月	1人
第5回診療放射線技師BRTセミナー	浦和市	9月	2人
第59回群馬県核医学技術懇話会	前橋市	9月	1人
群馬県がん検診X線撮影従事者講習会「乳がん検診」	前橋市	10月	1人
群馬MR研究会	前橋市	10月	3人
第29回日本乳癌検診学会学術総会	福井市	11月	1人
医用画像管理セミナーin群馬	前橋市	11月	1人
第39回群馬MR医学研究会	前橋市	11月	2人
第29回群馬CT研究会	前橋市	11月	1人
第23回心臓核医学フォーラム	東京都	11月	1人
第68回群馬県核医学研究会	前橋市	11月	1人
Radiology Update 学術講演会	東京都	11月	1人
2019年度第1回医学物理学講演会	前橋市	12月	1人
第18回CTテクノロジーフォーラム	前橋市	12月	1人
ぐんまマンモグラフィー技術講習会	前橋市	12月	1人
第24回診療放射線技師実習施設指導者養成講習会	東京都	1月	1人
第28回放射線治療品質管理士講習会	東京都	1月	1人
第2回群馬VARIANハンズオンセミナー	前橋市	1月	1人
第30回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	前橋市	1月	2人
第60回群馬県核医学技術懇話会	前橋市	1月	1人
Gyro Users Meeting	前橋市	1月	2人
Heat Imaging GUNMA	前橋市	2月	5人
群馬MR研究会	前橋市	2月	2人
検査室			
第44回日本超音波検査学会学術集会	横浜市	4月	3人
病理細胞検査士啓蒙活動	前橋市	4月	1人
輸血研究班 4月例会	前橋市	4月	1人
尿検査フォーラム2019	東京都	4月	1人
第42回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	東京都	5月	2人
心血管エコーオープンカンファレンス第4回	前橋市	5月	3人
群馬県病理、細胞診検査セミナー	前橋市	5月	1人
臨床化学研究班「改正法による運用状況」	前橋市	5月	1人
日本超音波医学会第92回学術集会	東京都	5月	1人
群馬県医師会精度管理台帳等作成説明会	前橋市	5月	1人
「SEKISUI塾」標準採血法ガイドラインと検査値への影響	大宮市	6月	1人
令和元年度群馬県感染対策連絡協議会	前橋市	6月	1人
群馬県臨床検査技師会総会	高崎市	6月	2人
第60回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	東京都	6月	4人
第9回呼吸循環セミナー	高崎市	6月	1人
群馬県臨床検査技師会超音波研究班	前橋市	6月	1人
CT(IAC)試験事前講習会	東京都	6月	1人
6月例会群馬県病理細胞診検査セミナー	前橋市	6月	1人
心血管エコーオープンカンファレンス第45回Echo-G	前橋市	7月	3人
第6回日臨技乳房超音波技術講習会	東京都	7月	1人
第72回群馬臨床細胞学会学術集会	前橋市	7月	5人
血液シンポジウム東海地区(Webセミナー)	前橋市	7月	1人
2019赤十字血液シンポジウムサテライト開催	前橋市	7月	1人
群馬県超音波研究会 実技講習会	前橋市	7月	1人
第36回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
第7回群馬肺高血圧症画像研究会	前橋市	8月	1人
2019日臨技関甲信、首都圏支部生理検査研修会	前橋市	8月	1人
心血管エコーオープンカンファレンス第46回Echo-G	前橋市	9月	2人
群馬県合同輸血療法委員会世話人会	前橋市	9月	1人
第64回群馬県医学検査学会全日会場準備	高崎市	10月	3人
第64回群馬県医学検査学会	高崎市	10月	5人
第64回群馬県医学検査学会引継ぎ反省会	高崎市	10月	2人
臨床化学研究班「ALP、LDHのIFCC処方」	前橋市	10月	1人
病理、細胞診研究班「病理システムを利用したインシデント」	前橋市	10月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第6回群馬県医学検査学会	高崎市	10月	1人
第4回がん研細胞診養成所教育セミナー	東京都	10月	1人
病理、細胞診研究班「病理検査室の医療安全」	前橋市	10月	1人
群馬県超音波研究会	前橋市	10月	1人
第31回日本超音波医学界関東甲信越地方会学術集会	東京都	10月	1人
心血管エコーオープンカンファレンス第47回	前橋市	11月	2人
一般検査研究班「腹膜透析について」	前橋市	11月	1人
「クリシア・コンゴ感染症について」	前橋市	11月	1人
第14回群馬県共同輸血療法委員会	前橋市	11月	1人
群馬県感染対策連絡協議会	前橋市	12月	1人
第37回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
日本医療マネジメント学会 第9回群馬県支部学術集会	藤岡市	1月	1人
群臨技 渉外講演会	前橋市	1月	1人
生理検査研究会例会	前橋市	2月	2人
第73回群馬臨床細胞学会学術集会	前橋市	2月	4人
第7回日臨技乳房超音波技術講習会	東京都	2月	1人
群馬県共同輸血療法委員会講習会Q&A	前橋市	2月	2人
リハビリテーション室			
第32回脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	4月	6人
国立国際医療研究センター病院嚙下カンファレンス	東京都	4月	1人
よくわかる失語症講習会 基礎編・応用編	東京都	4月	1人
第1回理学療法研究会up to date in弘前	弘前市	5月	1人
第31回活動分析研究大会	甲府市	5月	2人
第13回ぐんま自動車運転リハビリテーション研究世話人会	前橋市	5月	2人
国立国際医療研究センター病院 嚙下カンファレンス	東京都	5月	1人
第24回日本緩和医療学会学術大会	横浜市	6月	1人
第14回ぐんま自動車運転研究会世話人会	前橋市	6月	1人
第13回国際リハビリテーション医学会世界会議	神戸市	6月	1人
循環器作業療法研究会の講習	毛呂山町	6月	1人
第20回日本語聴覚学会	大分市	6月	1人
2019全職種研修会	東京都	7月	2人
第33回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	7月	3人
第3回指定自動車教習所指導員交流会	前橋市	7月	1人
群馬県言語聴覚士会研修会	前橋市	7月	1人
第24回3学会合同呼吸療法認定士認定講習会	東京都	8月	1人
第5回日本予防理学療法サテライト集会	東京都	8月	1人
第6回STのための嚙下実習講習会	名古屋市	8月	1人
地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会	伊勢崎市	8月	2人
全自病2019リハビリテーション部会研修会	東京都	9月	4人
第17回日本神経理学療法学会学術大会	横浜市	9月	1人
第53回日本作業療法学会	福岡市	9月	3人
第25回日本摂食嚙下リハビリテーション学会	新潟市	9月	1人
第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会	前橋市	10月	2人
令和元年度介護サービス事業者に係る説明会(集団指導)	前橋市	10月	1人
第22回日本全体構造臨床言語学会学術集会	長野市	10月	1人
第29回日本呼吸器ケアリハビリテーション学会学術集会	名古屋市	11月	2人
第20回群馬県呼吸リハビリテーション研修会	前橋市	11月	5人
第12回群馬クリティカルケア研究会	高崎市	11月	2人
第35回東海北陸理学療法学術大会	富山市	11月	1人
第5回北関東信越ブロック学会	長岡市	11月	1人
第17回更新者用講習会 eラーニング	藤岡市	12月	1人
第37回臨床実習指導者講習会	高崎市	12月	1人
第22回群馬県作業療法学会	高崎市	12月	5人
日本医療マネジメント学会 第9回群馬県支部学術集会	藤岡市	1月	1人
糖尿病予防対策研修会	前橋市	1月	1人
職域別管理者研修会	前橋市	1月	1人
第4回臨床実習指導者講習会	前橋市	1月	2人
ぐんまCPXセミナーin太田	太田市	1月	3人

名称	開催場所	開催月	出席人数
第47回技術講習会	高崎市	2月	5人
第34回群馬脳卒中医療連携の会	前橋市	2月	2人
2019第8回リスクマネジメント研修会	東京都	2月	1人
栄養室			
H31年度特定検診、保健指導実施者研修会	前橋市	5月	1人
群馬県栄養士会医療事業部研修会	前橋市	6月	3人
群馬県栄養士会総会	前橋市	6月	1人
H31年度特定検診栄養指導実施者研修会	前橋市	6月	1人
令和元年度群馬県栄養士会医療事業部運営会議	前橋市	6月	1人
元年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰式出席	神戸市	7月	1人
全自病 栄養部会研修会	東京都	7月	1人
2019日本病態栄養学会 糖尿病透析予防指導セミナー	京都市	7月	1人
2019群馬県栄養士会生涯教育研修会	前橋市	9月	3人
第40回日本肥満学会/第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京都	11月	1人
2019群馬県栄養士会生涯教育研修会	前橋市	11月	1人
第57回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	横浜市	1月	2人
第23回日本病態栄養学会年次学術集会	京都市	1月	1人
第37回群馬栄養改善学会	高崎市	2月	3人
臨床工学室			
第64回日本透析医学会学術集会・総会	横浜市	6月	3人
第18回群馬県臨床工学技士会学術大会	前橋市	7月	4人
電波の安全性に関する説明会	前橋市	7月	2人
第10回循環器セミナー	大宮市	7月	2人
全自病 臨床工学部会研修会	東京都	8月	1人
西毛地区透析治療連携カンファレンス	高崎市	8月	1人
第41回日本呼吸療法医学会学術集会	大阪市	8月	1人
第25回日本HD研究会学術集会総会	東京都	10月	1人
第4回群馬県血液浄化セミナー	高崎市	11月	1人
病院中堅職員育成研修 医療技術部門管理コース	東京都	11月	1人
人工呼吸器技術講習会PMコースセミナー	東京都	11月	1人
第19回人工呼吸器安全対策セミナー	川口市	1月	1人
心臓カテーテル検査講習会	前橋市	2月	1人
視能訓練室			
第35回講演会・第18回研修会	東京都	6月	1人
眼科スタッフセミナー2019	東京都	7月	1人
第4回眼科スタッフセミナーin群馬	高崎市	9月	2人
第26回群馬県視能訓練士勉強会	太田市	11月	2人
歯科衛生室			
第16回日本口腔ケア学会総会学術大会	名古屋市	4月	2人
歯科衛生士とキャリア形成	高崎市	12月	1人
看護部			
本庄児玉看護専門学校入学式	上里町	4月	1人
看護職就職ガイダンス	高崎市	4月	3人
健大2019年度臨地実習協議会	高崎市	4月	1人
群馬県合同輸血療法委員会輸血関連看護師会会議	前橋市	4月	1人
看護部長会	前橋市	5月	1人
H31全自病関東ブロック会議	横須賀市	5月	1人
群馬がん看護協会理事会	前橋市	5月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	5月	1人
第8回日本感染管理ネットワーク学会学術集会	徳島市	5月	1人
第28回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会	奈良市	5月	1人
集中ケア認定看護師研究会	桐生市	5月	1人
第20回日本認知症ケア学会大会	京都市	5月	3人
H31群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	5月	1人
第15回群馬県クリニカルパス研究会	前橋市	5月	12人
群馬県看護協会通常総会	前橋市	6月	2人
自治体病院 看護部長会	前橋市	6月	1人
全自病「看護部研修会」	東京都	6月	2人

名称	開催場所	開催月	出席人数
R元年度群馬県感染症対策連絡協議会総会特別講演会	前橋市	6月	1人
第5回群馬クリティカルケア研究会	前橋市	6月	1人
19重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修	前橋市	6月	4人
地区支部会計経理事務に係る説明会	前橋市	6月	1人
H31群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	6月	1人
群馬県合同輸血療法委員会	前橋市	6月	1人
第1回病院看護業務研究会	前橋市	6月	1人
第1回看護業務研究会	前橋市	6月	1人
群馬県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式研修会	前橋市	6月	1人
H31年度第1回院内コーディネーター研修会	前橋市	6月	1人
R元年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程受講	前橋市	6月	1人
第82回日本消化器内視鏡技師会	東京都	6月	2人
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程閉講式	高崎市	7月	2人
自治体病院 看護部長会	前橋市	7月	1人
2019病院感染制御担当者育成講習会	東京都	7月	2人
2019認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	7月	1人
看護補助者活用推進の責任者研修	前橋市	7月	2人
H31群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	7月	1人
成人看護学講義	前橋市	7月	1人
群馬県合同輸血療法委員会輸血関連看護師会	前橋市	7月	1人
2019全自病看護師研修会	東京都	7月	2人
2019全職種研修会	東京都	7月	2人
糖尿病カンパニオンマップトレーニング	東京都	7月	2人
糖尿病患者のフットケア研修	さいたま市	7月	1人
2019認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	7月	1人
第17回日本臨床腫瘍学会学術集会	京都市	7月	1人
第36回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
2019看護管理研修会(第1回)	東京都	8月	2人
群馬県ICN分科会	前橋市	8月	1人
2019病院感染制御担当者育成講習会第2回	東京都	8月	2人
2019認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	8月	1人
2019接遇トレーナー養成研修会	東京都	8月	1人
2019認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	8月	1人
ひまわり会サマーキャンプ医療スタッフとして随行	妙義町	8月	1人
2019認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	8月	1人
重症度・医療・看護必要度評価者養成研修会	東京都	9月	2人
第12回群馬ストーリーナビゲーション講習会	前橋市	9月	4人
病院感染制御担当者育成講習会	東京都	9月	2人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	9月	1人
認定看護管理者ファーストレベル	前橋市	9月	1人
自治体病院 看護部長会	前橋市	9月	1人
群馬県がん診療連携協議会看護部会	前橋市	10月	1人
日本看護学会「看護管理」学術集会	名古屋市	10月	1人
群馬がん看護研究会 第2回理事会	渋川市	10月	1人
全自病 看護管理研修会	名古屋市	10月	2人
群馬県ICN分科会	前橋市	10月	1人
認定看護師教育課程講義	高崎市	10月	1人
集中ケア認定看護師研究会第3回事前会議	前橋市	10月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	10月	1人
新人看護職員研修事業 実地指導者研修	前橋市	10月	1人
群馬県合同輸血療法委員会	前橋市	10月	1人
日本看護協会地区別法人会員会	高崎市	10月	1人
群馬県看護協会令和元年度第2回定例理事会	前橋市	10月	1人
2019群馬県臓器移植コーディネーターグループ研修会	前橋市	10月	2人
健康フェスタinまえばし2019	前橋市	10月	1人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	10月	1人
「2019年度公開がん看護専門コース(がん化学療法看護)」	東京都	10月	1人
第23回群馬県看護学会	前橋市	11月	3人

名称	開催場所	開催月	出席人数
自治体病院 看護部長会	前橋市	11月	1人
2020看護必要度ステップアップ研修	東京都	11月	2人
第12回群馬クリティカルケア研究会	高崎市	11月	1人
2019認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	11月	1人
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	前橋市	11月	2人
新人看護職員研修責任者研修	前橋市	11月	1人
第43回日本死の臨床研究会年次大会	神戸市	11月	2人
群馬県合同輸血療法委員会	前橋市	11月	1人
令和元年度第2回研究会「ACPが日本を変える」	前橋市	11月	1人
2019病院感染制御担当者育成講習会第5回	東京都	11月	1人
2020診療報酬改定をみすえた看護必要度ステップアップ研修	東京都	11月	1人
災害支援ナースフォローアップ研修	前橋市	12月	5人
元年度群馬母性衛生学会総会並びに研究集会、研究発表	前橋市	12月	1人
自治体病院 看護部長会	前橋市	12月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	12月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	12月	1人
医療安全管理者養成研修eラーニング集合研修	前橋市	12月	1人
医療安全管理者養成研修	前橋市	12月	1人
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	前橋市	1月	1人
自治体病院 看護部長会	前橋市	1月	1人
摂食嚥下障害看護 認定看護師教育課程閉講式	高崎市	1月	2人
2020診療報酬改定をみすえた看護必要度ステップアップ研修	東京都	1月	3人
2019認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	1月	1人
藤岡地区支部予算書作成にかかる説明会	前橋市	1月	1人
群馬県看護協会 役員研修会	前橋市	1月	1人
2019群馬県臓器移植院内コーディネーター研修会	富岡市	1月	2人
産科管理者交流会	前橋市	1月	1人
第37回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
群馬県合同輸血療法委員会 輸血関連看護師会会議	前橋市	2月	1人
令和元年度第2回群馬県院内コーディネーター研修会	前橋市	2月	1人
第34回日本がん看護学会学術集会	東京都	2月	1人
がん看護研究会 第3回理事会	前橋市	3月	1人
群馬県ICN分科会	前橋市	3月	1人
群馬県看護協会 理事会役員会	前橋市	3月	1人
経営管理部			
上毛新聞社 看護職就職ガイダンス	高崎市	4月	1人
給与実態調査説明会	前橋市	4月	1人
診療報酬管理研修会	東京都	4月	1人
H31全自病関東ブロック会議	横須賀市	5月	1人
2019事務管理者研修会	東京都	5月	1人
病院機能改善支援セミナー	東京都	5月	1人
DPC制度初心者向け説明会	東京都	5月	1人
2019年度自治体病院管理者研修会	東京都	6月	1人
第15回群馬クリニカルパス研究会	前橋市	6月	2人
群馬県病棟保育士会議	渋川市	6月	1人
第2回群馬県公立病院協議会	伊香保町	7月	1人
勤務時間・休暇関係実務研修会	東京都	7月	1人
自衛消防業務新規講習	前橋市	7月	4人
免震用オイルダンパー性能検査立会い	津市	7月	1人
院内がん登録中級者研修会	東京都	7月	1人
第127回医事業務研修会	東京都	7月	1人
令和元年度第1回がん登録部会	前橋市	7月	2人
接遇トレーナー養成研修会	東京都	8月	1人
元年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰	東京都	9月	1人
同門会秋の旅行随行	日光市	9月	1人
人事院勧告内容説明会	東京都	9月	1人
自衛消防業務講習	東京都	9月	1人
組合議会議員視察研修随行	藤沢市	10月	3人

名称	開催場所	開催月	出席人数
医師の働き方改革、労働時間等に関する説明会	前橋市	10月	1人
「第129回医事業務研修会」	東京都	10月	1人
第16回群馬県コーディング勉強会	前橋市	10月	2人
腫瘍学コース(第4期生)スクーリング受講	東京都	10月	1人
「2019年度診療材料購入管理研修会」	東京都	11月	1人
第130回医事業務研修会	東京都	12月	1人
群馬県公立病院協議会	前橋市	1月	1人
分限処分・懲戒処分実務研修会	東京都	1月	1人
2020診療報酬説明会セミナー	高崎市	2月	4人
群馬県がん診療連携協議会 がん診療質の評価部会	前橋市	2月	1人
2019第1回病院機能改善支援セミナー	東京都	5月	2人
日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会打合せ	太田市	6月	1人
日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会打合せ	高崎市	6月	1人
患者支援センター			
第32回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	4月	2人
元年度医療対話推進者養成研修	前橋市	6月	1人
脳卒中医療連携の会世話人会(第33回)	高崎市	6月	1人
第33回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	7月	2人
第26回ソーシャルワーカー研修会	東京都	7月	1人
元年度医療対話推進者養成研修	前橋市	7月	1人
「統合演習Ⅱ・実習」説明会	前橋市	9月	1人
第27回ソーシャルワーカー研修会(アドバンス研修)	東京都	11月	1人
群馬県看護学会	前橋市	11月	1人
日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会	藤岡市	1月	1人
難病のある人の就労支援と治療と仕事の両立支援	前橋市	1月	1人
元年度西毛地域自殺未遂者支援ネットワーク研修会	高崎市	1月	1人
西毛地域小児救急医療対策	高崎市	2月	1人
移行期医療支援に関する講演会	前橋市	2月	1人
第34回群馬脳卒中医療連携の会本会議	前橋市	2月	2人
群馬県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会	前橋市	2月	1人
緩和ケアセンター			
がん患者就労相談支援研修会	前橋市	9月	1人
群馬県がん診療連絡協議会	前橋市	9月	2人
リレー・フォー・ライフジャパン2019ぐんまチームリーダーミーティング	前橋市	9月	1人
第57回日本癌治療学会	福岡市	10月	1人
群馬県がん診療連携協議会	前橋市	11月	1人
がんと治療と仕事の両立支援セミナー	前橋市	1月	1人
日本医療マネジメント学会 第9回群馬県支部学術集会	藤岡市	1月	1人
群馬緩和ケア研究会実行委員会	前橋市	1月	1人
群馬県がん教育外部講師研修会	前橋市	1月	1人
研修管理センター			
第122回日本小児科学会学術集会	金沢市	4月	2人
ハーモニックHD1000i講習会	川崎市	5月	3人
第34回院内ICLSコース受講	藤岡市	5月	7人
臨床研修病院合同ガイダンス2019	前橋市	5月	3人
第60回日本神経学会学術大会	大阪市	5月	1人
臨床研修病院合同ガイダンス2019	前橋市	5月	1人
第66回学術集会日本麻酔科学会	神戸市	5月	1人
第62回日本腎臓学会学術総会	名古屋市	6月	2人
臨床研修病院ガイダンス レジナビ2019	千葉市	6月	5人
TNT研修会首都圏地区	東京都	7月	1人
第13回西毛外傷セミナー	藤岡市	8月	4人
第21回放射線腫瘍学夏季セミナー	岡山市	8月	1人
第9回インテンシブコース	京都市	8月	1人
第9回群馬泌尿器 腹腔鏡教育プログラム	東京都	8月	1人
群馬県呼吸器外科トレーニング	川崎市	9月	1人
第41回日本血栓止血学会学術集会	津市	9月	1人
第38回日本認知症学会学術大会	東京都	11月	1人

名称	開催場所	開催月	出席人数
ぐんまレジデントグランプリ2019	前橋市	11月	1人
第14回臨床研修病院事務担当者講習会	東京都	12月	1人
第30回日本頭頸部外科学会	宜野湾市	1月	1人
第4回日本泌尿器科学会ウインターセミナー2020	神戸市	1月	1人
第255回日本循環器学会関東甲信越地方会	東京都	2月	1人
第8回臨床研修実務者コース(応用編)	東京都	2月	1人
安全管理センター			
ばい煙発生施設廃止報告書の提出	さいたま市	4月	1人
低圧電気取扱者安全衛生特別講習	高崎市	6月	1人
医療対話推進者養成研修	前橋市	6月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会総会特別講演会	前橋市	6月	1人
医療対話推進者養成研修	前橋市	7月	1人
第2回関東ブロックDMAT技能維持研修	伊奈町	7月	1人
第2回群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会	前橋市	8月	1人
第36回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	8月	1人
群馬県医師会医療安全対策講演会	前橋市	9月	1人
元年度高崎総合医療センター大規模災害訓練	高崎市	9月	2人
群馬県医師会医療安全対策講演会	前橋市	9月	1人
自衛消防業務講習	東京都	9月	1人
医療ガス安全講習会	前橋市	11月	1人
元年度群馬県HIV事例検討会	前橋市	12月	1人
元年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	12月	1人
群馬県危機管理フェア講演会	前橋市	1月	2人
第37回北関東病院感染対策懇話会	前橋市	1月	1人
第35回日本環境感染学会総会学術集会	横浜市	2月	1人
防火防災再講習	高崎市	2月	1人
普通-圧作業主任者能力向上教育講習会	前橋市	3月	1人

V 研究業績

1. 論文 (原著・総説・著書等)

【外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
設楽 芳範	石崎政利、小野里良一、田嶋公平、茂木晃、田中司玄文	胸腔鏡補助下に切除した縦隔内迷入性甲状腺腫の一例	日本呼吸器外科学会雑誌	33巻6号	22-26	2019
菊地 健太	藤野順子、畑中政博、岡崎英人、大串健二郎、長谷川真理子、五十嵐昭宏、岸陽子、浦橋泰然、池田均	洗腸カテーテルの腸内進入-洗腸の合併症	小児外科	51巻 3号	284-286	2019

【整形外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
丹下 沙羅	中島大輔、萩原明彦、久保井卓郎、遠藤史隆、筑田博隆	濃化異骨症の両側大腿骨骨幹部骨折に対し矯正骨切り術を併用しロッキングプレート固定を行った1例	関東整形災害外科学会雑誌	50(2)	100-105	平成31年4月

【脳神経外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるt-PA治療の現状、および血栓回収療法の現状平成29年度県内医療機関調査より	群馬県救急医療懇談会誌	15	23-25	2019
谷崎 義生	朝倉健、甲賀英明、栗原英行、松本正弘、矢尾板裕之、石原淳治、大島清宏、大森重宏、宮本直子、赤尾法彦、櫻井篤志、新井孝司、美原盤	脳卒中救急搬送症例の事後検証：第5報 Vol 15, 19-22, 2019	群馬県救急医療懇談会誌	15	19-22	2019
南 学	花北順哉、高橋敏行、富田庸介、笹ヶ追知紀、兼松龍	【脊椎内視鏡手術の進歩】単根症状を主症状とする腰椎変性側彎症への経皮的内視鏡下腰椎椎間孔開放術(PELF, FELF)	脊椎脊髓ジャーナル	32(9)	839-842	2019
松本 正弘	甲賀英明、朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生	群馬県における急性期虚血性脳卒中傷病者に関する取り組み	脳血管内治療	4巻SUPPL.	194	2019
谷崎 義生	赤路和則、朝倉健、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、美原盤	脳卒中救急医療耐性整備に対する脳神経外科の役割(第5報)	Neurosurgical Emergency	24(3)	388-	2020

【リハビリテーション室】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
Murata K	Isho T, et al.	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits transforming growth factor-beta-mediated osteophyte	Osteoarthritis Cartilage	27(8)	1185-1196	令和元年8月
Tashiro H	Isho T, et al.	Life-space mobility and relevant factors in community-dwelling individuals with stroke in japan: a cross-sectional study	Prog Rehabil Med	4	20190014	令和元年9月

宮下 幸平	井所拓哉	腰痛を有する看護師における良姿勢の認識とその健康関連QOLとの関連性	理学療法群馬	30	24・31	令和元年9月
藤井 洋有		高齢の周術期消化器がん患者に対する作業療法の経験	ぐんま作業療法	22	10・17	令和元年11月
田村 俊太郎	白田滋、朝倉智之	運動イメージ能力と結果の知識が運動学習へ与える影響	理学療法群馬	30	15・23	令和元年9月
近藤 健	関根圭介、武田智徳、野口直人、李範爽	急性期脳卒中患者における上肢機能評価を用いた麻痺した利き手で箸操作が自立できる因子の検討	作業療法	38(3)	277-284	令和元年4月
高橋 祐介		理学療法アラカルト「動脈硬化予防における血管内皮機能と糖尿病」	群馬県理学療法士協会誌	138	2	令和元年5月

2. 学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
金井 杏奈	高松寛人、小野洋平 植田哲也、間淵由紀夫、 井上雅浩、鈴木忠	心膜液貯留を繰り返す放射性心膜炎 に対し心膜開窓術が奏功した1例	第252回日本循環器学 会関東地方会	令和元年6月	東京	口演
高松 寛人	小野洋平、植田哲也 間淵由紀夫、井上雅浩 鈴木忠	左鎖骨下動脈狭窄症を合併し、透析 中に急性冠症候群を発症した Coronary subclavian steal syndromeの一例	第55回日本心血管イ ンターベンション治 療学会関東甲信越地 方会	令和元年10月	東京	口演
儘田 千尋	高松寛人、小野洋平 植田哲也、間淵由紀夫 井上雅浩、鈴木忠	左心房に炎症がおよび、左心房内血 栓を合併した心サルコイドーシスの 一例	第255回日本循環器学 会関東地方会	令和2年2月	東京	口演
小野 洋平	高松寛人、植田哲也 間淵由紀夫、井上雅浩	In-hospital and 1 year outcomes of patients with severe chronic kidney disease after Percutaneous Coronary Intervention	第28回日本心血管イ ンターベンション治 療学会 CVIT2019	令和元年9月	名古屋	口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
Masao Takemura	Koichi Yamaguchi, Miki Itai Kazuma Oshima, Yuria Kurasima Mari Sato, Aya Yamaguti Kenitirou Hara, Mitsuru Motegi Toshitaka Maeno	Clinical course of patients with anti-synthetase syndrome with interstitial pneumonia undergoing long term oxygen therapy	The 24th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology (APSR)	令和元年11月	ベトナム	示説

【血液内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
松村 郁子	斉藤明生、中山敬太、 吉田孝友、塚本憲史、 中里宜正、外山耕太郎	後腹膜線維症を合併した特発性多中 心性Castleman病の1例	第59回日本リンパ網 内系学会総会	令和元年6月	出雲	示説
中山 敬太	金谷秀平、松村郁子、 斉藤明生、吉田孝友、 外山耕太郎	CHOPおよび新規薬剤2座板不応であ ったPTCL-NOSに対し、低用量ロミデプ シンが著効した1例	第81回日本血液学会 総会	令和元年10月	東京	示説
中山 敬太	小川孔幸、内山理名、 合田史、柳澤邦雄、 内藤千晶、松本直通、 半田寛	前エクソーム解析により診断に結び ついた遺伝性出血性末梢血管拡張症 の1家系	第41回日本血栓止血 学会学術集会	令和元年6月	三重	示説

【腎臓内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
茂木 伸介	松崎智子、月田真祐子、 太田史絵、塚田義人	当院におけるメトトレキサート関連 リンパ増殖性疾患の5例の検討	第63回日本リウマチ 学会学術総会	平成31年4月	京都	示説
月田 真祐子	松崎智子、茂木伸介、 太田史絵、塚田義人	血液透析患者に対するレボカルニチ ン1000mg/週1回静注投与の有効性の 検討	第64回日本透析医学 会学術総会	令和元年6月	横浜	示説
太田 史絵	土屋俊平、松崎智子、 茂木伸介、月田真祐子、 塚田義人	当院における腎代替療法を要した頭 微鏡的多発血管炎の検討	第30回日本リウマチ 学会関東支部学術総 会	令和元年12月	東京	口演

【小児科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
岩脇 史郎	相馬洋紀、小山晴美、 渡部登志雄	蛋白漏出性胃腸症を合併したIgA血管 炎の1例	第210回日本小児科学 会群馬地方会講話会	令和元年7月	高崎	口演
渡部 登志雄	今泉友一、丸山健一、 廣村桂樹、関根芳岳、 大津義晃、加藤雄一、 新井英夫	群馬県における学校検尿二次検診マ ニュアル作成による検診結果への影 響	第50回全国学校保健 学校医大会	令和元年11月	さいたま	口演

【外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
設楽 芳範	内田真太郎、本田周子、菊地健太、高橋遼、熊倉裕二、松本明香、加藤寿英、中里健二、中村卓郎、石崎政利	胸腔鏡下に切除した肺原発顆粒細胞腫の1例	第81回日本臨床外科学会総会	令和元年11月	高知	示説
設楽 芳範	内田真太郎、本田周子、菊地健太、高橋遼、熊倉裕二、松本明香、加藤寿英、中里健二、中村卓郎、石崎政利	胸腔鏡下に切除した縦隔内迷入性甲状腺腫の一例	第71回日本気管食道科学会総会	令和元年11月	宇都宮	口演
松本 明香	平田恵美、石崎政利	腋窩郭清後9年の経過を経て原発巣が明らかになった潜在性乳癌の一例	第27回日本乳癌学会総会	令和元年11月	東京	示説
松本 明香	内田真太郎、菊地健太、本田周子、高橋遼、熊倉裕二、加藤寿英、中里健二、中村卓郎、設楽芳範、石崎政利	甲状腺未分化癌の小腸転移による穿孔にて緊急手術を行った一例	第81回日本臨床外科学会総会	令和元年11月	高知	示説
本田 周子	塚越律子、片山和久	乳癌骨転移によるADL低下に対してパルボシクリブが奏功した2例	第50回埼玉群馬乳癌疾患研究会	令和元年6月	埼玉	示説
本田 周子	塚越律子、片山和久	当院で経験した男性乳癌症例の検討	第27回日本乳癌学会総会	令和元年7月	東京	示説
本田 周子	塚越律子、片山和久、田中司玄文、調憲	Two cases reports which palbociclib and endocrine therapy showed remarkable effects on ADL deterioration due to bone metastasis of breast cancer	第57回癌治療学会	令和元年10月	福岡	示説
内田 真太郎	本田周子、菊地健太、高橋 遼、熊倉裕二、松本明香、加藤寿英、中里健二、中村卓郎、設楽芳範、石崎政利、吉田孝友	急性虫垂炎に対して緊急手術を施行し、腫瘍性病変を有した4例	第1回群馬emergency surgery研究会	令和元年10月	前橋	口演
賀村 寿人	中村卓郎、富山麻祐子、塚越正章、他11名	自家末梢血幹細胞移植患者のNSTから学んだこと	第34回日本静脈経腸栄養学会	平成31年2月	品川	示説
中村 卓郎		一般演題 口演15 ICU	第34回日本静脈経腸栄養学会	平成31年2月	品川	座長
中村 卓郎		症例ディスカッション2漸増したにも拘わらずRefeeding Syndromeを発症した一例	第7回日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越支部学術集会	令和元年9月	新潟	座長

【脳神経外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
Manabu Shirakawa	Kiyofumi Yamada, Yukiko Enomoto, Takao Kojima, Kazuki Wakabayashi, Hiroko Watase, Jim Sun, Daniel S Hippe, Thomas S Hatsukami, Chun Yuan, Shinichi	The Relationship between carotid plaque component on magnetic resonance plaque imaging and time from stroke onset.	The International Stroke Conference 2019	平成31年2月	Honolulu, Hawaii	口演
小島 丈夫	若林和樹、甲賀英明	急性期 Tandem Occlusionに対して近位優先で血行再建術を行った一例	第16回日本脳血管内治療学会関東地方会	平成31年6月	東京	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtP A静注療法および血栓回収療法の施行状況 平成30年度県内医療機関調査より	第27回群馬県救急医療懇談会	平成31年9月	中之条	口演
谷崎 義生	朝倉健、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、美原盤	「脳循法」施行に向けた脳卒中病院前救護を中心とした救急医療体制の現状把握と今後の課題	第27回群馬県救急医療懇談会	平成31年9月	中之条	口演

富田 庸介	花北順哉、上野学、高橋敏行、南学、兼松龍	水腎症で発症した仙骨部巨大神経鞘腫の一例	第54回日本脊髄障害医学会	平成31年10月	秋田	口演
富田 庸介	花北順哉、上野学、高橋敏行、南学、兼松龍	傍脊柱腫瘍の検討	第78回日本脳神経外科学会総会	平成31年10月	大阪	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血栓回収療法の施行状況 平成30年度県内医療機関調査より	群馬救急医療ネットワークリーダーズ会議	平成31年10月	前橋	口演
朝倉 健	谷崎義生、甲賀英明、栗原秀行、松本正弘、美原盤	群馬県における急性期脳梗塞治療の動向	第65回北関東頭頸部血管内手術懇話会	平成31年11月	前橋	口演
甲賀 英明	朝倉健、栗原秀行、松本正弘、谷崎義生、美原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血栓回収療法の施行状況 平成30年度県内医療機関調査より	群馬救急医療ネットワーク 全体会	平成31年11月	前橋	口演
土橋 里美	富田庸介、若林和樹、甲賀英明	髄膜炎症状で発症した下垂体卒中の一例 (2019年12月17日 藤岡)	公立藤岡総合病院研修医症例発表会	平成31年12月	藤岡	口演

【皮膚科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
嶋岡 正利		DESIGN-R®	第31回地域褥瘡検討会	令和元年6月	藤岡	口演

【リハビリテーション科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
有井 大典	清水透、和田直樹	早期からバルーン拡張法を開始して経口可能となったワレンベルグ症候群の1例	第56回日本リハビリテーション医学会学術集会	令和元年6月	神戸	口演

【健康管理センター】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
飯島 徹	池田香菜、山岸美保、壁谷建志、神保貴宏、中村卓郎、塚田義人、田村勝、遠藤究、吉田孝友	当院の子宮・卵巣がん検診（子宮頸部および子宮内膜細胞診、経膈超音波検査）の結果と発見された婦人科癌の検討	第60回日本人間ドック学会学術大会	令和元年7月	岡山	口演

【看護部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
今井 光	町田かつ江、中久木恵子、関口好美、菊地弘美	回復期リハビリテーション病棟における身体抑制軽減への取り組み	群馬県看護学会	令和元年11月	群馬	示説
原澤 優子	木部和枝	産後1か月健診までの母親の思い	群馬県看護学会	令和元年11月	群馬	口演
塩野 智則		診断期から治療期における心身の緩和ケアと外来化学療法の役割に関する検討	第34回日本がん看護学会学術集会	令和2年2月	東京	示説
原澤 優子		産後1か月までの母親の産後ケアに関するニーズ	群馬県母性衛生学会	令和元年12月	群馬	口演
鈴木 裕子	根岸典子、飯間妙子、菊地弘美	早期自宅退院を希望した患者への多職種連携を意識した看護師のかかわり	日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	示説
平田 恵美		当院の高齢乳がん患者の現状と看護上の課題	第15回群馬がん看護フォーラム	令和元年5月	群馬	口演

足利 章江		短時間夜勤導入と今後の課題	日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	示説
藤巻 淳子	設楽理枝	看護師の超過勤務削減によるワークライフ・バランス実現への取り組み	日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	示説
山口 明子		MCSでつながる医療と介護の連携	日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	口演
菊地 弘美		身体抑制を軽減するための回復期リハビリテーション病棟の取り組み	身体拘束をしない看護の 実践研修会2019	令和元年12月	群馬	口演
腰越 清絵		看護師が患者に抱く陰性感情に対する「アサーティブ・コミュニケーション」活用の有用性	群馬県看護学会	令和元年11月	群馬	示説

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
真下 遥	高田美結、田中一輝、野口由紀、清水啓、岩崎英久、櫻澤千世、堀口裕之、小幡輝夫	腎機能障害患者のセフトリアキソンによる偽胆石・胆嚢炎の発現頻度についての調査	第2回群馬薬学大会	令和元年5月	前橋	示説
井上 拓也	倉林美里、清水祥正、櫻澤千世、堀口裕之、小幡輝夫	常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）に対しトルバプタンの初回同友を行った1例	日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	令和元年11月	熊本	示説
増野 貴司	中山和彦、塩野智則、倉林美里、櫻澤千世、堀口裕之、小幡輝夫	外来化学療法における服薬指導統一のための「ワールディング」研修会の取り組み	日本臨床腫瘍学会学術大会2020	令和2年3月	福岡	示説

【放射線室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清水 正拳		QCアンケート報告＋施設報告	第52回群馬県核医学技術懇話会	令和元年9月	前橋	口演
清水 正拳		更新装置の紹介 SIEMENS Symbis Intevo Boid	第30回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	令和2年1月	前橋	口演
橋本 忍		当院で経験した心サルコイドーシス症例におけるマルチモダリティ間での比較検討	Heart maging GUNMA	令和2年2月	前橋	口演

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
藤井 洋有	近藤健、小田俊一、関根圭介	骨関連事象を有するがん患者に対する作業療法の介入内容の調査	第24回日本緩和医療学会	令和元年6月	横浜	示説
藤井 洋有	近藤健、小田俊一、関根圭介	骨関連事象を有するがん患者の自宅退院に影響する因子の検討	第53回日本作業療法学会	令和元年9月	福岡	講演
田村 俊太郎	小林真 斉藤康行 白田滋 朝倉智之	急性期病棟における転倒予防に向けた転倒・転落アセスメントシートの改訂と潜在リスク理論を用いた危険度の分類	日本予防理学療法学会サテライト集会	令和元年8月	東京	口演
岡田 貴伸		レビー小体型認知症により家族との関係が悪化し在宅生活が困難となった症例	2019年度 認知症ケア学会 関東ブロック大会	令和1年11月	千葉	口演
酒井 哲郎		発話明瞭度の信頼性について	第20回日本言語聴覚学会	令和元年6月	大分	口演

Ken Kondo	Hirokuni Fujii, Keisuke, Sekine, Naoto, Noiguchi, Lee Bumsuk	Physical and psycholological effects of cooking training for digestive tract cancer patinets	第53回日本作業療法学会	令和元年9月	福岡	口演
Ken Kondo	Keisuke, Sekine, Naoto, Noiguchi, Ryoto Teshima, Lee Bumsuk	Predictive factors for home discharge of inpatinets in an integrated communitiy care ward	13th international society of physical and rehabilitation medicine world	令和元年6月	兵庫	口演
近藤 健	飯塚彩、藤井洋有、関根圭介	心疾患患者における自宅退院可能な退院時FIMの検討	北関東信越ブロック学会	令和元年11月	新潟	口演
近藤 健	飯塚彩、藤井洋有、関根圭介	心疾患患者におけるFIMを用いた自宅退院の予測因子の検討	群馬県作業療法学会	令和元年12月	群馬	口演
野澤 豊	堀越亮平	公立藤岡総合病院における自動車運転評価に関する取り組みの紹介	群馬県作業療法学会自動車運転リハビリテーション研究会第7回研修会	令和元年12月	群馬	示説
小林 真	関根圭介	地域医療・福祉・行政における顔の見える連携構築に向けて ～多野藤岡地域リハビリ研究会の活動報告～	第9回日本医療マネジメント学会 群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	口演
鷹箸 由佳		脳幹出血により仮性球麻痺の嚥下障害を呈した症例 －急性期において嚥下反射惹起に着目し直接練習を目指した介入－	群馬言語聴覚士協会2020年度 新人研修プログラム	令和元年5月	群馬	示説
石川 雄太	清水透	腰椎椎間板炎から腸腰筋膿瘍を発症し、敗血症性ショックとDICに至った一症例	第1回理学療法研究会 up to date	令和元年5月	弘前	口演
石川 雄太	石川栞、清水透	背臥位とhook lyingにおける肺野上下径の変化	第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	令和元年11月	名古屋	口演
鈴木 謙		自閉スペクトラム症の訓練経過	第4回学術研究発表会	令和元年11月	群馬	口演
中野 翔太		癌末期利用者の退院支援から復職まで関わった症例	第9回日本医療マネジメント学会 群馬県支部学術集会	令和2年1月	群馬	示説
木村 優実		訪問リハビリ分野での後進育成の現状と工夫	群馬県理学療法士協会	令和元年11月	群馬	口演
小田 俊一		掃除機がけ活動～視覚と体性感覚について考える～	第31回活動分析研究大会	令和元年5月	山梨	口演
飯塚 彩	近藤健、関根圭介、藤井洋有	当院の心疾患患者の特徴と作業療法士の役割について-2018年の実績調査-	第22回群馬県作業療法学会	令和元年12月	群馬	口説
佐藤 葵	藤井洋有、近藤健、関根圭介	上肢機能と精神心理面の回復が不一致であった左モンテジア骨折術中に橈骨神経麻痺を合併した症例	第22回群馬県作業療法学会	令和元年12月	群馬	示説
中島 美菜子		Pushingを呈した症例	第28回新人症例検討会	令和2年3月	群馬	口演
市川 千智		円背姿勢のある視床出血患者に対し、起立動作に着目し介入を行った症例	第28回新人症例検討会	令和2年3月	群馬	口演

【栄養室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
堀越 勝		高齢者の栄養管理と食事指導	一般社団法人言語聴覚士会	令和元年6月22日	前橋	口演

【臨床工学室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
宇津木 徹		当院における手術室業務の拡張	第18回群馬県臨床工 学技士会学術大会	令和元年7月28日	前橋	口演

【歯科衛生室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
飯沼 瞳	安井由佳、富山麻裕子、 大隅麻貴子、高山優	公立藤岡総合病院における周術期等 口腔機能管理の現状と課題	第16回日本口腔ケア 学会総会・学術大会	平成31年4月	名古屋	口演
安井 由佳	飯沼瞳、森永暢浩、 設楽芳範、富山麻裕子、 大隅麻貴子、高山優	公立藤岡総合病院における周術期口 腔機能管理の介入効果について	第16回日本口腔ケア 学会総会・学術大会	平成31年4月	名古屋	口演

【経営戦略室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
浦部 雄輝		QCサークル活動について	日本医療マネジメン ト学会第9回群馬県 支部学術集会	令和2年1月	藤岡	示説

3. 講演

【血液内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
外山 耕太郎	肺血栓, 出血症状の既往を持つ授乳中若年発症の本態性血小板血症 (essential thrombocythemia; ET)	ET conference in 北関東	大宮	平成31年4月
外山 耕太郎	複雑化する“造血器腫瘍がん薬物療法”に対する治療の均質化・安全性強化への取り組み	ブリストルマイヤーズWEBセミナー	藤岡	令和元年7月
外山 耕太郎	当院でのCML症例におけるEarly Molecular Response (EMR) Rate	Dasatinib長期適正使用検討会	高崎	令和元年6月
外山 耕太郎	急性白血病になったら	藤岡がん市民講座	藤岡	令和元年7月
外山 耕太郎	Thrombocytosis; ET) の経過中に骨髓線維化をきたしRuxolitinibを使用した高齢男性	血液内科医のための実臨床フォーラム	高崎	令和元年9月

【小児科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
渡部 登志雄	令和元年度群馬県特別支援学校医療的ケア研修会	令和元年度群馬県特別支援学校医療的ケア研修会	藤岡	令和2年2月14日
渡部 登志雄	3歳児検尿マニュアルの使いかたと、システム初年度の結果について	3歳児健康診断の眼科・検尿に関する研修会	前橋	令和2年2月18日

【外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
加藤 寿英	比較的まれな疾患とされる消化管と連続性のないEGISTの1例	藤岡多野医師会 第69回合同研究会	藤岡	平成31年2月
中村 卓郎		第13回西毛外傷セミナー JPTECプロバイダーコース	藤岡	令和元年8月

【脳神経外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
甲賀 英明	新規抗てんかん薬の使用経験	東毛てんかん懇話会	大田	平成31年4月
甲賀 英明	新規抗てんかん薬の使用経験	群馬てんかんExpert Meeting	前橋	令和元年6月
甲賀 英明	抗凝固療法について	バイエル社社内勉強会講義	高崎	令和元年7月
甲賀 英明	PSLS 脳卒中患者の標準的な観察と処置の方法 意識障害を中心に	第11回藤岡PSLS講習会	藤岡	令和元年7月
甲賀 英明	最近のトピックスと新規抗てんかん薬の使用経験	前橋市脳外科てんかん治療を考える会	前橋	令和元年7月
甲賀 英明	画像診断とリハビリテーション予後の予測	群馬県言語聴覚士会研修会	前橋	令和元年7月
若林 和樹	急性期脳卒中の治療	脳卒中公開市民講座	藤岡	令和元年9月
甲賀 英明	てんかん治療の医療費補助	Epilepsy Expert Meeting in Seimou	高崎	令和元年9月
甲賀 英明	最近のてんかん診療トピックスと新規抗てんかん薬の使用経験	利根沼田エリアてんかん治療を考える会	沼田	令和元年10月

甲賀 英明	心原性脳塞栓症に於ける抗凝固療法 一次予防と二次予防 Web講演会	バイエル/ イグザレルトWeb講演会	前橋	令和元年11月
甲賀 英明	てんかん診療における薬物血中濃度測定の有用性について	群馬てんかん治療を考える会	前橋	令和元年11月
甲賀 英明	最近のトピックスと新規抗てんかん薬の使用経験	館林邑楽医師会学術講演会～てんかん診療セミナー～	館林	令和2年1月
甲賀 英明	てんかん診療セミナー 最近のトピックスと新規抗てんかん薬の使用経験	桐生医師会 学術講演会	桐生	令和2年1月
甲賀 英明	Closing Remarks Peranpanelの血中濃度測定について	Neurosurgery Update Seminar	前橋	令和2年2月

*講義

甲賀 英明	脳神経外科 神経学と諸検査	藤岡准看護学校	藤岡	令和元年9月
甲賀 英明	脳血管障害	藤岡准看護学校	藤岡	令和元年10月
甲賀 英明	脳腫瘍	藤岡准看護学校	藤岡	令和元年10月
甲賀 英明	頭部外傷と末梢神経疾患	藤岡准看護学校	藤岡	令和元年10月

【リハビリテーション科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
清水 透	「卒後臨床研修機能評価を受審して」	多野藤岡医師会との懇話会	藤岡	令和元年5月
清水 透	「卒後臨床研修機能評価を受審して」	本庄児玉医師会との懇話会	本庄	令和元年6月

*講義

清水 透	「脊髄損傷のリハビリテーション」	群馬大学医学部保健学科、看護学専攻	前橋	令和元年5月
------	------------------	-------------------	----	--------

【産婦人科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
遠藤 究	助産師外来に必要な超音波診断、分娩監視の読み方	助産師専攻抗議	高崎	令和元年6月

【看護部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
恩田 千栄子	オピオイド使用患者の困った事例～看護師の立場から～	第17回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会	藤岡	令和元年5月

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野 貴司	オピオイド使用中に対応に苦慮するケースの事例紹介	第17回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会	藤岡	令和元年5月
増野 貴司	当院におけるエロツズマブレジメンの工夫～薬剤師の立場から～	Hematological Web Seminar	藤岡	令和元年5月
櫻澤 千世	楽しく学ぼう！糖尿病～知ってナットクお薬の話～	糖尿病教室	藤岡	令和元年6月
久米 隆夫	適正な抗菌薬投与	医療安全・感染対策必須研修会	藤岡	令和元年6月

岩崎 英久	適正な抗菌薬投与	医療安全・感染対策必須研修会	藤岡	令和元年6月
増野 貴司	がんエマーゼンシー～抗がん剤による過敏反応とインフュージョンリアクション～	群馬病院薬学研修会	前橋	令和元年7月
中山 和彦	外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会 肺がん編	第18回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	令和元年8月
増野 貴司	がんエマーゼンシー～抗がん剤による過敏反応とインフュージョンリアクション～	医療安全研修会	藤岡	令和元年8月
久米 隆夫	経口第3セフェム系抗菌薬の現状	医療安全・感染対策必須研修会	藤岡	令和元年9月
岩崎 英久	経口第3セフェム系抗菌薬の現状	医療安全・感染対策必須研修会	藤岡	令和元年9月
増野 貴司	膵臓癌の化学療法について	第19回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	令和元年11月
増野 貴司	当院における大腸がん抗EGFR抗体併用療法に対する副作用マネジメント	大腸がんにおける副作用マネジメント	前橋	令和元年11月

【 リハビリテーション室 】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
井所 拓哉	臨床評価における民生用カメラやスマートデバイスの活用	第26回群馬神経理学療法研究会	前橋市	令和元年8月3日
黒澤 雅斗	介護・福祉サービスの理解と医療の連携～医療との連携とリハビリテーション～	介護職員初任者研修	群馬県立万場高等学校	令和元年6月11日
藤井 洋有	リハビリテーション関連職種との連携	介護職員初任者研修	万場高校	令和元年7月2日
藤井 洋有	緩和ケア主体の時期のがんリハビリテーション	多野藤岡地域リハビリ研究会アセスメント研修	藤岡市役所	令和元年10月7日
藤井 洋有	がんリハビリテーションー基礎から実践・研究までー	第22回群馬県作業療法学会ワークショップ	高崎総合福祉センター	令和元年12月8日
藤井 洋有	肝転移・肺転移を呈する患者及び家族の生活支援	日本作業療法士協会 専門作業療法士(がん)研修	新横浜ホール	令和元年12月14日
酒井 哲郎	包括ケアシステムについて	地域リハ活動支援推進のための人材育成研修会	美原記念病院	2019年9月15日
酒井 哲郎	構音嚥下障害に対する舌圧測定の有用性について	利根沼田リハビリテーション研究会	沼田脳外科循環器科病院	2020年2月21日
小林 真	肩こりのメカニズムと対策～肩こり体操で解消しよう～	健康セミナー	KYB株式会社熊谷工場	令和元年10月9日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～CT・MRIの違い～	画像診断学	高崎健康福祉大学	令和元年10月16日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～脳血管～	画像診断学	高崎健康福祉大学	令和元年10月23日
小林 真	神経系疾患についての画像診断～まとめ～	画像診断学	高崎健康福祉大学	令和元年10月30日
小林 真	する人もされる人も安楽な動作介助方法のコツ	多野藤岡地域リハビリ研究会実地指導	グループホームまほろば	令和2年1月23日
水間 武央	運動器の機能向上の基礎・プログラムの実施について	介護予防運動器の機能向上研修会	高崎健康福祉大学	令和元年10月13日

福田 大典	臨床業務のあり方、進め方	日本語聴覚士協会 生涯学習プログラム 基礎講座	群馬整肢養護園	令和元年12月21日
福田 大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育 課程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和元年9月17日
福田 大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育 課程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和元年9月19日
福田大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育 課程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和元年9月24日
福田 大典	フィジカルアセスメント	パース大学 認定看護師教育 課程 摂食・嚥下障害看護	パース大学	令和元年9月26日
木村 優実	運動動作に関する基礎知識	こころとかがらのしくみと生活支 援技術	藤岡北高校	令和元年6月20日
松山 励悦	在宅リハビリテーション ～ADL、IADL～	在宅看護方法論	本庄児玉看護専門学 校	令和元年7月3日
馬場 健太	吸引の実際	第7回群馬県内部障害系理学 療法研究会	高崎健康福祉大学	令和元年9月1日
関根 圭介	在宅リハビリテーション総論	在宅看護方法論 I	本庄児玉看護専門学 校	令和元年6月26日
関根 圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向 上マネジメント	群馬大学	令和元年7月7日
関根 圭介	自動車運転の活動分析とその介入	活動分析研究大会準備会教育 講座	山梨県笛吹市	令和元年6月30日

【歯科衛生室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
安井 由佳 飯沼 瞳	再滅菌減らし隊 在庫を見直そう！	QCサークル活動院内発表会	藤岡	令和元年2月26日

4. 講演会・研修会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
5月9日	第160回公開CPC	症例 血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 病理診断科 吉田 孝友 研修医 反町 隼人	公立藤岡総合病院 大会議室	38	
5月13日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
5月16日	藤岡多野医師会懇話会	①卒後臨床研修評価機講の調査を受審して ②泌尿器科のご案内	① 公立藤岡総合病院 副院長 清水 透 ② 公立藤岡総合病院 泌尿器科部長 武井 智幸	藤岡商工会議所	72	25
5月28日	第17回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	①保険薬局でのオピオイドの使用経験 ②オピオイド使用中に対応に苦慮するケースの事例紹介 ③オピオイド使用患者の困った事例～看護師の立場から～	①藤岡調剤薬局 管理薬剤師 柳原 啓 公立藤岡総合病院 ②薬剤部 増野 貴司 ③看護部 恩田千栄子	公立藤岡総合病院 大会議室	26	15
6月7日	第31回地域褥瘡検討会	①「DESIGN-R」 ②「創傷治癒過程～DESIGN-Rを用いて～」	①公立藤岡総合病院 皮膚科部長 嶋岡正利 ②公立藤岡総合病院 日本褥瘡学会認定看護師 野口真澄	公立藤岡総合病院 大会議室	10	70
6月12日	第1回糖尿病教室	①糖尿病ってどんな病気 ②楽しく学ぼう！糖尿病～知ってナットクお薬の話～ ③家でできる簡単レシピ ④家の中で出来る運動	公立藤岡総合病院 ① 糖尿病内科医師 中原 理恵子 ② 管理栄養士 福田 千春 ③ 理学療法士 塚田 健人	公立藤岡総合病院 大会議室	13	46
6月13日	第17回藤岡がんカンファレンス	症例①胃体部癌 症例②下顎肉内癌	症例①けやきクリニック院長 鴨下憲和 公立藤岡総合病院 外科医長 加藤 寿英 病理診断科部長 吉田孝友 症例②深井歯科医院院長 深井尚武 公立藤岡総合病院 歯科口腔外科医長 高山 優 病理診断科部長 吉田孝友	公立藤岡総合病院 大会議室	49	15
6月20日	第1回 藤岡地域感染防止対策カンファレンス	耐性菌の検出状況 抗菌薬の使用状況		公立藤岡総合病院 大会議室	11	34
6月18日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ベラピスタのアラームの対応について	公立藤岡総合病院 臨床工学室 田島伸哉	公立藤岡総合病院 南4階病棟透視室	16	
6月18日	本庄児玉地域医療連携懇話会	①卒後臨床研修評価機講の調査を受審して ②泌尿器科のご案内	①公立藤岡総合病院 副院長 清水 透 ②公立藤岡総合病院 泌尿器科部長 武井 智幸	埼玉本庄グランドホテル	68	29
7月2日	藤岡多野脂質低下療法学術講演会	①虚血性心疾患症例に対する2次予防について～資質コントロールを中心に～ ②動脈硬化性疾患予防の新しい展開	①公立藤岡総合病院 循環器内科部長 高松 寛人 ②群馬大学大学院医学系研究科 循環器内科学教授 倉林 正彦	公立藤岡総合病院 大会議室	12	5
7月6日	多野藤岡地域脳卒中(PSSS)講習会	脳卒中病院前救護	藤岡地域メディカルコントロール協議会	公立藤岡総合病院 大会議室	14	4
7月8日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
7月11日	第161回公開CPC	症例 急性心筋梗塞	群馬大学医学部附属病院 循環器内科 金井 杏奈 公立藤岡総合病院 病理診断科 吉田 孝友 研修医 半田 敬祐	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
7月20日	第25回藤岡がん市民講座	①免疫チェックポイント阻害剤について ②急性白血病になったら	公立藤岡総合病院 ①呼吸器内科部長 中川 純一 ②血液内科部長 外山 耕太郎	公立藤岡総合病院 大議室	7	49
8月25日	第12回西毛外傷セミナー	JPTECプロバイダーコース	JPTEC インストラクター あかぎ診療所 菅野 圭一	公立藤岡総合病院 会議室	4	17
8月27日	第18回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	・外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング～肺がん編～ ・非小細胞肺癌に使用される経口抗がん薬と肺がん化学療法に関する最近の話題	公立藤岡総合病院 薬剤師 中山 和彦	公立藤岡総合病院 大会議室	14	8
9月11日	第2回糖尿病教室	①初めてでもわかる検査の話～検査で何がわかるのわかるの～ ②家で出来る簡単レシピ・秋編 ③家の中で出来る運動 ～すぐに実践つま先立ち運動～	公立藤岡総合病院 ①臨床検査技師 小島 浩之 ②管理栄養士 福田 智春 ③理学療法士 塚田 健人	公立藤岡総合病院 大会議室	16	38
9月19日	第2回藤岡地域感染防止対策カンファレンス	疥癬について	公立藤岡総合病院 皮膚科部長 嶋岡 正利	公立藤岡総合病院 大会議室	11	36
9月27日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	30
9月27日	第25回藤岡緩和ケア研究会	①がんの痛みに対するケアのポイント ②どのように命の時間を使うか！～再発乳がん30回の化学療法を受けて気づいた事～	①公立藤岡総合病院 がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子 ②がんサバイバー 根岸 友香	公立藤岡総合病院 大会議室	42	54

9月29日	市民公開講座	①脳卒中の内科的治療と予防、心原性脳梗塞症について ②脳卒中の外科的治療について ③脳卒中パスを利用した患者さんたちの退院までの経過について～パスのデータ解析結果から～ 多野藤岡広域消防本部隊員による救急活動デモンストレーション 脳卒中Q&A お悩みコーナー	①医療法人 育成会 篠塚病院 神経内科 相原優子 ②公立藤岡総合病院 脳神経外科部長 若林和樹 ③群馬脳卒中医療連携の会データ解析ワーキンググループ 前橋赤十字病院理学療法士 菊池大輔	公立藤岡総合病院 大会議室	9	60
10月12日	第23回藤岡緩和ケア研究会	在宅緩和ケアについて	緩和ケア診療所いっば 理事長 小笠原 一夫	公立藤岡総合病院 大会議室	58	73
10月10日	第162回公開CPC	症例 悪性リンパ腫の疑い	公立藤岡総合病院 血液内科医員 中山 敬太 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 牛久保 陸生	公立藤岡総合病院 大会議室	29	
10月23日	藤岡がん診療講演会	今、すぐ！役立つがん疼痛治療2つのポイント	埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮 きのみ	公立藤岡総合病院 大会議室	40	30
11月11日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	23
11月16日	がん診療に携わる医療者に対する緩和ケア講習会	①eラーニングの復習・質問・質問 ②全人的苦痛に対する緩和ケア ③療養場所の選択と地域連携 ④がん患者への支援 ⑤コミュニケーション	①小屋絨子 ②黒崎 亮 ③公立藤岡総合病院 中川 純一 ④公立藤岡総合病院 武井 智幸 ⑤群馬大学医学部附属病院 藤平 和吉	公立藤岡総合病院 大会議室	11	1
11月26日	第19回藤岡地域がん化学療法薬運搬定例会	①外来化学療法における服薬指導統一のためのロールプレイング研修会～藤がん編～ ②膀胱の化学療法について	公立藤岡総合病院 ① 薬剤師 倉林 美里 ② 薬剤師 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	14	9
11月27日	第3回糖尿病教室	糖尿病と運動療法について ①灯台もと暗し、足下に注意！ ～家で簡単フットケア～ ②家で出来る簡単レシピ・冬編 ③家の中で出来る運動～丸めて聞いてよく伸ばす！足指鍛えて長生き人生	公立藤岡総合病院 ① 看護師 櫻井あかり ② 管理栄養士 福田智春 ③ 理学療法士 塚田健人	公立藤岡総合病院 大会議室	16	45
11月28日	第4回 藤岡多野抗凝固療法学術講演会	「心房細動合併冠動脈疾患患者に対する抗血栓療法のパラダイムシフト」	新潟大学大学院 循環器内科学准教授 尾崎 和幸	公立藤岡総合病院 大会議室	13	9
12月8日	第16回藤岡ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 会議室	13	9
12月12日	第163回公開CPC	症例 ①慢性肺血栓塞栓症 ②気管支肺炎	公立藤岡総合病院 ①循環器内科副院長 井上 雅浩 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 青木 友紀 ②循環器内科医長 小野 洋平 病理診断科部長 吉田 孝友 研修医 河野 慧	公立藤岡総合病院 大会議室	34	0
12月17日	第14回研修医症例発表会	症例7題	公立藤岡総合病院 研修医7名	公立藤岡総合病院 大会議室	98	25
2月21日	第26回藤岡緩和ケア研究会	現場で役立つ看取りケアのエビデンス	公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原 恵里子	公立藤岡総合病院 大会議室	37	48

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所	参加者数	
					院内	院外
4月1日 ～3日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人 他	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
4月10日	糖尿病勉強会	インスリンポンプ療法（入門編）	公立藤岡総合病院 糖尿病内科部長 中原 理恵子 (株)メモリード 湯浅 春代		22	
4月12日	接遇研修（新入職者）	接遇マナー 対応の仕方		公立藤岡総合病院 大会議室	34	
5月9日	第21回M&Mカンファレンス	症例 肺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科 梅津和恵	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
5月9日	第19回がんセンターボード	症例 多発性肺結節影	公立藤岡総合病院 外科医員 内田 真太郎	公立藤岡総合病院 大会議室	42	
5月14日	Webセミナー	地域循環型医療における急性期病院の役割	友愛会織田病院 理事長 織田 正道	公立藤岡総合病院	9	
5月18日	新入職員日帰り研修	コミュニケーション研修	公立藤岡総合病院 副院長兼研修管理センター長 清水 透	おにし野外活動センター	40	
5月22日	Webセミナー	「とどき入院ほぼ在宅」を実現のために ～脱水対策のポイントをふまえて～		公立藤岡総合病院 大会議室	44	
5月18日	新入職者日帰り院外研修	コミュニケーション研修	公立藤岡総合病院 副院長兼研修管理センター長 清水 透	鬼石野外活動センター	40	
5月25日	第34回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	35	
5月27日	第9回精神薬長期処方に係る研修	せん妄における不眠の薬物管理	公立藤岡総合病院 心療内科部長 五十嵐 孝	公立藤岡総合病院 大会議室	61	
5月29日	Live Webセミナー	「地域循環型医療における急性期病院の役割」 ～治し支える医療と栄養管理		公立藤岡総合病院 中会議室	9	0
6/5.～26 (8回)	医療安全・感染対策研修会	①事例に学ぶ医療安全 ②細菌の音が聞こえていますか？ ③抗菌薬の力を活かしていますか？	①安全管理センター 斉藤 康行 ②検査室 嶋田 香 ③薬剤部 久米 隆夫	公立藤岡総合病院 大会議室	581	
6月14日	第22回M&Mカンファレンス	症例 成人スティル病	公立藤岡総合病院 腎臓内科医員 松崎智子	公立藤岡総合病院 大会議室	48	
6月14日	第20回がんセンターボード	右腎盂がん・肺癌疑い	公立藤岡総合病院 泌尿器科医員 福田 怜雄	公立藤岡総合病院 大会議室	51	
6月14日	第34回画像カンファレンス	各診療科からの4～5月の興味深い症例	放射線診断科医員 山田 宏明	公立藤岡総合病院 大会議室	47	
6月18日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ベラピスタのアラーム対応について	臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 大会議室	18	
6月21日	接遇研修会	患者クレームから学ぶ接遇のポイント	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人	公立藤岡総合病院 第1会議室	200	
6月22日	第35回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	15	
6月18日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ベラピスタのアラームの対応について	公立藤岡総合病院 臨床工学士 田島伸哉	公立藤岡総合病院 南4階病棟透視室	16	
7月11日	第23回M&Mカンファレンス	症例 直腸癌	公立藤岡総合病院 外科医員 熊倉裕二	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
7月11日	第21回がんセンターボード	子宮癌肉腫	公立藤岡総合病院 産婦人科 周藤 周	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
7月23日	保険診療講習会	DPCの考え方について	公立藤岡総合病院 医事情報課 齋藤 功治	公立藤岡総合病院 大会議室	161	
7月27日	第36回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	21	
8月20日	医薬品安全研修会	①麻薬事故を防ぐ ②がんエマージェンシー～抗がん剤による過敏反応とインフュージョンリアクション～	公立藤岡総合病院 ①薬剤部長 小橋 輝夫 ②薬剤部 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	87	
8月21日	医療機器安全研修会	ハイフローAIRV02の作用機序と効果について	公立藤岡総合病院 臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 北6会病棟カンファレンス ス室	6	
8月23日	臓器移植講演会	いのちときずなの学習会	群馬県臓器移植コーディネーター 稲葉 伸之	公立藤岡総合病院 大会議室	66	
8月29日	医療安全研修会	説明義務について	SOMPO リスクマネジメント 関 悠希	公立藤岡総合病院 大会議室	100	
9月2日	総合評価研修会	老人症候群について サルコペニアとフレイル	公立藤岡総合病院 病院長 塚田義人	公立藤岡総合病院 大会議室	57	
9月4・10・ 13・25・30 全9回	医療安全・感染対策研修会	①確認の徹底 ②育ちが遅い結核菌とその対応 ③経口第3セフェム系抗菌薬の現状	①安全管理センター 斉藤 康行 ②安全管理センター 千木良 悦子 ③薬剤部 久米 隆夫	公立藤岡総合病院 大会議室	988 (合計)	

9月12日	第24回M&Mカンファレンス	左内頸動脈狭窄症	公立藤岡総合病院 脳神経外科部長 若林 和樹	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
9月12日	第22回キャンサーボード	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科医員 中山 敬太	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
9月12日	第35回画像カンファレンス	各診療科からの4~5月の興味深い症例	放射線診断科医員 山田 宏明	公立藤岡総合病院 大会議室	39	
9月27日	医療機器安全研修会	心電図モニターの基本	臨床工学士 吉田弘	公立藤岡総合病院 透析室	5	
10月2日・3日	初級者研修	できてますか?コミュニケーション	公立藤岡総合病院 副院長兼研修管理センター長 清水 透	公立藤岡総合病院 大会議室	45	
10月4日・7日	中級者研修	下がってませんか?モチベーション	公立藤岡総合病院 副院長兼研修管理センター長 清水 透	公立藤岡総合病院 大会議室	33	
10月4日	第9回院内学会	8演題 (医事情報課・安全管理センター・看護部・放射線室・回復期リハビリチーム・経営戦略室・訪問看護ステーション・歯科口腔外科)	左記部署担当者	公立藤岡総合病院 大会議室	142	
10月10日	第23回キャンサーボード	胃癌	公立藤岡総合病院 外科 本田 央子	公立藤岡総合病院 大会議室	51	
10月10日	第25回M&Mカンファレンス	急性心筋梗塞	公立藤岡総合病院 循環器内科 土屋 俊平	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
10月10日	医療機器安全研修会	心臓ペースメーカーの基本・手帳の見方(後編)	臨床工学士 吉田 弘	公立藤岡総合病院 南4階病棟	7	
10月16日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ベラピスタ基礎①研修	臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 北6会病棟カンファレンス室	6	
10月18日	医療機器安全研修会	人工呼吸器ハミルトン使用中点検について	臨床工学士 田島伸哉	公立藤岡総合病院 北6会病棟カンファレンス室	2	
10月28日	初歩から始める漢方勉強会	ツムラ	漢方薬の使用実態 漢方の副作用	公立藤岡総合病院 研修室	18	
10月28日	医療機器説明会	分注用安全器材「ブラッドトランスファーデバイス」使用について	公立藤岡総合病院 看護部 染谷由香里	公立藤岡総合病院 大会議室	48	
11月13日	第13回クリニカルパス大会	①当院における整形外科クリニカルパスの現状と今後の課題 ②クリニカルパスの現状と今後の課題 ③がん地域連携パスについて ④クリニカルパスの活用	公立藤岡総合病院 ①看護師 高木 弥守文 ②入退院支援室 松本 伊織 ③緩和ケアセンター 荒井 頼道 ④看護師長 神宮 由香	公立藤岡総合病院 大会議室	55	
11月14日	第24回キャンサーボード	肺腺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医員 内田 恵	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
11月14日	第26回M&Mカンファレンス	原発不明癌	公立藤岡総合病院 産婦人科医員 周藤 周	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
11月14日	第36回画像カンファレンス	PET-CTについて	放射線診断科部長 神宮 晶子	公立藤岡総合病院 大会議室	35	
12月12日	第25回キャンサーボード	大腸癌	公立藤岡総合病院 外科医員 菊地 健太	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
12月12日	第27回M&Mカンファレンス	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科医員 寺崎 幸恵	公立藤岡総合病院 大会議室	37	
1月8日	摂食嚥下講演会	器具を使用した新しい口腔トレーニング	飯塚歯科医院 院長 飯塚 能成	公立藤岡総合病院 大会議室	57	
2月17日	向精神薬長期処方に係る研修	不眠について~せん妄を中心に~	群馬大学医学部附属病院 精神神経科講師 須田 真史	公立藤岡総合病院 大会議室	60	
2月28日	医療機器安全研修会	心臓ペースメーカー装着の心電図モニター波形について	臨床工学士 吉田 弘		7	
3月10日	医療機器安全研修会	人工呼吸ベラピスタの取り扱いについて	臨床工学士 田島 伸哉		10	

5. 院内学会

電子カルテ端末の故障と対策について

経営管理部 医事情報課 システム管理グループ 大澤 佑典

【はじめに】

2016年10月に電子カルテ端末のハード更新を行い、3年が経過したところである。徐々にではあるが、端末の故障及び修理頻度が多くなっている為、今後に向けて修理回数の把握、対策について検討を行った結果を紹介する。

尚、各部門システム端末、メール端末については、調査の対象外とする。

【目的】

今後、故障する端末が増えることが予測されることから、故障防止、予防対策について検討することを目的として考えた。

【対象】

ハード更新前の2015年8月～2016年10月、ハード更新後の2018年1月～2019年4月の期間で修理センターに送付した台数を対象とした。

【考察】

当たり前ではあるが、ハード更新前よりハード更新後のほうが修理回数が少なく、年数の経過とともに修理回数が増えていた。また、入院棟、外来棟で比較した際、夜間、及び、業務終了後に電源を切っている外来棟のほうが修理回数が少なくなっている。これは、稼働時間が少ないことにより部品自体に与えるダメージを最小限に抑えられる為、故障頻度が少なくなっていると考えられる。また、デスクトップ端末よりも、ノート端末の故障が多くなっている。理由としては、ノート端末は、軽量化の為、外装が薄く作られており、衝撃等に弱く外部的な要因が多くある。ナースカートに乗せて移動する際や、ディスプレイを閉じる際の衝撃等が影響していると考えられる。

【対策】

故障予防対策として以下の6点が重要であると考ええる。1つ目として、夜間、業務時間外など使用していない電源を切り、稼働時間を少なくする。2つ目に端末の定期的な清掃を行なう。清掃を行なうことで、ほこり等により通気ができなくなり熱が内部にこまってしまい現象を改善することができる。3つ目として、端末側面の排熱口を塞がないように端末の設置を行なう。これも2つ目と同様に通気を良くして内部に熱をこもらせないようにする為に必要な対策となる。稼働時間が多くなることや、熱による部品のダメージを抑えることで経年劣化の抑制に繋がると考える。4つ目は、ノート端末に関して、ディスプレイを強く閉じないこと。5つ目にノート端末を閉じた際に、上に物を置かないこと。強く閉じることや、上に物を置いたことによる衝撃、圧力で基盤に亀裂が生じる可能性がある。6つ目としてキーボードの上に物を上に置かないことである。これも同様に衝撃等で基盤に亀裂が生じる可能性があり、また、物からの液漏れ等でキーボードが水損する可能性もある。これらのことを各部署協力して行うことで故障の減少に繋がると考える。

CGS 運転時間見直しによる経費削減について

安全管理センター 施設管理グループ 佐藤 慎也

【はじめに】

CGS とは、ガスエンジン常用発電機のこと、燃料は都市ガスを使用し発電しています。

CGS の発電容量は 1 台 370 kW で、当院は 2 台設置の為 740 kW になります。

ちなみに電力会社の停電が発生した場合は、非常用予備発電機 (1,000 kW×1 台、400 kW×1 台) と合わせて、2,140 kW 発電が可能です。

【目的】

契約電力を 1,600 kW に増やし CGS を 1 台交互運転にすることで、CGS にかかる整備費用の削減及び電気料金・ガス料金を比較し経費を削減することを目的としました。

【対象】

CGS の運転データ及び電気料金とガス料金

【考察】

今年の 5 月より CGS を 1 台交互運転、2 台目は契約電力を超えないよう追従運転するように設定し、昨年度と今年度の 5 月から 8 月間の CGS 運転時間及び電気料金・ガス料金を比較しました。

また、CGS の整備が 2,000 時間毎にある為、整備までの時間の変化を記録しました。

当初の予定では、積算運転時間が 58,000 時間で累計整備料金が約 1 億 8 千万円掛かり、2 台同時運転の場合は 15 年でこの運転時間に達する事が予想されていたので、年数の変化も比較しました。

【結果】

昨年度と今年度の 5 月から 8 月間の CGS ガスの使用量及び運転時間を比較した結果、運転時間は平均で 58% 減少し、ガス使用量は平均で 57% 減少しました。

ガス料金の比較では 4 カ月間の累計値で 11,152,173 円減少、電気料金の比較は同期間累計で 6,001,169 円増加しており、総合的には 5,151,004 円の経費削減が見られました。

CGS の整備費用は、当初の予定では 15 年で 1 億 8 千万円。

今回の検証で運転時間が約半分になったことが分かったので、58,000 時間に達する期間が約 30 年まで延長されることが確認でき、整備代が 15 年間で約 9 千万円削減されることが想定できました。

施設管理グループ一同、経費削減に向けて今後とも取り組んでいきます。

当院の高齢乳がん患者の現状と看護上の課題

看護部 乳がん看護認定看護師 平田恵美

【はじめに】

日本は2010年に高齢化率23%となり、超高齢社会に突入し2017年には高齢化率は27.7%となった。乳がん罹患率は、女性悪性腫瘍では罹患率第一位であり増加傾向をたどっている。また、40歳代と60歳代に罹患率のピークがあることが特徴である。今後の予測される高齢化率の上昇により、乳がん患者も65歳以上の年齢層の増加が予測される。

【目的】

超高齢社会における当院の高齢乳がん患者の現状を明らかにすることで、看護上の課題を検討する。

【対象】

2010年と2017年に当院に通院・入院した乳がん患者を対象にした。そのうち、乳がんと診断された件数、手術件数、化学療法件数、放射線療法件数の65歳以上の割合を比較した。研究対象者への倫理的配慮として、院内の倫理委員会の承認を受けた。

【結果】

乳がんと診断された件数の65歳以上の割合は、2010年42%から2017年67%となった。手術件数は41%から64%、また化学療法件数は20%から45.1%、放射線療法件数は44%から60%の増加となった。

【考察】

65歳以上の割合は、乳がんと診断された件数、手術件数、化学療法件数、放射線治療件数共に、2010年から7年間で16%~25%増加していた。この増加率は、日本の高齢化率の増加より上回っていた。高齢患者は複数疾患・多剤内服、予備能の低下、個人差が大きいなどの特徴から、今後もさらにリスクマネジメントが重要となってくる。また、単独、夫婦のみ世帯が増加している現状から社会背景を踏まえた関わりが必要となり、高齢者の治療に関する意思決定支援が課題となってくる。

【結論】

看護上の課題として、高齢乳がん患者の増加から今後もさらにリスクマネジメントが重要となってくる。また、社会背景を踏まえた関わりが必要となり、高齢者の治療に関する意思決定支援が課題となってくる。

ポータブル X 線撮影における安全距離の検討

放射線室 金子勇二 松井志保人 清水正拳 高田哲也

【背景】

X線を用いた検査の中で、ポータブルX線検査は放射線防護が施された専用の室内ではなく、病室や手術室、救急外来などで行われる。

放射線に対する遮蔽物が存在しないため、放射線技師を含む周囲の人間は距離をとることで散乱線から身を守る必要がある。

目に見えない放射線に対する不安や恐怖から、スタッフが必要以上に距離をとってしまい、患者様の観察が疎かになってしまう恐れがある。

【目的】

ポータブル X 線撮影における散乱線の強度と分布を計測し、安全距離を調べる。

実際の撮影現場における安全距離について可視化を行い、他職種のスタッフと共有する。

【方法】

ポータブル装置(SIEMENS 社製 Mobilett XP Hybrid)を使用し、胸・腹部用 X 線水ファントムに対して X 線の照射を行い、散乱線を電離箱式サーベイメーターを用いて計測する。

胸部・腹部臥位撮影、胸部坐位撮影を想定して撮影条件を変更し、それぞれに対して平面的に 45° おきに 8 方向、撮影中心から 100cm、150cm、200cm の距離で計測する。

自然放射線の一種である宇宙線から人体が一日に受ける放射線量が約 $1\mu\text{Sv}$ であるため、それと同程度もしくはそれ以下であれば散乱線として気にする必要がないと考え、安全距離の目安とした。

【結果】

胸部撮影と腹部撮影を比較すると、条件を高め設定してある腹部撮影の方が散乱線を多く計測した。しかし、どの撮影条件においても 200cm 離れた計測点では測定可能下限もしくは測定値 0 となった。

【結論】

計測の結果、安全距離の目安として設定した $1\mu\text{Sv}$ にはどの測定点においても達していなかったが、患者様の体格などによる撮影条件の増加を加味すると最低でも 1.5m ほどの距離をとるべきである。

実際の撮影現場では余裕を持って「2m」を安全距離として考え、撮影現場の写真に 2m の範囲を示したものを作成、掲示した。

今後 X 線 TV 室やカテーテル検査室といった、スタッフが検査室内で業務を行う場所においても散乱線の計測を行い、可視化・共有を行いたい。

PET や RI、MRI 等の検査においても、今後可視化が可能かどうか検討する。

回復期リハビリテーション病棟の役割

回復期リハビリテーションチーム 鶴生川 聡子

【はじめに】

回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）は、2017年11月の病院移転時からの準備期間を経て、2018年1月に北2階病棟にて30床で開設した。同年6月には40床に増床、最高施設基準である「回復期リハビリテーション病棟入院料1」の算定が可能となった。これまでの病棟利用状況を調査、今後の回復期リハ病棟の役割を報告する。

【目的】

当院の病棟利用実績について調査、全国平均値と比較し、傾向と課題を分析する。

【対象】

2018年度の回復期リハ病棟利用者を対象とする。

【結果】

・入棟者数 211名 ・退棟者数 211名 ・平均年齢 72.7歳

	当院	全国平均		当院	全国平均
入棟までの期間(日)	15.1	24.0	在棟期間(日)	62.8	67.4
在宅復帰率(%)	87.0	79.4	自宅復帰率(%)	78.0	68.0
退院時平均FIM	105.7	92.1	平均FIM利得	40.0	23.2
リハ平均単位数	4.69	6.39			
疾患別割合	当院	全国平均	疾患別割合	当院	全国平均
脳血管疾患(%)	65.2	45.1	運動器疾患(%)	31.0	46.4
廃用症候群(%)	3.8	7.0	その他(%)	0.0	1.6

・診療科別患者数 脳外 135名、整形 68名、外科 6名、内科 1名、小児 1名

・退棟先の割合 自宅 78%、施設 9%、老健 6%、転棟 5%、転院 2%

*1 全国平均値は回復期リハ病棟協会調査報告から抜粋

*2 FIM利得：日常生活動作自立度が改善した点数(退棟時FIM-入棟時FIM)

*3 在宅復帰率：自宅及び在宅系施設へ転所した患者の割合

【考察】

全国平均値と比較すると、以下の3点が当院の特徴として挙げられる。①発症から早期入棟、早期退院。②在宅及び自宅復帰率高い。③リハ単位数は少ないが、FIM利得が高い。以上のことから、対象患者の入棟を速やかに行い、集中的リハビリを実施、短期間で効率的にADLを向上させていることが分かる。患者・家族を中心としたチームアプローチを意識した関わりが、家庭復帰の促進につながっている。

【結語】

当院の回復期リハ病棟は全国平均と比較し、利用実績は良好である。その理由として、多職種連携を基本に、日々患者・家族と共に退院後の生活イメージを描き続けている回復期リハチームの働きがある。チームアプローチを軸とする回復期リハ病棟の役割は、患者・家族が安心して地域に戻り、生活できることに大きく寄与するものであると考える

QCサークル活動について—前年度の改善を踏まえて—

経営管理部 経営戦略室 浦部雄輝

【はじめに】

昨年度、業務の質改善（職員の業務改善意識の向上）を目的としてQCサークル活動を導入した。収益・コストに重きを置き、所属長を中心にQCサークル活動をおこなった。今年度は昨年度の活動を見直し、推進体制を改良し、実施したのでその状況を報告する。

【目的】

QCサークル活動の基本概念である現場レベルの小改善を重視し、今年度のQCサークル活動の基本テーマを「働き方改善」と掲げ、日常業務における身近な問題を改善提案できるよう「活動の結果よりも、業務を見直し改善を図る過程」に重きを置いて活動をスタートした。昨年度は誰が活動を行い、管理・評価・支援するのかが曖昧だったため、活動の中心を中堅職員に設定し、サークルチームのリーダーを所属長と事務局から任命した。現場職員の意見が出やすい環境にするために、所属長は見守りの立場とし、グループリーダー・副看護師長職員に管理・支援を行ってもらうため、アドバイザーとして同じく任命した。

【結果】

活動計画は、30チームから30テーマが提出された。経費削減につながるものもあるが、働く環境を整える改善内容が多く出た。月に一度チームリーダーを集め会議を実施し他部署との情報共有、事務局のサポートと行き過ぎた活動の抑制を目的にサークル活動を推進した。活動からわずか2ヵ月であるが、改善報告が提出されたチームがあった。リーダーを対象にアンケートを実施した結果、全体の50%のチームが計画通りに活動が進んでいると回答し、30%のチームが5割以上は計画通りに進んでいると回答した。活動の成果については70%が成果を感じていると答え、残りの30%は感じていないと回答した。また、「メンバーと時間が合わず停滞している。」「通常業務が忙しく、活動に時間を費やせない。」等の意見が多く出された。

【考察】

通常業務に追われている中でチームとして活動していくことと、役職を持たない職員がリーダーシップを発揮してサークル活動を推し進めることは困難であるが、今回の活動は人材育成に寄与するものと考えられる。チームリーダーは業務の負担となっている中、全チームリーダーが積極的に活動に取り組んでいる。各部署で業務改善は日々行われているが、このQCサークル活動を通じて、その改善を可視化することができた。現場レベルで改善の仕組みをつくり、継続的な改善活動に取り組む文化の定着につながる。時代の変化に伴う医療需要の多様化は目に見えており、「今の自分の業務が世の中の流れに対応できるものとなっているか。」を考え直す機会を、このQCサークル活動で得られたことが一番の意義である。

【課題】

働き方改善の中で、QCサークル活動が業務の負担となっていることは事実である。今後、効率的な活動の進め方の検討が必要である。

訪問看護における医療・介護の連携 ～MCSを導入し、多職種と連携した一事例～

訪問看護ステーション はるかぜ 山口 明子

【はじめに】

訪問看護ステーションはるかぜの概要

看護師 9 名、リハビリスタッフ 5 名、昨年度の訪問看護月平均利用者数：170 名、24 時間対応体制、緊急時訪問看護加算を取得し、24 時間 365 日電話での相談や要請により緊急訪問を行っている。

MCS（メディカルケアステーション）とは、医療介護における多職種連携のために作られた専用のプライベート型 SNS。MCS は、医療介護関係者の間でのコミュニケーションを秘匿的に行うことができるのが特徴である。今回、一人の利用者に MCS を導入し多職種連携の新しい形を築くことができたため報告する。

【目的】

MCS を導入し、在宅医療・介護におけるスムーズな多職種連携を実現し、安心で安全な医療・介護サービスを提供する。

【対象】

患者紹介

H 氏 80 歳代 男性 病名 頸髄損傷

H 氏は、頸部から下肢に至る感覚がなく、すべてにおいて介助が必要な状態であり、膀胱瘻を造設している。

【結果】

2019 年 7 月 30 日 H 氏が自宅に退院してからは、それぞれの事業所からサービス利用中の様子や家族の介護状況について MCS で情報を交換し共有する。訪問看護では、妻の負担を考慮し、できるだけ看護師 2 人での訪問を行っている。介護状況、排便の様子、膀胱瘻カテーテルの管理について MCS で情報交換することにより、共通認識ができ、危険の回避につながっている。

【考察】

MCS を開くと支援や介護の状況が分かり全員が同じ情報を共有できるため連携しやすい点がある。役割や立場が違って、利用者、家族が安心して療養生活を送るという目標は同じであるため、在宅では、医療、介護という枠を外し、一つのチームで利用者や家族をサポートしていく体制が必要だと考える。

【おわりに】

多職種で連携していく中で、訪問看護師の役割を踏まえ、在宅医療・介護をチームで支援していく体制を強化していきたいと考える。

公立藤岡総合病院における周術期等口腔機能管理の現状と介入効果について

歯科口腔外科 高山 優

【はじめに】

周術期等口腔機能管理の重要性や効果が認識され、現在、多くの施設で実施されている。歯科口腔外科は既存の診療科に加え2018年4月に新設され、当院では周術期等口腔機能管理を7月から本稼働させた。今回、2018年度の周術期等口腔機能管理の現状と課題、介入効果について検討したので報告する。

【対象および方法】

現状については、2018年4月から2019年3月まで（2018年度）に周術期等口腔機能管理目的に当科を受診した患者を対象として調査した。調査項目は周術期等口腔機能管理件数、性別、年齢、紹介科別件数、当科での治療内容とした。

介入効果は、手術症例の肺癌および消化器癌で調査した。肺癌については、検討症例数の関係から対象を周術期口腔機能管理介入前の2017年4月～2018年3月まで（2017年度）に肺癌の手術を行った患者（非介入群）、周術期口腔機能管理介入後の2018年度に当科に周術期等口腔機能管理の依頼があり肺癌の手術を行った患者（介入群）として検討した。消化器癌については、2018年度に当科に周術期等口腔機能管理の依頼があり手術を行った患者を介入群、当科の介入がなかった患者を非介入群とした。対象患者において、術後呼吸器合併症有無、手術部位感染有無、術後発熱有無と持続日数、術後在院日数等について統計学的に検討した。

【結果】

周術期等口腔機能管理の2018年度の依頼総件数は171名、本格稼働した7月から増加傾向であった。依頼別件数は、外科120名(70%)と最も多く、次いで血液内科が35名(20%)であった。歯周治療(除石等)、粘膜ケアは全例で行っており、治療で最も多いのは挿管時脱臼予防目的のマウスピース作製であった。手術療法に伴う依頼は外科が91%(115名)と最も多く、化学療法、放射線治療に伴う依頼は、血液内科が80%(35名)と最も多かった。

介入効果の検討では次のような結果であった。

術後在院日数は肺癌では、術後在院日数が非介入群約13.2日、介入群約9.6日と介入群が有意に減少していた($P<0.05$)。消化器癌では全ての項目で有意差が認められなかったため、消化器癌の6割を占める大腸癌で再検討した。その結果、術後在院日数は非介入群約18.7日、介入群約16.3日と介入群で短い傾向でしたが有意差は認められなかった、しかし、術後発熱有無は非介入群30例、介入群4例と介入群が有意に少なかった($P<0.05$)。

【考察】

肺癌では術後在院日数が減少、消化器癌の大腸癌においては術後発熱発症が減少しており、周術期等口腔機能管理の有用性が示唆された。

周術期等口腔機能管理の依頼科は偏りがあるため、周術期等口腔機能管理の意義を院内に周知すると共に連携を高め、さら紹介率を上げるためのシステム構築をする必要があると思われる。今後も周術期等口腔機能管理および介入効果の調査を継続し、周術期等口腔機能管理を意義のあるものとして行きたい。

※順番：発表順

6. 看護部院内研修

新人看護職員集合研修

集合教育（基本看護技術）

目的：日常生活援助のための基本的な技術・態度を身につけ、ベツトサイドケアが安全・確実にできる。

日 時	内 容	受講者	講 師
2019年4月1日 ～5月7日	<p>看護部の理念について、看護者の倫理綱領 目標と習得すべき知識・技術、ラダー、 メンタルヘルズ</p> <p>医療安全(患者誤認防止・針刺し防止・転 倒転落予防対策)、感染防止対策</p> <p>電子カルテの操作 I (ログイン・検査・看護記録)</p> <p>認知症患者の看護、目標管理について</p> <p>安全・安楽な体位、体位変換、移乗 スキング、排泄援助・清潔援助・シーツ交換</p> <p>薬剤の管理、与薬の確認と実際</p> <p>静脈血採血、採尿、検体の取り扱い ほうれんそう（報連相）と枕詞</p> <p>夜勤業務の心構え、準夜勤のシャドゥイング</p> <p>血糖測定・インスリンの知識、フットケア</p> <p>静脈穿刺認定制度について</p> <p>接遇研修、給与明細の見方</p> <p>当院の接遇の基準について</p> <p>口腔ケアと食事介助・ポジショニング</p> <p>酸素器具の取り扱い、酸素療法、吸引</p> <p>注射・輸液：5 R、刺入・固定・輸液量 の計算、ME 機器の取り扱い</p> <p>心電図モニターの付け方・見方</p> <p>重症度・医療・看護必要度、看護記録記 載基準について</p> <p>病棟オリエンテーション</p> <p>新人看護職員とプリセプター顔合わせ</p> <p>環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・ 体位変換の見学（メンバー・シャドゥイング）</p> <p>環境整備・清拭・寝衣交換・陰部洗浄・ 体位変換の実際</p> <p>病棟の日勤帯業務（見学・一部実施）</p> <p>基礎看護技術 1 か月評価</p> <p>研修の振り返り、集合研修修了式</p>	16名	<p>研修責任者 原澤優子</p> <p>接遇：湯浅春代 (株)メリト</p> <p>各担当部署 各院内講師</p>

基礎 I 研修

集合研修

目的：1) 安全対策ができ、ベットサイドケアが安全・迅速・確実にできる。

2) リアリティショックを防止できる

日 時	研修内容	受講者 講 師
5月10日	急変対応コース	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士、岸安宏、 山口慎也、PT 石川雄太
5月17日	フィジカルアセスメント呼吸系①	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 伊藤光志
5月18日	1日研修（研修管理センター主催）	16名 おにし野外活動センター 石川裕光
5月30日	輸血の準備・輸血中と輸血後の観察	16名 主任看護師 栗原愛子
6月18日	フィジカルアセスメント呼吸系②	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 伊藤光志
6月28日	基礎 I 研修 3 カ月評価	16名 主任看護師 飯塚寛子 岸めぐみ
7月12日	火災避難について	16名 専従リスクマネージャー 齊藤康行
7月24日	フィジカルアセスメント循環系	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭
9月17日	フィジカルアセスメント中枢神経系①	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
10月11日	フィジカルアセスメント中枢神経系②	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
10月16日	エンゼルケアについて	16名 がん看護専門看護師 森崎裕美
11月1日	基礎 I 研修 3 カ月評価	16名 副看護師長 原澤優子
11月1日	多重課題	16名 副看護師長 原澤優子
12月13日	フィジカルアセスメント中枢神経系③	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
12月9日～16日	フォローアップ研修（救急センター）	16名 部署担当者
1月6日～14日	フォローアップ研修（中央手術室）	16名 部署担当者
1月24日	人工呼吸器装着中の患者の看護	16名 集中ケア認定看護師 高橋圭
3月27日	基礎 I 看護研修修了式	16名 基礎 I 担当

基礎Ⅱ研修

目的：1) 看護実践能力を高める。

2) プリセプターシップを理解することができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
10月29日	がん看護①（化学療法含む）	13名	がん化学療法看護認定 看護師 塩野智則
11月21日	がん看護②（緩和ケア）	12名	緩和ケア認定看護師 菅原恵里子
1月31日	メンバーシップとチーム医療	12名	副看護師長 久保愛

基礎Ⅲ研修

目的：1) リーダーとしての役割を果たし、日々の業務が遂行できる。

2) 看護研究を通して、自己の看護観を発展させる。

月 日	内 容	受講者	講 師
6月25日	看護研究Ⅰ	14名	群馬医療福祉大学 教授 酒井美子
10月1日	看護研究Ⅱ	12名	副看護部長 足利章江 看護師長 木部和枝 古池きよみ
2月25日	看護研究発表会	12名	群馬医療福祉大学 教授 酒井美子

基礎Ⅳ研修

目的：高度な看護活動が実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
11月11日	リーダーシップ研修	7名	副看護師長 設楽理枝
2月28日	がん性疼痛	7名	がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子

管理者研修

目的：管理者としてスタッフや他職種をマネジメントし、より良い看護が提供できる環境調整ができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
9月28日	患者・スタッフ・多職種連携に効果的な 対人関係技法	31名	高崎健康福祉大学 看護学科長 池田優子
12月14日	人材マネジメントがうまくいくコツ		

プリセプター支援研修

目的：プリセプターシップを円滑に継続するための、フォローアップの機会とする。

月 日	内 容	受講者	講 師
5月27日	プリセプター研修	17名	看護師 富岡幸之 萩原仁美・阿部遥香
1月30日	プリセプター研修	17名	看護師 富岡幸之 萩原仁美・阿部遥香

専門コース研修

目的：緩和ケア・認知症看護についての見識を深めることができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
1月14日	「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」 ・基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割と実践能力 ・患者の意思決定支援 ・苦痛緩和 ・専門家への橋渡し、連携	11名	がん専門看護師 森崎裕美 緩和ケア認定看護師 古池きよみ がん性疼痛認定看護師 恩田千栄子
1月21日			
2月4日			
2月21日			
3月3日			
3月27日			
12月16日	認知症の理解①	22名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之 清水仁美
12月20日	入院に伴うせん妄について		
1月27日	認知症の理解②		
2月3日	身体抑制解除に向けて		
2月10日	作業回想法の紹介と実践		
2月17日	せん妄ケアについて		

認知症ケア研修

目的：認知症についての行動・心理症状等を理解し、対応にいかすことができる。

月 日	内 容	受講者	講 師
8月6日	せん妄ケアについて	156名	認知症看護認定看護師 清水仁美
8月8日			
1月21日	認知症ケア研修	233名	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之・清水仁美
1月29日			

看護師集合研修

目的：看護職として、最善の看護ケアを提供するために必要な看護実践能力の向上を図る。

月 日	内 容	受講者	講 師
7月5日 7月16日 7月29日	褥瘡対策・DESIGN-R	221名	皮膚・排泄ケア認定看護師 野口真澄
5月7・8・22日 12月20・23日 1月6・7日	重症度、医療・看護必要度研修	470名	看護師長 千木良直子 副看護師長部会
9月18日 10月2・9・26日 11月27日 12月13日	静脈穿刺院内認定制度 第1回～第6回	230名	副看護師長担当者

看護補助者研修

目的：看護補助者として、役割と業務を理解できる。

月 日	内 容	受講者	講 師
6月14日 6月17日	高齢者の視野を捉えたケア	20人	認知症看護認定看護師 黒澤千恵子 富岡幸之、清水仁美
10月9日 10月21日	体位変換	21名	理学療法士 片山弘太、塚田健人
11月20日 11月26日	看護補助者業務必須研修 (医療制度、病院機能、組織の理解、 医療チーム、医療安全、感染対策 口腔ケア、日常生活に関わる業務)	20名	担当看護師長 専従リスクマネージャー 感染管理認定看護師 担当副看護師長 摂食嚥下障害看護認 定看護師
2月12日 2月19日	BLS 研修	21名	集中ケア認定看護師 高橋圭 看護師 鈴木鷹士
3月2日	新入職看護補助者業務必須研修	1名	担当看護師長 専従リスクマネージャー 感染管理認定看護師

7. 認定看護師の活動記録

がん化学療法看護認定看護師

塩野 智則

【実践】

外来化学療法室において、外来担当薬剤師と協同し、患者およびその家族に対して抗がん薬治療に伴う有害事象に対するの情報提供と医師に有害事象に対する処方提案を行い安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。院外活動として、第34回がん看護学会学術集会で演題名「治療期における早期緩和ケアとがん化学療法看護の関わり～自らの体験を市民向け講演会で語るA氏への質問を通し考察する」を示説発表した。

【教育・指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2019年	院内認定静脈注射看護師教育	7：抗がん剤	
2019年8月19日	北4階病棟	がん化学療法看護とは	9名
2019年9月3日	北6階病棟 2年目看護師	安全・確実・安楽にがん化学療法を実践するには：肺がんに対する化学療法	2名
2019年10月29日	基礎Ⅱ研修	がん看護の基礎と化学療法	12名
2019年11月21日	群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科2年	終末期のがん治療に伴う看護 「化学療法を受ける対象への看護」	90名

【相談】

外来化学療法室に通院中の患者やその家族を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者や家族の生活の質を高める援助を行った。また、外来各診療科看護師や各病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2019年6月29日	第26回オンコロジーセミナー	東京 大崎ブライトコアホール
2019年7月18日～20日	日本臨床腫瘍学会	国立京都国際会館
2019年10月27日	がん患者の外見ケア（アピアランスケア）に関する教育研修：応用編	国立がん研究センター中央病院
2020年2月22日・23日	日本がん看護学会	東京国際フォーラム

【実践】

所属病棟・緩和ケア登録患者に対して、疼痛・身体的苦痛、不安などを主治医に報告し、薬の調整を提案している。また、オピオイドの内服患者に、薬の効果や副作用、レスキュー薬を使用するタイミングについて薬剤師と協力しながら、セルフコントロールできるようにしている。在宅介護や転院において、患者の意思決定を支援できるように、緩和ケアチームやMSWと連携を取っている。

毎週木曜日には、緩和ケアセンターにおいて、緩和ケア登録患者のラウンドや医師の痛み止めの調節、来院や電話の相談に対応している。

緩和ケアチームカンファレンスや藤岡緩和ケア研究会・市民講座に参加し、疼痛や症状の緩和について、がん性疼痛認定看護師としての視点から意見を述べている。

*がん看護指導料 イ・ロの算定をおこなっている。

【教育・指導】

所属病棟では、オピオイドについて、スイッチングのタイミング・換算方法、がん患者との関わり方に関する勉強会（3回）や個別指導をおこない、統一した看護が提供できるようにしている。また、他病棟からの依頼により、オピオイドについての勉強会を行った。（3回）

院内では、がん性疼痛認定看護師として、「基礎IV研修」「緩和ケア教育」として希望者を対象にプログラムに沿って教育をおこなった。院外では、群馬医療福祉大学、看護学部看護学科2年生に、「身体的ケア」の講義をおこなった。藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会にて、看護師の立場からの講演をおこなった。藤岡緩和ケア研究会・市民講座で講演を2回おこなった。

【相談】

所属病棟、他部署よりのレスキュー薬の使用のタイミング、持続皮下注針の挿入方法、小型シリンジポンプの操作、疼痛・身体的苦痛に対する相談に随時対応している。所属病棟においては、精神的苦痛の患者への関わり方の相談が多い。

【自己研鑽】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2019年5月28日	第17回 藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	公立藤岡総合病院 大会議室
2019年6月21・22日	第24回 日本緩和医療学会学術大会	パシフィコ横浜
2019年11月3・4日	第43回 日本死の臨床研究会年次大会	神戸国際会議場・展示場
2019年11月15日	第26回 がん看護公開講座	国立がん研究センター築地キャンパス
2019年11月24日	第18回 がん性疼痛看護研究会	東京女子医科大学病院 大会議室
2019年4月～ 2020年3月	緩和ケア研究会2回）2回・WEBセミナー 4回	院内（大会議室・中会議室）

緩和ケア認定看護師

古池 きよみ

【実践】

緩和ケアチームラウンドや毎週木曜日 17 時 30 分から緩和ケアチームカンファレンスを開催し、症例検討や、チーム介入患者・家族の情報を多職種で共有しながら質の高いチーム医療の提供に努めた。また、院内外の医療者を対象とした研修会等の企画・運営に携わり年 5 回開催した。

緩和ケアセンターの充実を目指し、緩和ケア病床を活用した在宅支援を強化し、システムの見直しや改善に取り組んだ。また、新たにグリーフケアの取り組みを開始した。

※緩和ケアチーム新規依頼件数 341 件/年

がん患者指導管理料イ、ロ算定 緩和ケア診療加算算定 (7 月まで)

※乳がん患者「なごみの会」毎月第二火曜日がんサロンにて 年間 10 回開催 延べ参加人数 78 名

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	対象者
2019 年 11 月	本庄児玉看護専門学校 2 年	「終末期患者の看護」6 回	29 名
2019 年 11 月 7 日	群馬医療福祉大学 2 年	緩和ケア	90 名
2020 年 1 月～3 月	院内看護師 5 年目以上	緩和ケア教育 プログラム 6 回	10 名

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、適切な情報提供をおこなうことで、納得した意思決定ができるよう支援を行なった。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携を行なった。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の病院スタッフからの緩和ケアに関する相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2019 年 5 月 25 日	第 15 回群馬がん看護フォーラム	県立県民健康科学大学
2019 年 6 月 21 日・22 日	第 24 回日本緩和医療学会	パシフィコ横浜他
2019 年 10 月 24 日～26 日	第 57 回日本癌治療学会	福岡国際展示場他

【実践】

緩和ケア病床開設から約1年半が経過した。病床における専門的緩和ケアの質の向上及び看護スタッフのケアに対する困難感の低減を目指すための業務改善として、緩和ケア病床運営について見直しを行った。内容として、2019年3月から試験的に日勤のみで緩和ケア患者専任受け持ち制を導入。実践に携わる病棟看護スタッフの意見を基に、緩和ケアセンタースタッフとも検討を重ね、6月から正式に導入した。協働する緩和ケアセンターとの連携がよりスムーズとなったことで、患者・家族ケアの充実に繋がっている。また、外科急性期病棟において積極的治療期から症状緩和のための入院など、様々なステージで全人的苦痛を抱える患者とその家族を対象とし、治療における意思決定や今後の療養生活についての相談を受け、がん患者指導管理料イを4件、ロを4件それぞれ算定した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月～2020年3月	北5階病棟看護師	緩和ケア勉強会（計10回）	
2019年8月～10月	藤岡准看護学校	患者の心理（計9回）	
2019年11月21日	基礎Ⅱ	がん看護について	
2020年2月21日	多野藤岡地域の医療・福祉関係職者	第25回 藤岡緩和ケア研究会 『現場で役立つ！看取りケアのエビデンス』	

【相談】

北5階病棟看護スタッフ及び緩和ケアセンタースタッフと共に、対応に難渋した事例についてケースカンファレンスを行い、臨床における倫理的課題の検証や家族対応についてディスカッションするとともに、今後の対応について検討した。また、病棟看護師に対する個別のコンサルテーションについても随時相談を受け、緩和ケアに対する困難感を抱える看護スタッフに対しグリーフケアを実践するとともに、コンサルティの専門的機能の向上に努めた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2019年6月21日・22日	第24回 日本緩和医療学会学術大会～緩和ケアのArt & Science	パシフィコ横浜
2019年9月11日	緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	埼玉県立大学
2019年11月3日・4日	日本死の臨床研究年次大会	神戸国際展示場・会議場
2020年2月8日	スピリチュアル研究会フォローアップ研修	済生会前橋病院

群馬県緩和ケアに関する認定看護師会

2019年7月12日 近況報告、事例検討 済生会前橋病院

2019年9月20日 近況報告、事例検討 *当院開催

2020年1月17日 安楽死について 講演：伊勢崎市民病院 緩和ケア廣野医師

【実践】

前年度より、気管挿管患者に対し鎮痛薬の投与を医師に提案し、「痛み」の管理を開始した。十分な「痛み」の管理に伴い、鎮静薬の減量を行い浅鎮静とし、早期リハビリテーションの介入やせん妄予防、身体抑制の解除による人工呼吸器からの早期離脱、二次的合併症の予防のための実戦を行った。「痛み」の管理により、鎮静薬の減量・中止と覚醒状態が維持でき、早期リハビリテーションの介入や人工呼吸器からの離脱に繋がられた。しかし、チューブ・ドレーン類の計画外抜管の発生やコミュニケーション方法や覚醒時の過ごし方、日中と夜間に生活リズムの獲得などに対する課題があげられ、今後は覚醒時のケアの質の向上を図る取り組みが必要である。

体温管理療法のガイドラインが変更となり、当院での低体温療法のプロトコルの修正を医師に提案し、体温管理療法の目標体温と体温管理期間、復温・平温期間の変更を行った。

生命の危機的状態にある患者の家族に対し、家族の言動や反応からニーズを捉え、ニーズの充足のためのケアを実践した。スタッフが意図的に家族と関わりを持てるよう、実戦の中で指導を行い、スタッフとフィードバックを行い、家族ケアの充足を図った。

【教育・指導】

アセスメント能力の向上や人工呼吸器装着患者の看護、ポジショニングにおける酸素可の維持・改善、ポジショニングのなど、実践での教育・指導を中心に行った。

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月～11月	新入職看護・リハビリ職員	フィジカルアセスメントコース：全7回	21名
2019年5月10日	新入職看護・リハビリ職員	急変対応コース	19名
2019年6月29日	群馬県内看護師	看護実践におけるアセスメント能力 臨床推論	40名
2019年10月2日	摂食・嚥下認定看護師教育課程	リスクマネジメント論 呼吸理学療法	30名
2019年12月14日	群馬県内看護師	看護実践におけるアセスメント能力 せん妄ケア	30名
2020年1月24日	新入職看護職員	人工呼吸器装着中の患者の看護	16名
2020年2月12日	看護補助者	一次救命処置（BLS）全2回	20名

【相談】

・南3階（HCU）のスタッフや理学療法士から、重症患者のアセスメントやポジショニングについての相談が多く、実戦や事例を通じ、対象の学習促進や実戦能力の向上につながるよう関わりを持った。

・血管造影室のスタッフから、新人指導マニュアルやチェックリストの作成、物品管理方法についての相談を受け、スタッフと協働し作成・導入・修正を行っている。

【自己啓発活動】

2019年11月16日	第12回群馬県クリティカルケア研究会	サンピア高崎
-------------	--------------------	--------

摂食・嚥下障害看護認定看護師

富山 麻裕子

【実践】

栄養サポートチーム専従看護師として、入院患者の栄養評価や栄養プランの検討を行った。早期より多職種と栄養サポートチームが協働して栄養管理を行い、質の高いチーム医療の提供に努めた。また、周術期等口腔管理がよりスムーズに行えるように、システムの見直しや院内外の関係機関との調整を深めていった。(栄養サポートチーム加算件数 793 件/年、嚥下評価件数 494 件/年)

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者数
2019年4月10日	看護部新入職者	口腔ケアと食事介助・ポジショニング	16名
2019年7月24日	群馬県看護協会会員	動画で学ぶ明日から役立つ摂食嚥下の基礎知識	103名
2019年9月20日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 認知症看護について	26名
2019年10月3・8日	群馬パース大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 家族指導・家族支援について	26名
2019年10月31日～ 12月5日	群馬パース大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程臨地実習	2名
2019年11月20・26日	看護助手	看護助手者研修 食事介助と口腔ケア	20名
2019年11月22日	群馬県看護協会会員	ケースで学ぶ摂食嚥下障害の看護	56名
2020年1月24日	群馬医療福祉大学 3年生	高齢者看護援助論 ～高齢者における摂食嚥下障害の援助について～	90名
2020年1月24日	鬼石病院職員	摂食嚥下と口腔ケアのポイント	46名

【相談】

嚥下障害がある患者の食形態選択や栄養管理について相談があった。食事介助の実践を通して、病棟看護師が嚥下スクリーニング評価や食事介助方法を検討出来る様に援助した。また、排便コントロールや経腸栄養・静脈栄養の検討を看護師と一緒に行うことで、病棟看護師が自ら、嚥下・腹部評価をし、経口摂取確立へ繋げられた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2019年7月27・28日	PEG サミット in 伊香保	群馬県伊香保
2020年2月9日	群馬県歯科医師会・日本老年歯医学会群馬支部 シンポジウム講演会	群馬県歯科医師会館

透析看護認定看護師

櫻井 あかり

【実践】

主に人工透析室で血液透析看護に関っている。今年度は腹膜透析患者の対応、腎代替療法の選択相談も大幅に増加した。患者様が受ける治療内容の工夫や合併症予防、日常生活指導、不安の軽減などに関わり、患者様がその人らしい生活を送りながら透析療法を取り入れ、継続できるよう支援した。透析室におけるフットケアも合併症予防として重点を置いて継続的に介入し、全ての患者様の下肢を医師と協働しながら毎月観察できるよう予定管理した。

一般市民へ向けては、「健康フェスタ in まえばし」の腎臓病に関するブースで相談対応として参加、当院の「糖尿病教室」でフットケアについての講演を行った。

年度末は COVID-19 に関連した感染症予防について、患者個々への指導に注力した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月11日	新入職看護職員	血糖測定、インスリン注射 フットケア 講義	23名
2019年6月18日 他6回	人工透析室 看護師	透析療法と観察点、血圧低下時の注意 と対応、療法選択の実際、透析見合わせ、 フットケアなど	各回3~5名
2019年7月8日	群馬医療福祉大学 看護学部 学生	腎不全看護 講義	約80人

【相談】

日々の業務の中では人工透析室のスタッフより透析条件や患者対応についての相談を受けている。入院病棟からは長期留置カテーテルの取り扱いについての相談、腹膜透析使用物品の相談を受け対応した。入院患者のフットケア依頼については1年間に18件の相談を受け対応し、ケアの実施や指導、他科受診への助言を行った。

【自己啓発活動】

実施日	内容	会場
2019年4月13・14日	日本腎不全看護学会「治療選択特別研修」	東京都品川
2019年5月15日	関東甲信越 透析看護認定看護師会	東京都銀座
2019年6月28日	日本透析医学会 学術集会	神奈川県横浜
2019年7月27日	下北沢足病ゼミナール	東京都下北沢
2019年8月1日	腎不全 SDM セミナー「腎代替療法を考える」	前橋市

乳がん看護認定看護師

平田 恵美

【実践】

所属病棟では、乳がん術後の下着や退院後の生活指導、腋窩リンパ節郭清した患者へのリンパ浮腫予防の看護を行った。緩和ケアセンター兼任により、外来通院患者への支援も広く行えるようになり、病名や再発・転移告知時の診察に同席し、告知後の精神的なケアや治療選択について看護支援を行った。乳がん患者家族へ自壊創部のケアや在宅に向けた支援を行った。アピアランスケア相談会を企画し、2019年度は3回開催することが出来た。また、緩和ケアチーム介入患者の症状コントロールや在宅に向けた支援を主治医や緩和ケアチームと連携し、実践した。

【教育・指導】

実施日	対象・内容	参加者
2019年5月25日	第15回群馬がん看護フォーラム「当院の高齢乳がん患者の現状と看護上の課題」	約100名
2019年5月28日	藤岡がん薬薬連携定例会「乳がん看護認定看護師活動」	20人
2019年10月4日	院内学会「当院の高齢乳がん患者の現状と看護上の課題」	50人
2019年11～12月	藤岡准看護学校講師 成人看護（外科）	20人
2020年2月12日	経営管理部勉強会「自己検診について」	30人
2020年1月10日	院内認定静脈注射看護師教育体制研修「CVポート」	院内看護師

【相談】

病棟スタッフから手術後の下着の説明方法等の相談に応じた。リハビリと連携し術後のリンパ浮腫ケアの連携、相談をおこなった。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2019年7月24日	遺伝子パネル	前橋マーキュリー
2019年8月31日	リンパ浮腫看護	群馬ロイヤルホテル
2019年9月20日	がん治療と妊娠	前橋マーキュリー
2019年10月27日	アピアランス研修会2019 応用編	聖路加国際病院

認知症看護認定看護師

黒澤 千恵子

【実践】

脳外科整形外科病棟は65歳以上の高齢者が多く、急な環境の変化で混乱を招きやすい。そのため、早期からせん妄や行動・心理症状の予防、身体抑制を最小限にする環境づくりを実践し、抑制解除に向けたカンファレンスの充実を図った。認知症者とその家族にとって何が最善かを考え、その人らしさを尊重した認知症ケアの提供を病棟看護師と共に検討し実践した。院内研修では、身体抑制を第一選択としない看護が実践できるように認知症者の倫理面を考慮した研修会を行った。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月8日	新人看護師	認知症患者の看護 身体抑制体験	17名
2019年6月14・17日	看護助手	高齢者の視野を捉えたケア	19名
2019年9月27日	離床チームメンバー	認知症とせん妄	7名
2019年7月～8月	看護師	せん妄ケア 全3回	295名
2019年10月7日～ 11月1日	高崎健康福祉大学認知症看護認定看護師教育課程4期生	実習指導	2名
2019年11月6日, 12月5日 2020年1月21・29日	看護管理者 看護師	身体拘束解除に向けて 全4回	233名
2019年12月16・20日 2020年1月15・29日 2月3・16日	看護師受講希望者	認知症看護 四大疾患・非薬物療法 薬物療法 (Dr 若林) 回想法 (OT 堀越) 全6回	22名
2019年4月～ 2020年3月	南5階病棟看護師	認知症ケア加算・身体抑制解除に向けたカンファレンス・非薬物療法	26名
2019年4月～ 2020年3月	南5階基礎Ⅲ看護研究者	経鼻胃チューブ挿入中患者の抑制を最小限にする環境づくり	1名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症者の困難事例の相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2019年6月22日, 9月21日,11月16日, 12月14日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター研修会 身体拘束を第一選択としない看護の実践 全4回	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター
2019年5月25・26日	第20回日本認知症ケア学会	京都国際会館
2019年5月14日, 7月20日,9月7日, 11月16日	群馬県認知症看護認定看護師会 クレインの会 事例検討会	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター

2019年7月20日, 11月16日	高崎健康福祉大学 倫理の会 事例検討会	高崎健康福祉大学 看護実践開発センター
2019年11月10日 2020年1月26日	2020年診療報酬改定を見据えた看護必要度研修 全2回	大手町サンケイプラザビル 大崎プライトコアホール
2019年2月14日	群馬県認知症疾患医療センター合同連携協議会	藤岡市みかぼみらい館

認知症看護認定看護師

清水 仁美

【実践】

HCU入院による環境の変化や全身症状悪化で、せん妄を発症された患者や認知症からくる行動・心理症状の悪化予防の看護を行った。急性期病棟では、せん妄の原因をフィジカルアセスメントする必要があり、他部門の認定看護師と相談しながら日々看護を行っている。また、身体抑制件数を減少するためにライノ類の固定の工夫をスタッフと共に考え実践した。院内では、認知症対応力向上の為、身体抑制解除に向けた内容や、院内認知症認定看護師育成全6回コースの研修会を実施した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月8日	看護師：新入職者	認知症ケアについて	17人
2019年6月14・17日	看護助手	高齢者（認知症者）とのコミュニケーションの取り方の工夫	19人
2019年7月8日～15日	南3階スタッフ	高齢者の視点を捉えたケア	27人
2019年7月24日 8月6・8日	全看護師	せん妄ケアについて	計295人
2019年10月7日～11月1日	認知症看護認定看護師 教育課程4回生	臨地実習	2人
2019年11月6日, 12月5日 2020年1月21・29日	全看護師	身体抑制解除に向けて～抑制3原則への視点～	計233人
2019年12月～ 2020年2月	受講希望者	認知症看護 全6回コース	22人

【相談】

せん妄やケアの介入に困難な事例に対し相談対応を行っている。また、他2名の同分野の認定看護師と相談しながらより良い方法を模索し対応している。しかし、リアルタイムに対応できない現状はあるが、今後も早期に相談して頂ける様病棟間の関わりを行っていく。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2019年4月26日	認知症看護認定看護師 2回生フォローアップ研修	高崎健康福祉大 看護実践開発センター
2019年5月25・26日	第20回日本認知症ケア学会	国立京都国際会館
2019年6月19日	認知症キャラバンメイト研修	群馬県庁
2019年6月22日 9月21日、12月14日	身体拘束を第一選択としないための 職場環境づくり 【計3回】	高崎健康福祉大 看護実践開発センター
2019年7月16日	多野地区かかりつけ医認知症対応力 向上フォローアップ研修会	藤岡多野医師会館
2019年10月17日	認定看護師キャリアアップ研修会	東京ビックサイト

2019年11月19日	多野地区かかりつけ医認知症対応力 向上フォローアップ研修会	藤岡多野医師会館
2019年11月27日	認知症看護認定看護師教育過程 ケース発表会	高崎健康福祉大 看護実践開発センター
2019年11月30日	市民公開講座 第8回藤岡多野地区もの忘れフォーラム	藤岡多野医師会館

認知症看護認定看護師

富岡幸之

【実践】

所属病棟においては、2018年度から実施している身体抑制解除に向けたカンファレンス内容を見直し、2019年9月、身体抑制の弊害と倫理的視点を踏まえた上で「切迫性、非代替性、一時性」に沿う慎重な議論を周知した。2019年7月～2020年3月、カンファレンス実施件数82件、一時的解除を含む抑制解除件数43件。パワセンタドケに着目し、認知症者の行動背景に潜む心理的ニーズを考え、職員の思考の転換と記録の充実を図ってきた。上記内容は院内研修でも行い、当病棟の抑制解除事例を交え発表した。また、新人研修、所属病棟で抑制体験により認知症者の気持ちに寄り添うよう努め、認知症ケア研修全6回コースでは、多職種の講義を交えメンバーの育成に力を注いだ。認知症ケア加算は1回/週のチェックで加算漏れを防止し、定期的な学習会や意見交換を交えながら、認知症ケア向上に向け取り組んでいる。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加数
2019年4月8日	新人看護師	認知症患者の看護 身体抑制について	17名
2019年6月14日・17日	看護助手	高齢者の視界を捉えたケア	19名
2019年7月24日・8月6日・8日	看護師・リハビリ・薬剤師	せん妄ケア	295名
2019年10月7日～11月1日	高崎健康福祉大学認知症看護認定看護師履修生:4期生	認定看護師教育課程 臨地実習指導	2名
2019年11月6日, 12月5日 2020年1月21日・29日, 2月3日	師長・副師長会, シリーズ研修受講者, 院内全看護職員	身体抑制解除に向けて～抑制3原則への視点～	233名
2019年12月～2020年1月	各病棟2名 希望者	認知症ケアシリーズ研修 全6回コース	22名
2019年4月～2020年3月	南7階病棟 日勤看護師	認知症アセスメント・異食, 事例レクチャー, 身体抑制解除に向けたカンファレンス, 認知症自立度判定, BPSD 予防・環境検討 等	日勤者

【相談】

医師や自他部署看護師からの依頼を受け、認知症困難事例への介入や相談に適宜応じた

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2019年4月19日	認知症診療の明日を考える会	群馬ロイヤルホテル
2019年5月25日・26日	第20回日本認知症ケア学会大会	国立京都国際会館
2019年4月26日, 5月14日	高崎健康福祉大学 認定看護師2期生フォローアップ研修	高崎健康福祉大学
2019年5月14日, 7月20日, 9月7日	群馬県認知症看護認定看護師会 クレインの会: 事例検討	高崎健康福祉大学
2019年7月16日, 11月19日	かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修	藤岡多野医師会館
2019年6月22日, 9月21日, 11月16日, 12月14日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター研修会～身体拘束を第一選択としない看護の実践～(全4回コース出席)	高崎健康福祉大学

2019年9月30日～ 12月16日	老年看護学 講義(5回担当)	藤岡准看護学校
2019年10月17日	群馬県認知症疾患医療センター篠塚病院・ケア協 多野藤岡支部 第7回 事例検討会	みかぼみらい館
2019年11月27日	高崎健康福祉大学4期生 ケーススタディ発表会	高崎健康福祉大学
2020年1月19日	群馬県認知症専門医及び認知症サポート医フォローア ップ研修	群馬県庁
2020年2月13日	群馬県認知症疾患医療センター篠塚病院第10回ケア 研修会	みかぼみらい館

感染管理認定看護師

染谷 由香里

【実践】

2019年度に、MRSAの隔離基準を作成し、個室が有効利用できるよう検討した。

これまで保菌患者であっても個室隔離としてきたが、MRSAの暴露リスクに応じて多床室での対応を可能とし、個室希望者に個室が提供できるよう改善した。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、感染症指定病院として陽性患者受け入れ態勢の整備を行った。

【教育・指導】

専従感染管理認定看護師と共に院内の指導、教育に携わった。また、人材育成として感染管理認定看護師教育課程受験者および感染制御実践看護学講座受講者に向けての指導教育を行った。

2019年10月24日群馬県看護協会主催、「令和元年度准看護師スキルアップ研修」として他のICNと共に指導を行った。

【相談】

専従感染管理認定看護師不在時、相談に対応した。また、専従感染管理認定看護師から対応に困った場合相談があり、共に対策を検討し対応した。また、2月から感染拡大した新型コロナウイルスの対応に関する相談を受け、感染症病棟の整備や帰国者接触者外来の立ち上げ、入院患者の受け入れ等に関わった。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2019年5月24日・25日	第8回日本感染管理ネットワーク学術集会 「感染管理は基本から～立ち返ろう Basis、踏み出そう新たなStep～」	あわぎんホール (徳島県)
2019年5月8日 8月14日・10月9日・ 12月11日 2020年3月11日	群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会	前橋テルサ 群馬県医師会
2019年6月6日・7日	第94回日本結核病学会総会	iichiko 総合文化センター
2019年6月21日	群馬県感染症対策連絡協議会総会 特別講演会	ホテル1-2-3 前橋マキュー
2019年8月28日	第36回北関東病院感染対策懇話会	ベイシア文化ホール
2019年12月13日	群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	群馬ロイヤルホテル
2020年1月26日	日本医療マネジメント学会 第9回群馬県支部学術集会 座長	藤岡市みかぼみらい館
2020年1月29日	第37回北関東病院感染対策懇話会	ベイシア文化ホール
2020年2月14・15日	第35回日本環境感染学会・学術集会「わ」	パシフィコ横浜

感染管理認定看護師

千木良 悦子

【実践】

令和元年度は院内の研修活動として全職員に対しての研修及び他施設への研修を行った。看護部感染対策リンクナース部会では手指衛生サーベイランスを継続的にリンクナースが実施している患者1人当たりの消毒剤の使用回数病棟別で還元し、年間活動計画につながるように必要時助言を実施した。

ICTの院内ラウンドにおいては、週1回実施し、各部署の改善事項を依頼し、改善後確認を実施した。また問題点の抽出及び改善するための助言を行った。

院内で感染症が発生した場合は、疫学的調査を実施した。

ASTは、週1回のカンファレンスにて抗菌薬の使用状況を確認し、必要時は医師と連携を図った。

年3回開催された藤岡地域感染防止対策カンファレンス、地域連携加算相互評価への参加、地域における感染対策の充実に向けた活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症に関しては、保健福祉事務所との連携、診療に関する職員の対応の手順書の作成などを実施した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2019年4月1日	新入職者	公立藤岡総合病院における感染対策	35名
2019年4月3日	新入職者	シミュレーター研修	35名
2019年4月5日	新入職者（看護師、リハビリ）	病院感染防止対策	28名
2019年6月5日・10日・11日・14日・26日	全職員	医療安全・感染対策必須研修会	568名
2019年6月24日	医師	診療部会	61名
2019年7月22日	しらさぎの里（全職員）	疥癬	29名
2019年7月25日	委託業者（栄久）	疥癬	5名
2019年8月28日	リハビリ	結核	40名
2019年9月12日・13日	委託業者（栄養室・日清食品）	手指衛生について	17名
2019年9月20日	群馬医療福祉大学	病院における感染管理	48名
2019年9月27日	委託業者（東朋産業）	標準予防策と環境管理	24名
2019年9月25日・30日	全職員	感染防止対策	470名
2019年10月28日・29日	国民健康保険鬼石病院	疥癬	134名
2019年11月7日	しらさぎの里	標準予防策	24名

2019年12月7日	全職員	必須研修会：フォローアップ研修	53名
2020年1月27日	医師	診療部会	58名
2020年2月6日	藤岡准看護学校	病院における感染管理	22名
2020年2月27日	薬剤部	新型コロナウイルス感染症の対応 (個人防護具)	22名

【相談】

感染症患者及び保菌者の対応、院内の感染防止対策について院内 PHS で随時対応をしている。

医師からの抗菌薬の使用についての相談に関しては AST で対応をしている。

【自己啓発活動】

実施日	内容	場所
2019年8月14日、 2020年3月11日	群馬県感染症対策連絡協議会 I C N分科会	前橋テルサ 群馬メディカルセンター
2019年6月21日	群馬県感染症対策連絡協議会総会	ホテル1.2.3前橋マーキュリー
2019年8月28日、 2020年1月29日	北関東病院感染対策懇話会	ベイシア文化ホール
2019年9月7日	病院感染制御担当者育成講習会	東京
2019年12月11日	令和元年度新型インフルエンザ等医療提供 訓練	当院
2019年12月12日	令和元年度群馬県エイズ診療症例検討会	群馬県庁
2019年12月13日	群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	群馬ロイヤルホテル
2020年2月13日	日本環境感染学会学術集会	パシフィコ横浜
2020年2月25日	新型コロナウイルス感染症講演会	群馬ロイヤルホテル

【実践】

病棟・外来において、困難な問題を抱えている患者・家族に対し、看護実践を行った。特に疼痛や悪心・嘔吐といった身体的苦痛や精神的苦痛等に対する緩和ケアや家族ケアを積極的に行い、スタッフに対し実践モデルを示した。また、外来・入院それぞれへ移行する患者に重点を置き、継続した看護を行った。がん患者指導管理料イ 58 件、緩和ケアチーム 603 件、がん看護専門外来 166 件関わった。

【コンサルテーション】

病棟・外来看護師が解決困難と感じている問題(症状マネジメントや退院支援など)に対し、相談者が問題を解決できるよう関わった。

【調整】

病棟・外来において、問題を抱える患者・家族に対し、それぞれの思いを明確にし、希望ができるだけ叶うよう多職種間の調整を行いながら関わった。患者・家族が希望する療養の場(在宅・入院・転院など)へスムーズに移行できるよう、社会資源を活用し、地域連携を行った。

【倫理調整】

病棟・外来において、治療や療養の場の選択の意思決定の場面等、倫理的問題が生じている事例に対し、問題解決ができるよう患者-家族-多職種間の調整を行った。

【教育】

血液内科・泌尿器科病棟や外科病棟のカンファレンス等日々のスタッフとの関わりを通し、教育的に知識の提供や助言を行った。また、院内の緩和ケア研修を行った。院外では群馬医療福祉大学で緩和ケアのチーム医療について講義を行った。

【研究】

日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会において、『緩和ケア病床を活用した在宅支援；発表者：荒井頼道』の共同研究者として発表。

8. CPC

【第160回】 開催日：令和元年5月9日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
344	76歳 男性	血液内科 外山耕太郎	反町隼人 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：血管内大細胞型B細胞性リンパ腫 病理診断：多臓器不全

【第161回】 開催日：令和元年7月11日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
347	68歳 男性	循環器内科 金井杏奈	半田敬祐 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：急性心筋梗塞 病理診断：急性循環器不全

【第162回】 開催日：令和元年10月10日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
345	76歳 男性	血液内科 外山耕太郎	牛久保陸夫 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：悪性リンパ腫の疑い 病理診断：多臓器不全

【第163回】 開催日：令和元年12月12日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
348	89歳 女性	循環器内科 井上雅浩	青木友紀 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：慢性肺血栓塞栓症 病理診断：慢性肺血栓塞栓症
349	81歳 女性	循環器内科 小野洋平	河野慧 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：気管支肺炎 病理診断：気管支肺炎

【第164回】 開催日：令和2年1月9日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
350	87歳 男性	皮膚科 嶋岡正利	土橋里美 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：水痘性類天疱瘡 病理診断：気管支肺炎
351	81歳 女性	外科 内田真太郎	坂本康大 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：肝細胞癌 病理診断：気管支肺炎

【第165回】 開催日：令和2年2月13日（木） 大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
352	72歳 男性	血液内科 中山敬太	黒岩裕也 (研修医)/ 吉田孝友	臨床診断：骨髄異形成症候群 病理診断：敗血症
353	77歳 男性	血液内科 中山敬太	伊藤望 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：成人T細胞性白血病/リンパ腫 病理診断：多臓器不全

【第166回】 開催日：令和2年3月12日（木） 大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理診断
354	80歳 男性	循環器内科 小野洋平	儘田千尋 (研修医)/ 吉田孝友	臨床診断：急性心不全 病理診断：敗血症
355	61歳 女性	腎臓内科 松崎智子	石崎正徳 (研修医)/ 吉田孝友	臨床診断：成人スチール病 病理診断：出血死

9. 教育実習生・研修生受入実績

受入部署	学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
診療部	群馬大学医学部附属病院	11	220	5/13～7/5	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
		7	140	11/25～12/20	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
		16	300	1/6～3/27	群馬大学医学実習（臨床実習）	20日間/1人
	群馬大学医学部附属病院・群馬県	10	10	8/5	高校生のための医師職場体験セミナー	1日間/1人
		1	1	8/7	地域医療セミナー	1日間/1人
	小計	45	671			
看護部	藤岡准看護学校	25	1,169	5/9～11/15	成年・老年看護	42日間/1人
		25	161	5/9～11/8	外来看護	8日間/1人
		25	132	5/20～11/15	小児看護	8日間/1人
		25	125	5/9～11/1	母性看護	8日間/1人
		25	375	2/10～3/6	基礎看護実習	15日間/1人
	群馬医療福祉大学看護学科	24	72	9/20～9/25	看護基礎実習Ⅰ	3日間/1人
		24	72	9/20～9/28		3日間/1人
		33	231	11/25～12/6	基礎看護学実習Ⅱ	7日間/1人
		31	217	12/9～12/20		7日間/1人
		48	384	5/7～7/26	臨床看護学実習Ⅰ（成人慢性）	8日間/1人
		24	192	9/30～11/8		8日間/1人
		42	672	5/7～7/26	臨床看護学実習Ⅱ（成人急性）	16日間/1人
		24	384	9/30～11/8		16日間/1人
		42	210	7/29～8/9	施設・病棟統合実習	5日間/1人
		48	384	5/7～11/8	高齢者看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		54	270	5/7～11/8	小児看護学実習	5日間/1人
		54	432	5/7～11/8	母性看護学実習	8日間/1人
	上尾中央看護専門学校(通信)	2	4	8/13～8/14	小児看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	8/15～8/16	母性看護学実習Ⅱ	2日間/1人
		2	4	8/19～8/20	成人看護学実習	2日間/1人
		2	4	8/21～8/22	老年看護学実習	2日間/1人
	群馬パース大学 看護学科	2	112	7/22～10/18	助産実習	56日間/1人
		20	160	8/20～9/12	基礎看護実習Ⅱ	8日間/1人
	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	12	72	11/18～12/13	母性看護学実習	6日間/1人
		5	40	7/16～7/26	老年看護学実習	8日間/1人
	藤岡消防署	9	27	7/8～1/16	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
		2	40	6/3～1/31	救急救命士就業前研修	20日間/1人
	吉井消防署	2	6	7/10～1/23	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	奥多野消防分署	2	9	5/13～9/25	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	上野消防出張所	4	19	5/27～2/19	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	群馬県看護協会藤岡地区支部主催	20	20	7/23	ふれあい看護体験	1日間/1人
	高崎北高等学校	6	18	8/28～8/30	職場体験学習	3日間/1人
	吉井高等学校	4	12	11/6～11/8	職場体験学習	3日間/1人
	高崎市内中学校	4	16	5/27～5/30	やるベンチャー	4日間/1人
藤岡市内中学校	6	30	9/2～9/6	チャレンジウィーク	5日間/1人	
小計	679	6,079				

受入部署	学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
薬剤部	高崎健康福祉大学	3	162	11/25～2/14	薬剤業務全般	54日間/1人
	小計	3	162			
栄養室	高崎健康福祉大学	3	30	6/12～6/25	栄養管理・給食管理（管理栄養士コース）	10日間/1人
	東日本栄養医薬専門学校	1	6	7/23～7/30	給食管理・栄養管理業務（栄養士コース）	6日間/1人
	小計	4	36			
リハビリテーション室	前橋医療福祉専門学校	1	5	7/29～8/2	理学療法見学実習	5日間/1人
		1	34	5/20～7/4	作業療法総合実習	34日間/1人
		1	20	7/22～8/19	言語聴覚士実習	20日間/1人
	高崎健康福祉大学	1	33	8/19～10/4	理学療法総合実習	33日間/1人
		1	33	10/21～12/6		33日間/1人
		2	10	2/17～2/21	理学療法見学実習	5日間/1人
		1	14	2/25～3/13	理学療法評価実習	14日間/1人
		1	38	8/19～10/12	理学療法総合実習	38日間/1人
	群馬大学	1	13	2/17～3/5	理学療法評価実習	13日間/1人
		1	15	8/19～9/7	作業療法評価実習	15日間/1人
		1	13	2/10～2/28	理学療法評価実習	13日間/1人
		1	38	8/19～10/11	作業療法総合実習	14日間/1人
		2	78	7/1～8/23	理学療法総合実習	39日間/1人
	群馬医療福祉大学	2	40	12/2～12/27	理学療法評価実習	20日間/1人
		1	3	9/2～9/4	作業療法見学実習	3日間/1人
		1	36	9/9～11/1	作業療法総合実習	36日間/1人
		1	39	5/7～6/28	言語聴覚士実習	39日間/1人
	国際医療福祉大学	1	39	5/7～6/28	言語聴覚士実習	39日間/1人
	社会医学技術学院	1	39	6/10～8/2	理学療法総合実習	39日間/1人
	太田医療技術専門学校	1	40	9/9～11/8	理学療法総合実習	40日間/1人
		1	14	1/7～1/24	理学療法評価実習	14日間/1人
	小計	23	555			
	検査室	北里大学保健衛生専門学校	1	77	5/7～8/23	臨床検査技師養成コース
埼玉医科大学保健医療学部		1	49	5/7～7/12	臨床検査技師養成コース	49日間/1人
群馬パース大学		2	80	5/20～7/12	臨床検査技師養成コース	40日間/1人
小計		1	77			
医事情報課	高崎健康福祉大学	1	9	8/13～8/23	診療情報管理士業務	9日間/1人
		1	9	2/10～2/21		9日間/1人
	高崎商科大学短期大学部	1	5	8/26～8/30	インターンシップ	5日間/1人
	中央情報経理専門学校	1	5	1/20～1/24	医療事務	5日間/1人
	小計	4	28			
合計		759	7,608			

10. 医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間で初期臨床研修と位置づけ必修化した。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされた。

当院においては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受けた。また、平成27年4月1日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となった。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急部門			選択必修	選択必修	
2年次	地域医療	選択科目										

- ※ 内科Ⅰ：循環器・糖尿病 内科Ⅱ：呼吸器、血液 内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器
- ※ 救急は主として救急科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。
- ※ 選択必修科は外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうちから2科選択。
外科 2ヶ月、麻酔科 1ヶ月、小児科 2ヶ月、産婦人科 1ヶ月、精神科（サンピエール病院） 1ヶ月。
選択期間分を利用してさらに長期研修をすることも可能。
- ※ 地域医療は、緩和ケア診療所いっぽと藤岡市国民健康保険鬼石病院で行う。
- ※ 選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長3ヶ月とする。
協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院、老年病研究所附属病院
協力施設：藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ、藤岡保健所、介護老人保健施設しらさぎの里

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っている。

(3) プログラム責任者

役職：臨床研修統括部長 氏名：遠藤 究

(4) 臨床研修医受入れ状況

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 雅文	2	H16.10.1~H17.9.30(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
矢内 有紀	2	H17.4.1~H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
梅津 桃	2	H17.4.1~H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川 孝欽	1	H17.4.1~H18.3.31(1年)	群大		
逸見 大造		H17.4.1~H19.3.31(2年)	当院	◎	
長坂 江理	1	H17.4.1~H18.3.31(1年)	群大		
伴野 潤一	2	H18.4.1~H19.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
江原 佳史	1	H18.4.1~H19.3.31(1年)	群大		
中島 久仁子		H18.4.1~H20.3.31(2年)	当院	◎	
矢島 優		H18.4.1~H20.3.31(2年)	当院	◎	
越 浩美		H19.4.1~H21.3.31(2年)	当院	◎	
梅山 敦		H19.4.1~H21.3.31(2年)	当院	◎	
高橋 研吾		H19.4.1~H21.3.31(2年)	当院	◎	
重城 良国		H19.4.1~H21.3.31(2年)	当院	◎	
坂本 亮一郎	1	H19.4.1~H20.3.31(1年)	群大		
金澤 紗恵子	1	H19.4.1~H20.3.31(1年)	群大		
佐藤 成		H20.4.1~H22.3.31(2年)	当院	◎	
堀 瑞子		H20.4.1~H22.3.31(2年)	当院	◎	
廣江 孝	1	H20.4.1~H21.3.31(1年)	群大		
梅元 あずさ	2	H20.5.5~H21.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域保健
高橋 駿介		H21.4.1~H23.3.31(2年)	当院	◎	
塚越 律子		H21.4.1~H23.3.31(2年)	当院	◎	
富田 庸介		H21.4.1~H23.3.31(2年)	当院	◎	
竹村 仁男		H21.4.1~H23.3.31(2年)	当院	◎	
鈴山 耕平	1	H21.4.1~H22.3.31(1年)	群大		
諏訪 絢也	1	H21.4.1~H22.3.31(1年)	群大		
日下田 大輔	2	H21.6.1~H22.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
宮地 那実		H22.4.1~H24.3.31(2年)	当院	◎	
高見 尚平	2	H22.4.1~H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
中田 聡	2	H22.4.1~H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
藍原 和史	1	H23.4.1~H24.3.31(1年)	群大		
友松 佑介		H23.4.1~H25.3.31(2年)	当院	◎	
江原 玄		H23.4.1~H25.3.31(2年)	当院	◎	
木村 隼人		H23.4.1~H25.3.31(2年)	当院	◎	
萩原 慶		H23.4.1~H25.3.31(2年)	当院	◎	
岡庭 隼		H23.4.1~H25.3.31(2年)	当院	◎	
安藤 雅泰	2	H24.4.1~H25.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
齊藤 千真		H24.4.1~H26.3.31(2年)	当院	◎	
古川 正一郎		H24.4.1~H26.3.31(2年)	当院	◎	
小暮 正信		H24.4.1~H26.3.31(2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
青木 雅典		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大嶋 愛沙香	1	H24. 4. 1～H25. 3. 31 (1年)	群大		
山田 宏明	2	H25. 4. 1～H25. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地医・核医
荒木 祐樹	2	H25. 6. 1～H25. 3. 31 (9ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
寺内 祐理		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
根井 翼		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
佐々木 隆文		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高野 順子		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
土田 圭祐	1	H25. 4. 1～H26. 3. 31 (1年)	群大		
福田 周一	2	H26. 6. 1～H27. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川 真梨江	2	H26. 6. 1～H26. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
齋藤 水絵		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
村主 遼		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
得居 俊介		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
本吉谷真理子	1	H26. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
高木 瑛子		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金子 裕美		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金井 杏奈		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
山本 ひとみ		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
船引 亮輔		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
渡邊 嘉一		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 怜真		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
平形 絢子	2	H27. 5. 1～H28. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
木下 優実	2	H27. 6. 1～H28. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
長又 亮	2	H27. 8. 1～H27. 10. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 結佳子	2	H27. 10. 1～H28. 12. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 恭平	2	H27. 12. 1～H28. 2. 29 (3ヶ月)	群大		
周藤 周	1	H28. 4. 1～H30. 3. 31 (1年)	群大		
戸村 琴音		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
板井 美紀		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
道崎 護		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
三森 亮太		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小川 真一郎		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
丸山 篤造	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
塚田 明彦	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
明石 直樹	2	H28. 5. 1～H29. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
佐藤 広宣		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
福田 怜雄		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
萩原 舟平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大枝 涼平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
南雲 航		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 健人		H29. 4. 1~H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
内田 美帆		H29. 4. 1~H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 亜実	1	H29. 4. 1~H30. 3. 31 (1年)	群大		
松本 彬	2	H29. 5. 1~H30. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
清水 一輝	1	H30. 4. 1~H31. 3. 31 (1年)	群大		
荒巻 裕人	2	H30. 5. 1~H31. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
杉崎 真人	2	H30. 11. 1~H31. 3. 31 (3ヶ月)	群大		
河野 慧		H30. 4. 1~R2. 3. 31	当院	◎	
木口 友紀		H30. 4. 1~R2. 3. 31	当院	◎	
坂本 康大		H30. 4. 1~R2. 3. 31	当院	◎	
反町 隼人		H30. 4. 1~R2. 3. 31	当院	◎	
半田 敬祐		H30. 4. 1~R2. 3. 31	当院	◎	
柴 佳那		H30. 4. 1~R1. 7. 31	当院		中断

令和元年度医師臨床研修関係実績

月	日	内 容
4	1～5	辞令交付式・オリエンテーション
	4	日本メジフィジックス見学・地域関連機関訪問
	11	グラム染色・血液型・エコー研修
	12	新入職者接遇マナー研修
5	7	群馬大学合同ガイダンス
	16	藤岡多野医師会地域医療連携懇話会
	18	新入職者院外日帰り研修（おにし青少年野外活動センター）
6	18	本庄児玉医師会地域医療連携懇話会
	23	臨床研修病院合同ガイダンス(幕張メッセ)
7	6	PSLS 講習会
8	5	医学科を目指す高校生の職場体験セミナー
	7	群馬大学医学生日帰りセミナー
	14	研修医採用試験
	19	第1回研修管理委員会
9	20	マッチング中間発表
10	17	マッチング結果発表
		救急車同乗実習（1年次7名参加）
11	3	ティアニー先生のケースカンファレンス
	5	第2回研修管理委員会
	8	群馬レジデントグランプリ発表
	16	緩和ケア講習会
	30	群馬大学臨床研修指導医養成講習会（～12/1）
12	17	研修医症例発表会
1		基本的臨床能力評価試験
2	8・9	第114回 医師国家試験
3	2	第3回研修管理委員会
	31	修了証書授与式

令和元年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師	
4月	4月22日	研修医懇談会レクチャー	輸液について	腎臓内科 茂木医師	
	4月22日	院内学術集談会	術前休薬について	麻酔科 萩原医師	
5月	5月9日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	5月15日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師	
	5月16日	キャンサーボード	多発肺結節影	外科 内田医師	
	5月16日	M&Mカンファレンス	肺癌	呼吸器内科 梅津医師	
	5月23日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	5月27日	研修医懇談会レクチャー	こどもの診察について	小児科 岩脇医師	
	5月27日	院内学術集談会	第1回向精神薬長期処方に係る研修会	心療内科 五十嵐医師	
6月	6月6日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	6月7日	Training for Safety Use 2019	糸結び 皮膚縫合(豚皮)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者	
	6月13日	モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	6月14日	キャンサーボード	右腎盂癌 肺癌疑い	泌尿器科 福田医師	
	6月14日	M&Mカンファレンス	成人スティル病	腎臓内科 松崎医師	
	6月20日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師	
	6月21日	Training for Safety Use 2019	真皮縫合(豚皮)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者	
	6月24日	研修医懇談会レクチャー	胸部画像(X線・CT)	呼吸器内科 梅津医師	
	6月24日	院内学術集談会	安全・感染必須研修会	安全・感染担当	
	6月26日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師	
	7月	7月4日	モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識	血液内科 外山医師
		7月5日	Training for Safety Use 2019	血管吻合 トロカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者
		7月10日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師
7月11日		キャンサーボード	子宮癌肉腫	産婦人科 周藤医師	
7月11日		M&Mカンファレンス	直腸癌	外科 熊倉医師	
7月18日		モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識	血液内科 外山医師	
7月22日		研修医懇談会レクチャー	急性虫垂炎について	外科 中里医師	
7月22日		院内学術集談会	周術期の心疾患管理について	循環器内科 高松医師	
7月25日		モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師	
7月26日		Training for Safety Use 2019	消化管吻合(豚食道) 血管吻合(血管モデル) 真皮縫合(豚皮)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者	
8月	8月8日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	8月14日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師	
	8月22日	モーニングレクチャー	血液内科医に関する最新知識	血液内科 外山医師	
	8月26日	研修医懇談会レクチャー	救急外来での産婦人科疾患	産婦人科 片貝医師	
	8月26日	院内学術集談会	C型肝炎ウイルスの治療	消化器内科 壁谷医師	
	9月	9月5日	モーニングレクチャー	血液内科に関する最新知識	血液内科 外山医師
9月12日		キャンサーボード	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	血液内科 中山医師	
9月12日		M&Mカンファレンス	左内頸動脈狭窄症	脳神経外科 若林医師	
9月19日		モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師	
9月25日		モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師	
9月30日		研修医懇談会レクチャー	CKD治療の診断と治療	腎臓内科 塚田病院長	

令和元年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
10月	10月10日	がんセンターボード	胃癌	外科 本田医師
	10月10日	M&Mカンファレンス	急性心筋梗塞	循環器内科 土屋医師
	10月17日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	10月28日	研修医懇談会レクチャー	漢方について	ツムラ担当者
	10月28日	院内学術集談会	ACPについて	塚田病院長
	10月30日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師
11月	11月1日	トレーニングプログラム	スーチャリングトレーニング(体内結紮練習)	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者
	11月8日	群馬レジデントグランプリ	先生！左半身麻痺があります。脳梗塞かもしれません…すぐ来てください	研修医1年次
	11月14日	がんセンターボード	肺腺癌	呼吸器内科 内田医師
	11月14日	M&Mカンファレンス	原発不明癌	産婦人科 周藤医師
	11月21日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	11月25日	研修医懇談会レクチャー	甲状腺疾患の診かた	糖・内分泌科 中原医師
	11月25日	院内学術集談会	当院における緩和ケアについて	緩和ケア担当
	11月27日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師
	11月29日	トレーニングプログラム	SOTMトレーニング	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者
12月	12月11日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師
	12月12日	がんセンターボード	盲腸癌	外科 菊地医師
	12月12日	M&Mカンファレンス	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	血液内科 寺崎医師
	12月13日	トレーニングプログラム	骨盤モデル	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 担当者
	12月23日	研修医懇談会レクチャー	腎不全	泌尿器科 坂本医師
	12月23日	院内学術集談会	クローン性造血の人体影響	血液内科 田原医師
1月	1月8日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	1月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	1月22日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 田口医師
	1月27日	研修医懇談会レクチャー	骨転移と放射線治療	放射線治療科 塩谷医師
	1月27日	院内学術集談会	安全・感染必須研修会	安全・感染担当
	1月29日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
2月	2月5日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	2月12日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	2月13日	がんセンターボード	早期胃癌	消化器内科 山口医師
	2月13日	M&Mカンファレンス	腎細胞癌	泌尿器科 坂本医師
	2月19日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	2月17日	院内学術集談会	第2回向精神薬長期処方に係る研修会	群馬大学 精神科 須田医師
	2月25日	研修医懇談会レクチャー	中枢神経画像診断	脳神経外科 甲賀医師
3月	3月4日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師
	3月12日	がんセンターボード	胃癌	外科 内田医師
	3月12日	M&Mカンファレンス	下肢壊疽	整形外科 工藤医師
	3月18日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	3月23日	研修医懇談会レクチャー		整形外科医師
	3月23日	院内学術集談会		放射線診断科
	3月25日	モーニングレクチャー	放射線診断科に関する最新知識	放射線診断科 山田医師

第 14 回公立藤岡総合病院研修医症例発表会抄録

令和元年 12 月 17 日 (火) 19:00～

公立藤岡総合病院 大会議室

1. 左心房に炎症がおよび左心房内血栓を生じた心サルコイドーシスの 1 例

儘田 千尋

症例は 76 歳女性。完全房室ブロックによるうっ血性心不全を発症し、ペースメーカー挿入術を施行した。眼サルコイドーシスの既往があり、精査の結果、診断基準を満たすことから、心臓サルコイドーシスと診断した。18F FDG-PET では左室前壁中隔、左房壁に著明な集積を認め、左房に炎症が波及していると考えられた。また造影 CT では左心房に血栓像を認め、経食道心エコーでも同様に左心耳内に血栓が存在し、左房壁の肥厚を認めた。左房への炎症波及による左房収縮能の低下と左心房内膜の障害をきたした結果、洞調律であるにも関わらず、左房内血栓を生じたと考えた。ステロイド治療および抗凝固療法後、左房内血栓は縮小し、18F FDG-PET での左房への集積は改善したが、経食道エコー上、左房機能の改善は得られなかった。左心房の活動的炎症像を画像でとらえ、免疫抑制療法後の炎症改善を確認できた症例を経験したため報告する。

2. 血小板減少のみで発症した特発性再生不良性貧血の一例

黒岩 裕也

【症例】68 歳、女性【主訴】血小板減少【現病歴】シェーグレン症候群で当院腎臓リウマチ内科通院中であつた。X 年 4 月までは血小板数 15 万/ μ L 前後で推移していた。7 月 23 日の定期受診時に血小板数 1.5 万/ μ L と著減しており、同日緊急入院となった。【臨床経過】初診時の検査では血小板以外の他系統の血球減少を認めなかった。骨髓は著明な低形成であり、異形成所見はなく、巨核球、幼若顆粒球は認めなかった。再生不良性貧血の診断基準は満たさないが、ITP を否定できないため、PSL 1.0mg/kg/日で治療開始した。しかし PSL の治療反応性に乏しく、診断的治療を兼ねた補正血小板増加数は良好であつたため、免疫学的機序よりも造血不全の病態が示唆された。骨髓シンチでは造血巣の減少あり、初期の再生不良性貧血の病態が考えられた。その後、外来での経過観察時に好中球の減少を認めたため、再生不良性貧血の診断で抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(ATG)+シクロスポリン(CsA)+エルトロンボパグ(Epag)の治療を行った。造血回復を認め、治療開始 63 日後、外来でのフォローアップとすることができた。

【考察】血小板減少のみで発症した特発性再生不良性貧血に対して ATG+シクロスポリン+エルトロンボパグで治療した一例を経験した。診断後、早期の治療開始により、良好な造血回復を得ることができた。

3. 左房内浸潤を生じた小細胞肺癌の1例

石崎 正徳

【症例】68歳男性【主訴】労作時呼吸困難

【現病歴】2013年4月に当院外科で左肺上葉扁平上皮癌（T1aN0M0 stage Ia）に対して左上葉切除術を受け、以降は経過観察としていた。自覚症状は特になく、定期的に画像評価を行い、2018年まで再発を疑う所見はなかった。2019年4月17日頃より労作時呼吸困難を自覚した。4月24日外来受診の際に胸部画像検査を行い縦隔・右肺門リンパ節の腫大を認め再発が疑われたため、呼吸器内科へ紹介となった。

【経過】呼吸困難が強く、CT上で腫大したリンパ節が上大静脈を圧排している所見も認められたため緊急入院で精査加療の方針とした。気管支鏡検査は全身状態不良につき施行できず、診断は未確定であった。経過の早さなどより小細胞肺癌を疑い、入院翌日である4月26日よりカルボプラチンとエトポシドによる化学療法を施行した。化学療法1コース終了後、気管支鏡検査を施行し、小細胞肺癌の診断を確定した。その後化学療法を2コース行うも、新たに左房内浸潤と脳転移を認めた。化学療法を変更し6月5日よりカルボプラチンとエトポシドによる治療を行ったが、2コース終了時に肺炎を発症し10月3日に死亡となった。今回、肺小細胞癌が進行し比較的稀である左房内浸潤を生じた一例を経験したため文献的考察を加えて報告する。

4. EHEC感染からHUS脳症を発症したにもかかわらず救命し得た一例

伊藤 望

O-157による溶血性尿毒症症候群（hemolytic uremic syndrome;HUS）、急性脳症は成人での発症は稀である。今回、成人女性で急性脳症を発症し後遺症なく回復した一例を経験した。症例は67歳女性。腹痛、下痢で発症し、便からO-157と志賀毒素が検出された。第8病日にHUS、第11病日に急性脳症を発症した。一時人工呼吸管理となったが、ステロイドパルス療法、血漿交換療法（plasma exchange;PE）を行い第29病日に退院し、退院後も後遺症なく生活している。治療として炎症性サイトカインを抑制するステロイドパルス療法の有効性が示唆され、2011年に富山県で発生したO-111によるアウトブレイクの経過も含めた文献的考察を交えて報告する。

5. アトピー性皮膚炎を契機とした感染性心内膜炎の1例

友金 佐光

症例はアトピー性皮膚炎の既往がある12歳男児。第1病日に頭痛、発熱。第2病日も発熱持続し近医受診。迅速インフルエンザ抗原検査陰性、尿検査異常なく解熱剤処方され帰宅。同日夜より意識朦朧とし、第3病日には見当識障害が出現のため当番医受診。当院紹介され全身状態不良のため入院。入院時診察で発熱、JCS I-2の見当識障害、項部硬直、Kernig signを認めた。カテーテル尿検査で白血球数上昇、髄液検査で多核球優位の細胞数上昇、髄液糖/血糖比が0.60未満を示したため、細菌性髄膜炎、尿路感染症疑いとしてバンコマイシンとメロペネムの2剤併用で治療開始。第4病日に血液培養陽性となり、黄色ブドウ球菌疑いと判明。感染巣精査目的に撮像した腹部造影CTで多発腎梗塞と脾梗塞、頭部MRIで多発脳梗塞を認めた。塞栓症の原因精査目的に心臓超音波検査を施行し、僧帽弁後尖に疣贅を認め感染性心内膜炎と診断。高次医療機関に転院とし、第5病日に僧帽弁疣腫除去術と僧帽弁形成術が施行された。術後は内科的治療が行われ、第36病日に抗菌薬終了、第41病日に退院した。基礎心疾患を認めず、アトピー性皮膚炎を契機とした感染性心内膜炎の症例は少なく、文献的考察を加え報告する。

6. 持続する発熱で発見された大腸癌の一例

牛久保 陸生

症例は40代女性。持続する発熱と軟便のため当院を受診した。CTにてS状結腸に腫瘤性病変を認め、S状結腸癌と診断した。また、多発肝転移、肺転移、両側卵巣転移、腹膜播種が疑われStage IVと判断した。腫瘍による通過障害を認めたため、手術を先行する方針とし、S状結腸切除・横行結腸部分切除・播種結節切除を施行した。全身治療として術後化学療法を行うにあたり、PICC (peripherally inserted central catheter) ポートを造設した。当科では、内頸静脈に穿刺するCVポートと、上腕皮静脈に穿刺・留置するPICCポートを患者様に選択していただいている。当科では周術期にPICCを挿入する機会が多い。当科でのPICC挿入の現状と2018年の大腸癌手術症例について若干の考察を含めて報告する。

7. 髄膜炎様症状を呈した下垂体卒中の一例

土橋 里美

【はじめに】頭痛、発熱、嘔吐で発症、髄膜炎様症状を呈し下垂体卒中が原因と考えられた症例を経験したので報告する

【症例】75歳女性 <主訴>頭痛、発熱、嘔吐 <現病歴>当院受診2日前の17時頃から頭痛嘔気・嘔吐の症状が出現した。他院受診 頭部CTで異常を指摘されず。受診1日前、抗生剤および制吐薬の点滴施行後症状は改善せず。2019年X月Y日にかかりつけ医より当院に紹介。<既往歴>高血圧 <症状>頭痛、発熱、意識障害、髄膜刺激徴候 視力視野、眼球運動は正常 <検査>頭部CTで脳底槽に腫瘤影を認め、MRIではトルコ鞍～鞍上部に20mm大の下垂体腫瘍の腫脹と一部出血を認めた。蝶形骨洞粘膜の肥厚所見を認めた。採血で炎症反応上昇、ホルモン基礎値はTSH、FT3の低下とコルチゾールの上昇を認めた。腰椎穿刺髄液は初圧11cmH₂O・血性混濁しており、多核球優位の細胞数増多、蛋白増加、髄液糖/血糖比の低下を認めたが、培養は陰性。<治療経過>髄膜炎を伴った下垂体卒中と診断し、抗生剤および相対的急性副腎不全と考えステロイド補償を開始、自覚的視力障害出現時に外科的治療を行う方針とした。開始後、髄膜刺激徴候の消失と頭痛の改善がみられ、明らかな神経症状を認めず第18病日に退院。<外来>頭部MRIにて腫瘤の著明な縮小、視機能障害の進行を認めないことから外科的治療は不要と判断、現在は下垂体機能低下症に対してホルモン補充を継続している。

【考察】下垂体卒中は下垂体腫瘍内部に梗塞や出血を生じ、頭痛、嘔気、視力視野障害、内分泌障害などをきたす病態である。まれに化学性髄膜炎を伴うことがあり、類似した病態を示す他疾患との鑑別が必要とされる。

VI 購入図書

国内雑誌

雑誌名	
1. 外科	23. Lisa
2. 麻酔	24. 消化器内視鏡
3. 周産期医学	25. 地域医療連携入退院支援
4. 手術	26. ナースマネージャー
5. 腎と透析	27. プロフェッショナルがんナーシング
6. レジデントノート	28. 小児内科
7. 臨床婦人科産科	29. 日経 DI
8. Journal of clinical rehabilitation	30. 胸部外科
9. メディカルテクノロジー	31. 小児科
10. 病理と臨床	32. 画像診断
11. インナービジョン	33. 臨床画像
12. 映像情報 Medical	34. 月刊新医療
13. 医薬ジャーナル	35. 心臓
14. 日本医事新報	36. メディカルテストジャーナル
15. エキスパートナース	37. 切り抜き速報 医療と安全総集編
16. 医事業務	38. 呼吸器内科
17. ペインクリニック	39. 臨床精神薬理
18. NHK 今日の健康	40. 緩和ケア
19. ヘルスケアレストラン	41. 心エコー
20. 月刊保険診療	42. 栄養と料理
21. Coronary Intervention	43. 地方公務員月報
22. クリニカルエンジニアリング	

国外雑誌

雑誌名
1. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2. Arthritis and Rheumatism
3. Blood
4. British Journal of Hematology :bjh
5. Circulation
6. The Journal of Pediatrics
7. The New England Journal of Medicine
8. Journal of American College of Cardiology : JACC
9. Journal of American Society of Nephrology :JASN
10. Leukemia
11. Pediatrics
12. The American Journal of Surgical Pathology
13. The Lancet
14. Journal of Orthopaedic Science
15. The Journal of Bone & Joint Surgery:A
16. The Journal of Bone & Joint Surgery:B

VII 経営状況

1. 損益計算書

(単位：千円、%)

区分	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
病院事業収益	10,897,284	11,020,247	101.1	11,287,605	102.4
医業収益	10,053,982	10,414,999	103.6	10,501,328	100.8
入院収益	6,536,773	6,794,663	103.9	6,721,134	98.9
外来収益	3,043,872	3,099,348	101.8	3,250,966	104.9
その他医業収益	473,337	520,988	110.1	529,228	101.6
医業外収益	774,581	476,140	61.5	565,364	118.7
受取利息及び配当金	227	243	107.0	241	99.2
補助金	37,129	42,714	115.0	37,049	86.7
他会計負担金	244,213	160,551	65.7	156,264	97.3
長期前受金戻入	405,952	212,613	52.4	313,438	147.4
その他医業外収益	87,060	60,019	68.9	58,373	97.3
特別利益	68,721	129,107	187.9	220,913	171.1
固定資産売却益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	29	0	—	0	—
その他特別利益	68,692	129,107	188.0	220,913	171.1
病院事業費用	11,676,257	11,249,232	96.3	11,574,918	102.9
医業費用	10,434,447	10,757,716	103.1	11,005,603	102.3
給与費	5,297,257	5,437,804	102.7	5,423,841	99.7
材料費	2,555,768	2,549,677	99.8	2,729,374	107.0
経費	1,564,757	1,487,396	95.1	1,603,270	107.8
減価償却費	797,584	1,226,186	153.7	1,192,918	97.3
資産減耗費	174,232	9,064	5.2	10,168	112.2
研究研修費	24,423	27,161	111.2	25,605	94.3
長期前払消費税償却	20,426	20,426	100.0	20,426	100.0
医業外費用	1,241,414	491,245	39.6	568,308	115.7
支払利息及び企業債取扱諸費	147,515	171,088	116.0	161,802	94.6
雑損失	21,200	100	0.5	835	835.0
雑支出	1,072,699	320,057	29.8	405,672	126.7
特別損失	396	271	68.4	1,007	371.6
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	396	271	68.4	1,007	371.6
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	△ 778,973	△ 228,985	—	△ 287,313	—

2. 貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	21,110,590	19,915,614	94.3	19,510,007	98.0
有形固定資産	20,308,091	19,151,204	94.3	18,192,760	95.0
土地	1,738,571	1,738,571	100.0	1,738,571	100.0
建物	22,665,336	22,665,336	100.0	22,665,336	100.0
構築物	785,449	913,339	116.3	913,339	100.0
器械備品	5,289,082	5,334,658	100.9	5,457,044	102.3
車両	10,811	10,811	100.0	10,811	100.0
リース資産	204,069	204,069	100.0	204,069	100.0
減価償却累計額	10,507,057	11,715,580	111.5	12,796,410	109.2
建設仮勘定	121,830	0	0.0	0	—
無形固定資産	102,703	85,040	82.8	658,303	774.1
投資	699,796	679,370	97.1	658,944	97.0
流動資産	6,609,504	6,385,012	96.6	5,907,992	92.5
現金預金	4,484,919	4,339,506	96.8	3,762,134	86.7
未収金	1,983,227	1,922,189	96.9	1,968,325	102.4
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	129,277	111,641	86.4	165,857	148.6
前払費用	11,081	10,676	96.3	10,676	100.0
資産合計	27,720,094	26,300,626	94.9	25,417,999	96.6
固定負債	20,483,552	19,033,790	92.9	18,064,842	94.9
企業債	18,112,689	16,843,558	93.0	15,863,325	94.2
リース債務	0	0	—	0	—
退職者給与引当金	2,370,863	2,190,232	92.4	2,201,517	100.5
流動負債	2,387,415	2,613,051	109.5	2,331,058	89.2
企業債	845,021	1,269,132	150.2	1,177,733	92.8
リース債務	4,815	0	0.0	0	—
未払金	1,191,856	935,723	78.5	802,303	85.7
引当金	298,911	314,192	105.1	306,645	97.6
その他流動負債	46,812	94,004	200.8	44,377	47.2
繰延収益	852,195	851,663	99.9	888,315	104.3
長期前受金	7,054,894	7,396,083	104.8	7,967,085	107.7
長期前受金収益化累計額	△ 6,202,699	△ 6,544,420	—	△ 7,078,770	—
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	3,037,417	2,842,607	93.6	2,584,269	90.9
資本剰余金	1,874,282	1,902,872	101.5	1,931,848	101.5
利益剰余金	1,163,135	939,735	80.8	652,421	69.4
負債資本合計	27,720,094	26,300,626	94.9	24,827,999	94.4

3. 経営分析

区分	備考	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	14.4%	17.7%	17.9%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	276.8%	244.4%	253.4%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	187.9%	166.1%	161.4%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	93.3%	98.0%	97.5%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	96.4%	96.8%	95.4%
病床利用率	一般	86.4%	89.9%	86.7%
1日平均患者数	入院	337.6人	326.8人	314.3人
	入院診療日数	365日	365日	366日
	外来	858.0人	819.2人	756.9人
	外来診療日数	242日	244日	240日
患者1人1日当り診療収入	入院	57,088円	56,966円	58,425円
	外来	14,659円	15,506円	17,896円
医業収益に対する割合	職員給与費	52.7%	52.2%	51.6%
	薬品費	16.6%	16.6%	17.9%
患者1人1日当り薬品費	投薬	750円	755円	901円
	注射	3,499円	3,602円	4,299円

Ⅷ 業務統計

1. 入院・外来患者の状況

(1) 入院延べ患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	4,417	5,231	5,199	4,988	4,801	4,375	4,697	4,729	4,599	4,867	4,769	4,771	57,443	157.4
小児科	322	254	288	307	389	514	377	293	235	249	246	187	3,661	10.0
外科	1,080	1,183	1,201	1,317	1,612	1,451	1,469	1,629	1,453	1,603	1,479	1,314	16,791	46.0
整形外科	1,109	1,055	1,038	831	691	979	1,489	1,401	1,364	1,283	940	1,043	13,223	36.2
産婦人科	368	216	237	226	308	332	384	300	278	200	247	244	3,340	9.2
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	1,196	1,353	1,388	1,270	1,284	1,290	1,545	1,254	1,480	1,398	1,287	1,539	16,284	44.6
眼科	8	18	14	14	16	10	7	22	12	20	10	11	162	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	282	269	306	363	247	303	274	224	291	346	439	401	3,745	10.3
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	17	0	0	0	13	86	60	5	10	0	0	0	191	0.5
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	41	20	12	16	18	14	16	5	22	10	2	22	198	0.5
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	8,840	9,599	9,683	9,332	9,379	9,354	10,318	9,862	9,744	9,976	9,419	9,532	115,038	315.2
1日平均	294.7	309.6	322.8	301.0	302.5	311.8	332.8	328.7	314.3	321.8	336.4	307.5	314.3	
新生児	130	80	72	59	76	79	110	104	104	87	43	103	1,047	2.9

(2) 入院実患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	311	350	352	363	330	312	335	317	316	331	312	329	3,958	10.8
小児科	56	49	56	59	72	60	43	46	44	39	39	37	600	1.6
外科	124	122	134	149	152	136	151	159	135	156	146	150	1,714	4.7
整形外科	64	58	66	60	56	72	73	75	68	67	65	78	802	2.2
産婦人科	52	31	32	36	39	43	47	39	40	34	30	29	452	1.2
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	49	59	36	53	53	46	54	51	76	51	51	64	643	1.8
眼科	8	18	14	14	16	10	7	22	12	20	10	11	162	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	37	39	50	39	41	38	40	33	41	45	42	51	496	1.4
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	0	0	0	1	5	1	1	0	0	0	0	8	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	7	6	5	6	6	5	5	2	4	6	1	4	57	0.2
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	708	732	745	779	766	727	756	745	736	749	696	753	8,892	24.4
1日平均	23.6	23.6	24.8	25.1	24.7	24.2	24.4	24.8	23.7	24.2	24.9	24.3	24.4	

(3) 診療科別延べ入院患者数

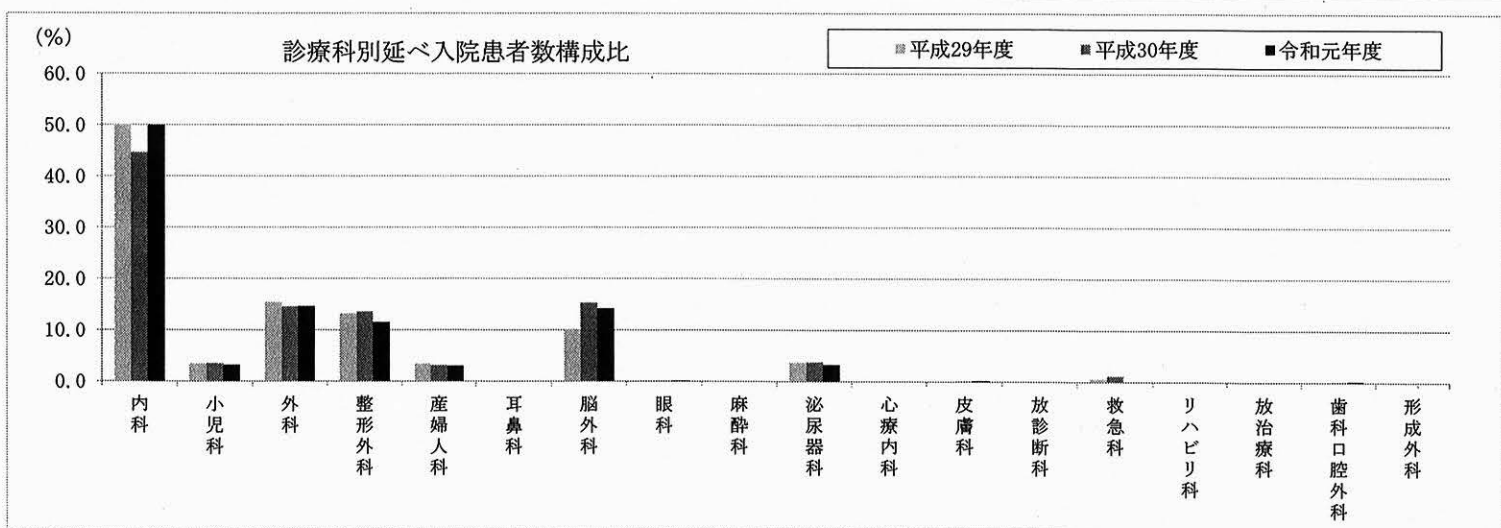
(単位：人)

	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科 口腔外科	形成外科	合計	
29年度	患者数	57,081	3,929	17,753	15,168	3,898	0	11,425	302	0	4,274	0	35	0	624	14	0	0	0	114,503
	1日平均	156.3	10.7	48.6	41.5	10.6	0.0	31.3	0.8	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	313.7
	構成比(%)	49.9	3.4	15.5	13.2	3.4	0.0	10.0	0.3	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30年度	患者数	53,248	4,175	17,330	16,175	3,651	0	18,251	184	0	4,455	0	171	0	1,452	0	0	183	0	119,275
	1日平均	145.9	11.4	47.5	44.3	10.0	0.0	50.0	0.5	0.0	12.2	0.0	0.5	0.0	4.0	0.0	0.0	0.5	0.0	326.8
	構成比(%)	44.6	3.5	14.5	13.6	3.1	0.0	15.3	0.2	0.0	3.7	0.0	0.1	0.0	1.2	0.0	0.0	0.2	0.0	100.0
元年度	患者数	57,443	3,661	16,791	13,223	3,340	0	16,284	162	0	3,745	0	191	0	0	0	0	198	0	115,038
	1日平均	157.4	10.0	46.0	36.2	9.2	0.0	44.6	0.4	0.0	10.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	314.3
	構成比(%)	49.9	3.2	14.6	11.5	3.0	0.0	14.2	0.1	0.0	3.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	100.0

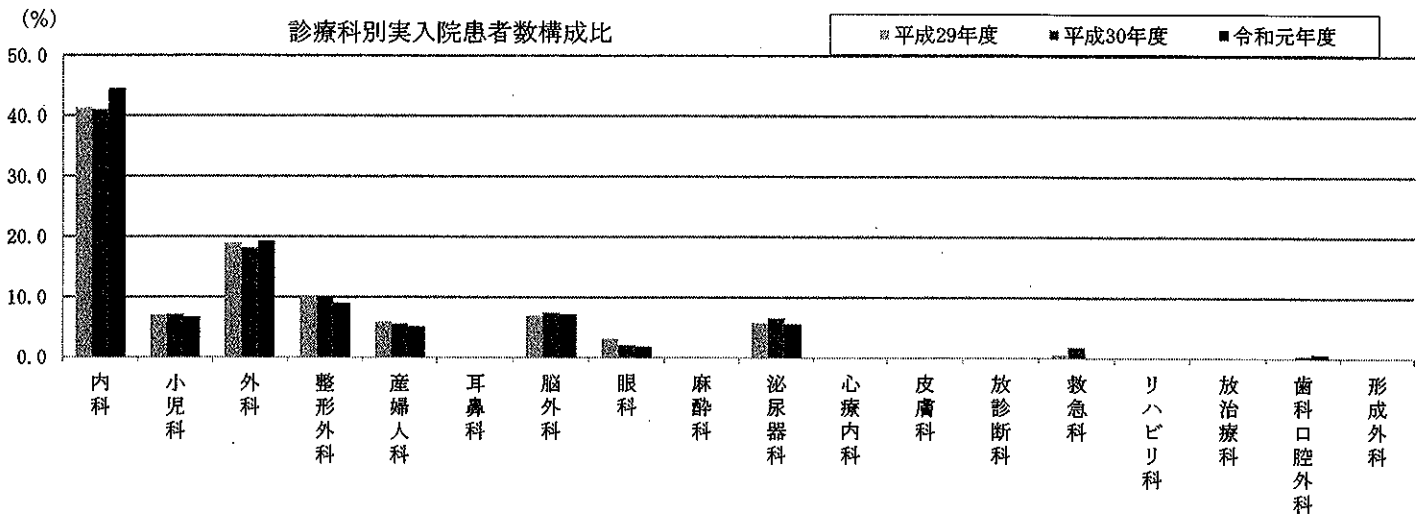
(4) 診療科別実入院患者数

(単位：人)

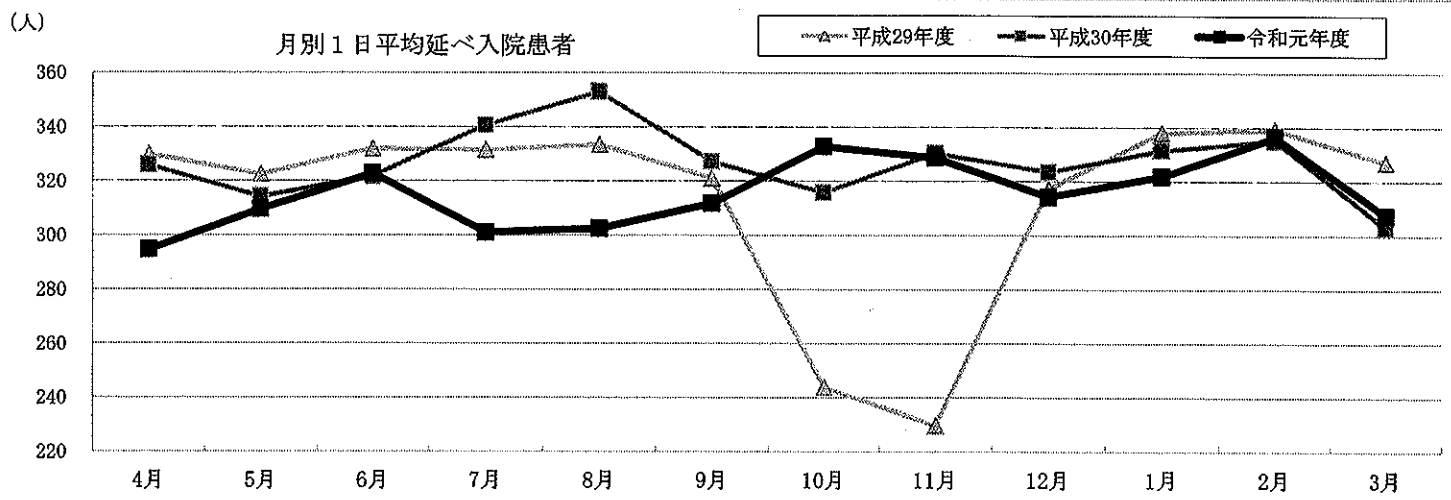
	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科 口腔外科	形成外科	合計	
29年度	患者数	3,682	627	1,679	897	522	0	610	286	0	516	0	2	0	59	1	0	0	0	8,881
	1日平均	10.1	1.7	4.6	2.5	1.4	0.0	1.7	0.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	24.3
	構成比(%)	41.5	7.1	18.9	10.2	5.9	0.0	6.9	3.2	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30年度	患者数	3,650	630	1,611	888	492	0	658	184	0	579	0	10	0	156	0	0	36	0	8,894
	1日平均	10.0	1.7	4.4	2.4	1.3	0.0	1.8	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	24.4
	構成比(%)	41.0	7.1	18.1	10.0	5.5	0.0	7.4	2.1	0.0	6.5	0.0	0.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
元年度	患者数	3,958	600	1,714	802	452	0	643	162	0	496	0	8	0	0	0	0	57	0	8,892
	1日平均	10.8	1.6	4.7	2.2	1.2	0.0	1.8	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	24.4
	構成比(%)	44.5	6.7	19.3	9.0	5.1	0.0	7.2	1.8	0.0	5.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	100.0



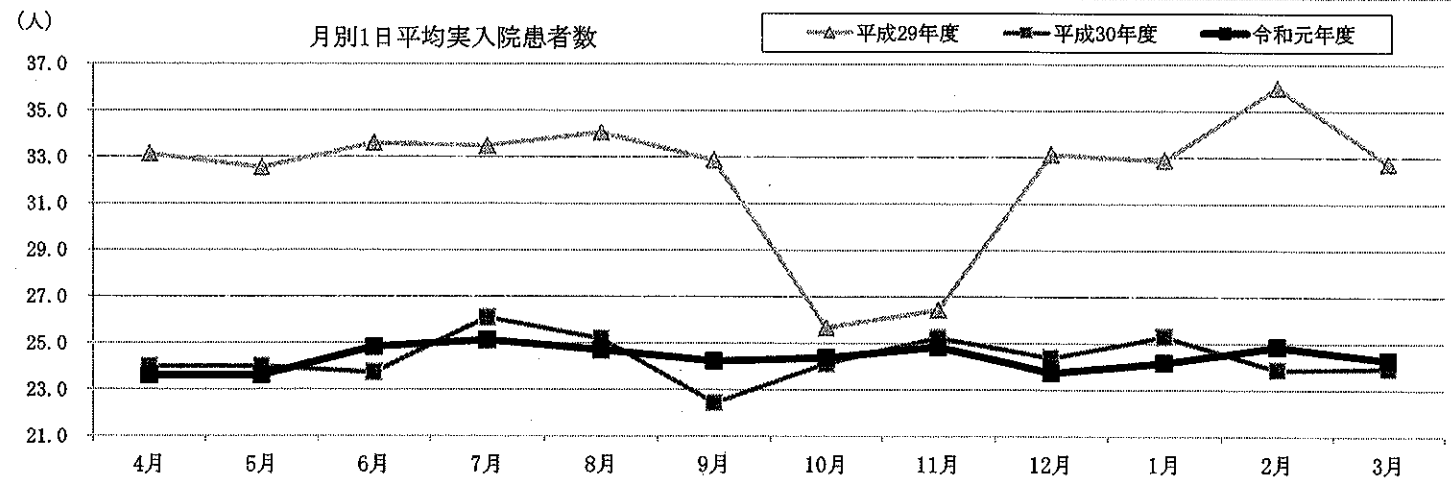
診療科別実入院患者数構成比



月別1日平均延べ入院患者



月別1日平均実入院患者数



(5) 外来患者数

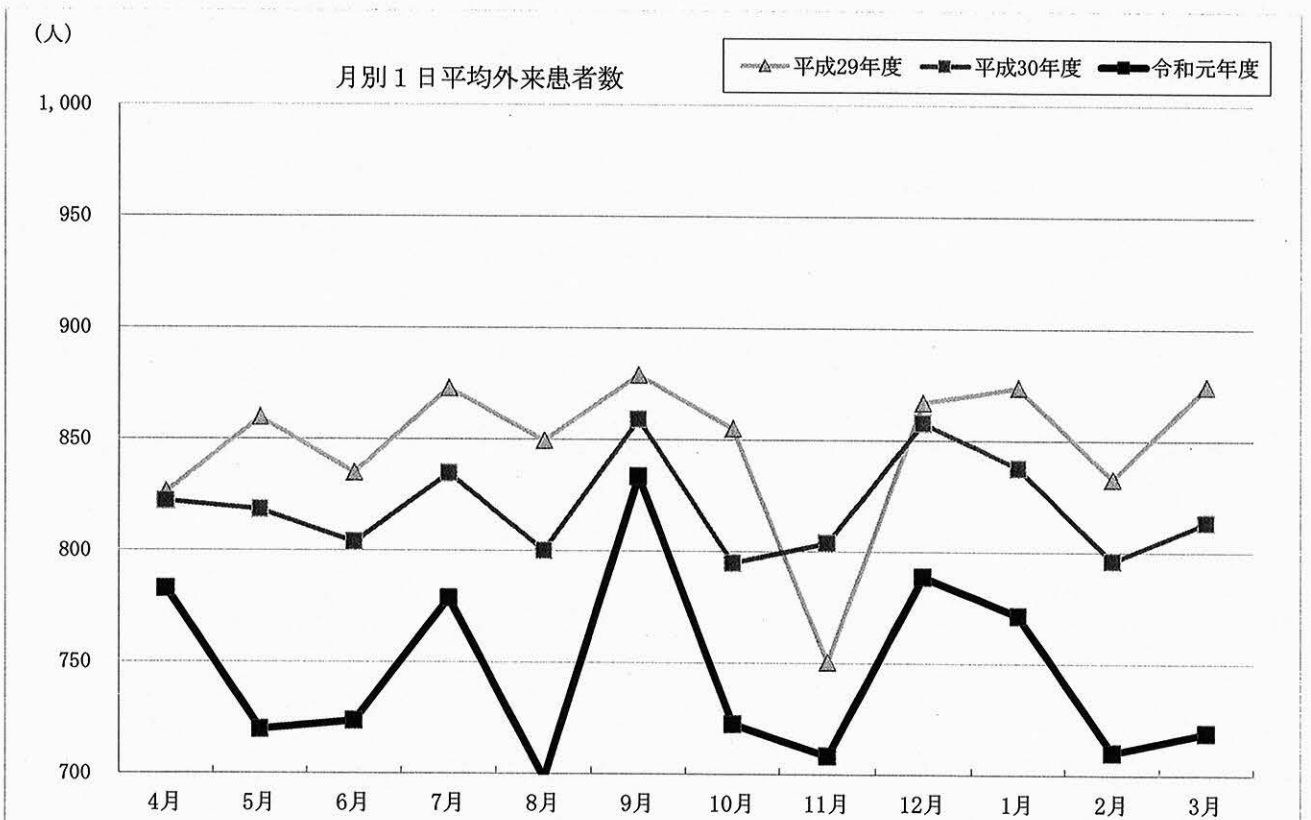
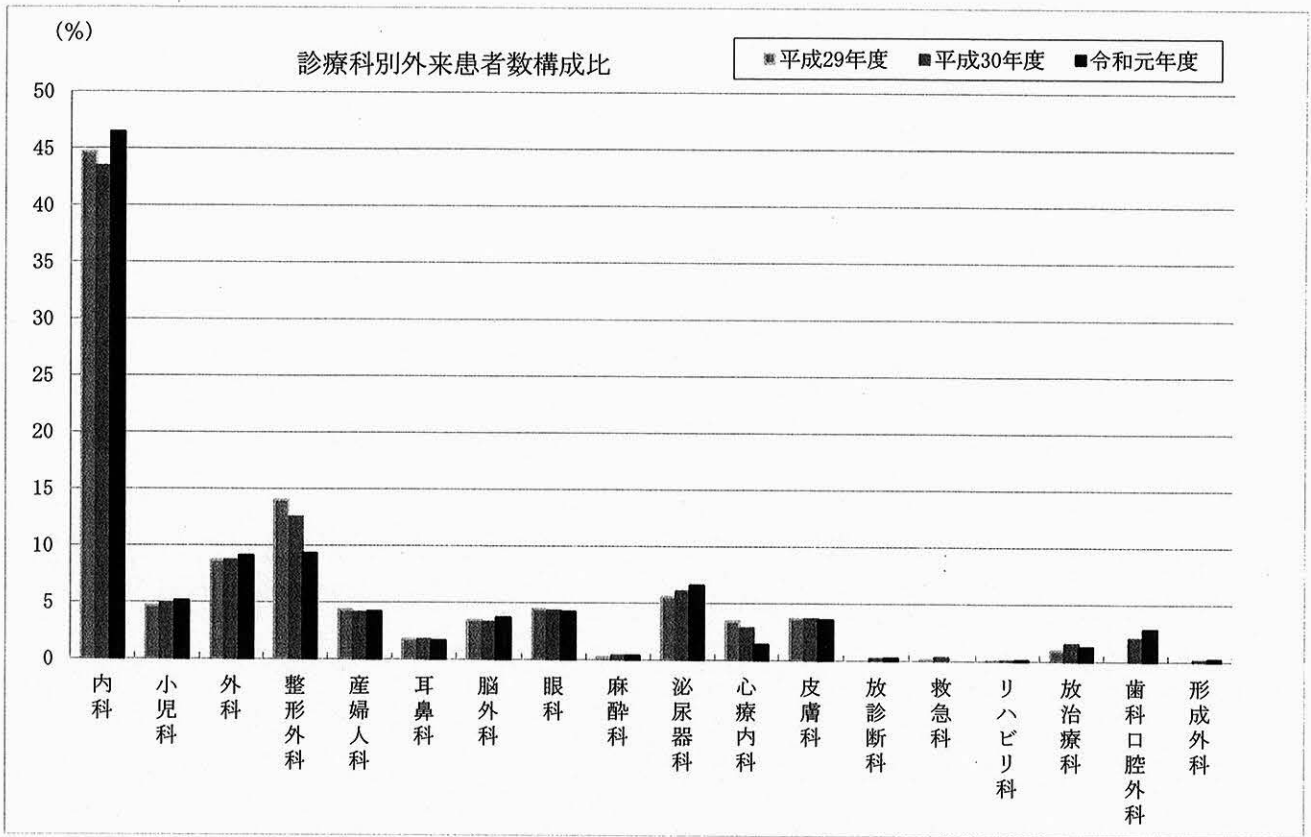
(単位:人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	7,230	6,903	6,910	7,488	7,320	7,023	7,363	7,026	7,084	6,855	6,378	6,804	84,384	345.8
小児科	801	740	763	853	892	796	730	733	845	762	685	729	9,329	38.2
外科	1,297	1,280	1,317	1,362	1,388	1,266	1,577	1,367	1,484	1,427	1,326	1,432	16,523	67.7
整形外科	1,485	1,554	1,420	1,551	1,492	1,355	1,400	1,387	1,314	1,354	1,245	1,310	16,867	69.1
産婦人科	602	587	705	644	626	653	755	649	643	562	523	504	7,453	30.5
耳鼻科	273	254	241	306	262	248	268	247	239	220	197	220	2,975	12.2
脳外科	638	566	538	600	575	512	602	518	544	493	534	550	6,670	27.3
眼科	659	632	681	620	779	608	614	653	658	614	560	602	7,680	31.5
麻酔科	63	49	54	46	62	49	51	44	66	50	45	70	649	2.7
泌尿器科	1,014	979	975	1,074	1,081	1,011	1,060	929	931	1,006	883	1,019	11,962	49.0
心療内科	438	391	355	398	285	179	139	87	71	58	43	59	2,503	10.3
皮膚科	525	569	573	653	653	614	534	508	446	505	420	463	6,463	26.5
放診断科	25	31	31	28	30	31	39	37	21	23	46	27	369	1.5
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	15	11	15	20	14	13	11	4	13	11	8	13	148	0.6
放治療科	191	183	218	201	115	233	212	192	192	260	204	66	2,267	9.3
歯科口腔外科	374	370	372	475	441	382	506	471	407	422	365	480	5,065	20.8
形成外科	27	17	28	35	38	29	34	21	28	34	30	34	355	1.5
合計	15,657	15,116	15,196	16,354	16,053	15,002	15,895	14,873	14,986	14,656	13,492	14,382	181,662	756.9
1日平均	782.9	719.8	723.6	778.8	698.0	833.4	722.5	708.2	788.7	771.4	710.1	719.1	756.9	

(6) 診療科別外来患者数

(単位:人)

	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計	
29年度	患者数	92,794	9,726	17,997	29,143	8,970	3,651	7,156	9,157	463	11,554	7,109	7,614	0	228	24	2,061	0	0	207,647
	1日平均	381.8	40.0	74.0	119.9	36.9	15.0	29.4	37.6	1.9	47.5	29.2	31.3	0.0	0.9	0.0	8.4	0.0	0.0	854.5
	構成比(%)	44.7	4.7	8.7	14.0	4.3	1.8	3.4	4.4	0.2	5.6	3.4	3.7	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.0	100.0
30年度	患者数	86,848	9,852	17,393	24,989	8,043	3,427	6,586	8,580	728	12,103	5,632	7,275	405	609	109	3,043	4,034	220	199,876
	1日平均	358.9	40.7	71.9	103.3	33.2	14.2	27.2	35.5	3.0	50.0	23.3	30.1	1.7	2.5	0.5	12.6	16.7	0.9	825.9
	構成比(%)	43.5	4.9	8.7	12.5	4.0	1.7	3.3	4.3	0.4	6.1	2.8	3.6	0.2	0.3	0.1	1.5	2.0	0.1	100.0
元年度	患者数	84,384	9,329	16,523	16,867	7,453	2,975	6,670	7,680	649	11,962	2,503	6,463	369	0	148	2,267	5,065	355	181,662
	1日平均	345.8	38.2	67.7	69.1	30.5	12.2	27.3	31.5	2.7	49.0	10.3	26.5	1.5	0.0	0.6	9.3	20.8	1.5	744.5
	構成比(%)	46.5	5.1	9.1	9.3	4.2	1.6	3.7	4.2	0.4	6.6	1.4	3.6	0.2	0.0	0.1	1.2	2.8	0.2	100.0



(7) 地域別入院患者数

(単位:人)

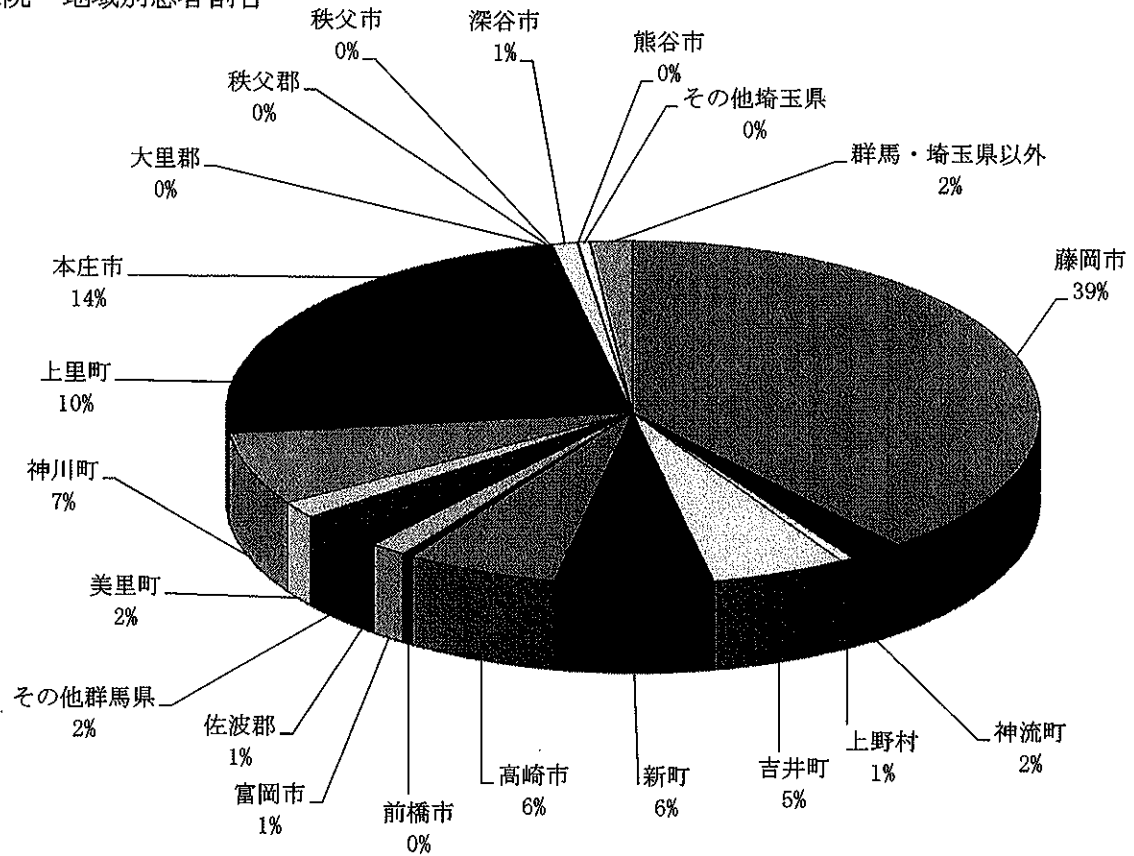
地域	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	22,635	0	0	0	1,182	6,774	5,667	5,187	153	1,541	1,350	85	0	0	0	0	0	0	0	96	0	44,670
神流町	1,371	0	0	0	38	358	213	263	0	112	32	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2,392
上野村	210	0	0	0	0	69	195	110	0	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	595
高崎市 吉井町	3,171	0	0	0	69	485	879	1,276	0	177	92	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6,156
計	27,387	0	0	0	1,289	7,686	6,954	6,836	153	1,838	1,476	95	0	0	0	0	0	0	0	99	0	53,813
高崎市 新町	3,769	0	0	0	178	1,107	997	748	11	277	194	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7,293
高崎市	3,459	0	0	0	637	997	1,052	504	0	107	173	4	0	0	0	0	0	0	0	14	0	6,947
前橋市	193	0	0	0	21	50	44	107	0	7	36	4	0	0	0	0	0	0	0	10	0	472
富岡市	619	0	0	0	60	31	133	801	0	2	20	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1,672
佐波郡	770	0	0	0	39	134	185	230	0	64	39	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0	1,471
その他 群馬県	1,330	0	0	0	200	75	331	548	0	88	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,605
計	10,140	0	0	0	1,135	2,394	2,742	2,938	11	545	495	24	0	0	0	0	0	0	0	36	0	20,460
小計	37,527	0	0	0	2,424	10,080	9,696	9,774	164	2,383	1,971	119	0	0	0	0	0	0	0	135	0	74,273
埼玉県 美里町	592	0	0	0	90	516	130	303	0	149	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,818
神川町	4,029	0	0	0	151	1,425	622	1,035	15	339	210	20	0	0	0	0	0	0	0	9	0	7,855
上里町	6,324	0	0	0	228	1,756	688	1,573	5	309	255	9	0	0	0	0	0	0	0	7	0	11,154
本庄市	6,913	0	0	0	649	2,601	1,757	2,843	7	459	486	13	0	0	0	0	0	0	0	45	0	15,773
大里郡	32	0	0	0	5	122	0	24	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192
秩父郡	66	0	0	0	0	0	0	17	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125
秩父市	0	0	0	0	5	0	14	54	0	48	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126
深谷市	822	0	0	0	6	122	103	101	0	9	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,183
熊谷市	8	0	0	0	0	15	2	5	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
その他 埼玉県	142	0	0	0	21	10	59	258	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	536
群馬県 埼玉県 以外	988	0	0	0	82	144	152	297	0	0	291	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,954
小計	19,916	0	0	0	1,237	6,711	3,527	6,510	27	1,362	1,369	43	0	0	0	0	0	0	0	63	0	40,765
合計	57,443	0	0	0	3,661	16,791	13,223	16,284	191	3,745	3,340	162	0	0	0	0	0	0	0	198	0	115,038

(8) 地域別外来患者数

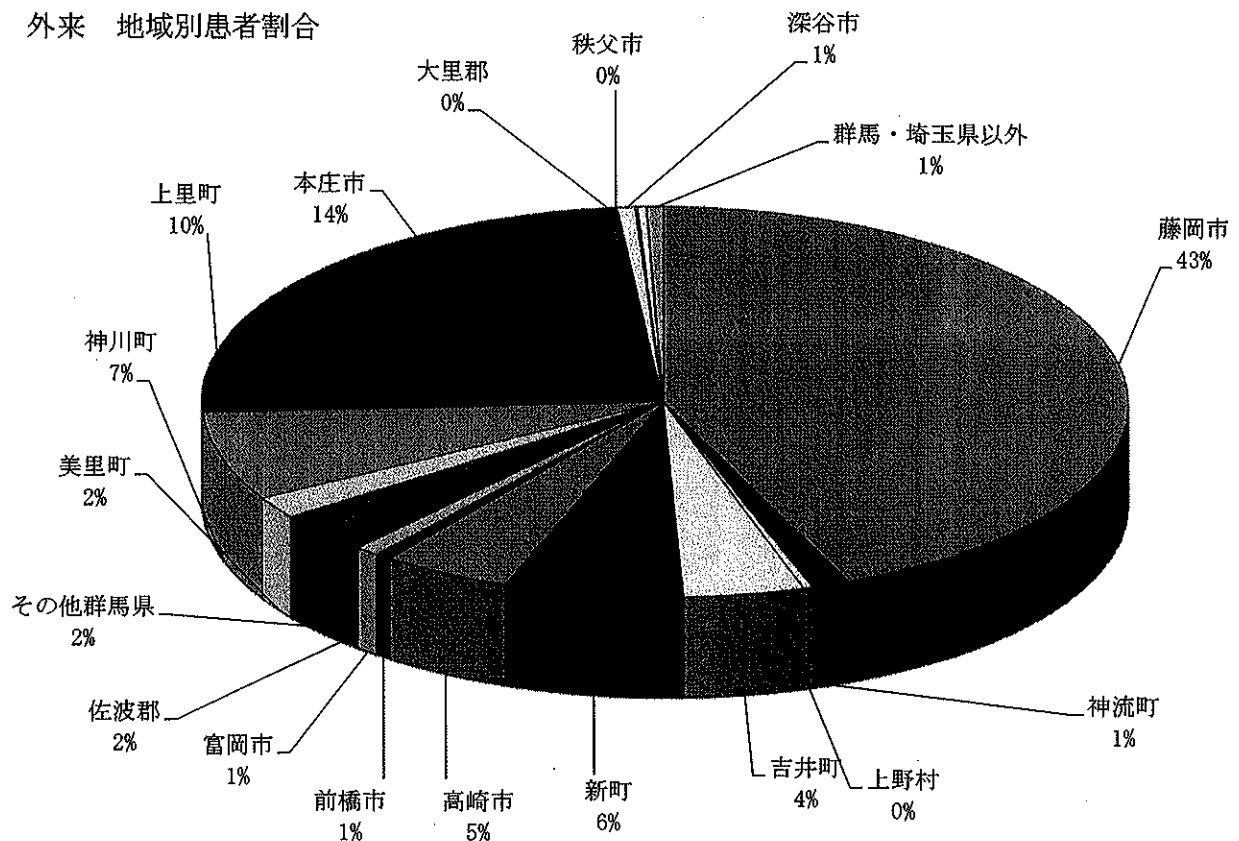
(単位:人)

地域	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	35,255	1,204	1,536	0	3,395	6,957	7,731	3,016	3,065	5,269	2,846	3,686	1,349	152	350	0	70	1,045	0	1,891	131	78,948
神流町	905	21	39	0	62	226	207	80	93	301	61	176	70	2	6	0	0	72	0	50	9	2,380
上野村	169	26	9	0	3	60	43	43	21	68	16	63	13	0	0	0	0	36	0	9	0	579
高崎市 吉井町	3,534	100	206	0	272	592	922	347	315	467	236	317	111	10	35	0	4	12	0	164	17	7,661
計	39,863	1,351	1,790	0	3,732	7,835	8,903	3,486	3,494	6,105	3,159	4,242	1,543	164	391	0	74	1,165	0	2,114	157	89,568
高崎市 新町	5,536	180	178	0	418	1,060	1,222	332	371	734	464	358	173	32	7	0	11	95	0	214	29	11,414
高崎市	3,799	122	115	0	941	521	762	249	343	363	226	204	110	16	25	0	22	125	0	238	27	8,208
前橋市	400	17	8	0	50	76	68	27	52	60	95	35	12	6	20	0	0	0	0	65	0	991
富岡市	617	17	21	0	247	49	240	94	21	29	22	44	40	1	5	0	0	0	0	42	7	1,496
佐波郡	1,234	78	58	0	127	203	409	92	78	113	206	66	54	7	8	0	3	25	0	118	10	2,889
その他 群馬県	1,414	47	43	0	449	82	449	191	74	108	99	99	18	2	16	0	0	19	0	143	11	3,264
計	13,000	461	423	0	2,232	1,991	3,150	985	939	1,407	1,112	806	407	64	81	0	36	264	0	820	84	28,262
小計	52,863	1,812	2,213	0	5,964	9,826	12,053	4,471	4,433	7,512	4,271	5,048	1,950	228	472	0	110	1,429	0	2,934	241	117,830
埼玉県 美里町	1,378	10	102	0	193	375	244	99	115	328	159	95	53	2	14	0	0	76	0	77	2	3,322
神川町	5,977	144	274	0	598	1,274	1,102	464	564	977	573	714	171	36	45	0	7	135	0	278	7	13,340
上里町	7,936	212	307	0	772	2,176	1,185	622	567	1,466	914	626	266	68	21	0	24	233	0	618	63	18,076
本庄市	11,510	285	511	0	1,470	2,522	1,904	793	656	1,445	1,324	1,044	472	26	79	0	5	360	0	971	42	25,419
大里郡	109	9	8	0	43	38	37	15	2	33	7	30	3	0	0	0	0	0	0	8	0	342
秩父郡	77	1	4	0	23	11	7	14	2	42	2	14	1	0	18	0	0	0	0	11	0	227
秩父市	44	8	5	0	4	2	14	2	21	18	12	2	0	0	0	0	0	14	0	4	0	150
深谷市	484	8	3	0	79	182	62	29	48	81	28	56	38	2	0	0	0	10	0	51	0	1,161
熊谷市	70	3	0	0	5	6	6	16	12	14	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	149
その他 埼玉県	145	7	7	0	69	41	73	50	10	12	49	25	5	4	0	0	0	1	0	83	0	581
群馬県 埼玉県 以外	336	4	21	0	109	70	180	95	33	34	99	24	16	3	0	0	2	9	0	30	0	1,065
小計	28,066	691	1,242	0	3,365	6,697	4,814	2,199	2,030	4,450	3,182	2,632	1,025	141	177	0	38	838	0	2,131	114	63,832
合計	80,929	2,503	3,455	0	9,329	16,523	16,867	6,670	6,463	11,962	7,453	7,680	2,975	369	649	0	148	2,267	0	5,065	355	181,662

入院 地域別患者割合



外来 地域別患者割合



(9) 年齢別・性別・診療科別 延べ入院患者数

(単位:人)

年齢別	性別	内科	心療内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放診科	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353
	女	0	0	0	466	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	466
	小計	0	0	0	819	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	819
28日～2歳未満	男	0	0	0	701	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	709
	女	0	0	0	450	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	455
	小計	0	0	0	1,151	0	1	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,164
2歳～4歳未満	男	0	0	0	279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279
	女	0	0	0	197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	197
	小計	0	0	0	476	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	476
4歳～6歳未満	男	0	0	0	163	0	8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	177
	女	0	0	0	102	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	111
	小計	0	0	0	265	0	16	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	288
6歳～10歳未満	男	0	0	0	236	23	21	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	286
	女	0	0	0	233	2	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245
	小計	0	0	0	469	25	29	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	531
10歳～20歳未満	男	74	0	0	257	81	149	29	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	593
	女	102	0	0	160	50	25	25	0	6	19	0	0	0	0	0	0	0	2	0	389
	小計	176	0	0	417	131	174	54	0	9	19	0	0	0	0	0	0	0	2	0	982
20歳～30歳未満	男	155	0	0	0	142	115	222	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	658
	女	357	0	0	64	72	11	1	0	6	889	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1,410
	小計	512	0	0	64	214	126	223	0	22	889	0	0	0	0	0	0	0	18	0	2,068
30歳～40歳未満	男	421	0	0	0	129	287	17	15	13	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	886
	女	145	0	0	0	103	18	189	0	24	1,203	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1,684
	小計	566	0	0	0	232	305	206	15	37	1,203	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2,570
40歳～50歳未満	男	1,488	0	0	0	415	560	719	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	3,240
	女	496	0	0	0	308	108	135	0	10	602	0	0	0	0	0	0	0	13	0	1,672
	小計	1,984	0	0	0	723	668	854	0	55	602	0	0	0	0	0	0	0	26	0	4,912
50歳～60歳未満	男	2,276	0	0	0	705	460	794	0	119	0	3	0	0	0	0	0	0	9	0	4,366
	女	1,204	0	0	0	560	287	515	17	51	300	0	0	0	0	0	0	0	19	0	2,903
	小計	3,480	0	0	0	1,265	697	1,309	17	170	300	3	0	0	0	0	0	0	28	0	7,269
60歳～65歳未満	男	1,910	0	0	0	839	570	705	0	253	0	2	0	0	0	0	0	0	20	0	4,299
	女	923	0	0	0	398	241	401	0	101	104	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2,174
	小計	2,833	0	0	0	1,237	811	1,106	0	354	104	2	0	0	0	0	0	0	26	0	6,473
65歳～70歳未満	男	3,618	0	0	0	1,309	377	1,230	109	425	0	17	0	0	0	0	0	0	46	0	7,131
	女	2,073	0	0	0	673	751	509	0	119	17	18	0	0	0	0	0	0	0	0	4,160
	小計	5,691	0	0	0	1,982	1,128	1,739	109	544	17	35	0	0	0	0	0	0	46	0	11,291
70歳～75歳未満	男	6,135	0	0	0	1,644	630	1,615	11	498	0	11	0	0	0	0	0	0	5	0	10,549
	女	2,780	0	0	0	931	1,019	700	0	150	110	31	0	0	0	0	0	0	3	0	5,724
	小計	8,915	0	0	0	2,575	1,649	2,315	11	648	110	42	0	0	0	0	0	0	8	0	16,273
75歳～80歳未満	男	6,000	0	0	0	2,220	388	1,972	0	575	0	24	0	0	0	0	0	0	12	0	11,191
	女	2,982	0	0	0	1,295	1,129	678	5	46	80	23	0	0	0	0	0	0	0	0	6,238
	小計	8,982	0	0	0	3,515	1,517	2,650	5	621	80	47	0	0	0	0	0	0	12	0	17,429
80歳～85歳未満	男	5,290	0	0	0	1,090	767	1,622	5	527	0	10	0	0	0	0	0	0	6	0	9,317
	女	4,348	0	0	0	913	1,591	1,253	22	175	8	12	0	0	0	0	0	0	6	0	8,328
	小計	9,638	0	0	0	2,003	2,358	2,875	27	702	8	22	0	0	0	0	0	0	12	0	17,645
85歳～90歳未満	男	3,380	0	0	0	987	624	844	0	206	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	6,049
	女	5,120	0	0	0	981	1,719	1,095	7	153	8	4	0	0	0	0	0	0	4	0	9,091
	小計	8,500	0	0	0	1,968	2,343	1,939	7	359	8	11	0	0	0	0	0	0	5	0	15,140
90歳～95歳未満	男	2,261	0	0	0	410	119	328	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,201
	女	2,851	0	0	0	366	963	566	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,820
	小計	5,112	0	0	0	776	1,082	894	0	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,021
95歳～100歳未満	男	388	0	0	0	8	48	22	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	504
	女	588	0	0	0	109	271	87	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,077
	小計	976	0	0	0	117	319	109	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,581
100歳以上	男	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	女	58	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86
	小計	78	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106
男計	33,416	0	0	1,989	10,002	5,123	10,124	140	2,808	0	74	0	0	0	0	0	0	132	0	63,808	
女計	24,027	0	0	1,672	6,789	8,100	6,160	51	937	3,340	88	0	0	0	0	0	0	66	0	51,230	
合計	57,443	0	0	3,661	16,791	13,223	16,284	191	3,745	3,340	162	0	0	0	0	0	0	198	0	115,038	

※退院数を含む。

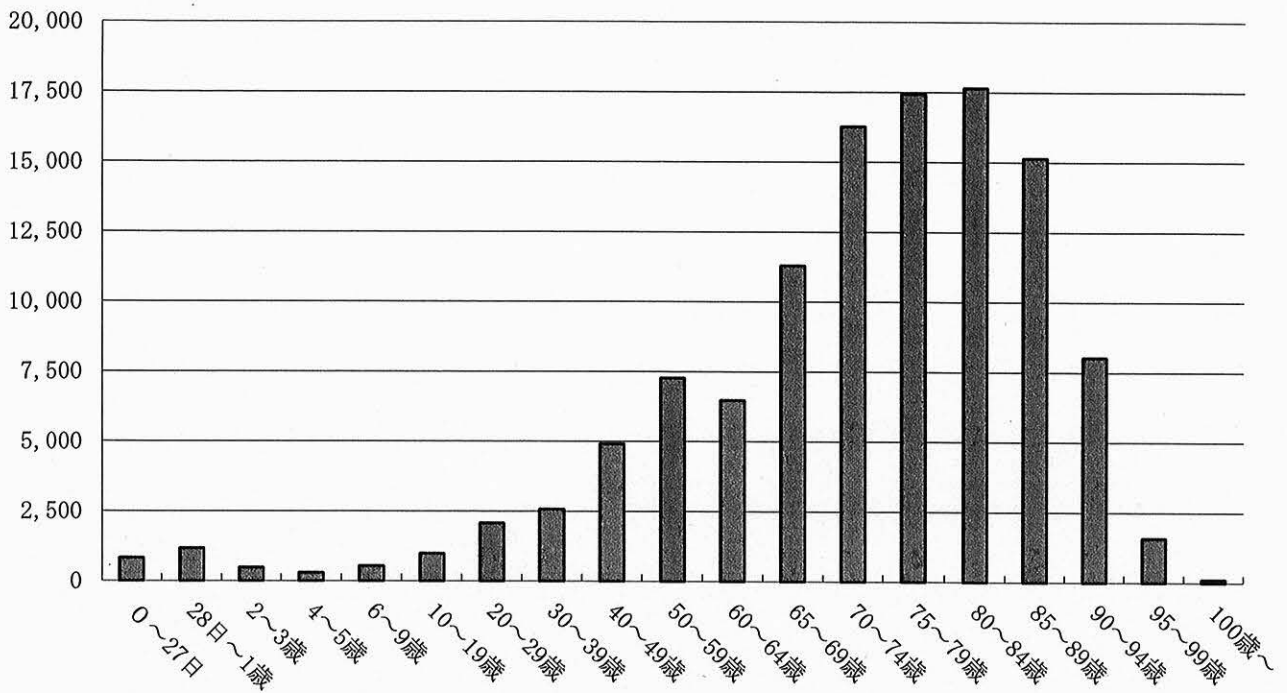
(10) 年齢別・性別・診療科別 延べ外来患者数

(単位:人)

年齢別	性別	内科	心療内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放診断科	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科	形成外科	合計
0日~28日未満	男	0	0	0	150	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	154
	女	0	0	0	179	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179
	小計	0	0	0	329	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	333
28日~2歳未満	男	0	0	0	1,241	0	14	33	18	22	0	16	81	0	0	0	0	0	7	0	1,432
	女	0	0	0	1,024	2	19	34	43	0	0	10	55	0	0	0	0	0	2	0	1,189
	小計	0	0	0	2,265	2	33	67	61	22	0	26	136	0	0	0	0	0	9	0	2,621
2歳~4歳未満	男	0	0	0	668	0	52	41	10	16	0	17	23	0	0	0	0	0	6	3	836
	女	0	0	0	597	0	21	37	2	1	0	18	22	0	0	0	0	0	4	0	702
	小計	0	0	0	1,265	0	73	78	12	17	0	35	45	0	0	0	0	0	10	3	1,538
4歳~6歳未満	男	0	0	0	589	2	64	39	13	15	0	24	11	0	0	0	0	0	9	2	768
	女	0	0	0	507	0	37	21	12	0	0	6	24	0	0	0	0	0	4	2	613
	小計	0	0	0	1,096	2	101	60	25	15	0	30	35	0	0	0	0	0	13	4	1,381
6歳~10歳未満	男	1	0	0	952	16	163	55	26	17	0	26	15	0	0	0	0	0	17	1	1,289
	女	0	0	0	781	3	83	26	10	1	0	40	28	1	0	0	0	0	10	5	988
	小計	1	0	0	1,733	19	246	81	36	18	0	66	43	1	0	0	0	0	27	6	2,277
10歳~20歳未満	男	379	19	13	1,413	83	664	130	52	44	11	88	40	4	0	0	0	0	43	6	2,989
	女	260	8	20	1,144	58	324	93	65	10	67	64	25	3	0	0	0	1	41	4	2,187
	小計	639	27	33	2,557	141	988	223	117	54	78	152	65	7	0	0	0	1	84	10	5,176
20歳~30歳未満	男	664	59	67	36	88	531	97	88	72	0	13	12	3	0	0	0	0	81	1	1,812
	女	847	71	30	25	104	140	80	71	20	743	29	37	4	0	0	0	0	122	13	2,336
	小計	1,511	130	97	61	192	671	177	159	92	743	42	49	7	0	0	0	0	203	14	4,148
30歳~40歳未満	男	1,027	76	76	6	117	629	126	118	97	7	62	24	6	7	0	3	0	113	2	2,496
	女	1,416	177	80	0	187	251	116	111	70	1,364	63	70	7	0	0	0	0	173	15	4,100
	小計	2,443	253	156	6	304	880	242	229	167	1,371	125	94	13	7	0	3	0	286	17	6,596
40歳~50歳未満	男	2,920	105	58	1	291	756	337	198	304	0	203	77	16	24	0	5	0	157	26	5,478
	女	2,676	194	108	0	836	588	301	263	115	1,937	203	125	13	13	0	9	150	207	27	7,765
	小計	5,596	299	166	1	1,127	1,344	638	461	419	1,937	406	202	29	37	0	14	150	364	53	13,243
50歳~60歳未満	男	4,643	200	142	11	554	1,135	378	292	578	4	404	145	22	29	0	0	76	229	29	8,871
	女	4,386	231	107	1	1,179	948	364	346	239	1,427	385	179	29	24	0	0	182	326	29	10,382
	小計	9,029	431	249	12	1,733	2,083	742	638	817	1,431	789	324	51	53	0	0	258	555	58	19,253
60歳~65歳未満	男	4,134	72	143	1	735	672	410	237	720	8	248	81	14	39	0	5	42	261	9	7,831
	女	2,919	89	93	0	971	844	213	248	189	384	325	107	21	7	0	6	147	186	4	6,753
	小計	7,053	161	236	1	1,706	1,516	623	485	909	392	573	188	35	46	0	11	189	447	13	14,584
65歳~70歳未満	男	7,484	127	183	0	1,260	849	524	415	1,216	3	557	201	26	42	0	2	96	393	37	13,415
	女	4,736	125	210	0	1,149	1,040	321	270	270	453	583	181	24	5	0	21	139	283	10	9,820
	小計	12,220	252	393	0	2,409	1,889	845	685	1,486	456	1,140	382	50	47	0	23	235	676	47	23,235
70歳~75歳未満	男	9,371	119	291	0	1,648	890	491	606	1,966	1	672	329	30	38	0	9	214	352	39	17,066
	女	4,514	204	269	0	1,414	1,282	309	403	358	513	780	218	22	62	0	25	277	382	21	11,053
	小計	13,885	323	560	0	3,062	2,172	800	1,009	2,324	514	1,452	547	52	100	0	34	491	734	60	28,119
75歳~80歳未満	男	7,156	123	313	0	1,497	828	506	638	1,935	0	689	188	29	125	0	3	267	334	21	14,652
	女	5,176	140	322	0	1,158	1,125	374	423	333	256	657	201	37	37	0	8	248	348	17	10,860
	小計	12,332	263	635	0	2,655	1,953	880	1,061	2,268	256	1,346	389	66	162	0	11	515	682	38	25,512
80歳~85歳未満	男	5,388	100	252	0	1,068	602	340	462	1,655	0	410	131	20	19	0	8	218	279	4	10,956
	女	3,609	118	266	0	753	946	295	367	241	175	456	155	17	39	0	10	74	332	10	7,863
	小計	8,997	218	518	0	1,821	1,548	635	829	1,896	175	866	286	37	58	0	18	292	611	14	18,819
85歳~90歳未満	男	2,619	42	188	0	529	322	200	219	894	0	185	81	5	19	0	4	78	122	3	5,510
	女	2,404	57	150	0	506	583	180	207	183	82	260	55	11	75	0	11	41	110	9	4,924
	小計	5,023	99	338	0	1,035	905	380	426	1,077	82	445	136	16	94	0	15	119	232	12	10,434
90歳~95歳未満	男	753	4	39	0	90	83	54	91	188	0	62	16	1	1	0	8	13	57	0	1,460
	女	1,130	28	33	3	188	309	107	104	78	14	109	34	3	40	0	11	4	66	6	2,267
	小計	1,883	32	72	3	278	392	161	195	266	14	171	50	4	41	0	19	17	123	6	3,727
95歳~100歳未満	男	101	0	0	0	5	5	16	12	99	0	4	0	1	0	0	0	0	3	0	246
	女	202	15	2	0	30	60	19	18	13	4	10	2	0	4	0	0	0	4	0	383
	小計	303	15	2	0	35	65	35	30	112	4	14	2	1	4	0	0	0	7	0	629
100歳以上	男	2	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8
	女	12	0	0	0	2	6	3	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	29
	小計	14	0	0	0	2	8	3	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	37
男計	46,642	1,046	1,765	5,068	7,983	8,261	3,777	3,496	9,841	34	3,680	1,457	177	343	0	47	1,004	2,465	183	97,269	
女計	34,287	1,457	1,690	4,261	8,540	8,606	2,893	2,967	2,121	7,419	4,000	1,518	192	306	0	101	1,263	2,600	172	84,393	
合計	80,929	2,503	3,455	9,329	16,523	16,867	6,670	6,463	11,962	7,453	7,680	2,975	369	649	0	148	2,267	5,065	355	181,662	

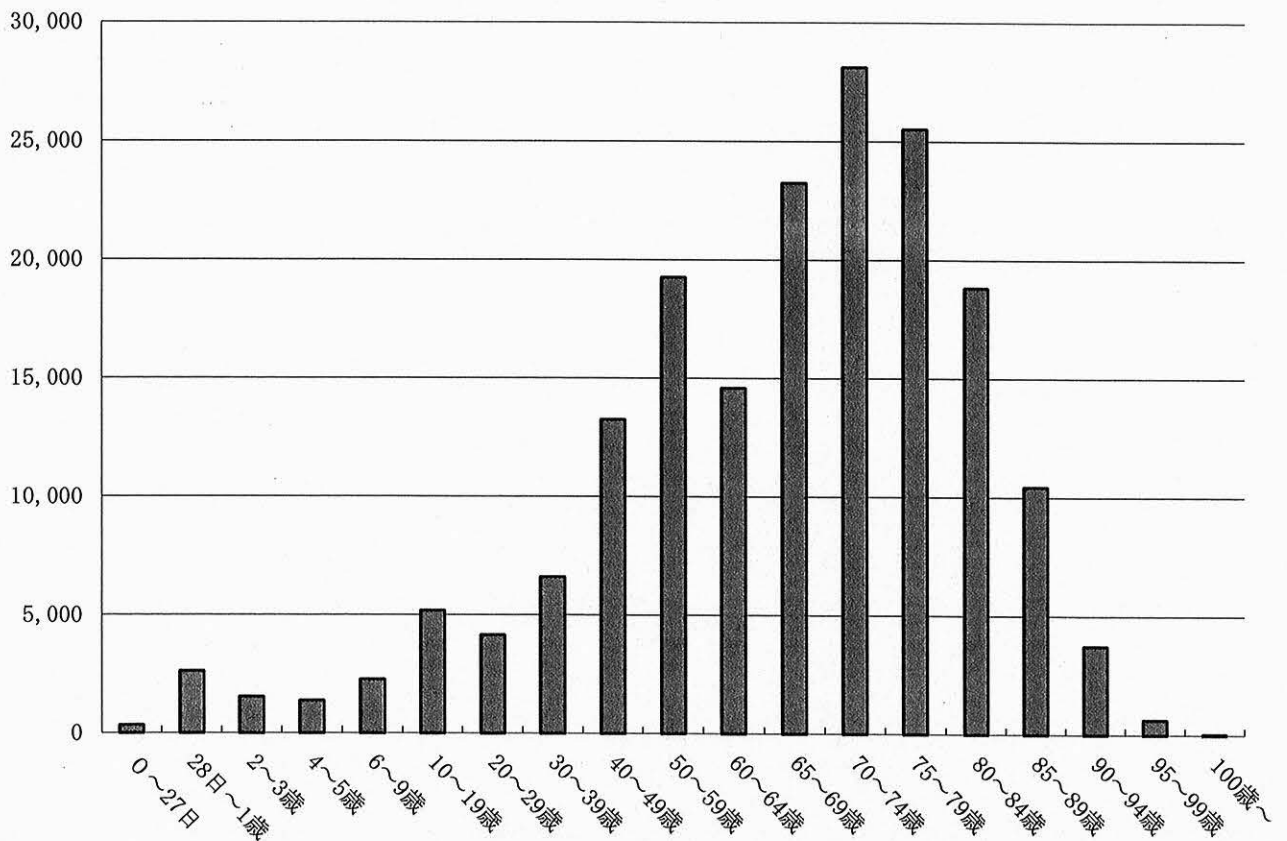
入院 年齢別構成

(単位：人)



外来 年齢別構成

(単位：人)



(11) 病棟別病床稼働率

(単位：%)

病棟別	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北2階	48	63.5	63.1	66.9	57.9	58.3	76.5	81.6	78.7	73.0	69.4	66.2	72.3	68.9
北4階	38	69.3	56.6	64.9	58.4	64.9	75.7	69.9	64.9	45.2	63.6	71.1	59.3	63.5
北5階	46	73.5	86.1	88.0	84.6	89.6	88.2	88.7	93.6	50.3	90.1	95.9	85.3	84.4
北6階	47	89.2	93.4	93.6	93.0	90.7	88.8	90.4	90.9	86.3	88.8	95.9	79.8	90.0
南3階 HCU	24	55.4	64.0	63.9	44.8	62.0	53.9	67.7	70.6	160.9	76.3	70.8	59.5	70.9
南4階	47	89.9	93.8	93.8	90.5	89.8	90.8	93.8	90.1	92.4	94.5	99.2	94.0	92.7
南5階	47	78.4	87.7	87.2	83.4	79.7	79.9	92.1	89.9	92.4	93.3	91.5	84.4	86.6
南6階	46	82.3	83.3	87.4	88.0	79.7	82.9	90.2	86.9	83.5	85.6	88.0	82.3	85.0
南7階	47	67.7	75.2	87.0	75.4	74.2	69.6	82.3	83.1	73.6	74.8	87.8	79.8	77.5
感染症	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	394	74.8	78.6	81.9	76.4	76.8	79.1	84.5	83.4	79.8	81.7	85.4	78.0	80.0

*人間ドック5床を除く

(12) 平均在院日数

*DPC

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13.0	13.3	12.5	11.3	11.6	12.2	12.3	12.7	12.5	13.5	12.4	12.0	12.4
小児科	5.2	4.9	5.0	5.3	5.5	8.7	8.9	6.3	5.0	6.1	4.9	5.3	6.0
外科	8.0	10.0	9.0	8.6	9.9	10.0	9.1	9.3	9.1	9.6	9.6	8.4	9.2
整形外科	9.8	11.4	9.4	11.2	9.5	9.1	10.4	10.6	10.1	10.7	8.4	9.2	10.0
産婦人科	7.6	8.6	8.3	6.2	9.7	8.9	9.7	6.9	7.2	7.2	8.4	9.2	8.2
脳神経外科	10.4	11.3	14.7	9.8	10.9	11.8	14.6	10.9	11.2	14.6	11.7	9.9	11.7
泌尿器科	6.7	6.3	6.8	8.7	5.8	7.2	5.9	6.3	6.3	8.0	9.4	8.4	7.2
皮膚科	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	13.8	3.3	10.0	4.0	0.0	0.0	0.0	11.1
歯科口腔外科	5.5	3.3	2.7	2.7	2.8	3.5	2.9	2.5	4.9	1.7	2.0	5.5	3.4
全科合計	10.6	11.5	10.9	10.2	10.3	11.0	11.2	10.8	10.7	11.8	10.9	10.4	10.9

*包括ケア

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	8.1	10.3	11.1	9.6	9.8	9.4	9.4	9.0	8.4	8.4	7.8	8.3	9.1
外科	6.7	4.6	4.2	5.4	4.7	5.4	6.6	4.8	4.1	3.7	3.8	3.2	4.6
整形外科	13.0	11.9	12.3	5.4	6.8	7.2	11.6	12.3	6.9	10.9	9.2	6.3	9.5
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5
脳神経外科	6.4	8.4	25.1	9.7	11.5	6.9	12.1	9.6	7.9	16.0	11.8	11.8	10.9
泌尿器科	4.7	6.3	8.4	10.6	12.0	6.0	9.6	7.0	8.2	5.5	6.0	7.2	7.2
皮膚科	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	27.5	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	19.4
全科	8.4	9.5	11.1	8.6	8.5	8.2	9.8	8.4	7.2	7.9	7.3	7.4	8.4

*回復期リハ

(単位:日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0.0	0.0	0.0	37.0	36.0	25.0	34.0	...	74.0	55.3	41.0	25.6	40.7
外科	...	20.0	0.0	17.0	0.0	0.0	58.0	37.0	...	36.0	0.0	0.0	49.1
整形外科	33.0	108.4	31.8	26.5	26.0	41.6	113.5	57.1	42.1	69.8	57.8	68.9	52.3
脳神経外科	80.3	55.4	77.9	72.9	48.2	81.2	58.8	67.6	48.5	70.0	58.2	78.2	64.9
全科	63.7	62.3	58.6	59.3	42.4	61.0	71.7	63.2	47.8	67.1	54.9	67.6	59.3

*平均在院日数の計算式 (24時入院患者数) ÷ ((新入院患者数+新退院患者数) ÷ 2)

*平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

*基準別患者数

(単位:人)

月別 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
D P C	6,971	7,564	7,493	7,371	7,431	7,270	7,905	7,557	7,586	7,853	7,373	7,294	89,668
包括ケア	954	1,096	1,227	1,099	1,081	982	1,199	1,172	1,072	1,090	1,156	1,162	13,290
回復期リハ	915	939	963	862	867	1,102	1,214	1,133	1,086	1,033	890	1,076	12,080
合計	8,840	9,599	9,683	9,332	9,379	9,354	10,318	9,862	9,744	9,976	9,419	9,532	115,038

2. 診療請求の現況

(1) 診療科別請求額

(単位：千円、%)

区分	診療科	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	3,072,760	2,928,833	95.3	3,191,495	109.0
	小児科	208,539	228,143	109.4	203,923	89.4
	外科	1,140,213	1,181,706	103.6	1,185,695	100.3
	整形外科	871,788	872,275	100.1	735,348	84.3
	脳神経外科	668,248	924,911	138.4	908,044	98.2
	皮膚科	1,707	6,239	365.5	6,587	105.6
	泌尿器科	216,904	249,329	114.9	211,285	84.7
	産婦人科	257,910	240,406	93.2	240,272	99.9
	眼科	63,518	35,794	56.4	31,467	87.9
	救急科	29,249	77,607	265.3	0	0.0
	リハビリ科	873	-	-	-	-
	歯科口腔外科	-	14,072	-	16,475	-
	全科	6,531,709	6,759,315	103.5	6,730,591	99.6
外来	内科	1,876,560	1,851,317	98.7	1,981,390	107.0
	心療内科	38,673	33,484	86.6	13,650	40.8
	小児科	76,721	78,020	101.7	66,570	85.3
	外科	385,590	418,007	108.4	498,353	119.2
	整形外科	173,786	159,158	91.6	125,327	78.7
	脳神経外科	88,874	83,737	94.2	90,407	108.0
	皮膚科	21,719	21,087	97.1	23,003	109.1
	泌尿器科	180,698	194,740	107.8	222,301	114.2
	産婦人科	81,049	73,734	91.0	67,720	91.8
	眼科	90,280	80,562	89.2	76,915	95.5
	耳鼻咽喉科	21,698	22,410	103.3	19,976	89.1
	放射線診断科	-	10,456	-	9,533	91.2
	ペイン	2,271	2,568	113.1	2,565	99.9
	救急科	4,698.0	10,829	-	0	0.0
	リハビリ科	73.0	351	-	216	61.5
	放射線治療科	59,349	62,542	105.4	50,074	80.1
	歯科口腔外科	-	25,588	-	29,414	115.0
	形成外科	-	1,889	-	3,630	192.2
全科	3,102,039	3,130,479	100.9	3,281,044	104.8	
合計	内科	4,949,320	4,780,150	96.6	5,172,885	108.2
	心療内科	38,672	33,484	86.6	13,650	40.8
	小児科	285,260	306,163	107.3	270,493	88.3
	外科	1,525,804	1,599,713	104.8	1,684,048	105.3
	整形外科	1,045,574	1,031,433	98.6	860,675	83.4
	脳神経外科	757,122	1,008,648	133.2	998,452	99.0
	皮膚科	23,426	27,327	116.7	29,590	108.3
	泌尿器科	397,603	444,069	111.7	433,585	97.6
	産婦人科	338,959	314,139	92.7	307,992	98.0
	眼科	153,798	116,356	75.7	108,383	93.1
	耳鼻咽喉科	21,698	22,410	103.3	19,976	89.1
	放射線診断科	-	10,456	-	9,533	91.2
	ペイン	2,271	2,568	113.1	2,565	99.9
	救急科	33,947.0	88,437	-	0	0.0
	リハビリ科	946.0	351	-	216	61.5
	放射線治療科	59,349	62,542	105.4	50,074	80.1
	歯科口腔外科	-	39,660	-	45,889	115.7
	形成外科	-	1,889	-	3,630	192.2
全科	9,633,748	9,889,794	102.7	10,011,635	101.2	

(2) 診療報酬請求状況

(単位：件、点、%)

	診療科	入院					外来				
		29年度	30年度		元年度		29年度	30年度		元年度	
			前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
請求件数	内科	5,147	5,006	97.3	5,429	108.4	68,336	62,522	91.5	60,081	96.1
	精神科	0	0	—	0	—	6,020	4,689	77.9	2,113	45.1
	小児科	735	745	101.4	713	95.7	7,605	7,549	99.3	7,158	94.8
	外科	2,011	1,979	98.4	2,040	103.1	12,354	11,782	95.4	11,182	94.9
	整形外科	1,348	1,402	104.0	1,207	86.1	16,628	15,219	91.5	10,432	68.5
	脳神経外科	964	1,243	128.9	1,137	91.5	5,406	5,249	97.1	5,312	101.2
	皮膚科	3	17	—	14	—	5,630	5,596	99.4	5,214	93.2
	泌尿器科	637	685	107.5	584	85.3	9,559	9,914	103.7	10,076	101.6
	産婦人科	609	566	92.9	544	96.1	6,223	5,690	91.4	5,430	95.4
	眼科	217	131	60.4	123	93.9	7,753	7,452	96.1	6,876	92.3
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	2,726	2,706	99.3	2,481	91.7
	放射線診断科	0	0	—	0	—	0	382	—	366	95.8
	麻酔科	0	0	—	0	—	298	370	124.2	389	105.1
	救急科	75	203	—	0	—	213	567	266.2	0	—
	リハビリ科	1	0	—	0	—	16	80	500.0	126	157.5
	放射線治療科	0	0	—	0	—	617	502	81.4	412	82.1
	歯科口腔外科	0	41	—	64	156.1	0	2,051	—	2,878	140.3
	形成外科	0	0	—	0	—	0	165	—	280	169.7
全科	11,747	11,977	102.0	11,791	98.4	149,384	139,767	93.6	127,236	91.0	
1人1日当たり診療点数	内科	5,058	5,152	101.9	5,204	101.0	2,022	2,132	105.4	2,348	110.1
	精神科	0	0	—	0	—	544	595	109.3	545	91.7
	小児科	4,572	4,753	104.0	4,782	100.6	789	792	100.4	714	90.1
	外科	5,891	6,272	106.5	6,445	102.8	2,143	2,403	112.1	3,016	125.5
	整形外科	5,442	5,119	94.1	5,246	102.5	596	637	106.9	743	116.7
	脳神経外科	5,561	4,899	88.1	5,372	109.6	1,242	1,271	102.4	1,355	106.6
	皮膚科	4,613	3,466	—	3,294	95.0	285	290	101.7	356	122.8
	泌尿器科	4,555	4,971	109.1	5,008	100.7	1,564	1,609	102.9	1,858	115.5
	産婦人科	5,843	5,818	99.6	6,330	108.8	904	917	101.4	909	99.1
	眼科	10,802	9,727	90.0	9,712	99.9	956	939	98.2	1,002	106.7
	耳鼻咽喉科	0	0	—	0	—	594	654	110.1	672	102.7
	放射線診断科	0	0	—	0	—	0	2,582	—	2,584	100.1
	麻酔科	0	0	—	0	—	491	353	71.9	395	112.0
	救急科	4,346	4,844	—	0	—	2,060	1,775	—	0	—
	リハビリ科	5,818	0	—	0	—	304	322	105.8	146	45.3
	放射線治療科	0	0	—	0	—	2,880	2,055	71.4	2,209	107.5
	歯科口腔外科	0	6,455	—	6,436	99.7	0	634	—	581	91.5
	形成外科	0	0	—	0	—	0	859	—	1,023	119.1
全科	5,302	5,302	100.0	5,544	104.6	1,494	1,494	100.0	1,967	131.7	

(3) 診療行為別請求額

(単位：千円、%)

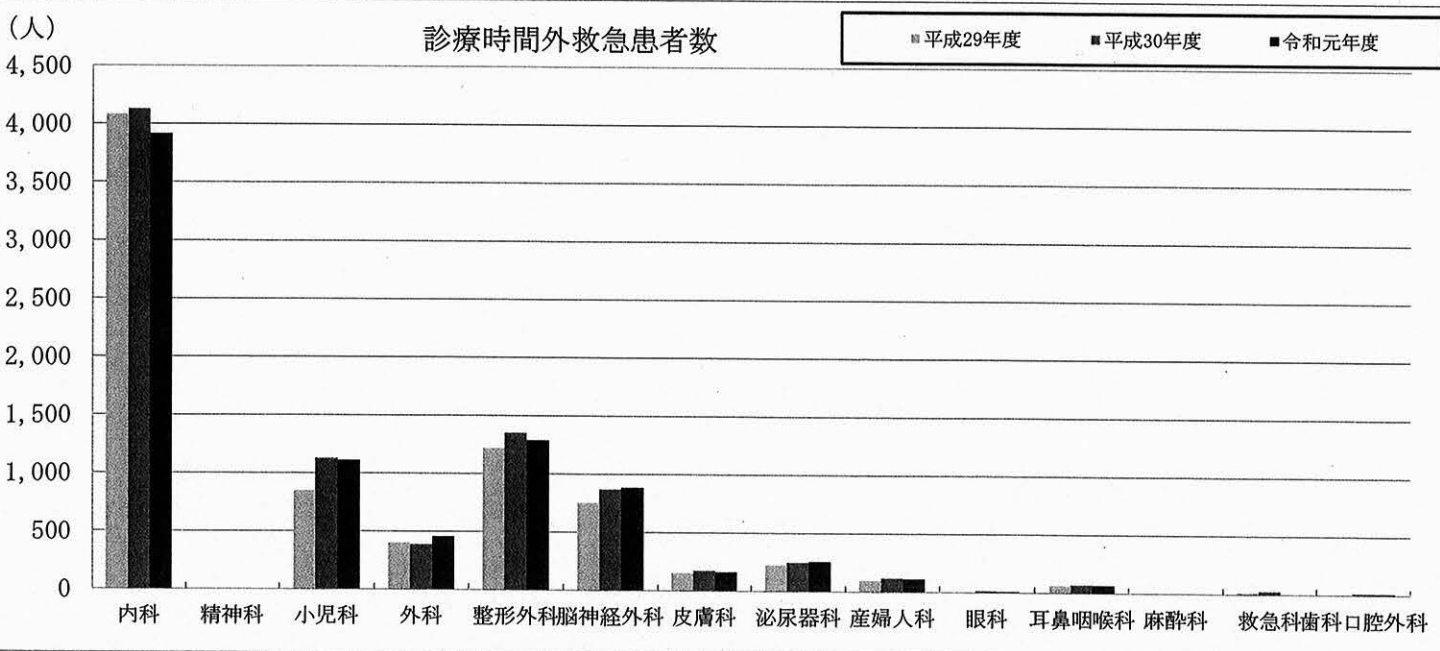
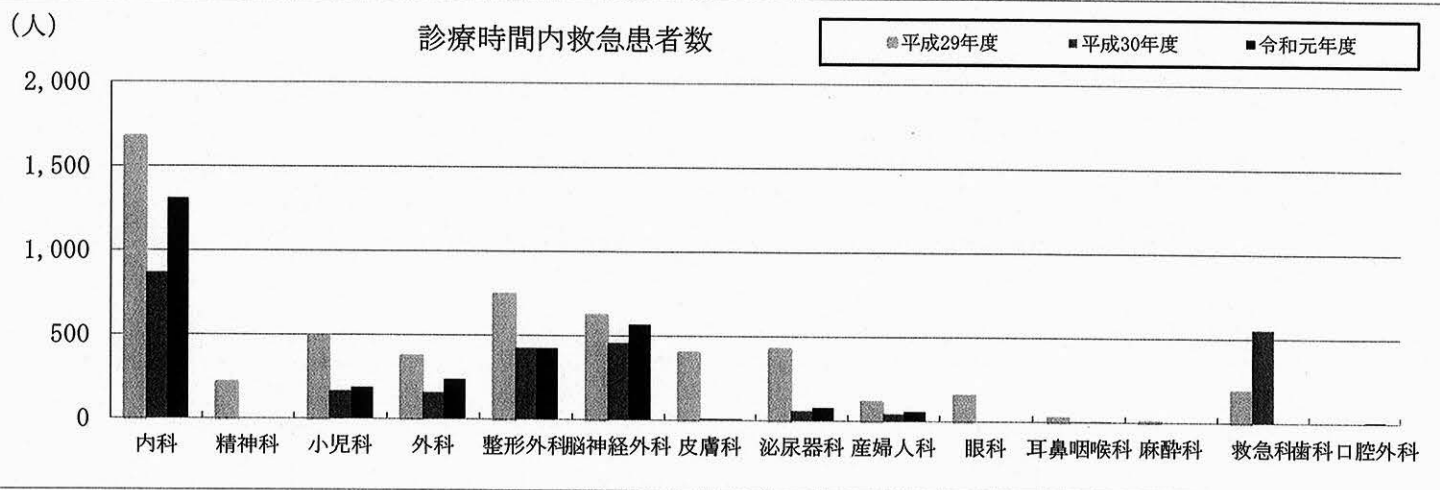
診療行為別	入院					外来				
	29年度	30年度		元年度		29年度	30年度		元年度	
		前年比		前年比			前年比		前年比	
初診料	12,102	12,617	104.3	13,097	103.8	54,183	49,369	91.1	45,485	92.1
再診料	—	—	—	—	—	149,690	118,179	78.9	109,559	92.7
入院料	552,196	505,376	91.5	468,188	92.6	—	—	—	—	—
指導料	68,339	68,776	100.6	69,609	101.2	157,062	131,177	83.5	134,000	102.2
在宅療養料	7,336	9,273	126.4	13,165	142.0	215,119	196,265	91.2	199,688	101.7
投薬料	52,389	36,564	69.8	43,886	120.0	122,986	121,210	98.6	154,168	127.2
注射料	111,447	54,934	49.3	80,729	147.0	674,985	772,651	114.5	910,813	117.9
処置料	37,160	32,177	86.6	29,326	91.1	297,596	319,052	107.2	333,743	104.6
手術輸血料	1,070,575	1,128,927	105.5	1,159,343	102.7	105,127	117,153	111.4	149,157	127.3
麻酔料	141,008	152,760	108.3	149,081	97.6	2,066	2,219	107.4	2,389	107.6
検査料	67,630	64,539	95.4	61,848	95.8	748,434	719,713	96.2	706,848	98.2
画像診断料	8,923	8,479	95.0	7,384	87.1	381,267	410,946	107.8	400,235	97.4
理学療法料	276,637	210,601	76.1	205,697	97.7	41,288	31,335	75.9	23,575	75.2
処方箋料	—	—	—	—	—	82,512	65,840	79.8	58,890	89.4
その他	385	166	43.1	36	21.7	69,724	75,369	108.1	52,495	69.7
食料	153,309	140,738	91.8	136,166	96.8	—	—	—	—	—
分娩介補料	51,968	50,691	97.5	51,104	100.8	—	—	—	—	—
DPC包括額	3,395,814	3,326,811	98.0	3,322,894	99.9	—	—	—	—	—
包括ケア病棟	436,270	504,424	—	482,122	95.6	—	—	—	—	—
回復期リハ病棟	88,221	451,463	—	436,917	96.8	—	—	—	—	—
合計	6,531,709	6,759,316	103.5	6,730,591	99.6	3,102,039	3,130,478	100.9	3,281,044	104.8

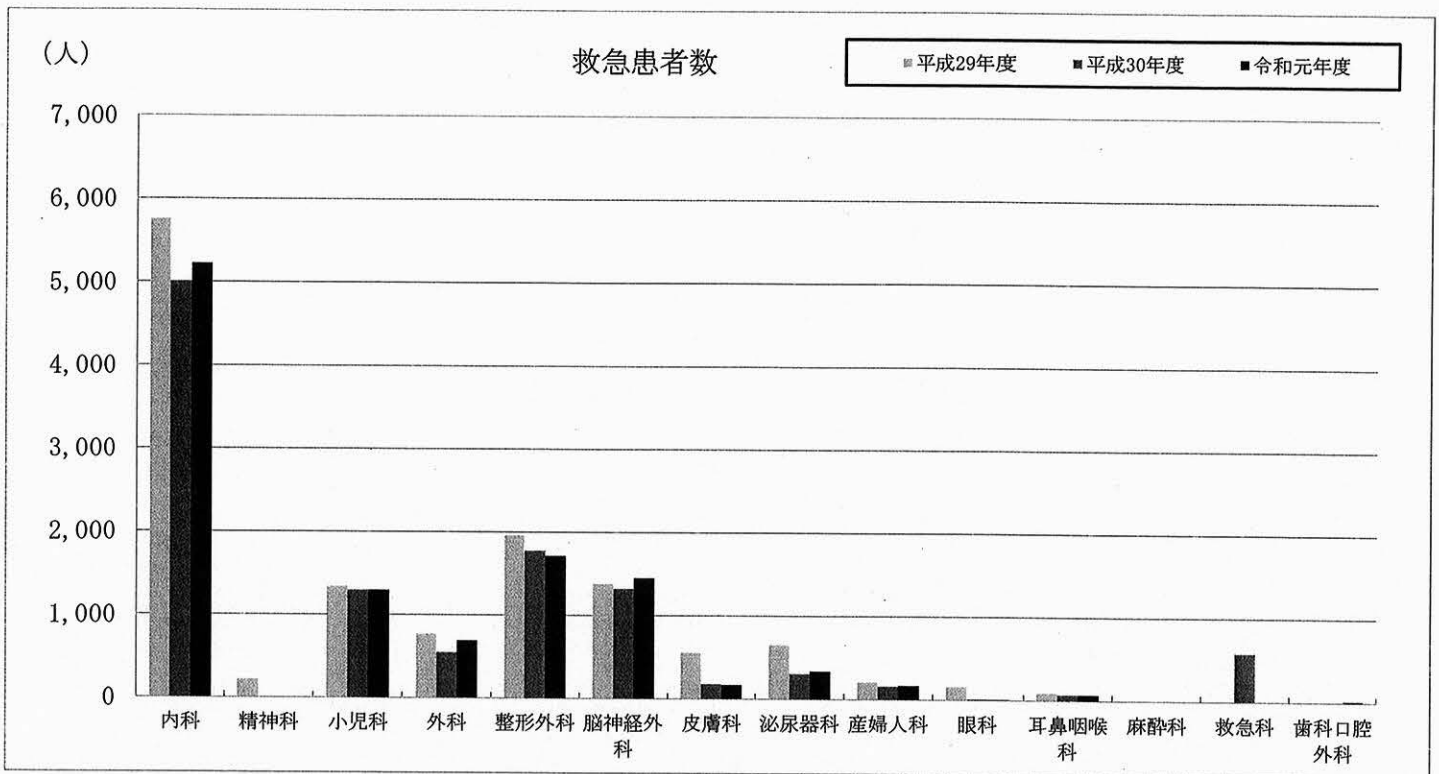
3. 救急患者の状況

(1) 救急患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	歯科 口腔外科	合計
平成29年度	5,757	215	1,337	773	1,961	1,378	555	651	210	159	93	5	—	—	13,094
時間内	1,675	215	488	373	743	623	401	426	114	156	27	5	187	—	5,433
時間外	4,082	0	849	400	1,218	755	154	225	96	3	66	0	17	—	7,865
平成30年度	4,995	1	1,294	548	1,775	1,324	181	305	161	12	74	2	579	—	11,251
時間内	868	1	166	159	425	457	9	59	44	0	3	1	551	1	2,744
時間外	4,127	0	1,128	389	1,350	867	172	246	117	12	71	1	28	13	8,521
令和元年度	5,222	0	1,295	692	1,712	1,451	170	334	169	7	70	1	0	16	11,139
時間内	1,308	0	186	236	424	566	7	79	58	0	4	1	0	5	2,874
時間外	3,914	0	1,109	456	1,288	885	163	255	111	7	66	0	0	11	8,265

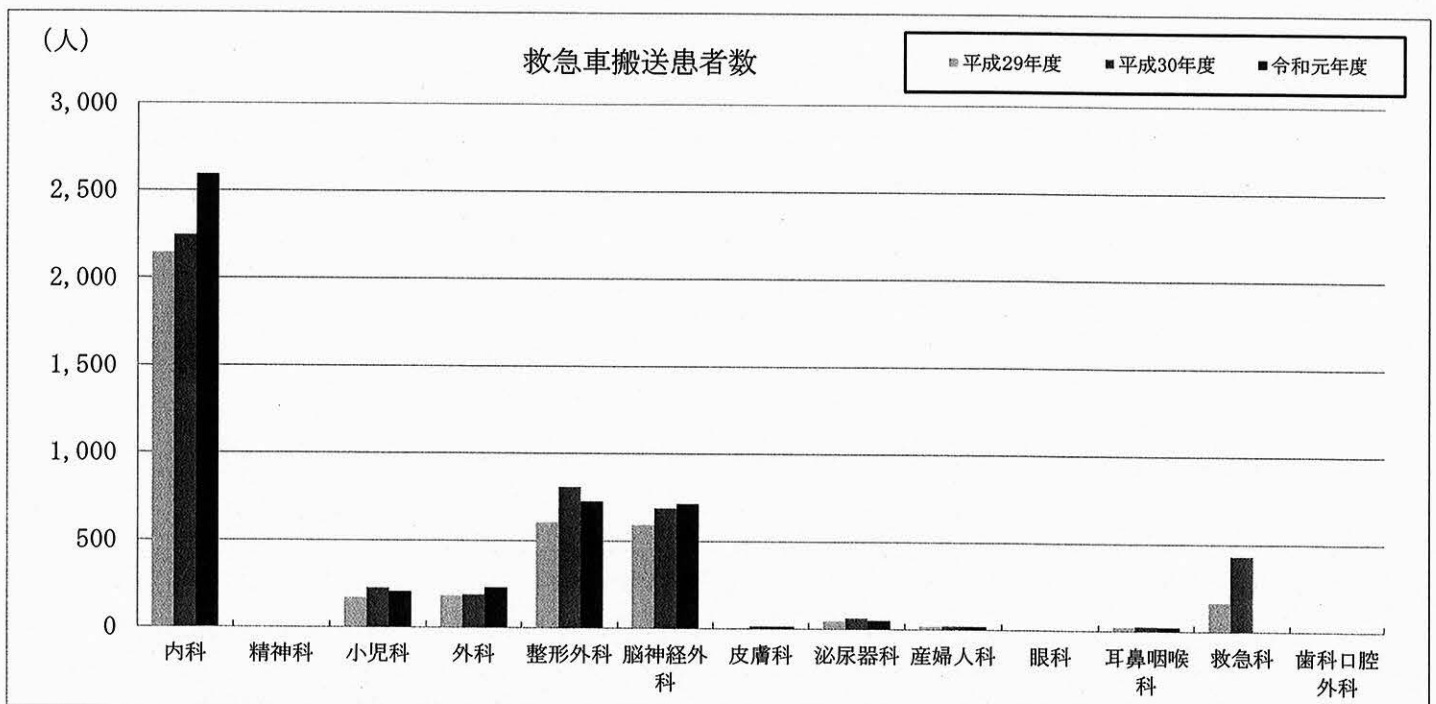




(2) 救急車搬送患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	救急科	歯科口腔外科	合計
平成29年度	2,144	0	168	184	603	591	6	46	20	3	23	167	—	3,955
平成30年度	2,245	0	226	189	808	687	15	62	21	0	25	432	2	4,712
令和元年度	2,591	0	205	230	725	712	13	50	18	0	22	0	0	4,566



4. 分娩件数

(単位：件)

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
分娩件数	単胎	271	264	265
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	271	264	265
児体数	生産	270	261	264
	死産23W以前	1	3	1
	死産23W以後	0	0	0
	計	271	264	265

5. 剖検数

(単位：件)

区分	平成28年度	平成30年度	令和元年度
死亡件数	500	549	503
剖検数	5	5	8
剖検率 (%)	1.00	0.91	1.59

6. 内視鏡件数

(単位：件)

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
検査	上部消化管検査	5,825	6,278	5,855
	下部消化管検査	1,519	1,620	1,627
	膵・胆管ファイバー	67	63	84
	胆道ファイバー	2	1	0
	気管支ファイバー	186	108	105
	膀胱鏡	558	593	546
	計	8,157	8,663	8,217
処置	静脈瘤結紮術	1	5	2
	ポリペクトミー上部・EMR	13	17	10
	ポリペクトミー下部・EMR	378	401	419
	超音波内視鏡	20	23	5
	止血術	508	505	404
	内視鏡的拡張術	29	39	33
	点墨・色素散布	120	165	139
	BST (内視鏡的乳頭括約筋切開術)	42	35	47
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	57	93	413
	PEG (内視鏡的胃瘻造設術)	18	13	11
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	17	20	22
	イレウス管挿入	32	46	45
	異物摘出術	16	12	11
	経肛門的減圧術	3	8	5
	留置スネア	7	12	13
	SBチューブ挿入	0	2	0
	内視鏡的粘膜下層剥離術	9	12	16
	ポリープ焼灼	0	0	0
	計	1,270	1,408	1,595

7. 循環器科

(単位：件)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
非 観 血 的 検 査	冠動脈CT	394	383	306	
	心筋シンチ	88	76	112	
	塩化タリウム	64	34	47	
	MIBG	14	29	25	
	MIBI	4	1	8	
	BMIPP	6	12	32	
観 血 的 検 査 ・ 治 療	冠動脈造影	516	432	501	
	うち アセチルコリン負荷試験	41	34	34	
	右心カテーテル	34	24	23	
	スワンガンツカテーテル	34	24	23	
	電気生理学的検査	0	0	0	
	心筋生検	11	15	14	
	冠動脈カテーテル治療	233	199	245	
	うち待機	138	99	155	
	うち緊急	95	100	90	
	内 訳	バルーンのみ	42	35	65
		ステント併用	191	164	180
		冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
		血栓吸引術併用	70	67	59
		大動脈内バルーンパンピング併用	23	22	20
	末梢血管形成術	50	60	88	
	下肢動脈	26	18	20	
	シャント血管	24	42	68	
	下大静脈フィルター	2	5	0	
	一時的ペーシング	55	48	43	
	ペースメーカー	51	68	54	
	新規植込み	35	58	40	
電池消耗による交換	16	10	14		

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

(単位：件)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全身麻酔	1,205	1,278	1,271
腰椎麻酔	410	380	404
伝達麻酔	87	100	113
静脈内麻酔	0	2	2
局所麻酔	600	502	467
無麻酔	69	74	82
硬膜外麻酔	96	119	113
その他	4	5	2
合計	2,471	2,460	2,454

(2) 手術別件数

手術名	29年度	30年度	元年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	49	66	50
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	2	3	5
創傷処理（長径5cm～1cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	17	20	19
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	3	3	0
創傷処理（長径20cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	0	0	1
創傷処理（長径10cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	18	13	16
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	350	397	367
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	8	15	14
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉・臓器に達しないもの）	30	35	30
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	3	3	3
創傷処理（長径10cm以上・筋肉・臓器に達しないもの）	3	5	8
小児創傷処理（長径2.5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	2	7	6
小児創傷処理（長径2.5cm以上、5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	1	5	3
小児創傷処理（直径2.5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	18	29	24
小児創傷処理（直径2.5cm以上5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	4	6	4
小児創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	0	0	0
皮膚切開（長径10cm未満）	57	59	41
皮膚切開（長径10cm以上20cm未満）	0	1	0
皮膚切開（長径20cm以上）	3	3	0
デブリードマン（100cm ² 未満）	0	0	1
皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術（露出部）（長径3cm未満）	0	1	5
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	17	20	13
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	18	26	40
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	3	4	7
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	1	7	12
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	1	3	0
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	2	1	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	15	10	10
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	6	7	21
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	2	4	2
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	2	5	2
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	2	1	0
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	0	0	3
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（12cm以上）	1	1	0
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（良性皮膚腫瘍）（長径3cm未満）	64	35	12
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（良性皮膚腫瘍）（長径3cm以上6cm未満）	1	0	0
皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）	0	0	1
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	11	11	19
形 成			
分層植皮術（25cm ² 未満）	0	1	0
全層植皮術（25cm ² 未満）	0	0	1
分層植皮術（25cm ² ～100cm ² 未満）	1	0	0
全層植皮術（25cm ² ～100cm ² 未満）	3	0	0
全層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）	2	0	0

手術名	29年度	30年度	元年度
全層植皮術（200cm ² 以上）	0	0	1
皮弁作成・移動・切断（25cm ² 未満）	0	7	5
皮弁作成・移動・切断（25cm ² ～100cm ² ）	0	1	0
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	20	45	27
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）（指）	19	2	0
筋膜移植術（その他）	0	2	0
筋肉内異物摘出術	2	0	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	5	1	3
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（肩）	0	1	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（上腕）	1	0	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（前腕）	1	1	2
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）	1	0	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）	1	1	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）	2	3	2
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）	0	1	0
腱切除術	1	0	0
腱滑膜切除術	5	1	0
腱縫合術	11	30	16
腱縫合術（指）	3	3	9
アキレス腱断裂手術	10	7	7
腱移植術（指（手、足））	0	0	1
腱移植術（その他）	1	0	0
腱移行術（指（手、足））	1	0	2
腱移行術（その他）	0	0	0
四肢骨			
骨穿孔術	0	1	1
骨搔爬術（手）	1	0	1
骨搔爬術（足、その他）	1	0	0
骨折非観血的整復術（上腕）	6	7	8
骨折非観血的整復術（前腕）	46	52	54
骨折非観血的整復術（下腿）	4	2	5
骨折非観血的整復術（鎖骨）	4	3	6
骨折非観血的整復術（膝蓋骨）	1	0	0
骨折非観血的整復術（手）	15	10	10
骨折非観血整復術（足、その他）	6	3	11
骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）	0	1	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	4	7	5
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	2	3	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	2	2	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（足）	0	4	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手・足））	5	3	13
骨折観血の手術（肩甲骨）	0	1	0
骨折観血の手術（上腕）	22	24	22
骨折観血の手術（大腿）	101	115	105
骨折観血の手術（前腕）	69	68	80
骨折観血の手術（下腿）	37	38	48

手術名	29年度	30年度	元年度
骨折観血的手術（手舟状骨）	2	3	5
骨折観血的手術（鎖骨）	12	16	10
骨折観血的手術（膝蓋骨）	10	8	3
骨折観血的手術（手（舟状骨を除く））	4	8	6
骨折観血的手術（足）	5	7	2
骨折観血的手術（指（手，足）	8	21	13
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	0	2	5
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	0	1	0
一時的創外固定骨折治療術	0	10	12
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	1	11	3
超音波骨折治療法（一連につき）	16	17	9
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	4	15	20
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	5	4	5
骨内異物（挿入物）除去術（その他の頭蓋）	0	0	1
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	48	46	44
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	25	33	27
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	12	8	11
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	3	7	6
骨内異物（挿入物）除去術（手）	7	11	5
骨内異物（挿入物）除去術（足）	3	7	4
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	11	10	17
骨部分切除術（前腕）	1	0	0
骨部分切除術（手）	1	0	1
骨腫瘍切除術（指）	0	0	1
骨切り術（大腿）	1	0	0
骨切り術（前腕）	0	0	1
偽関節手術（下腿）	0	1	0
偽関節手術（膝蓋骨）	0	1	0
偽関節手術（手（舟状骨））	0	1	1
偽関節手術（前腕）	1	0	0
偽関節手術（指（手，足））	1	0	0
変形治癒骨折矯正手術（前腕）	0	1	0
変形治癒骨折矯正手術（指（手，足））	1	0	0
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	14	5	1
骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植、非生体、その他）	2	0	0
骨移植術（軟骨移植を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	3	2	1
四肢関節・靭帯			
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩）	0	1	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	0	1	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	1	0	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肘）	1	0	2
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）	1	0	0
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（指・手）	0	0	2
関節脱臼非観血的整復術（肩）	11	15	19
関節脱臼非観血的整復術（股）	3	3	1
関節脱臼非観血的整復術（膝）	1	1	0
関節脱臼非観血的整復術（肘）	4	4	4

手 術 名	29年度	30年度	元年度
関節脱臼非観血的整復術（足）	2	0	1
関節脱臼非観血整復術（指・手・足）	6	4	7
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	20	17	24
関節脱臼観血的整復術（肩）	1	0	0
関節脱臼観血的整復術（足）	0	0	0
関節脱臼観血的整復術（肘）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（手）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（肩鎖）	0	0	0
関節脱臼観血的整復術（指・手）	0	1	0
関節滑膜切除術（膝）	1	2	0
関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	2	2	0
関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）	0	1	0
関節鏡下半月板切除術	15	10	0
関節鏡下半月板縫合術	1	0	0
ガングリオン摘出術（手）	1	1	1
ガングリオン摘出術（足）	1	2	0
ガングリオン摘出術（その他）	2	0	0
関節内骨折観血的手術（肩）	1	0	0
関節内骨折観血的手術（膝）	6	8	10
関節内骨折観血的手術（肘）	7	14	8
関節内骨折観血的手術（手）	0	1	2
関節内骨折観血的手術（足）	1	1	11
関節内骨折観血的手術（指・手）	1	1	4
関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）	0	1	0
関節鏡下関節内骨折観血的手術（足）	0	0	1
靭帯断裂縫合術（指（手，足）	4	1	3
靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）	5	4	5
観血的関節授動術（指・手）	2	0	1
観血的関節制動術（膝）	1	1	0
観血的関節固定術（手）	1	0	0
観血的関節固定術（指・手）	1	2	4
靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	1	2	0
関節鏡下靭帯断裂形成術（十字靭帯）	1	0	0
関節形成手術（膝）	2	1	0
関節形成手術（手）	2	2	1
関節形成手術（指・手）	1	0	0
人工骨頭挿入術（股）	57	47	37
人工骨頭挿入術（肩）	0	1	2
人工骨頭挿入術（肘）	2	2	2
人工関節置換術（膝）	11	12	0
鋼線等による直達牽引	3	14	9
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（大腿）	4	4	0
四肢切断術（下腿）	4	6	5
四肢切断術（足）	3	0	1
四肢切断術（手）	1	0	0
四肢切断術（手・指）	3	0	2

手術名	29年度	30年度	元年度
四肢切断術（足・指）	2	6	2
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	0	1	3
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	4	5	1
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	1	1	0
切断四肢再接合術（手・指）	0	1	0
手・足			
爪甲除去術	2	10	7
陥入爪手術（簡単なもの）	0	1	1
手根管開放手術	16	20	25
手掌遺物摘出術	0	1	0
足底異物摘出術	1	1	1
指癒痕拘縮手術	1	0	0
多指症手術（骨関節形成を要す）	0	1	0
デュピイトレン拘縮手術（1指）	1	0	1
デュピイトレン拘縮手術（2指から3指）	2	0	0
デュピイトレン拘縮手術（4指以上）	1	0	0
母指対立再建術	0	0	1
脊 柱 ・ 骨 盤			
腸骨翼骨折観血の手術	1	0	0
骨盤骨折観血の手術（腸骨翼及び寛骨臼骨折観血の手術を除く）	1	0	0
脊椎内異物（挿入物）除去術	5	0	0
椎間板摘出術（後方摘出術）	5	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	11	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）	3	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）	0	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）	31	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	25	0	0
脊椎骨（軟骨）組織試験採取術（その他）	0	1	0
体外式脊椎固定術（ベスト式のもの）	1	0	0
頭 蓋 ・ 脳			
穿頭脳室ドレナージ術	2	7	11
穿頭術（トレパナチオン）	2	1	0
試験開頭術	1	0	0
減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症の場合）	0	0	0
減圧開頭術（その他の場合）	2	0	0
脳膿瘍排膿術	1	1	0
定位脳腫瘍生検術	1	0	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	1	0	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	6	4	10
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	2	8	6
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	44	54	37
内視鏡下脳内血腫除去術	2	2	0
脳膿瘍全摘術	0	0	1
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	3	6	8
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	2	0	0
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	1	1	3
水頭症手術（シャント手術）	1	3	3

手術名	29年度	30年度	元年度
脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	11	8	5
脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）	0	1	1
脳血管内手術（1箇所）	7	9	13
脳血管内手術（2箇所以上）	0	0	1
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	1	0	1
経皮的脳血管形成術	3	5	1
経皮的脳血栓回収術	20	18	31
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	0	0	3
頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）	0	3	0
脊 髄 ・ 末梢神経 ・ 交感神経			
神経縫合術（指（手，足））	9	12	2
神経縫合術（その他）	1	6	1
神経剥離術（その他のもの）	6	5	3
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部）直径2cm以上4cm未満	1	0	0
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部以外）直径6cm以上	2	0	0
胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）	1	0	0
眼 瞼			
霰粒腫摘出術	0	1	0
眼瞼膿瘍切開術	0	1	0
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	19	16	12
眼瞼内反症手術（縫合法）	4	3	0
眼瞼下垂症手術（その他）	0	0	1
結 膜			
結膜縫合術	1	2	0
結膜結石除去術（少数のもの）（1眼瞼ごと）	3	1	2
結膜下異物除去術	4	0	1
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	0	1	0
角膜・強膜異物除去術	5	4	2
眼 房 ・ 網 膜			
虹彩光凝固術	17	22	4
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	43	32	10
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	19	14	23
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	281	184	162
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・縫着レンズを挿入するもの）	1	0	0
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	4	0	0
後発白内障手術	56	40	32
外 耳			
鼓膜切開術	3	1	0
外耳道異物除去術（単純なもの）	0	1	2
外耳道異物除去術（複雑なもの）	0	0	1
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	4	3	6
鼻骨骨折徒手整復術	1	0	0
上顎洞根治手術	0	2	2
鼻茸摘出術	1	1	0
咽 頭 ・ 扁 桃			

手術名	29年度	30年度	元年度
咽頭異物摘出術（簡単）	2	1	2
喉頭・気管			
気管切開術	6	9	14
気管切開孔閉鎖術	0	0	2
口・舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	0	3	6
頬粘膜悪性腫瘍手術	0	1	1
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	0	4	6
舌悪性腫瘍手術（切除）	0	7	0
口唇腫瘍摘出術（その他）	0	5	3
顔面骨・顎関節			
顎関節脱臼非観血的整復術	4	2	1
下顎骨折観血的手術（片側）	0	1	0
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	0	1	1
顎関節授動術（開放授動術）	0	0	2
唾液腺			
唾石摘出術（一連につき）（表在性のもの）	0	1	0
顎下腺摘出術	0	0	1
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	1	2	1
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（片葉）	3	2	9
甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	0	0	1
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	4	1	2
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	0	1	1
副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（摘出術）	1	0	0
頸嚢摘出術	1	0	0
乳 腺			
乳腺膿瘍切開術	0	1	0
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	28	12	17
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1	2	0
乳管腺葉区域切除術	1	1	0
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	29	29	21
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	11	17	17
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	21	22	27
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）（内視鏡下によるものを含む）	0	1	2
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	7	4	2
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	1	6	6
胸 壁			
肋骨骨折観血的手術	0	0	1
胸壁腫瘍摘出術	0	1	1
胸 腔 ・ 胸 膜			
胸腔鏡下試験開胸術	0	3	2
胸腔鏡下試験切除術	0	0	2
膿胸胸膜切除術（1肺葉に相当する範囲を超えるもの）	0	0	1
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	2	4	3
膿胸腔有茎筋肉弁充填術	1	0	0
胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除）	0	1	1

手術名	29年度	30年度	元年度
縦 隔			
胸腺摘出術	1	0	0
胸腔鏡下縦隔切開術	0	0	1
縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）	0	0	0
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	0	1	0
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	1	1	1
気管支 ・ 肺			
気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	1	0	0
肺切除術（肺葉切除）	2	1	1
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	19	16	16
胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	3	1	1
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	1	1
肺悪性腫瘍手術（区域切除）	1	0	0
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	6	6	0
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	10	11	6
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	15	21	29
食 道			
食道縫合術（開胸手術）	0	1	0
食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	1	1	3
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	1	12	3
食道ステント留置術	0	2	3
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	3	3	3
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）	2	0	0
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）	0	1	1
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部・腹部の操作）	1	3	0
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	3	5	2
横隔膜			
食道裂孔ヘルニア手術（経腹）	1	0	0
食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）	1	0	0
心・心膜・肺動静脈・冠血管等			
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	5	3	9
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	2	6	6
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	40	26	48
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	37	30	31
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	16	21	15
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	139	111	135
経皮的冠動脈血栓吸引術	2	0	2
胸腔鏡下心膜開窓術	0	1	0
経皮的冠動脈粥腫切除術	0	1	0
体外ペースメーカー術	2	1	2
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	43	56	39
ペースメーカー交換術	8	10	15
植込型心電図記録計移植術	0	1	1
大動脈バルーンパンピング（初日）	19	18	17
大動脈バルーン法（2日目以降）	110	98	111
経皮的心肺補助法（初日）	3	2	4
動 脈			

手術名	29年度	30年度	元年度
血管結紮術（その他）	0	1	1
血管縫合術（簡単）	0	1	0
動脈塞栓除去術（その他）（観血的）	0	1	0
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	2	0	0
経皮的頸動脈ステント留置術	15	10	19
動脈形成術（頭蓋内動脈）	0	1	1
動脈吻合術（指（手、足）の動脈）	7	8	2
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	0	4	2
内シャント設置術	42	32	33
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	36	31	70
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	3	3	1
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	3	2	0
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	0	3	2
四肢の血管拡張術・血栓除去術	24	17	3
経皮的血管内異物除去術	0	1	0
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	26	39	62
静脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	0	1	0
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	3	8	4
下大静脈フィルター留置術	2	4	0
下大静脈フィルター除去術	0	1	0
リンパ管・リンパ節			
リンパ管腫摘出術（長径5cm以上）	1	0	0
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	9	12	10
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	3	6	4
腹壁・ヘルニア			
腹壁膿瘍切開術	2	0	0
腹壁膿瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	1	1	1
腹壁瘻手術（腹腔に通ずるもの）	0	1	0
ヘルニア手術（腹壁癒痕ヘルニア）	3	3	6
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	0	0	1
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	6	2	1
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	64	89	93
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	2	7	5
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア）	0	1	0
ヘルニア手術（内ヘルニア）	0	0	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（腹壁癒痕ヘルニア）	2	0	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	0	2	3
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	0	1	4
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	45	13	41
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	7	0	13
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	0	0	7
試験開腹術	3	4	3
腹腔鏡下試験開腹術	1	0	1
腹腔鏡下試験切除術	1	0	4
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1	0	4

手術名	29年度	30年度	元年度
急性汎発性腹膜炎手術	9	8	2
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	0	1
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴う）	0	0	1
大網切除術	0	1	0
大網腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	0	1	0
胃 ・ 十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	1	0	4
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	0	5	3
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	3	2	5
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	8	9	9
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	9	14	9
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	12	10	9
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1	0	2
内視鏡的消化管止血術	55	70	61
胃血管結紮術（急性胃出血手術）	0	2	0
胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）	0	4	0
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	0	1	0
胃切除術（単純）	0	0	2
胃切除術（悪性腫瘍）	24	22	15
腹腔鏡下胃切除術（単純）	1	0	1
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	5	13	9
噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	2	3	1
胃全摘術（悪性腫瘍）	16	15	8
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	1	1	0
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	7	9	5
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	5	8	4
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	8	5	5
胆嚢 ・ 胆道			
胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）	0	1	0
胆嚢摘出術	53	56	37
腹腔鏡下胆嚢摘出術	69	74	93
胆管形成手術（胆管切除術を含む）	1	0	0
胆嚢外瘻造設術	1	1	2
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	0	0	5
経皮的胆管ドレナージ術	5	1	0
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	0	1	0
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	0	1	2
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	0	3	3
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	13	9	7
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石を伴う）	14	8	21
内視鏡的胆道ステント留置術	31	35	43
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	4	2	5
肝切除術（部分切除）	2	3	2
肝切除術（外側区域切除）	0	0	1
肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	0	0	1
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	0	1	0

手術名	29年度	30年度	元年度
膝			
膝体尾部腫瘍切除術（膝尾部切除術）（脾同時切除）	0	2	1
膝体尾部腫瘍切除術（膝尾部切除術）（脾温存）	0	0	1
膝頭部腫瘍切除術（膝頭十二指腸切除術）	2	5	0
膝頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	0	0	1
膝頭部腫瘍切除術（膝頭十二指腸切除術）	0	0	1
膝頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	1	2	0
膝頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併を伴う）	1	0	0
膝全摘術	1	0	0
内視鏡的膝管ステント留置術	3	5	0
脾			
脾摘出術	0	1	2
腹腔鏡下脾摘出術	0	0	1
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
腸切開術	0	0	2
腸管癒着症手術	8	13	6
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	1	0	1
腸重積症整復（非観血的なもの）	3	2	2
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	21	20	16
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	2	3	1
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1	1	1
小腸腫瘍摘出術	0	1	0
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	0	1	0
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	33	30	61
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	17	24	17
結腸切除術（小範囲切除）	13	18	14
結腸切除術（結腸半側切除）	1	2	0
結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	54	62	60
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	1	4	3
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	20	14	40
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	6	41	45
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	0	5	8
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	346	325	356
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	18	30	23
小腸結腸内視鏡的止血術	7	13	15
腸吻合術	2	2	0
人工肛門造設術	5	13	1
腹腔鏡下人工肛門造設術	0	0	5
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	0	0	1
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	3	1	8
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	3	2	2
下部消化管ステント留置術	0	1	4
直腸			
直腸異物除去術（内視鏡によるもの）	0	0	1
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	7	4	4
経肛門的内視鏡下手術（直腸腫瘍に限る）	0	0	1
低侵襲経肛門的局所切除術（MITAS）	2	0	0

手術名	29年度	30年度	元年度
直腸切除・切断術（切除術）	11	19	12
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	11	15	4
直腸切除・切断術（切断術）	4	2	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	2	2	5
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	5	12	18
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	2	5	4
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わないもの）	5	0	1
肛 門 ・ その周辺			
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によるもの））	0	1	7
痔核手術（結紮術）	0	1	0
肛門周囲膿瘍切開術	7	5	12
痔瘻根治手術（単純）	2	3	2
肛門悪性腫瘍手術（切除）	0	0	1
肛門悪性腫瘍手術（直腸切断を伴うもの）	0	0	1
腎 ・ 腎 盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	1	1
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	1	1
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	35	25	25
腹腔鏡下腎部分切除術	1	0	0
経皮的腎嚢胞穿刺術	0	0	1
腎（尿管）悪性腫瘍手術	2	2	1
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	15	14	9
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	6	13	17
尿 管			
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	7	18	9
経尿道的尿管狭窄拡張術	1	0	1
経尿道的尿管ステント留置術	110	90	122
経尿道的尿管ステント抜去術	18	18	18
尿管膀胱吻合術	0	1	1
膀 胱			
膀胱内凝血除去術	10	3	6
膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	12	11	11
膀胱結石、異物摘出（膀胱高位切開術）	0	0	1
膀胱壁切除術	0	0	1
経尿道的電気凝固術	1	1	1
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	1	4	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管等利用し尿路変更を行わない）	2	0	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	0	5	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・代用膀胱を利用し尿路変更を行う）	0	1	0
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	67	73	68
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	4	1	0
尿膜管摘出術	2	1	0
膀胱瘻造設術	3	1	5
ポアリー氏手術	0	0	1
尿 道			
尿道結石、異物摘出術（前部尿道）	0	1	1
尿道結石、異物摘出術（後部尿道）	0	1	0

手術名	29年度	30年度	元年度
外尿道腫瘍切除術	2	0	2
尿道狭窄内視鏡手術	0	0	2
尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	5	3	0
女子尿道脱手術	0	1	0
陰 茎			
包茎手術（背面切開術）	0	1	0
包茎手術（環状切除術）	3	8	4
陰囊・精巣・精巣上部・精管・精索			
精巣摘出術	11	9	6
精巣悪性腫瘍手術	2	4	2
陰囊水腫手術（交通性陰囊水腫手術）	1	0	0
陰囊水腫手術（その他）	4	2	5
停留精巣固定術	0	2	4
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	0	0	1
精索捻転手術（その他のもの）	0	0	1
精 囊 ・ 前立腺			
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	0	0	3
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	6	12	7
前立腺悪性腫瘍手術	0	0	1
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	8	10	12
外 陰 ・ 会 陰			
バルトリン腺膿瘍切開術	0	0	1
処女膜切開術	1	0	0
バルトリン腺膿瘍腫瘍摘出術（造袋術を含む）	0	1	0
女子外性器腫瘍摘出術	0	1	0
外陰・膣血腫除去術	0	0	1
膣			
膣閉鎖術（中央膣閉鎖術（子宮全脱））	1	0	0
膣壁尖圭コンジローム切除術	0	1	0
膣壁形成手術	2	0	1
子 宮			
子宮内膜搔爬術	3	6	1
子宮脱手術（膣壁形成手術・子宮全摘術）	9	3	4
子宮頸管ポリープ切除術	37	26	42
子宮頸部（膣部）切除術	19	13	9
子宮息肉様筋腫摘出術（膣式）	2	1	0
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	0	1	1
子宮全摘術	35	26	35
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	0	1	1
子宮悪性腫瘍手術	5	3	3
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	0	1	4
卵管結紮術（両側，開腹）	0	6	4
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	38	35	46
卵管全摘除術（両側，開腹）	1	1	1
子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	3	2	2
産科手術			

手術名	29年度	30年度	元年度
吸引娩出術	9	8	18
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	3	1	1
鉗子娩出術（中位鉗子）	1	5	2
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・筋層に及ぶ）	0	0	2
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	3	2	11
会陰（膣壁）裂創縫合（分娩時・膣円蓋に及ぶ）	3	6	3
頸管裂創縫合術（分娩時）	4	3	1
帝王切開術（緊急切開）	28	26	30
帝王切開術（選択切開）	42	34	30
胎盤用手剥離術	0	2	0
妊娠子宮摘出術（ポロー手術）	0	1	0
子宮頸管縫縮術（シロッカー法）	1	0	0
流産手術（妊娠11週まで）	24	17	20
子宮内容除去術（不全流産）	3	1	0
異所性妊娠手術（開腹）	0	0	1
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	0	0	2
子宮外妊娠手術（開腹）	1	3	0
子宮外妊娠手術（腹腔鏡）	2	1	0
歯科口腔外科手術			
後出血処置	0	1	1
拔牙手術・乳歯	0	2	6
拔牙手術・前歯	0	59	122
拔牙手術・臼歯	0	166	324
ヘミセクション（分割拔牙）	0	3	0
拔牙手術・埋伏歯	0	76	117
拔牙窩再搔爬手術	0	0	1
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	0	4	4
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨骨髓炎等） 1/3顎未満	0	2	1
外歯瘻手術	0	0	1
口腔外消炎手術 骨膜下膿瘍、皮下膿瘍、蜂窩織炎等（5cm未満）	0	0	2
顎骨腫瘍摘出術（3cm未満）	0	7	11
顎骨腫瘍摘出術（3cm以上）	0	1	1
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	0	2	5
歯肉・歯槽部腫瘍手術（硬組織）	0	0	1
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	0	16	21
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	0	3	5
歯根端切除手術（2以外の場合）	0	1	0
口腔内縫合術（小深）	0	1	5
がま腫切開術	0	1	3
がま腫摘出術	0	1	0
舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	1	0
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	0	4	3
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	1	6
顎関節脱臼非観血的整復術	0	4	8
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（簡単）	0	0	2
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（困難・深在性）	0	1	0
歯周外科手術・歯肉剥離搔爬手術	0	4	0

手術名	29年度	30年度	元年度
腐骨除去手術（歯槽部）	0	1	6
腐骨除去手術顎骨（片側1／3未満）	0	9	7
顎骨嚢胞開窓術	0	1	0
頬・口唇・舌小帯切離移動術	0	0	1
口蓋隆起形成術	0	0	2
歯の再植術（外傷性脱臼歯）	0	2	4
埋伏歯開窓術	0	0	3
頬骨骨折観血的整復術	0	1	0
歯槽骨骨折観血的整復術（3歯以上）	0	0	2
口腔外縫合術（小深）	0	4	1
口腔外縫合術（中深）	0	0	1
癒痕性拘縮に対する癒痕拘縮形成手術	0	1	0
下顎隆起形成術（両側）	0	1	1
顎骨内異物除去術（困難・顎骨2／3顎未満）	0	2	0
術後性上顎嚢胞摘出術（上顎に限局するもの）	0	1	1
歯根嚢胞摘出術（鶏卵大）	0	0	1
上顎洞陥入歯等除去術（犬歯窩開さくにより行う場合）	0	0	1
歯根端切除手術（1歯につき）（歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）	0	4	22
加 算（医 科）			
手指の創傷に係る機能回復指導加算	0	16	4
術中透視装置使用加算	4	14	3
乳児加算（手術）	3	1	3
幼児加算（手術）	27	45	47
3才未満幼児加算（手術）	25	30	32
麻酔加算（MRSA, B型・C型肝炎, 結核患者）	42	22	16
時間外特例医療機関加算2（処置・手術）	15	76	29
周術期口腔機能管理後手術加算	5	86	114
頸部郭清術加算（片側）	0	0	1
真皮縫合加算	0	9	6
デブリードマン加算（汚染された挫創）	40	45	64
デブリードマン（100㎡未満）	0	1	0
深部デブリードマン加算	1	0	0
乳がんセンチネルリンパ加算1	30	35	42
バルーン内視鏡加算	2	1	1
人工肛門造設加算（直腸切除・切断術）	0	2	1
複雑加算（帝王切開術）	28	31	23
超音波凝固切開装置等加算	343	398	428
創外固定器加算	3	1	3
イオンフォレーゼ加算	2	1	0
自動縫合器加算	235	293	914
自動吻合器加算	59	78	58
術中血管等描出撮影加算	14	10	7
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	16	35	35
加 算（歯 科）			
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	0	9	7
下顎完全埋伏智歯（骨性）加算	0	0	5
下顎水平埋伏智歯加算	0	56	94

手術名	29年度	30年度	元年度
難抜歯加算（臼歯）	0	30	63
難抜歯加算（前歯）	0	0	1

※1..この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

(1) 処方箋

(単位:枚)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院	38,913	39,481	38,599
外来	55,053	115,688	105,093
院内	7,267	9,919	10,138
院外	47,786	105,769	94,955
院外処方箋発行率%	59	91	90
計	93,966	155,169	143,692

(2) 調剤

(単位:件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院	78,512	77,482	79,012
外来	18,355	19,379	20,717
計	96,867	96,861	99,729
調剤の内訳			
内服	73,335	72,208	74,337
外用	14,789	16,472	16,606
頓服	8,742	9,246	9,237

(3) 薬剤管理指導

(単位:件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院	13,121	12,417	13,236

(4) 混注(ミキシング)状況

(単位:件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ミキシング	8,469	5,085	4,550
IVH	1,559	1,555	1,278
抗悪性腫瘍	3,836	3,530	3,272
その他	74	0	0
セット	253,591	230,149	246,710

(5) 病棟薬剤業務実施加算

(単位:件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
DPC対象患者	17,962	18,513	18,496
出来高算定患者	844	1,333	1,177
計	18,806	19,846	19,673

(6) 採用医薬品

(単位:品)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
採用薬品数	1,577	1,694	1,716
新規院内採用数	79	117	83
新規院外採用数	18	34	64

(7) 製剤状況

剤形	製剤名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内 用 液 剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ(内服)	47ml	0	0	0
	ルゴール液(内服用)	100ml	0	0	0
ア ン プ ル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	0	0
	墨汁アンプル	1A	4	7	75
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点 眼 剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	0	0	4
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	バンコマイシン点眼液	5ml	0	0	4
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点 耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5mL	0	0	0
	フロリード点耳液	5mL	0	0	0
	インプレトール	1A	0	0	0
吸 入 剤	耳鼻科用吸入液	50ml	64	51	96
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外 用 液 剤	ロピオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ポラプレジック含嗽水	100ml	71	12	39
	スペシャル含嗽水	500ml	12	21	9
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン(外用)	100ml	2	12	10
	5000倍ボスミン液	100ml	120	63	217
	50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0
坐 剤	チラージンS坐剤	1個	0	0	15
	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟 膏	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	8	1	3
	モーズペースト	100g	2	4	3
	オパホルモン軟膏	20g	0	0	0
そ の 他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ボール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキサックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーベル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	100ml	5	9	10
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液(染色用)	50ml	7	13	13
	ロイコボリン含嗽水	500ml	1	6	7
	メトロニゾール軟膏	500g	0	6	8
	3%酢酸液	500ml	0	4	3
	0.5%ヒビテン液	500ml	0	3	0

(8)麻薬

製剤名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	837	816	1,099
塩酸モルヒネ注50mg	A	459	278	364
塩酸モルヒネ注200mg	A	175	102	248
フェンタニル注	A	5,310	4,623	3,279
塩酸モルヒネ錠	錠	0	0	0
ペチジン注	A	74	75	79
塩酸モルヒネ末	g	0	0	0
MSコンチン10mg	錠	907	812	1,434
MSコンチン30mg	錠	0	135	178
MSコンチン60mg	錠	0	0	70
オキシコンチン5mg	錠	10,191	6,313	オキシコドン徐放錠へ変更
オキシコンチン20mg	錠	3,306	2,748	オキシコドン徐放錠へ変更
オキシコンチン40mg	錠	2,127	3,063	368(以降オキシコドン徐放錠へ変更)
オキシコドン徐放錠5mg	錠	-	-	5,452
オキシコドン徐放錠20mg	錠	-	-	2,420
オキシコドン徐放錠40mg	錠	-	-	484
オプソ5mg	包	707	1,053	1,150
オプソ10mg	包	260	68	730
アンペック坐剤10mg	個	53	60	132
アンペック坐剤20mg	個	30	0	0
アンペック坐剤30mg	個	56	18	0
オキノーム散2.5mg	包	2,227	2,959	2,684
オキノーム散5mg	包	2,121	2,169	1,397
オキノーム散10mg	包	2,438	2,620	880
オキノーム散20mg	包	1,286	2,069	596
レミフェンタニル2mg	V	1,311	1,240	1,347
フェントステープ1mg	枚	1,411	985	1,192
フェントステープ2mg	枚	676	634	429
フェントステープ4mg	枚	333	292	148
フェントステープ6mg	枚	74	51	114
フェントステープ8mg	枚	21	37	261
オキファスト注10mg	A	654	520	434
オキファスト注50mg	A	88	270	867
アブストラル舌下錠100 μ g	錠	340	354	140
アブストラル舌下錠200 μ g	錠	14	30	25
アブストラル舌下錠400 μ g	錠	0	0	0
タペンタ錠25mg	錠	193	0	0
タペンタ錠50mg	錠	201	0	0
ナルベイン注2mg	A	-	-	8
ナルベイン注20mg	A	-	-	0
ナルサス錠2mg	錠	-	-	372
ナルサス錠6mg	錠	-	-	82
ナルサス錠12mg	錠	-	-	45
ナルサス錠24mg	錠	-	-	196
ナルラピド錠1mg	錠	-	-	266
ナルラピド錠2mg	錠	-	-	65
ナルラピド錠4mg	錠	-	-	845
ケタラール静注用200mg	V	-	-	0

10. 放射線室

(1) 種別部位別

*入院棟

種別	部位	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭部	35	47	65	41	69	73	21	39	44
	胸部	8,528	8,620	8,953	9,701	10,680	10,712	9,371	9,650	9,650
	腹部	2,539	3,059	4,014	2,556	4,261	4,263	2,761	4,695	4,692
	四肢	1,520	2,249	3,551	1,785	3,684	4,032	1,744	3,586	4,067
	脊椎・骨全般	1,853	2,863	3,936	1,519	3,021	3,026	1,615	3,229	3,313
	計	14,475	16,838	20,519	15,602	21,715	22,106	15,512	21,199	21,766
TV系	消化器系	219	268	955	328	359	1,003	287	311	769
	外科系	180	190	785	70	70	311	97	101	363
	尿路系	45	45	193	43	43	115	33	34	115
	呼吸器・血管・産婦人科系	51	53	52	128	130	140	213	216	225
	整形外科系	200	202	287	69	73	91	85	93	117
	その他	30	31	54	14	14	21	3	3	8
計	725	789	2,326	652	689	1,681	718	758	1,597	
手術室	胸部ポータブル	536	536	547	704	729	732	724	725	725
	腹部ポータブル	486	490	503	630	631	633	655	655	658
	四肢ポータブル	353	516	740	401	805	828	374	741	783
	脊椎・骨全般ポータブル	190	305	377	171	332	334	170	336	337
	骨透視	319	321	244	408	418	352	115	115	115
	胸部透視	38	38	30	33	33	23	76	76	61
	腹部透視	134	134	341	142	142	227	153	153	229
	その他透視	0	0	0	1	2	2	0	0	0
	計	2,056	2,340	2,782	2,490	3,092	3,131	2,267	2,801	2,908
その他	ポータブル	9,035	9,066	9,144	9,136	9,214	9,231	8,453	8,533	8,547
	コピー	2,321	1,429	1,864	2,469	2,506	2,516	2,643	2,647	2,677
	計	11,356	10,495	11,008	11,605	11,720	11,747	11,096	11,180	11,224
合計	28,612	30,462	36,635	30,349	37,216	38,665	29,593	35,938	37,495	

*外来棟

種別	部位	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭頸部	27	34	52	43	69	71	37	61	61
	胸部	19,290	21,735	25,021	14,268	16,394	16,547	13,267	14,472	14,472
	腹部	2,325	2,790	3,586	2,316	3,532	3,533	2,320	3,573	3,573
	四肢	3,390	4,528	8,205	3,702	7,924	8,784	3,306	6,935	7,962
	脊椎・骨全般	3,439	6,325	10,212	2,695	6,353	6,460	2,660	6,264	6,556
	乳房	2,900	2,923	6,618	706	707	707	652	652	652
	バイオプシー	34	42	39	26	35	35	22	22	22
	計	31,405	38,377	53,733	23,756	35,014	36,137	22,264	31,979	33,298
TV系	消化器系	1,604	1,604	1,611	196	196	196	158	160	267
	尿路系	24	25	135	62	64	77	66	66	83
	整形外科系	43	44	51	42	43	58	35	35	55
	その他	1	1	1	4	4	4	0	0	0
計	1,672	1,674	1,798	304	307	335	259	261	405	
顎口腔	デンタル	—	—	—	159	232	232	242	309	309
	コンビームCT	—	—	—	32	42	42	97	119	119
	パノラマ	—	—	—	646	647	647	754	754	754
	計	0	0	0	837	921	921	1,093	1,182	1,182
骨密度	1,208	1,227	498	512	512	512	551	551	551	
コピー	2,561	2,563	1,468	2,579	2,581	2,592	4,189	4,206	4,260	
合計	36,846	43,841	57,497	27,988	39,335	40,497	28,356	38,179	39,696	

(2) CT検査

種別	部位	平成29年度				平成30年度				令和元年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	頭部	3,192	3,376	322	3,867	3,592	4,070	497	4,567	3,591	4,001	425	4,426
	頸部	274	404	117	556	662	1,116	427	1,543	611	1,002	418	1,420
	胸部	1,806	2,267	1,107	3,681	3,350	4,606	2,915	7,521	3,278	4,909	2,294	7,203
	腹部	805	715	851	1,562	1,488	1,340	1,857	3,197	1,618	1,350	2,096	3,446
	骨盤部	249	382	124	569	355	647	239	886	326	689	176	865
	脊椎・脊髄	173	308	7	426	81	241	0	241	118	324	0	324
	範囲指定	2,293	2,418	1,205	4,511	—	—	—	—	—	—	—	—
	治療計画	—	—	—	—	304	549	1	550	207	419	0	419
	四肢	207	365	64	509	208	612	112	724	277	921	61	982
	(データ)	—	153	104	153	—	0	0	0	—	0	0	0
	計	8,999	10,388	3,901	15,834	10,040	13,181	6,048	19,229	10,026	13,615	5,470	19,085
			14,289				19,229				19,085		
外来棟	頭部	1,125	1,148	114	1,311	1,339	1,503	298	1,801	1,158	1,216	320	1,536
	頸部	152	140	208	356	315	264	402	666	319	241	433	674
	胸部	1,935	2,117	1,146	3,768	3,205	4,166	2,455	6,621	3,248	4,238	2,460	6,698
	腹部	973	541	1,444	1,995	2,594	1,407	4,000	5,407	2,634	1,465	4,035	5,500
	骨盤部	255	181	308	505	609	427	1,046	1,473	766	663	1,225	1,888
	脊椎・脊髄	84	133	0	203	50	152	0	152	89	270	0	270
	範囲指定	2,606	2,611	1,840	5,210	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	260	410	76	541	204	654	110	764	295	940	81	1,021
	(データ)	—	54	12	66	—	279	0	279	—	238	0	238
	計	7,390	7,281	5,136	13,889	8,316	8,573	8,311	16,884	8,509	9,033	8,554	17,587
				12,417				16,884				17,587	
合計	頭部	4,317	4,524	436	5,178	4,931	5,573	795	6,368	4,749	5,217	745	5,962
	頸部	426	544	325	912	977	1,380	829	2,209	930	1,243	851	2,094
	胸部	3,741	4,384	2,253	7,449	6,555	8,772	5,370	14,142	6,526	9,147	4,754	13,901
	腹部	1,778	1,256	2,295	3,557	4,082	2,747	5,857	8,604	4,252	2,815	6,131	8,946
	骨盤部	504	563	432	1,074	964	1,074	1,285	2,359	1,092	1,352	1,401	2,753
	脊椎・脊髄	257	441	7	629	131	393	0	393	207	594	0	594
	範囲指定	4,899	5,029	3,045	9,721	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	467	775	140	1,050	412	1,266	222	1,488	572	1,861	142	2,003
	(データ)	—	207	116	219	—	279	0	279	—	238	0	238
	合計	16,389	17,516	8,933	29,570	18,052	21,205	14,358	35,563	18,328	22,229	14,024	36,253
				26,449				35,563				36,253	

(3) MRI検査

種別	部位	平成29年度				平成30年度				令和元年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	脳	1,223	3,555	375	8,131	1,501	8,957	1,306	10,263	1,630	9,083	1,433	10,516
	脊椎・脊髄	435	495	16	881	616	624	15	639	497	531	22	553
	頭頸	20	21	3	24	36	73	6	79	34	83	4	87
	胸部	20	18	20	33	27	21	35	56	26	3	61	64
	腹部	170	167	34	206	210	170	43	213	212	180	33	213
	骨盤	124	116	45	178	174	122	66	188	126	88	52	140
	四肢	120	127	13	222	271	299	14	313	144	145	12	157
	(データ)	—	68	0	200	—	67	0	67	—	117	0	117
	計	2,112	4,499	506	9,675	2,835	10,266	1,485	11,751	2,669	10,113	1,617	11,730
				5,005				11,751				11,730	

外来棟	脳	1,463	4,568	1,130	10,065	1,279	6,939	1,716	8,655	1,349	7,372	1,903	9,275
	脊椎・脊髄	648	753	24	1,182	377	556	11	567	285	407	11	418
	頭頸	45	80	27	112	74	69	69	138	93	84	29	113
	胸部	124	91	102	142	120	9	114	123	132	35	112	147
	腹部	326	310	136	413	309	221	94	315	315	209	107	316
	骨盤	388	282	274	456	297	76	229	305	338	71	275	346
	四肢	364	412	41	668	184	199	38	237	119	143	25	168
	(データ)	—	13	2	6	—	30	0	13	—	9	0	9
	計	3,358	6,496	1,734	13,038	2,640	8,069	2,271	10,340	2,631	8,330	2,462	10,792
	人間ドック(脳)	139	139	0	827	228	228	0	1,368	202	202	0	1,221
計	3,497	6,635	1,734	13,865	2,868	8,297	2,271	11,708	2,833	8,532	2,462	12,013	
			8,369				10,568				10,994		
合計	脳	2,686	8,123	1,505	18,196	2,780	15,896	3,022	18,918	2,979	16,455	3,336	19,791
	脊椎・脊髄	1,083	1,248	40	2,063	993	1,180	26	1,206	782	938	33	971
	頭頸	65	101	30	136	110	142	75	217	127	167	33	200
	胸部	144	109	122	175	147	30	149	179	158	38	173	211
	腹部	496	477	170	619	519	391	137	528	527	389	140	529
	骨盤	512	398	319	634	471	198	295	493	464	159	327	486
	四肢	484	539	54	890	455	498	52	550	263	288	37	325
	(データ)	—	81	2	206	—	97	0	80	—	126	0	126
	計	5,470	10,995	2,240	22,713	5,475	18,335	3,756	22,091	5,300	18,434	4,079	22,513
	人間ドック(脳)	139	139	0	827	228	228	0	1,368	202	202	0	1,221
合計	5,609	11,134	2,240	23,540	5,703	18,563	3,756	23,459	5,502	18,636	4,079	23,734	
			13,374				22,319				22,715		

(4) 循環器

種別	部位	平成29年度			平成30年度			令和元年度					
		人数	件数	枚数	人数	件数	枚数	人数	件数	枚数			
循環器	心カテ(診断)	—	579	807	882	—	547	831	831	—	617	895	895
	心カテ(治療)	—	—	505	623	—	—	654	654	—	756	756	756
	血管治療	—	261	280	280	—	119	127	127	—	115	125	125
	頭頸部	—	101	287	312	—	70	291	291	—	121	405	405
	胸部	—	27	29	29	—	7	8	8	—	4	4	4
	腹部	—	10	26	67	—	19	42	42	—	11	24	24
	四肢	—	49	55	55	—	56	61	61	—	75	81	81
	静脈・その他	—	1	1	1	—	2	2	2	—	1	1	1
	合計	—	1,028	1,990	2,249	—	820	2,016	2,016	—	944	2,291	2,291

(5) RI・PET

種別	部位	平成29年度			平成30年度			令和元年度					
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数			
RI	脳	—	181	181	181	—	119	119	119	—	90	90	90
	甲状腺	—	11	11	11	—	9	9	9	—	6	6	6
	肺	—	8	8	8	—	5	5	5	—	5	5	5
	心臓	—	82	82	82	—	63	63	63	—	86	86	86
	腎	—	30	30	30	—	28	29	29	—	29	29	29
	肝・胆道	—	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0
	腫瘍	—	16	16	17	—	10	10	10	—	14	14	14
	骨	—	380	380	380	—	391	391	391	—	392	392	392
	その他	—	54	54	54	—	53	53	53	—	58	58	58
	(データ)	—	—	3	3	—	—	5	5	—	—	0	0
	合計	—	762	762	763	—	678	679	679	—	680	680	680
PET	全身	—	154	154	154	—	415	415	415	—	426	426	426
	(データ)	—	—	—	—	—	—	4	4	—	—	2	2
	合計	—	154	154	154	—	415	419	419	—	426	426	426

(6) 治療 (ライナック)

区分		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	1,376	3	1,379	1,407	70	1,477	1,371	13	1,384
	外来	1,244	32	1,276	1,837	161	1,998	1,429	15	1,444
	合計	2,620	35	2,655	3,244	231	3,475	2,800	28	2,828
照射門数	入院	4,616	3	4,619	4,104	90	4,194	4,022	30	4,052
	外来	3,805	42	3,847	5,245	171	5,416	4,157	15	4,172
	合計	8,421	45	8,466	9,349	261	9,610	8,179	45	8,224

区分		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	27	25	52	60	0	60	0	0	0
	頭頸部腫瘍	0	24	24	0	216	216	0	107	107
	食道癌	61	33	94	118	35	153	254	20	274
	肺がん (原発)	916	183	1,099	834	301	1,135	693	217	910
	乳がん (原発)	65	545	610	108	761	869	15	871	886
	胃がん (原発)	0	0	0	0	37	37	18	22	40
	肝がん (原発)	0	22	22	0	0	0	0	4	4
	大腸がん (原発)	64	123	187	97	200	297	118	0	118
	婦人科腫瘍	43	40	83	0	20	20	0	0	0
	泌尿器系腫瘍	226	126	352	190	160	350	138	244	382
	造血器リンパ系腫瘍	108	185	293	245	202	447	257	20	277
	皮膚・骨・軟部腫瘍	56	30	86	32	153	185	0	63	63
	その他がん	91	19	110	68	103	171	80	56	136
	合計	1,657	1,355	3,012	1,752	2,188	3,940	1,573	1,624	3,197

(7) その他

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
結石破砕	105	79	81

11. 検査室

(1) 検査件数

(単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
臨床化学	1,451,975	1,465,352	1,469,039
血清	190,792	195,692	200,172
血液	273,795	267,298	272,606
尿糞便	95,704	97,523	115,771
細菌	25,755	27,906	27,195
生理	41,543	64,444	52,523
病理	12,683	12,740	12,321
外注	50,087	51,413	52,313
採血	304,637	311,406	311,947
計	2,446,971	2,493,774	2,513,887

(2) 検査項目別件数

(単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
臨床化学	TP	60,224	61,140	61,131
	ALB	60,052	59,825	62,483
	T-Bil	66,795	69,084	70,679
	D-Bil	11,898	12,112	12,693
	AST(GOT)	86,240	85,430	84,074
	ALT(GPT)	88,830	89,782	90,535
	LDH	79,511	80,398	81,102
	CK	52,740	53,961	54,973
	CK-MB	2,789	2,674	2,554
	ALP	69,282	70,778	68,970
	γ-GTP	64,343	64,452	69,760
	Che	9,712	8,120	8,423
	ZTT	4,074	3,890	266
	T-CHO	15,771	18,157	18,483
	HDL-C	35,293	32,541	31,811
	LDL-C	34,956	33,405	32,448
	TG	37,835	36,503	36,006
	フェリチン	5,429	5,256	5,626
	プレアルブミン	1,518	298	335
	C3	1,106	1,147	1,113
	C4	1,105	1,145	1,094
	NH3	1,347	1,584	1,370
	トロポニンT	1,616	1,655	1,540
	PCT	3,372	2,630	2,599
	Na	81,062	83,199	84,422
	K	81,077	83,250	84,446
	Cl	72,486	73,182	72,671
	Ca	29,879	31,383	34,557
	P	5,452	6,367	7,479
	Mg	2,488	2,922	3,522
	Zn	1,597	852	709
	Fe	5,386	4,475	4,561
	UIBC	4,964	4,073	4,236
	BUN	85,393	86,651	86,829
	S-Cr	89,695	91,177	92,004
	U-Cr	9,915	10,588	10,559
	UA	44,306	45,143	48,056
	S-AMY	28,813	29,149	31,025
	U-AMY	58	65	39
	ICG	13	7	6
	血糖	56,864	58,500	58,611
	HbA1C	30,734	28,244	27,210
	ペプシノーゲン	1,688	1,737	1,891
	KL6	3,289	3,062	3,226
	グリコアルブミン	799	999	1,318
	血清補体価	1,556	1,543	1,491
	血清浸透圧	1,047	1,663	1,715
尿浸透圧	281	354	398	
尿蛋白定量	9,806	11,396	10,442	
計	1,444,486	1,455,948	1,471,491	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
免	ASO	421	318	272
	CRP	61,245	61,229	62,978
	RF	1,800	1,837	1,825
	IgG	3,052	3,212	3,218
	IgA	2,456	2,356	2,419
	IgM	2,341	2,267	2,311
疫	HBs抗原	14,003	14,550	14,616
	HBs抗体	1,464	1,526	309
	HBc抗体	568	551	314
	RPR	13,355	13,885	13,879
	TPHA	13,354	13,869	13,876
	HCV抗体	13,884	14,375	14,486
血	HIV抗体	11,878	12,348	12,133
	輸血後H I V抗体	15	11	12
	寒冷凝集反応	41	34	32
	TSH	5,536	5,783	5,785
	FT3	4,553	5,186	5,303
	FT4	5,518	5,767	5,826
清	PSA	4,106	4,462	4,679
	CEA	8,056	8,440	8,666
	CA19-9	5,922	6,374	6,660
	AFP	1,643	1,558	1,393
	BNP	14,655	14,594	14,945
	テオフィリン血中濃度	43	38	0
	バルプロ酸血中濃度	246	206	193
	フェニトイン	75	52	41
	フェノバル	69	60	47
	カルバマゼピン	332	280	199
	炭酸リチウム	70	30	5
	バンコマイシン	84	72	133
	マイコプラズマ抗体(抗原)	86	112	121
	計	190,871	195,382	196,676
血	血算	95,435	96,709	95,805
	網赤血球	4,859	4,384	4,913
	血液像	58,801	58,873	60,690
	血液像目視	859	982	868
	出血時間	42	22	6
	PT	25,051	22,738	23,369
液	APTT	22,272	20,067	20,793
	Fib	15,287	13,287	14,371
	FDP	16,791	14,874	16,006
検	Dダイマー	20,023	18,402	18,540
	ATIII	800	665	460
査	ヘパプラスチン	183	0	0
	ABO式血液型	3,396	3,619	3,507
	Rh式血液型	3,386	3,607	3,493
	血沈	5,659	6,146	6,844
	骨髄検査	299	294	272
計	273,143	264,669	269,937	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般検査	沈渣	25,549	26,854	26,775
	尿定性検査	49,217	49,290	48,042
	尿糖定量	46	80	56
	HCG定量	50	26	10
	妊娠反応	193	173	130
	虫卵	4	11	1
	ヒトヘモグロビン	11,924	12,556	12,605
	ロタウイルス	119	43	110
	レジオネラ	261	288	367
	肺炎球菌	321	340	397
	インフルエンザウイルス	2,098	1,750	1,709
	RSウイルス	216	197	238
	アデノウイルス	456	359	480
	ストレプト	343	321	365
	マイコプラズマ抗原	86	112	121
	クラミジア	248	283	171
	CDトキシン	177	193	165
	ノロ抗原定性	14	23	74
	髄液検査	61	54	75
	穿刺液検査	122	86	112
計		91,505	93,039	92,003
生理検査	心電図	24,924	22,759	22,406
	負荷心電図	292	235	278
	脳波	300	296	290
	肺機能	1,443	1,052	1,156
	聴力	7,031	7,077	6,985
	重心動揺	170	173	109
	パワーベクトル	170	173	109
	ABI	511	742	833
	トレッドミル	5	2	8
	ホルター心電図	462	474	288
	リアルタイム心電図	0	0	0
	新生児ABR	269	257	266
	心臓カテーテル	722	646	684
	超音波	13,877	23,716	12,325
	心エコー	(3,692)	(3,875)	(3,845)
	腹部エコー	(7,883)	(5,876)	(5,683)
	甲状腺エコー	(378)	(406)	(476)
	頸動脈エコー	(552)	(385)	(491)
	乳腺エコー	(840)	(12,330)	(984)
下肢血管エコー	(449)	(520)	(499)	
腎エコー	(41)	(139)	(159)	
経食道エコー	(8)	(27)	(19)	
その他エコー	(34)	(158)	(169)	
肺拡散能検査	145	170	111	
呼吸中NO(一酸化窒素)濃度	972	387	444	
血液ガス	5,901	6,124	6,084	
神経伝導速度	87	84	94	
簡易型睡眠時無呼吸検査	53	45	53	
計		57,334	64,412	52,523
病理	組織診	3,200	3,539	4,570
	迅速組織診断	93	129	134
	細胞診	5,268	5,547	7,756
	免疫染色	3,069	3,517	3,426
	剖検数	5	8	8
	合計	11,635	12,740	15,894
細菌	一般塗抹	6,473	7,542	7,560
	一般培養	8,211	8,892	8,597
	嫌気培養	764	734	581
	感受性テスト	7,837	8,441	8,092
	TB塗抹	961	985	1,133
	真菌培養	940	937	923
	結核菌DNA	26	29	17
	合計	25,212	27,560	26,903

(3) 血液製剤

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
照射赤血球RCC	4,201	4,512	5,078
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	8,325	10,740	12,050
照射濃厚血小板HLA	40	0	395
新鮮凍結血漿	702	1,010	508

(4) 循環器科(非観血的検査)

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
負荷心電図	292	235	286
ホルター心電図	440	474	288
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	511	742	833
心エコー図	3,692	3,875	3,845
経食道エコー	8	27	19
計	4,943	5,353	5,271

12. リハビリテーション室

【入院】

(1) 延患者数 (単位：人)

区分	29年度	30年度	元年度
理学療法	45,315	53,407	51,184
作業療法	31,514	27,475	23,549
言語聴覚療法	9,544	12,185	14,718
合計	86,373	93,067	89,451

(2) 療法単位数

(単位：件)

区分	平成29年度				平成30年度				令和元年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
脳血管 (1単位)	8,859	3,223	3,280	2,356	10,458	4,326	3,217	2,915	9,938	3,535	3,384	3,019
脳血管 (2単位)	12,241	5,284	4,594	2,363	17,187	7,741	5,632	3,814	14,703	6,127	4,040	4,536
脳血管 (3単位)	3,885	2,117	1,501	267	8,972	4,855	3,993	624	9,530	5,110	3,858	562
脳血管 (4単位)	156	145	11	0	427	289	126	12	308	247	54	7
廃用 (1単位)	20,080	9,985	7,176	2,919	15,957	9,230	3,948	2,779	18,917	10,861	4,148	3,908
廃用 (2単位)	14,735	8,301	4,522	1,912	9,938	5,709	2,576	1,653	10,694	6,541	1,915	2,238
廃用 (3単位)	893	676	181	36	657	419	170	68	839	578	188	73
廃用 (4単位)	3	1	1	1	2	1	1	0	1	0	1	0
運動器 (1単位)	5,002	2,801	2,201	—	3,951	2,680	1,271	—	3,250	1,997	1,253	—
運動器 (2単位)	9,461	6,541	2,920	—	9,477	7,464	2,013	—	6,518	5,405	1,113	—
運動器 (3単位)	2,852	2,329	523	—	3,579	3,179	400	—	3,933	3,700	233	—
運動器 (4単位)	39	39	0	—	76	72	4	—	68	67	1	—
呼吸器 (1単位)	663	365	298	—	690	591	99	—	724	641	83	—
呼吸器 (2単位)	522	317	205	—	617	504	113	—	588	530	58	—
呼吸器 (3単位)	34	19	15	—	18	16	2	—	26	23	3	—
がんリハ (1単位)	6,289	3,771	2,421	97	6,290	4,207	1,834	249	5,437	3,483	1,766	188
がんリハ (2単位)	3,405	1,665	1,670	70	2,558	1,276	1,232	50	2,295	1,294	881	120
がんリハ (3単位)	155	74	78	3	145	75	68	2	87	72	12	3
心大血管 (1単位)	680	365	315	—	1,494	901	593	—	1,025	622	403	—
心大血管 (2単位)	560	317	243	—	518	343	175	—	477	345	132	—
心大血管 (3単位)	30	19	11	—	12	9	3	—	22	3	19	—
摂食機能療法	6	—	—	6	18	—	—	18	64	—	—	64
総合計画評価	4,587	2,644	1,669	274	4,978	3,160	1,557	261	4,829	3,110	1,400	319
早期リハビリ加算	61,087	32,262	21,015	7,810	53,623	30,071	15,702	7,850	88,092	49,242	22,245	16,605
退院前訪問指導	40	16	24	—	83	50	33	—	68	47	21	—
合計	156,264	83,276	54,874	18,114	156,264	83,270	54,874	18,114	182,433	103,580	47,211	31,642

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	平成29年度				平成30年度				令和元年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
内科	1382	1333	980	472	3394	1431	1413	550	3830	1606	1587	637
小児科	0	0	0	0	9	4	4	1	2	1	1	0
外科	432	380	267	20	1135	544	550	41	1114	524	528	62
整形外科	550	520	324	38	1230	585	579	66	1083	512	506	65
脳神経外科	496	489	491	465	1632	546	549	537	1654	554	556	544
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	47	46	33	2	107	49	49	9	114	51	52	11
産婦人科	5	4	4	1	23	11	11	1	8	4	3	1
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,912	2,772	2,099	998	7,530	3,170	3,155	1,205	7,805	3,252	3,233	1,320

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	29年度	30年度	元年度
脳血管疾患	559	582	583
廃用症候群	1,159	1,210	1,085
運動器	580	531	603
呼吸器	106	95	119
がんリハ	472	556	579
心大血管疾患	64	148	133
その他	0	1	0
合計	2,940	3,123	3,102

【外来】

(1) 延患者数 (単位：人)

	29年度	30年度	元年度
理学療法	7,166	4,761	2,489
作業療法	5,362	4,057	3,617
言語聴覚療法	1,008	443	431
訪問 (はるかぜ)	4,866	4,042	2,556
訪問 (外来)	0	1,899	3,788

(2) 療法単位数

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
脳血管 (1単位)	519	323	131	65	203	39	152	12	252	66	182	4
脳血管 (2単位)	1,146	389	108	649	864	155	347	362	969	164	427	378
脳血管 (3単位)	223	18	27	178	103	7	48	48	91	26	32	33
廃用 (1単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (2単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (3単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器 (1単位)	4,962	3,373	1,589	—	5,263	2,766	2,497	—	2,984	943	2,041	—
運動器 (2単位)	2,037	1,533	504	—	2,144	1,226	918	—	1,673	741	932	—
運動器 (3単位)	34	29	5	—	166	71	95	—	39	38	1	—
呼吸器 (1単位)	482	482	0	—	364	364	0	—	357	357	0	—
呼吸器 (2単位)	67	67	0	—	113	113	0	—	130	130	0	—
呼吸器 (3単位)	0	0	0	—	18	18	0	—	6	6	0	—
摂食機能療法	114	—	—	114	21	—	—	21	16	—	—	16
総合計画評価	2,077	1,201	734	142	1,577	740	775	62	1,225	437	711	77
外来リハ診療料1	527	116	399	12	3	0	3	0	0	0	0	0
外来リハ診療料2	236	42	52	142	12	3	0	9	0	0	0	0
合計	12,424	7,573	3,549	1,302	10,851	5,502	4,835	514	7,742	2,908	4,326	508

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
内科	79	41	5	33	208	133	57	18	238	179	48	11
小児科	15	5	4	6	25	13	5	7	37	14	7	16
外科	55	39	15	1	92	69	22	1	120	64	52	4
整形外科	640	371	267	2	1,190	609	581	0	837	335	502	0
耳鼻咽喉科	3	0	0	3	3	0	0	3	1	0	0	1
脳神経外科	74	17	40	17	210	31	130	49	319	56	184	79
泌尿器科	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	6	6	0	0	1	1	0	0
リハビリテーション科	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	2	2	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0
計	875	480	332	63	1,734	861	795	78	1,557	653	793	111

(4) 疾患別新患者数 (単位：人)

区分	29年度	30年度	元年度
脳血管疾患	49	72	73
廃用症候群	0	0	0
運動器	337	351	171
呼吸器	27	57	72
摂食嚥下療法	11	11	16
合計	424	491	332

1 3. 栄養室

(1) 患者食延数

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
常食	77,552	73,577	64,807
軟食	74,636	84,149	73,324
流動食	16,239	17,839	13,849
特別食	102,932	111,842	122,036
調乳	1,128	949	950
合計	272,487	288,356	274,966

(2) 栄養指導

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	988	842	1,830	1,229	896	2,125	1,126	800	1,926
集団栄養指導（糖尿病）	—	28	28	—	0	0	33	—	33
栄養管理計画書	3,686	—	3,686	3,451	—	3,451	3,552	—	3,552
病棟訪問	8,186	—	8,186	9,056	—	9,056	10,005	—	10,005
糖尿病透析 予防指導	—	18	18	—	8	8	—	33	33
人間ドック	—	163	163	—	139	139	—	127	127
母親学級	—	23	23	—	28	28	—	60	60
在宅酸素外来栄養相談	—	75	75	—	0	0	—	—	0
特定検診	—	0	0	—	0	0	—	—	0
緩和ケア個別栄養食事加算	—	—	0	116	—	116	39	—	39
合計	12,860	1,149	14,009	13,852	1,071	14,923	14,755	1,020	15,775

(3) 栄養指導件数内訳

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	190	350	540	170	369	539	243	426	669
腎臓病	139	224	363	131	219	350	144	220	364
消化器	217	39	256	100	12	112	89	7	96
心臓病	125	22	147	142	11	153	128	8	136
脂質異常症	52	98	150	114	109	223	133	41	174
癌	—	—	0	324	106	430	228	50	278
その他	265	109	374	248	65	313	161	48	209
合計	988	842	1,830	1,229	891	2,120	1,126	800	1,926

1 4. 人工透析室

(1) 患者延数

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間透析回数	12,869	13,537	14,034
入院	1,417	1,233	1,242
外来	11,452	12,304	12,792
昼間	11,353	12,238	12,735
出張	99	66	57

15. 患者支援センター

(1) 紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度	令和元年度
	入院棟	外来C	新病院		
被紹介	8,721	1,979	3,311	3,431	10,516
戻し紹介	1,451	397	357	697	2,184
逆紹介	6,456	1,287	2,028	3,141	7,971

(2) 診療科別紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	被紹介	戻し紹介	逆紹介	被紹介	戻し紹介	逆紹介	被紹介	戻し紹介	逆紹介
内科	3,025	339	2,675	3,879	872	3,087	3,934	877	3,518
心療内科	74	2	75	69	5	247	25	1	410
神経内科	215	3	349	179	5	93	197	5	104
循環器科	319	81	278	内科統合			内科統合		
小児科	805	460	233	1,165	270	399	1,049	339	355
外科	1,033	48	700	1,120	209	819	1,073	141	784
整形外科	874	25	850	919	114	1,443	903	82	1,249
脳神経外科	554	73	575	546	106	708	641	115	713
皮膚科	166	0	16	212	7	18	260	6	30
泌尿器科	507	38	237	695	100	229	648	100	351
産婦人科	504	0	131	493	12	150	476	4	119
眼科	109	2	138	181	10	154	193	5	244
耳鼻咽喉科	82	0	58	123	1	63	139	1	83
放射線科	243	236	27						
放射線診断科	142	134	0	393	376	0	373	373	0
放射線治療科	5	3	12	21	15	40	20	5	26
麻酔科	9	0	1	7	0	1	9	0	2
救急科	52	7	101	104	29	245	0	0	0
リハビリ科	3	0	0	2	2	4	0	0	1
歯科口腔外科				370	0	258	550	108	245
形成外科				38	51	13	33	0	16
合計	8,721	1,451	6,456	10,516	2,184	7,971	10,523	2,162	8,250

(3) 地域別紹介患者状況

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度	令和元年度
	入院棟	外来C	新病院		
藤岡市	3,167	787	1,142	1,238	3,697
多野郡	143	47	43	53	167
前橋市	541	74	241	226	778
高崎市	1,533	346	551	636	1,872
富岡市	130	26	50	54	141
伊勢崎・佐波	163	32	78	53	244
その他県内	218	37	92	89	225
本庄市	1,224	279	471	474	1,525
児玉郡	1,111	278	428	405	1,281
その他埼玉県	238	34	97	107	323
その他県外	253	39	118	96	263
合計	8,721	1,979	3,311	3,431	10,516

(4) 医療相談実数

(単位：件)

区分	平成29年度			平成30年度	令和元年度
	入院棟	外来C	新病院		
医療相談	16,407	9,077	451	6,879	24,178

(5) 入退院支援室 入院予約患者対応件数 (単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度
内科	1,075	1,234
小児科	39	32
外科	686	725
整形外科	339	332
脳神経外科	21	41
皮膚科	43	2
泌尿器科	417	377
産婦人科	338	332
眼科	113	102
歯科口腔外科	39	49
合計	3,110	3,226

16. 健診センター

(1) 人間ドック

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1泊2日ドック	161	134	121
日帰りドック	3,660	3,825	3,751
脳ドック	77	90	84
PET-CT	—	11	26
計	3,898	4,060	3,982

(2) 健康診断

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生活習慣病	1,822	1,844	1,915
企業健診	2,538	2,938	2,797
就業・入学	387	337	259
乳・甲状腺	545	544	677
婦人科検診	—	292	398
特定健診	243	214	208
特定保健指導	32	46	44
計	5,567	6,215	6,298

17. 母親学級（マザーズクラス）

(1) 開催内容

課程	担当	日時	場所	内容	延べ人数
1回目	助産師 栄養士	第2金曜日 13:30~15:30	大会議室	自己紹介 妊娠中の生活 おっばいの手入れ 妊娠中の栄養 お産の準備 赤ちゃん用品の準備 赤ちゃんのおふろ	47人
2回目	助産師	第3金曜日	大会議室	入院の時期 入院中の生活 諸届 分娩の進み方と 呼吸法・補助動作 病棟見学	68人

IX 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

(1) 開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

(2) 沿革

年 月 日	記 事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数 非常勤講師 1 名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 1 名、非常勤講師 1 名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 2 名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西 2 階病棟 3 部屋 56.00 m ² (共用部分を含む)を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数 3(小学部 2、中学部 1) 教職員数 教諭 3 名、応援教諭 1 名(本校より) 教室等 普通教室 2、職員室 1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動(西 2 階病棟の 2 部屋へ) 教室等 普通教室 2、職員室 0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 3 名、非常勤講師 1 名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動(西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 m ² へ) 教室等 普通教室 3、職員室 1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 4 名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 5 名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数 4(小学部 2、中学部 2)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。

平成 13 年 4 月 1 日	群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2) 教職員数 教諭 7 名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動(事務棟 140.18 m ² へ) 教室等 普通教室 5、職員室 1、多目的室 1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6 名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数 6 (小学部 3 + 重複学級 1、中学部 2) 教職員数 教諭 5 名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。 許可学級数 5 (小学部 3、中学部 2)
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転 (外来棟 32 m ²) 普通教室 1、職員室 1

(3) 児童生徒数 (年度内在籍児童生徒数)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度	令和元年度
児童生徒数	11	10	11	11	4	4	8

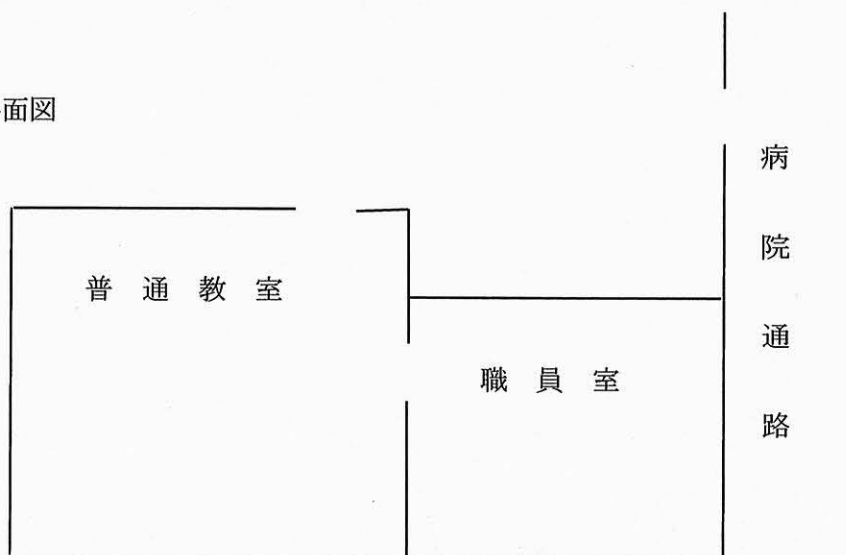
(4) 教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける。

(5) 学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

(6) 校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設

【しらさぎの里】

訪問看護ステーション

【はるかぜ】

基本理念

利用者本位のサービス

基本方針

1. 利用者の人権を尊重し、上質なサービスを提供します。
2. 安全に配慮したチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。
3. 医療・他機関、地域と連携し、総合的に在宅支援を行います。

I 施設の現況

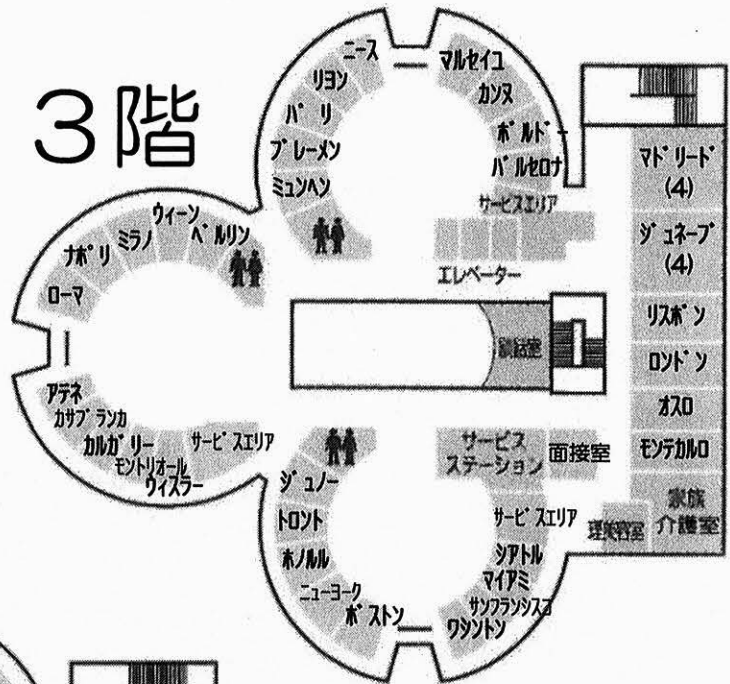
1. 施設の概要 (令和2年3月31日現在)

名 称	介護老人保健施設しらすぎの里		
所 在 地	群馬県藤岡市中栗須 519 番地 2		
電話番号等	TEL : 0274 (24) 6633 (代表) FAX : 0274 (24) 6634 E-mail : sirasagi@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp/shirasagi/		
開 設 者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新 井 雅 博		
設立年月日	平成9月7月1日		
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市		
施 設 長	河 合 弘 進		
利 用 定 員	入所定員 80 名	(うちショートステイ 20 名)	
		一般療養棟	40 名
		認知症専門棟	40 名
	通所定員 50 名	(送迎あり)	
介護サービス種類	介護老人保健施設	平成9年7月1日許可	
	指定居宅サービス		
	通所リハビリテーション	平成9年7月1日許可	
	短期入所療養介護	平成9年7月1日許可	
	指定介護予防サービス		
	介護予防通所リハビリテーション	平成9年7月1日許可	
	介護予防短期入所療養介護	平成9年7月1日許可	
	居宅介護支援事業所	平成11年9月30日指定	
面積及び構造	敷地面積	5,017 m ²	
	建物面積	4,300 m ²	
	内訳	1階	1,587 m ² 管理部門・通所リハビリテーション部門
		2階	1,363 m ² 一般療養棟部門
		3階	1,350 m ² 認知症専門棟部門
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建	
訪問看護	訪問看護ステーション「はるかぜ」(公立藤岡総合病院内)		

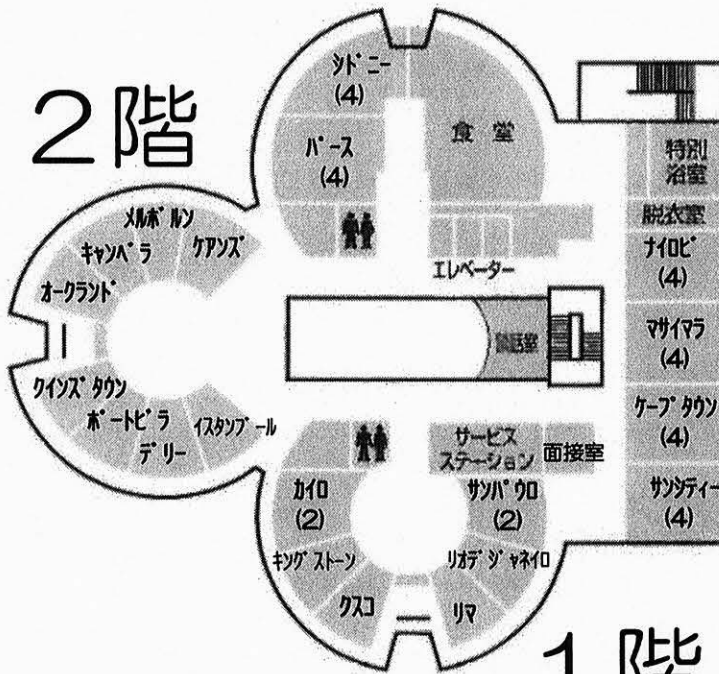
平面図

敷地面積 5,017m²
 延床面積 4,300m²
 3階 1,350m²
 2階 1,363m²
 1階 1,587m²

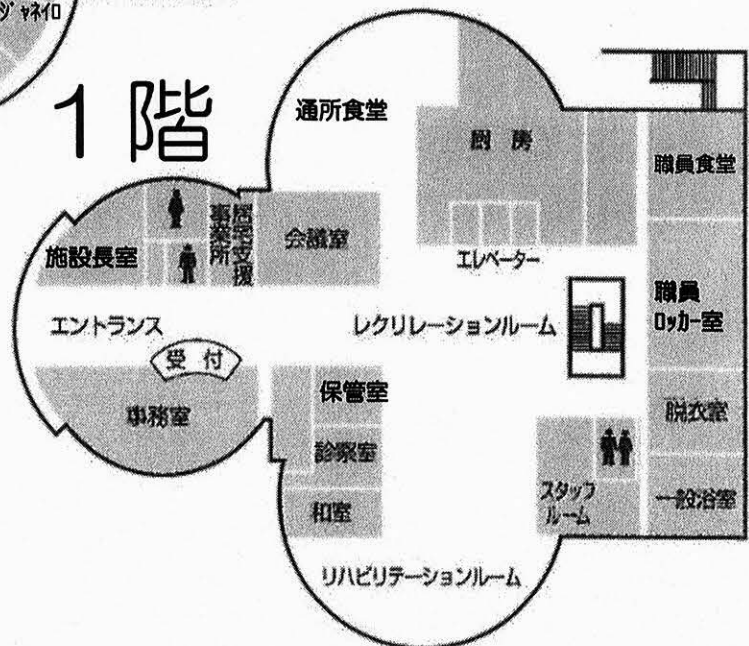
3階



2階



1階



注. 入所定員 40名 () 内に数字の入っていない部屋はすべて個室です。

2. 歴史と沿革

平成 8年 8月 16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月 23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月 30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号） 老人保健施設分 40人、痴呆加算対象分 40人、デイケア 40人
8月 1日	初代老人保健施設長 大野 治俊（群馬県指令高第68号） 痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算 届出受理（高第171号） 生活保護法による医療機関指定（藤第86号） 老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成 10年 2月 27日	老人保健施設入所者基本施設療養費（Ⅱ）届出受理（高第571号）
5月 28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算 届出受理（高第169号） 通所定員40人中10人
10月 20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算 変更届出受理（高第392号） 通所定員40人中10人 ⇒ 20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更 ショートステイ5床⇒20床
平成 11年 4月 1日	第2代老人保健施設長 栗原 寛（群馬県指令高第3号） 老人保健施設開設許可事項の変更 デイケア 40⇒50
9月 30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成 12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更 （介護老人保健施設、訪問看護ステーション） 生活保護法による介護機関指定 （介護老人保健施設）（介み藤第86号） （通所リハビリテーション 短期入所療養介護）（藤介第13号） （居宅介護支援事業）（藤介第13号）
平成 13年 5月 1日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関 （介護老人保健施設用）指定（保予第164号）
平成 17年 10月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成 19年 4月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
10月 1日	第3代介護老人保健施設長 田中 壯佑（群馬県指令介高第608-31号）
平成 20年 3月 21日	祭日通所リハビリテーションの実施 指定居宅介護支援事業者指定更新（群馬県指令介高第30133-55号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
3月 31日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月 30日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号） （介護予防通所リハビリテーション 介護予防短期入所療養介護）
6月 12日	口腔機能向上体制加算の届出
3月 3日	平成21年4月介護報酬改定に伴う届出 通所リハビリテーションの算定区分 確認 大規模型（Ⅰ）（751～900人）
3月 31日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 （（介護予防）通所リハビリテーション事業所） （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設） 夜勤職員配置加算に係る届出 （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設）
平成 21年 7月 21日	特定事業所加算に係る届出（居宅介護支援事業所） 原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定 （群馬県指令保予第722-36号）
10月 1日	事業所評価加算の届出（介護予防通所リハビリテーション事業所）
平成 23年 3月 30日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成 24年 11月 1日	登録喀痰吸引等（特定行為）事業者登録（介高第30243-9号）
平成26年 3月 12日	在宅強化型介護老人保健施設の届出 介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
4月 23日	指定居宅介護支援事業者指定更新（群馬県指令介高第30221-1号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イに関する届出 （（介護予防）通所リハビリテーション事業所） （（介護予防）短期入所療養介護事業所・介護老人保健施設）
10月 21日	禁煙認定施設 屋内禁煙（建物全体）の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長 河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
令和元年8月1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）の届出

II 職員の現況

1. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：人)

部門・職種別	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
診療部	医師	1	1		1		1		1
		1	1		1		1	0	1
診療技術部	理学療法士	2	2		2	2		1	1
	作業療法士	2	2		2	2		2	2
	栄養士	1	1		1	1		1	1
		5	5		5	5		4	4
看護部	看護師	5	5		5	5		3	3
	再任用				1	1		1	1
	准看護師	6	6		5	5		5	5
	再任用				1	1		2	2
	介護福祉士	18	18		19	19		19	18
介護員	8	2	6	6	1	5	5	1	4
		37	31	6	37	32	5	35	30
経営管理部	事務員	1	1		1	1		1	1
	再任用	1	1		1	1		1	1
	支援相談員	5	5		5	5		5	5
		7	7		7	7		7	7
合計		50	44	6	50	44	6	47	41

*訪問看護ステーション

(単位：人)

部門・職種別	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員	
看護部	看護師	9	6	3	10	7	3	8	6
	再任用	1	1					1	1
合計		10	7	3	10	7	3	9	7

2. 主要役職員名簿

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

職名	氏名	職名	氏名
施設長	河合 弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	中里 光夫
看護部 看護師長	武井 浩之	しらさぎ管理 GL	中野 俊幸
介護グループ GL	金田 夏樹	支援相談担当GL	松原 一重
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田 さゆり	支援相談員	柳井 紀道
栄養室 管理栄養士	渡邊 恵子	施設介護支援専門員 支援相談担当 GL	長坂 美樹

*訪問看護ステーション

職名	氏名
看護部 看護師長	山口 明子

Ⅲ 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
し ら さ ぎ の 里			
群馬県介護支援専門員協会多野藤岡支部第1回研修会	藤岡市	5月	1人
生涯教育講習会	東京都	6月	1人
2019年度第1回喀痰吸引等指導者講習(第一号・第二号研修)	前橋市	6月	1人
接遇研修会	藤岡市	6月	14人
医療安全・感染対策必須研修会	藤岡市	6月	44人
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
令和元年度給食関係者講習会	藤岡市	7月	1人
令和元年度感染予防研修会	藤岡市	7月	1人
看護・介護職員研修会(管理職・中堅職対象)	前橋市	7月	3人
医療安全研修会	藤岡市	8月	3人
医療安全必須研修会	藤岡市	9月	46人
感染対策必須研修会	藤岡市	9月	46人
令和元年度介護保険事業所苦情処理研修会	前橋市	9月	1人
認知症ケアに関する研修会(現場特化型法律編)	前橋市	10月	1人
職員共済会講習会	藤岡市	10月	4人
認知症ケアに関する研修会(基礎編)	前橋市	11月	1人
藤岡多野地区かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修会	藤岡市	11月	1人
令和元年度多野藤岡地域における高齢者の栄養・食支援研修会	藤岡市	11月	1人
令和元年度災害時保健福祉活動研修会	藤岡市	11月	2人
令和元年度福祉サービス苦情解決セミナー	前橋市	11月	1人
令和元年度接遇/ハラスメント防止研修	藤岡市	11月	1人
市民公開講座第8回藤岡多野地区もの忘れフォーラム	藤岡市	11月	2人
うつ・自殺対策地区別研修会	藤岡市	12月	1人
栄養担当職員研修会	藤岡市	12月	1人
認知症ケアに関する研修会(事務・相談系特化型法律編)	伊勢崎市	12月	1人
在宅歯科医療連携に係る研修会	藤岡市	12月	1人
第29回群馬県老人保健施設大会	前橋市	12月	5人
認知症ケアに関する研修会(リスクマネジメント講座、困難事例特化編)	前橋市	1月	2人
看護・介護職員研修基礎講座	前橋市	1月	1人
栄養ケア・マネジメントの推進に向けた研修会	前橋市	2月	1人
臨床実習指導者講習会	前橋市	2月	1人
訪 問 看 護			
せん妄ケア	藤岡市	7月	9人
第3回テルモ群馬メディカルセミナー ～リンパ浮腫を知ろう～	前橋市	8月	1人
第2回在宅医療に関する研究会「ACPで日本が変わる」	藤岡市	8月	1人
群馬ストーリーナビゲーション講習会	前橋市	9月	2人
第1回在宅医療・介護人材育成研修会	藤岡市	10月	1人
藤岡薬剤師会学術講演会	藤岡市	10月	1人
令和元年度群馬がん看護研究会スキルアップセミナー「高齢がん患者の治療や暮らしを私たちはどう支える」	渋川市	10月	3人
わが国の腹膜透析の現状と展望	高崎市	11月	1人
在宅医療における多職種連携OHATを用いた口腔評価	藤岡市	12月	1人
精神科訪問看護フォローアップ研修会	前橋市	1月	1人

令和元年度 施設内研修会

開催月	開催日	内容	講師	受講人数
4月	4月22日	働き方改革について、他	公立藤岡総合病院総務課 GL 櫻井 力、主査 萩原和美	24人
5月	5月22日	高齢者虐待防止・褥瘡予防について	看護師長 武井浩之	28人
6月	6月18日	とろみ剤に関する研修会	ニュートリ(株)営業本部営業部関東エ リア係長 小林宏之	18人
	6月26日	高齢者虐待防止・褥瘡予防についてII	看護師長 武井浩之	19人
7月	7月16日	ビスホスホネート製剤関連顎骨壊死(BRONJ)について	看護師長 武井浩之	9人
	7月22日	①施設における感染対策 ②施設における安全対策	①感染管理認定看護師 千木良 悦子 ②専任リスクマネージャー 斉藤康行	30人
10月	10月1日	①第29回群馬県老人保健施設大会演題発表予演 ②BLS研修	①施設介護支援専門員 長坂美 樹、支援相談員 柳井紀道 ②看護師長 武井浩之	25人
	10月15日	静脈血栓塞栓症(DVT)について	看護師長 武井浩之	8人
	10月23日	看護・介護職員研修会伝達講習 介護に関わる方のためのアンカーマネジメント	看護師 小暮美香	19人
11月	11月4日	①感染防止対策研修会 ②医療安全研修会	①感染管理認定看護師 千木良 悦子 ②専任リスクマネージャー 斉藤康行	26人
	11月26日	視床腫瘍について	施設長 河合弘進	6人
	11月27日	口腔機能維持研修 口腔機能低下症と利用者さんの服薬 骨吸収抑制剤	むらかわ歯科院長 村川正紀	17人
12月	12月17日	事故防止研修 とろみ濃度統一基準について	看護師長 武井浩之	7人
	12月25日	①防犯研修 ②交通事故防止研修	管理課 中野俊幸	26人
	12月26日	会計年度任用職員制度	総務課 課長補佐 秋山裕子、 総務グループリーダー 櫻井 力、主 査 萩原和美	4人
1月	1月7日	MRSAとMRSEの違い	施設長 河合弘進	8人
	1月22日	看取りについて	施設長 河合弘進	25人
2月	2月4日	令和2年度採用 会計年度任用職員勤務条件等	総務課 総務グループリーダー 櫻井 力、主査 萩原和美	5人
	2月18日	事故防止研修 「患者参加型医療安全」	看護師長 武井浩之	7人
	2月18日	おむつ勉強会	(株)リフト・テクノロジーソリューションズ プロフェッショナルユース営業本部関東第一 支店営業課 松本祐希	12人
	2月26日	①身体拘束等の適正化のための指針改正と身体的拘束適正化検討委員会設置について ②変化を意識した関わり～初期認知症徴候観察リストの活用～	①看護師長 武井浩之 ②作業療法士 黒澤匠太	23人
3月	3月26日	ギランバレー症候群について	施設長 河合弘進	6人

IV 教育実習生・研修生受入実績

*介護老人保健施設「しらすぎの里」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
藤岡准看護学校	25	200	5/9～11/15	臨地実習	8日間/1人
群馬医療福祉大学	60	240	5/13～11/8	高齢者看護学実習Ⅰ	4日間/1人
	1	37	6/3～7/26	作業療法専攻4年生臨床実習	37日間/1人
群馬大学医学部保健学科	1	13	2/11～2/28	作業療法総合評価実習(第Ⅱ期)	13日間/1人
前橋医療福祉専門学校	1	34	5/20～7/4	作業療法学科(4年次)臨床実習Ⅲ	34日間/1人
群馬県立藤岡北高等学校	1	3	6/5～6/7	短期インターンシップ(就業体験)	3日間/1人
	1	3	11/19～11/21	介護職員初任者研修現場実習	3日間/1人
藤岡市立小野中学校	5	4	7/22～7/25	夏休みボランティア活動	4日間/1人
	10	10	11/12	第1学年「総合的な学習の時間」に係る施設見学(体験)	1日間/1人
藤岡市立北中学校	5	5	9/2～9/6	チャレンジウィーク体験学習	5日間/1人
群馬県作業療法士会	1	1	8/6	高校生作業療法体験	1日間/1人
群馬県老人保健施設協会	1	1	10/9	看護・介護実地研修	1日間/1人
群馬県社会福祉協議会	1	5	12/2～12/6	介護等体験	5日間/1人
合 計	112	556			

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
藤岡准看護学校	23	23	5/9～11/8	臨地実習	1日間/1人
群馬医療福祉大学	16	112	5/7～10/24	(在宅看護学実習)臨地実習	4日間/1人
群馬県看護協会	1	1	12月2日	訪問看護研修「入門プログラム」	1日間/1人
合 計	40	136			

V 経営状況

1. 損益計算書

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：千円、%)

区分	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
施設運営事業収益	475,273	451,515	95.0	436,685	96.7
事業収益	471,832	448,403	95.0	433,616	96.7
施設介護収益	265,198	253,127	95.4	244,676	96.7
居宅介護収益	86,432	81,454	94.2	80,381	98.7
居宅介護支援収益	17,597	16,510	93.8	16,587	100.5
施設介護利用料収益	80,445	75,910	94.4	70,981	93.5
居宅介護利用料収益	18,359	17,977	97.9	17,808	99.1
その他事業収益	3,801	3,425	90.1	3,183	92.9
事業外収益	3,441	3,112	90.4	3,069	98.6
受取利息及び配当金	1	1	100.0	1	100.0
長期前受金戻入	1,602	1,602	100.0	1,602	100.0
その他事業外収益	1,838	1,509	82.1	1,466	97.2
特別利益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
施設運営事業費用	486,785	486,275	99.9	463,080	95.2
事業費用	472,504	473,099	100.1	451,252	95.4
給与費	340,826	333,368	97.8	313,272	94.0
材料費	35,362	36,494	103.2	35,740	97.9
経費	37,938	42,853	113.0	42,066	98.2
委託費	34,891	35,993	103.2	37,103	103.1
減価償却費	22,118	22,501	101.7	21,838	97.1
資産減耗費	0	443	—	0	—
研究研修費	369	447	121.1	233	52.1
長期前払消費税償却	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
事業外費用	14,281	13,176	92.3	11,828	89.8
支払利息及び企業債取扱諸費	14,281	13,176	92.3	11,828	89.8
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	△ 11,512	△ 34,760	△ 301.9	△ 26,395	△ 75.9

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

(単位：千円、%)

区分	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
訪問看護事業収益	121,427	126,048	103.8	101,084	80.2
事業収益	120,887	125,811	104.1	100,969	80.3
訪問看護療養収益	63,644	70,914	111.4	50,758	71.6
介護保険訪問看護療養収益	45,817	41,505	90.6	39,799	95.9
居宅介護支援収益	0	0	—	0	—
訪問看護利用料収益	5,902	8,391	142.2	5,724	68.2
介護保険利用料収益	5,524	5,001	90.5	4,688	93.7
事業外収益	540	237	43.9	115	48.5
受取利息及び配当金	211	162	76.8	4	2.5
その他事業外収益	329	75	22.8	111	148.0
特別利益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
訪問看護事業費用	69,895	72,045	103.1	67,496	93.7
事業費用	69,877	71,904	102.9	67,340	93.7
給与費	61,996	60,923	98.3	57,701	94.7
材料費	138	250	181.2	318	127.2
経費	5,681	7,855	138.3	7,641	97.3
減価償却費	1,884	2,644	140.3	1,613	61.0
資産減耗費	0	206	—	0	—
研究研修費	178	26	14.6	67	257.7
事業外費用	18	141	783.3	156	110.6
支払利息及び企業債取扱諸費	18	141	783.3	156	110.6
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	0	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	0	—	0	—
収支差引	51,532	54,003	104.8	33,588	62.2

2. 貸借対照表

*介護老人保健施設事業

(単位：千円、%)

区分	平成29年度	平成30年度		令和元年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	780,943	770,348	98.6	805,897	104.6
有形固定資産	777,791	768,196	98.8	744,745	96.9
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	1,338,367	1,338,367	100.0	1,338,367	100.0
構築物	68,028	68,028	100.0	68,028	100.0
器械備品	44,786	44,786	100.0	44,786	100.0
車両	3,762	3,762	100.0	3,762	100.0
リース資産	31,553	34,773	110.2	34,773	100.0
減価償却累計額	791,251	804,066	101.6	827,517	102.9
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	2,788	1,788	64.1	60,788	3,399.8
流動資産	561,068	561,790	100.1	524,216	93.3
現金預金	463,683	471,788	101.7	439,560	93.2
未収金	97,385	90,002	92.4	84,656	94.1
資産合計	1,342,011	1,332,138	99.3	1,330,113	99.8
固定負債	644,569	603,985	93.7	549,296	90.9
企業債	441,376	392,574	88.9	342,470	87.2
リース債務	3,193	11,411	357.4	6,826	59.8
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	91,890	104,961	114.2	92,034	87.7
企業債	47,535	48,802	102.7	50,104	102.7
リース債務	2,282	4,893	214.4	4,585	93.7
未払金	12,646	12,320	97.4	12,030	97.6
引当金	26,861	34,309	127.7	23,163	67.5
その他流動負債	2,566	4,637	180.7	2,152	46.4
繰延収益	56,960	55,358	97.2	53,756	97.1
長期前受金	89,000	89,000	100.0	89,000	100.0
長期前受金収益化累計額	△ 32,040	△ 33,642	△ 105.0	△ 35,244	△ 104.8
資本金	413,500	413,500	100.0	473,500	114.5
自己資本金	413,500	413,500	100.0	473,500	114.5
剰余金	135,092	154,334	114.2	161,527	104.7
資本剰余金	10,149	10,149	100.0	10,149	100.0
利益剰余金	124,943	144,185	115.4	151,378	105.0
負債資本合計	1,342,011	1,332,138	99.3	1,330,113	99.8

3. 経営分析

*介護老人保健施設「しらすぎの里」

区分	備 考	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	40.9%	42.6%	47.7%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	610.6%	535.2%	569.6%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	504.6%	449.5%	477.6%

介護老人保健施設

区分	備 考	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	97.6%	92.9%	94.3%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	99.9%	94.8%	96.1%
利用率	一般	93.8%	91.4%	87.0%
1日平均利用者数	入所	75.0人	73.1人	69.6人
	入所日数	365日	365日	366日
	通所	42.5人	41.9人	42.1人
	通所日数	256日	256日	257日
1人1日当り診療収入	入所	12,625円	12,328円	12,394円
	通所	9,634円	9,261円	9,082円
事業収益に対する割合	職員給与費	72.2%	74.3%	72.2%

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

区分	備 考	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	173.7%	175.0%	149.8%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	173.0%	175.0%	149.9%
1日平均利用件数	看護	39.0人	41.9人	33.3人
	リハビリ	19.6人	16.6人	10.6人
	訪問実日数	245日	244日	241日
事業収益に対する割合	職員給与費	51.3%	48.4%	57.1%

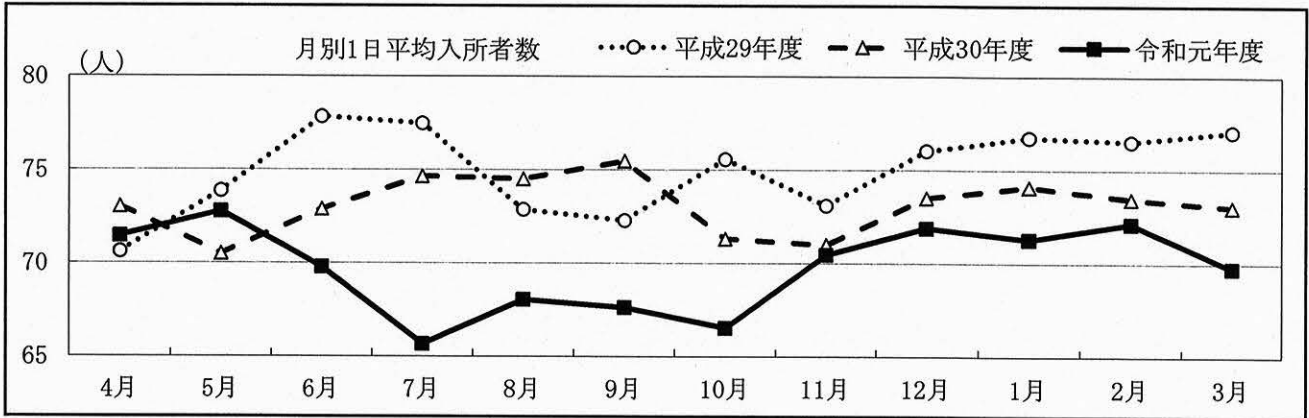
VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」

(1) 施設サービス (入所者数)

(単位：人)

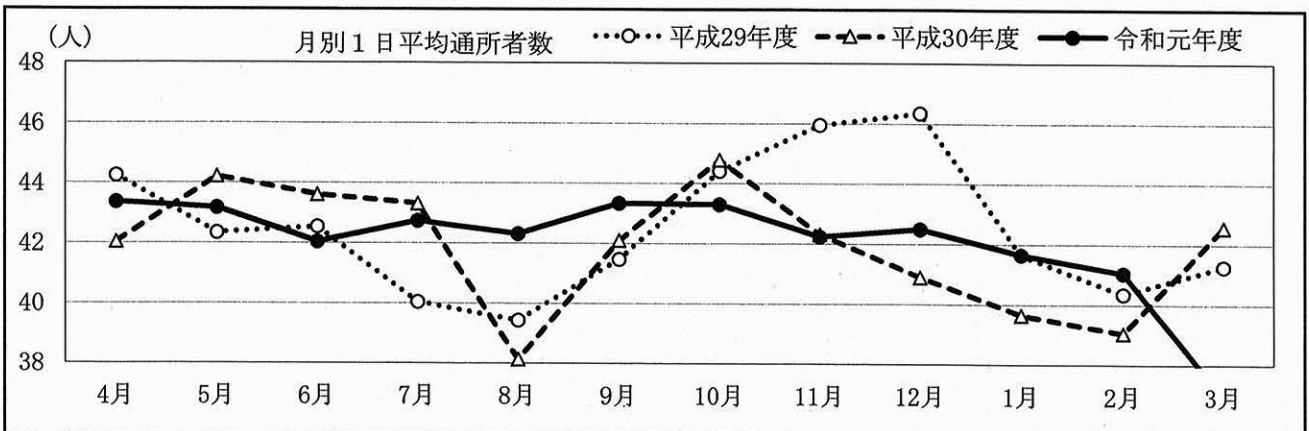
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	2,119	2,290	2,335	2,402	2,259	2,169	2,343	2,193	2,357	2,379	2,143	2,389	27,378
内リハ数	1,183	1,216	1,314	1,222	1,264	1,164	1,251	1,180	1,201	1,215	1,160	965	14,335
1日平均	70.6	73.9	77.8	77.5	72.9	72.3	75.6	73.1	76.0	76.7	76.5	77.1	75.0
平成30年度	2,191	2,186	2,187	2,314	2,310	2,264	2,211	2,130	2,279	2,297	2,057	2,264	26,690
内リハ数	1,113	1,106	1,120	1,143	1,235	1,057	1,089	1,071	1,040	1,005	932	941	12,852
1日平均	73.0	70.5	72.9	74.6	74.5	75.5	71.3	71.0	73.5	74.1	73.5	73.0	73.1
令和元年度	2,144	2,256	2,094	2,036	2,110	2,029	2,063	2,114	2,229	2,210	2,020	2,163	25,468
内リハ数	931	997	921	977	974	899	889	916	933	827	775	902	10,941
1日平均	71.5	72.8	69.8	65.7	68.1	67.6	66.5	70.5	71.9	71.3	72.1	69.8	69.8



(2) 居宅サービス (通所リハビリテーション利用者数)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	885	974	936	841	907	871	977	1,011	927	833	807	908	10,877
1日平均	44.3	42.3	42.5	40.0	39.4	41.5	44.4	46.0	46.4	41.7	40.4	41.3	42.5
平成30年度	883	1,017	916	953	877	842	1,030	931	818	793	781	894	10,735
1日平均	42.0	44.2	43.6	43.3	38.1	42.1	44.8	42.3	40.9	39.7	39.1	42.6	41.9
令和元年度	954	993	841	983	931	910	996	887	850	833	821	812	10,811
1日平均	43.4	43.2	42.1	42.7	42.3	43.3	43.3	42.2	42.5	41.7	41.1	36.9	42.1



(3) 居宅サービス（ショートステイ利用者数）

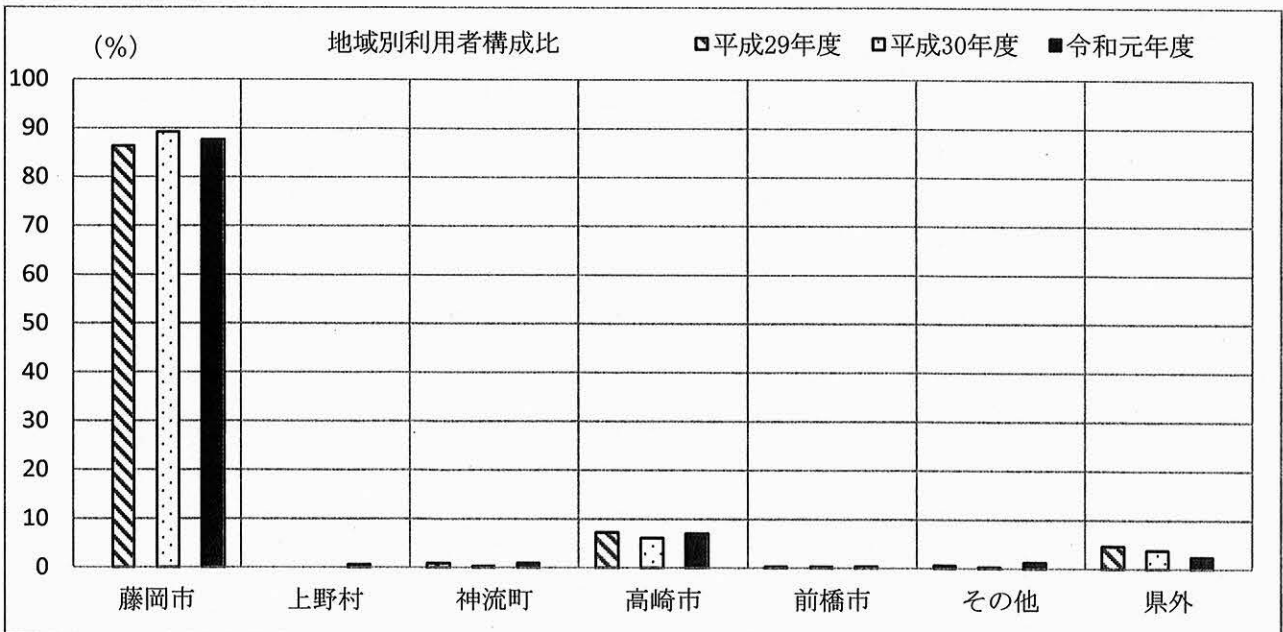
(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	11	45	26	0	0	0	14	19	16	20	10	0	161
平成30年度	4	11	15	18	38	13	9	7	2	14	0	5	136
令和元年度	37	35	16	11	25	31	13	3	8	8	12	0	199

(4) 地域別利用者数

(単位：人)

区分		県内										県外	合計
		藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	伊勢崎市	その他	小計				
29年度	利用者数	328	297	0	3	25	325	1	2	3	16	344	
	入所者数	124	98	0	3	21	122	1	1	2	15	139	
	ショートステイ	15	14	0	0	1	15	0	0	0	0	15	
	通所リハビリ	189	185	0	0	3	188	0	1	1	1	190	
	構成比 (%)	95.3	86.3	0.0	0.9	7.2	94.4	0.3	0.6	0.9	4.7	100.0	
30年度	利用者数	330	306	0	1	21	328	1	1	2	13	343	
	入所者数	119	98	0	1	18	117	1	1	2	11	130	
	ショートステイ	9	9	0	0	0	9	0	0	0	1	10	
	通所リハビリ	202	199	0	0	3	202	0	0	0	1	203	
	構成比 (%)	96.2	89.2	0.0	0.3	6.1	95.6	0.3	0.3	0.6	3.8	100.0	
元年度	利用者数	322	289	2	3	23	317	1	4	5	8	330	
	入所者数	132	104	2	3	19	128	1	3	4	8	140	
	ショートステイ	11	11	0	0	0	11	0	0	0	0	11	
	通所リハビリ	179	174	0	0	4	178	0	1	1	0	179	
	構成比 (%)	97.6	87.6	0.6	0.9	7.0	96.1	0.3	1.2	1.5	2.4	100.0	

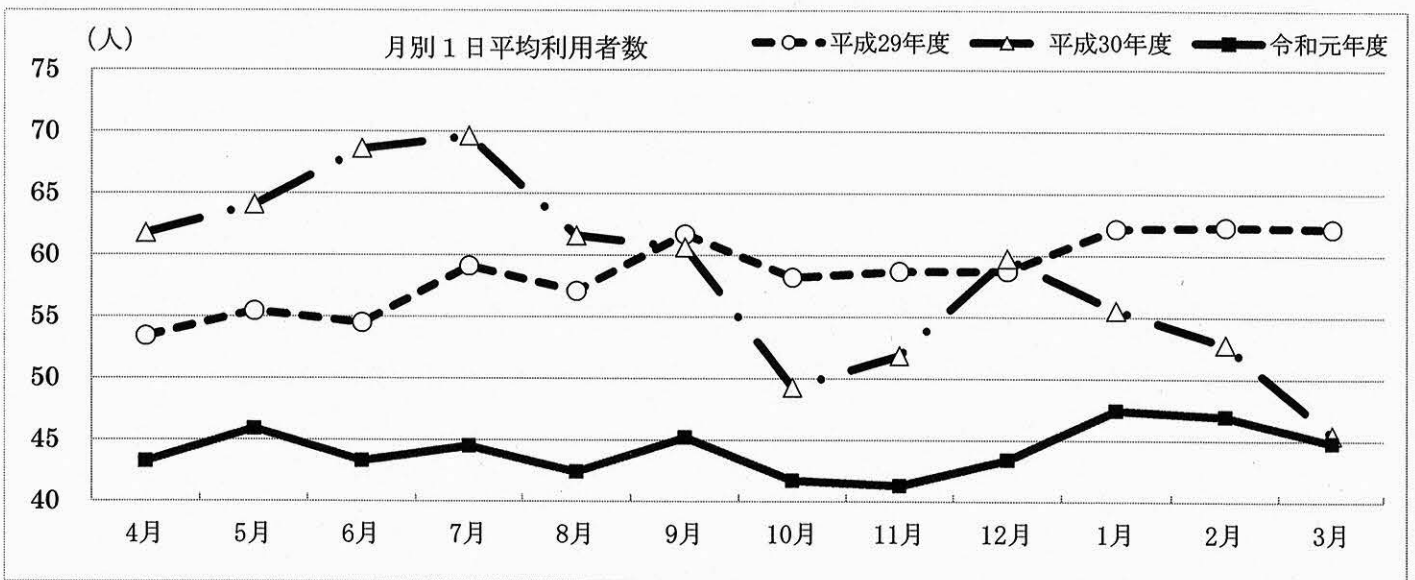


2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」

(1) 月別利用者数

(単位：人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		865	872	866	979	891	859	876	826	868	901	845	941	10,589
	看護	637	638	636	736	675	658	640	620	675	713	672	731	8,031
	リハビリテーション	228	234	230	243	216	201	236	206	193	188	173	210	2,558
1日平均利用者数		43.3	45.9	43.3	44.5	42.4	45.2	41.7	41.3	43.4	47.4	46.9	44.8	43.4
	看護	31.9	33.6	31.8	33.5	32.1	34.6	30.5	31.0	33.8	37.5	37.3	34.8	32.9
	リハビリテーション	11.4	12.3	11.5	11.0	10.3	10.6	11.2	10.3	9.7	9.8	9.6	10.0	10.5
利用者数		125	121	122	123	121	132	117	120	123	126	130	136	1,496
	看護	141	139	140	140	138	143	133	134	136	137	138	146	1,665
	リハビリテーション	17	16	17	17	16	19	19	17	18	18	19	20	213
	併用	33	34	35	34	33	30	35	31	31	29	27	30	382



(2) 地域別利用者数

(単位：人、%)

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
藤岡市	247	68.0	241	67.0	168	64.4
高崎市(吉井町)	9	2.5	7	1.9	9	3.4
高崎市	39	10.7	42	11.7	32	12.3
県内その他	3	0.8	5	1.4	0	0.0
県外	65	17.9	65	18.1	52	19.9
計	363	100.0	360	100.0	261	100.0

(3) 休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

(単位：人)

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
休日・祭日訪問		38	45	38	33	42	48	31	35	57	90	59	63	579
緊急訪問		29	29	26	24	28	36	24	37	33	33	27	29	355

業 務 概 要

業務概要

1. 診療部

(1) 総合診療科

1. スタッフ

常勤医師：神保貴宏

2. 診療業務の現況

月・火・金 午前の新患

月・火・水・木 午後の再来

の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

3. 今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

(文責：神保 貴宏)

(2) 消化器内科

1. スタッフ

入院は山口泰子の1名体制です。

外来は上記に加え、秋谷寿一、内視鏡検査は非常勤医が担当します。

2. 業務の現状

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行なっております。

入院では消化管出血、異物誤飲に対する緊急内視鏡処置、早期胃癌、早期大腸癌およびポリープの内視鏡治療を行い、胆道感染症、急性膵炎、また進行消化器がんの化学療法、緩和治療をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しております。外来対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患が主体で、その他検診二次の需要が増えております。ピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、大腸ポリープの内視鏡切除も行なっております。

2019年度の主な内視鏡検査数は、上部消化管検査総数 5855 件、下部消化管検査総数 1627 件、内視鏡的膵胆管造影総数 84 件、上部消化管ポリペクトミー (EMR を含む) 10 件、下部消化管ポリペクトミー (EMR も含む) 419 件、上部消化管 ESD 16 件、緊急内視鏡 281 件となっております。

3. 今後の目標

消化管疾患は救急疾患、悪性疾患に対する検査、治療が多いため、消化器外科をはじめとする他科や専門スタッフと協力して迅速かつ質の高い診療を行えるよう努力してまいります。また、昨年度から実施している内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を今年度は20件以上を目標と考えております。

(文責：山口 泰子)

(3) 循環器内科

1. スタッフ

入院は 井上雅浩・間淵由紀夫・植田哲也・小野洋平・菅野幸太の5名になります。

外来は入院スタッフに加え、外来のみで診療に当たる鈴木忠・飯島徹・山岸美保・長谷川寛(不整脈外来)になります。

2. 業務の現況

当科では、虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)・心不全・不整脈・心筋症(拡張型・肥大型・二次性)・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患(胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離)閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断・治療を行っています。

冠血管カテーテル治療としては、ステント留置術・バルーン血管形成術・冠動脈内血栓吸引術などを行なっています。急性冠症候群(急性心筋梗塞・不安定狭心症)に対する冠動脈カテーテル治療は24時間体制で対応し、毎年100例前後の緊急カテーテル治療を行っております。

血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。冠動脈CTによる冠動脈病変の評価システムが軌道に乗り、低侵襲で診断される症例が増加してきております。

肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置・閉塞性動脈硬化症に対する下肢動脈血管治療・透析患者さんに対するシャント血管治療・徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込みなども行っています。

不整脈に対するカテーテル治療・植え込み型除細動器・両室ペーシング・冠動脈バイパス術・弁置換術・大血管の手術が必要な場合には、群馬県立心臓血管センター・伊勢崎市民病院・群馬大学医学部附属病院などと連携をとって診療にあたっております。

3. 今後の目標

- 1 丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
- 2 医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
- 3 カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
- 4 地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
- 5 インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
- 6 臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方・基本技術を身に付けた医師を育てる。

(文責：井上 雅浩)

(4) 呼吸器内科

1. スタッフ

中川純一、池田香菜、内田 恵、梅津和恵(4月～9月)、板井美紀(4月～9月)、竹村仁男(10月～)常勤医4人体制で診療にあたっている。

非常勤医師：須賀達夫、山口公一、田口浩平：主に外来診療を行っている。

2. 業務の現況

呼吸器内科では肺癌をはじめとする腫瘍性疾患(悪性中皮腫、縦隔腫瘍を含む)、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、多種多様な呼吸器感染症(肺炎、気管支炎、細気管支炎、胸膜炎、肺結核など)、特発性肺線維症をはじめとする間質性肺疾患(特発性間質性肺炎、膠原病肺、薬剤性間質性肺炎など)、気胸、各種胸膜炎、肺血栓塞栓症などを主な対象疾患としている。

入院患者の主な疾患は、肺癌、肺炎、間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、呼吸不全などである。

肺癌患者の治療は十分なインフォームド・コンセントを得た上で、手術療法、化学療法、放射線療法のうち、その患者に適切な治療法を選択し施行している。呼吸器内科としては化学療法単独、放射線療法単独、ならびに化学療法・放射線療法併用療法を行っている。近年では、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療例が増加し、進行肺肺癌の治療成績は飛躍的に向上してきている。

間質性肺疾患としては、特発性間質性肺炎をはじめ、膠原病に関連する間質性肺炎や薬剤性肺炎を数多く診療している。

気管支鏡検査は、2019年度は105件に行っている。日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり、超音波気管支鏡が導入されており、超音波気管支鏡検査対象患者数が増加している。

〈外来担当医表〉

	月	火	水	木	金
午前	池田・中川	池田・内田	-	池田・内田	池田・中川
午後	中川・山口	-	須賀・田口	(気管支鏡)	-

3. カンファランス、研修教育

・多職種合同呼吸器カンファレンス：毎週水曜日に北5階病棟で行っている。参加メンバーは、呼吸器内科医（専門医、指導医）、放射線治療医、研修医、病棟看護師長、緩和ケア専門看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーらで構成されている。

・呼吸器疾患3病院合同カンファランス：群馬大学医学部附属病院と高崎総合医療センターとの合同カンファランスを3ヶ月に1回行っている。

研修医教育には一段と力を注ぎ、魅力のある病院にするべく努力している。学会発表を積極的に行い、研修医にも発表の機会を提供している。群馬大学医学部学生実習も積極的に受け入れている。

4. 臨床研究テーマ

- 1) EGFR T790M 変異陽性非小細胞肺癌におけるオシメルチニブの効果予測因子に関する前向き観察研究
- 2) 肺癌治療における免疫チェックポイント阻害薬の有効性と有害事象の検討
- 3) 薬剤性肺障害の臨床的検討
- 4) 各種間質性肺炎のHRCT所見の検討
- 5) レジオネラ肺炎の臨床的検討、肺炎球菌性肺炎との比較検討
- 6) ニューモシスチス肺炎の臨床的検討

5. 今後の展望

群馬大学付属病院をはじめとする他の専門病院との連携を深め、県内の呼吸器科医の育成に努め、群馬県内（埼玉県北部医療圏を含む）の呼吸器疾患診療のさらなる充実を目指す。

（文責：茂木 充）

(5) 血液内科

1. スタッフ

外山耕太郎、田原研一、中山敬太、寺崎幸恵、松本彬（内科専攻医）

2. 業務の現況

引き続き 4 人体制で群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。更に本年度から内科研修制度に伴い、内科専攻医の研修も行っている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

無菌病棟が充実し、急性白血病症例や、強度の強い治療を必要とするリンパ腫症例数が増加しており、無菌病床はすでに不足している状況となっている。

濾胞性リンパ腫の FOREST 試験や、Hodgkin リンパ腫の HORIZON 試験、JALSG の CS-17、GML219 といた全国規模の臨床試験に積極的に参加を行っている。

また、群馬大学血液内科と共同で高齢者リンパ腫における治療についての前向き観察試験を行い、新規の Evidence 構築に向け邁進している。

3. 今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。研修指定病院としての役割で投下の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

4. 業務実績

新規患者数

急性骨髄性白血病 5 例、急性リンパ性白血病 2 例、骨髄異形成症候群 12 例、悪性リンパ腫 48 例、形質細胞性腫瘍 20 例、慢性骨髄性白血病 5 例、真性多血症 1 例、本態性血小板血症 6 例、原発性骨髄線維症 3 例、慢性骨髄単球性白血病 1 例、MDS/MPN-U 1 例、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 1 例、再生不良性貧血 1 例、免疫性血小板減少症 7 例、悪性貧血 4 例、ビタミン B12 欠乏性貧血（胃全摘後）1 例、葉酸欠乏性貧血 1 例、銅欠乏性貧血 1 例、伝染性単核球症 8 例、αサラセミア 1 例、寒冷凝集素症 1 例、赤芽球癆 1 例、キャッスルマン病 1 例、TAFRO 症候群 1 例、自家末梢血造血幹細胞移植 2 例。

（文責：外山 耕太郎）

(6) 腎臓・リウマチ内科

1. スタッフ

令和元年度は、内科専攻医 1 名を含む 6 名で診療を行った。若手医師には腎臓リウマチ分野の診療の他、救急外来での初期対応や内科外来での初診外来も担当してもらい、幅広い知識・経験を積めるようにしている。

2. 業務内容

腎疾患診療については検尿異常から慢性腎臓病、ネフローゼ、急性腎障害などの患者さんの診療に対応している。今年度は 23 例の腎生検を行った。

透析診療に関しては、透析室に 29 台、出張用に 1 台の透析用コンソールを有し、維持外来血液

透析患者さんだけでなく、新規導入や他院からの紹介、HCU での緊急透析にも対応している。今年度は 34 例の新規血液透析と、4 例の新規腹膜透析の導入を行った。また内シャント狭窄・閉塞に対する内シャント PTA 治療をのべ 66 件で行った。急性腎障害 9 件にも一時的な血液透析を行った他、疾患に応じて、二重膜濾過を含む血漿交換療法、炎症性腸疾患に対する顆粒球除去療法、閉塞性動脈硬化症に対する LDL アフェレーシスや、難治性腹水に対する腹膜濾過濃縮再静注療法などの各種血液浄化療法にも対応している。

リウマチ・膠原病に関しては県内のみならず、埼玉北部からも広く患者さんが紹介されている。この数年でリウマチだけでなく膠原病にも生物学的製剤の適応が広がってきており、疾患の寛解を目指して積極的に治療に当たっている。不明熱などの原因検索にも対応している。

3. 研究業績

対外的には日本リウマチ学会学術総会で 1 題、日本透析医学会学術総会で 1 題、日本リウマチ学会関東支部学術総会で 1 題の演題発表を行った。

4. 目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓/リウマチ膠原病治療に貢献できるように、診療の幅を広げていきたい。慢性腎臓病の進行予防・透析予防の患者さんへの教育にも取り組みたい。維持血液透析患者さんに対する透析リハビリテーションも導入予定である。

(文責：太田 史絵)

(7) 糖尿病内科

1. スタッフ

2019 年 4 月より今村誠先生の後任として中原理恵子が群馬大学大学院医学系研究科 臨床検査医学講座より派遣され常勤として勤務しています。

また、非常勤として朱啓子（糖尿病外来）、西野道夫（甲状腺外来）両先生に外来支援をしていただいています。

日本糖尿病療養指導士は看護師 4 名、栄養士 3 名、薬剤師 2 名、理学療法士 1 名、臨床検査技師 2 名の計 12 名、群馬糖尿病療養指導士は 13 名おり、院内での糖尿病指導などにおける企画、実施を共に行っています。

2. 業務内容

外来診療は非常勤医を含め糖尿病外来 6 枠、甲状腺外来 2 枠で診療を行っています。また、緊急時には随時紹介を受け付けています。

糖尿病については 1 型糖尿病、2 型糖尿病をはじめ、妊娠糖尿病などの特殊な病態を含み全て対応可能です。また、2019 年 4 月よりインスリンポンプ療法の診療を開始しており重症患者の治療の多様性に応えられる体制を整えています。同時に SAP 療法を開始しており、今後はリアルタイム CGM の導入を予定しています。糖尿病透析予防指導については日本糖尿病療養指導士の資格を有する看護師、管理栄養士と共に指導に当たっています。

入院では糖尿病教育入院パスを稼働し、1 週間の糖尿病教育入院を毎月第 2 水曜日より開催しています。今後、地域の治療困難な糖尿病患者様の入院治療を受け入れ、教育面でサポートできるよう体制を整えます。その他、DKA・HSS などの重症糖尿病の入院治療、周術期や外傷、感染症、ステロイドによる高血糖に対する血糖管理を主な業務としています。

診療外では、外来患者様や一般の方を対象にした糖尿病教室を年 4 回開催しており、毎回 30 人～50 人の方にお集まりいただきご好評いただいています。なお、今年度 3 月 3 日に予定していた第

4回については新型コロナウイルス流行をうけ中止・延期としました。

糖尿病友の会『カンナの会』の活動としては、定例会の他、11月4日に富岡市のもみじ平総合公園で開催された群馬糖尿病協会主催の糖尿病ウォークラリーに会員4名、スタッフ5名で参加しました。

内分泌疾患については、橋本病やバセドウ病等の自己免疫性甲状腺疾患をはじめとして原発性アルドステロン症の診断、副腎不全の診断治療を中心に行っています。今年度は粘液水腫3件、甲状腺クリーゼ1件、アジソン病1件、ACTH単独欠損症3件の入院治療がありました。

糖尿病、内分泌疾患とも近隣医療機関より広くご紹介頂いており、地域における当科の役割を改めて認識するところです。したがって病状が安定した患者様は積極的に逆紹介させていただき、新規の紹介患者様を受け入れられるよう努めています。

3. 今後の目標

糖尿病教育入院で院内外を問わずコントロール不良の患者様を受け入れて精査治療教育する体制を構築します。また、外来の糖尿病透析予防指導の体制を充実させます。

4. その他

2019年（令和1年）度糖尿病治療支援委員会活動報告

第一回糖尿病教室

日時：令和1年6月12日（水）14：00～15：00

場所：大会議室

担当：糖尿病内科医師・薬剤部

第二回糖尿病教室

日時：令和1年9月11日（水）14：00～15：00

場所：大会議室

担当：検査室

糖尿病ウォークラリー糖尿病教室

日時：令和1年11月4日（月）12：30～15：30

場所：もみじ平総合公園（富岡市）

カンナの会食事会・勉強会

日時：令和1年11月27日（水）12：00～13：30

場所：外来棟 3階ラウンジ

内容：カンナの会会員・糖尿病チーム挨拶

糖尿病食の食事会・フリートーク

中原医師（糖尿病内科）より「月刊糖尿病ライフさかえ」を使用して勉強会。

第三回糖尿病教室

日時：令和1年11月27日（水）14：00～

場所：大会議室

担当：看護部

第四回糖尿病教室 →新型コロナウイルス蔓延の社会的状況をみて中止とした。

日時：令和3年3月3日（水）14：00～

場所：大会議室

担当：リハビリテーション室

（文責：中原 理恵子）

(8) 小児科

1. スタッフ

常勤医：渡部登志雄、小山晴美、相馬洋紀、岩脇史郎の4人体制。

非常勤：岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、田部井容子（内分泌・代謝）、鈴木信（外科・消化器）各先生の援助で小児疾患の広い分野をカバーしている。（敬称略）

2. 業務内容

令和元年度は、入院実数 713 人（平成 30 年度 745 人）、外来実数 7158 人（同 7549 人）と少子化の影響をうけながらも前年度わずか減にとどまっている。当院の特徴である腎疾患については腎生検 6 件、腎シンチ 24 件、膀胱造影 31 件、ネフローゼに対するリツキシマブ投与 4 件と順調に症例数を重ねた。もう一つの柱のアレルギー疾患については、入院での食物負荷試験を 13 件施行いたしました。内分泌負荷試験は 6 件行った。新生児については院内出生の 34 週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき 105 例の入院加療を行った。内 DPAP 装着 5 例の管理を行った。念願であった新生児蘇生講習会は、準備期間を経て 2019 年 5 月 18 日に初めての講習会を開催し新たなプロバイダーを 3 名輩出した。以後年度内に第 4 回まで会を重ね、今年度は新規プロバイダー 8 人、資格更新者 11 人となっている。

3. 目標

次年度も感染症疾患に加え腎臓、アレルギー、新生児の疾患を軸に、より広い地域からの紹介を得られるように情報を発信していきたいと思っております。新生児蘇生講習会については院内だけでなく近隣にも参加を広げ、地域での新生児医療技術の底上げをはかって行きたい。

（文責：渡部登志雄）

(9) 外科

1. スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中村卓郎、中里健二、加藤寿英、松本明香、熊倉裕二、高橋遼、本田周子、菊地健太、内田真太郎

2. 施設認定

- ① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ② 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ⑤ 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ⑥ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ⑦ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ⑧ 日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ⑨ 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

3. 診療内容

- ①消化器外科：消化器の良性・悪性疾患
- ②呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
- ③乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患

④小児外科：小児ヘルニア

⑤一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘍

4. 目標

安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。

①医師の能力向上に努める

②学術的診療業務への取り組み

③外科医療の質改善に努める

④がん地域連携パスの推進

5. 手術実績と今後の目標

令和元年度は、3名の医師交代がありました。長年当院で勤務された森永暢浩先生が大学医局人事により異動された他、矢野間透先生、原田祥恵先生もそれぞれ異動となりました。代わりに高橋遼先生、本田周子先生、内田真太郎先生が着任しました。また群馬大学医学部付属病院 外科診療センターより循環器外科阿部知伸先生（第1,3週水曜の外来）、小児外科鈴木信先生（第1,3,5週木曜の外来）、呼吸器外科尾林海先生/中澤世識先生（毎週火曜日の手術）、各先生方にご協力をいただいております。令和元年度の総手術件数は833件で昨年より増加しました。悪性腫瘍の手術件数は311件で増加しています。食道がん3例（ESD3例）、胃がん46例（ESD11例、鏡視下手術10例）、大腸がん151例（鏡視下手術76例）、肝胆膵がん8例、肺がん39例（鏡視下手術38例）、乳腺・甲状腺がん64例でした。大腸がん、乳がんが増加しています。他、虫垂切除は71例（鏡視下手術70例）、ヘルニア手術は147例（鏡視下手術45例）、胆石症手術は97例（鏡視下手術86例）でした。令和元年度は、初期臨床研修医1年次4名、2年次4名が外科を選択し1-3ヶ月の研修を行い、良性疾患、悪性疾患、緊急手術等、幅広く研修していました。これからも、患者さんに求められる質の高い医療サービスを提供して、地域から信頼される医療を行いたいと考えております。

（文責：中里健二）

（10）整形外科

1. スタッフ

常勤医師：中島大輔、土田ひとみ、橘昌宏、工藤千佳、有澤信亮、井野福央（4月～9月）、中島知貴（10月～3月）

非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、角田陽平、高澤英嗣

2. 業務の現況

常勤医6名と外来のみの非常勤医3名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前一般外来、火曜日午後には脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては2次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であり、緊急手術も含め手術件数が増加傾向となっています。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっております。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療終了

後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

3. 今後の目標

- ・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
- ・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
- ・年間手術件数の増加
- ・学術活動への積極的な参加
- ・整形外科専門医、手外科専門医の養成

4. 業務実績

平成 31 年度（令和元年度）手術総件数は 675 件（内緊急手術 55 件）でありました。

主要手術件数は、大腿骨近位部骨折 137 件（頸部骨折骨接合術 17 件、頸部骨折人工骨頭置換術 37 件、転子部骨折 75 件、転子下骨折 8 件）、膝関節周囲外傷 16 件、足関節周囲外傷 33 件（内足関節脱臼骨折 26 件）、下肢切断術 8 件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷 21 件、肘関節周囲外傷 25 件（内小児肘外傷 13 件）、前腕骨幹部～手指外傷 126 件（内橈骨遠位端骨折 58 件、顕微鏡下神経血管修復術 2 件）、内シヤント造設術 33 件、腱鞘炎手術 22 件（ばね指 18 件、ドゥケルバン病 4 件）、絞扼性神経障害手術 27 件（手根管症候群 25 件、肘部管症候群 2 件）、緊急創外固定設置 10 件、骨内異物除去術 119 件などとなっております。

（文責：中島 大輔）

（1 1）脳神経外科

1. スタッフおよび人事

勤務医師の変遷（常勤医師）

2003. 4. 1 ～ 2003. 5. 31	朝倉 健	黒崎みのり	山口 怜
2003. 6. 1 ～ 2005. 5. 31	甲賀英明	黒崎みのり	山口 怜
2005. 6. 1 ～ 2006. 3. 31	甲賀英明	黒崎みのり	伊部洋子
2006. 4. 1 ～ 2009. 9. 30	甲賀英明	黒崎みのり	若林和樹
2009. 10. 1 ～ 2011. 3. 31	甲賀英明	黒崎みのり	田中志岳
2011. 4. 1 ～ 2012. 3. 30	甲賀英明	黒崎みのり	山口 怜
2012. 4. 1 ～ 2014. 3. 31	甲賀英明	山口怜	
2014. 4. 1 ～ 2017. 3. 31	甲賀英明	若林和樹	
2017. 4. 1 ～ 2018. 9. 30	甲賀英明	若林和樹	吉澤将士
2018. 10. 1 ～ 2019. 9. 30	甲賀英明	若林和樹	小島丈夫
2019. 10. 1 ～ 2020. 3. 31	甲賀英明	若林和樹	富田庸介
2020. 4. 1～	甲賀英明	若林和樹	込山和毅

2. 外来体制

業務実績

○入院患者統計（令和元年度確定数）

総入院数 640名 脳腫瘍 29例 脳血管障害 429例（くも膜下出血＋動脈瘤 23例、脳出血 112例、脳梗塞 288例）、頭部外傷 105例、脊椎脊髄疾患 2名、炎症性疾患 3、機能痙攣 43例、その他疾患 29例

○性別 男性 386例（60.3%） 女性 22例

○住所地 群馬県 399例（62.3%） 埼玉県 222例（34.6%） 他 3%

○回復期利用 115人（18.0%）、包括ケア利用 93人（14.5%）

DPC病棟退院 432人（67.5%）

○平均在院日数 12.8日（DPC） 回復期病棟 74.6日、包括ケア病棟 29.5日

○転帰 自宅退院（回復期含む） 363人（56.6%） 他院回復期転院 65人（10.2%）、療養病床 62人（9.7%） 死亡退院 50人（7.8%）

○手術統計 総計 195件（確定数）

【顕微鏡下手術】 24件

脳腫瘍摘出術 8 経鼻的下垂体腫瘍摘出術 3

脳動脈瘤クリッピング 7 脳内血腫除去 5

STA-MCA バイパス 1

【血管内治療】 68件

脳動脈瘤コイル塞栓術 13 DAVF 塞栓術 1

血栓回収療法 35 頸動脈ステント 19

【その他の手術】 103件

tPA 静注療法 38

頭蓋骨形成術 3 脳膿瘍 2

外傷性血腫除去 12 シヤント手術 3

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 32

脳室ドレナージ 8

気管切開術 2 気管孔閉鎖術 1

創デブリドメント 1 側頭動脈生検術 1

（文責：甲賀 英明）

（12）皮膚科

1. スタッフ

常勤医師 部長 1名

2. 診療業務の現況

外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の往診業務は月曜日、水曜日の午後に行い、金曜日の午後に病棟患者の褥瘡回診を行っている。

3. 今後の目標

入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。褥瘡対策チームでのチーム医療での活動に関わることで、当院のみならず地域医療に貢献したい。

（文責：嶋岡 正利）

(13) 泌尿器科

1. スタッフ

常勤医師 3 名 非常勤医師 1 名

2. 業務内容

外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破砕術(ESWL)を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

3. 目標

泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。また H24 年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26 年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。（H27 年 3 月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました）病棟ではスタッフとともにカンファレンスを継続して行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供したい。

4. 業務実績

手術件数（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

病名	術名	件数
副腎腫瘍	腹腔鏡下副腎摘除術	3
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	4
	根治的腎摘出術（開放）	0
	腹腔鏡下腎部分切除術	3
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	3
	腎尿管全摘除術（開放）	1
	尿管部分切除	1
腎盂尿管癌疑い	尿管鏡	5
	逆行性腎盂造影	5
膀胱癌	膀胱全摘除術+回腸導管造設	1
	膀胱全摘除術+自排尿型代用膀胱作成	1
	膀胱部分切除	0
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	59
膀胱癌疑い	膀胱生検	0
S 状結腸癌膀胱浸潤 前立腺癌	膀胱部分切除	1
	腹腔鏡下前立腺全摘	12
	前立腺全摘（開放）	0
	去勢術	3
前立腺癌疑い	前立腺生検	137
精巣癌	高位精巣摘除	1
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	10
尿管狭窄	前立腺被膜下摘除術	0

尿管狭窄	D-J ステント留置	91
	D-J ステント抜去	1
	腎瘻造設（腎瘻拡張）	9 (1)
停留精巣	精巣固定（停留精巣）	2
精巣捻転	精巣固定	2
尿管結石	経尿道的尿管結石破碎術	13
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	9
包茎	環状切除	4
膀胱出血	膀胱止血術（内視鏡的）	1
腎尿管結石	体外衝撃波結石破碎術	84（新規 22）
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	8
その他	膀胱瘻造設（膀胱瘻拡張）	2 (1)
	精索水腫根治術	1
	陰嚢水腫根治術	5
	カルンクルス切除	1
	内視尿道切開	1
	腎（周囲）膿瘍ドレナージ	4
	鼠径部腫瘍切除	2

（文責：武井 智幸）

（14）産婦人科

1. スタッフ

常勤産婦人科医 3 名と、群馬大学からの派遣による非常勤医師が 3 名（水曜日～金曜日に各 1 名）で 24 時間、365 日の病棟産科・産直体制を支えている。これに助産師 13 名、看護師 15 名により年中無休の分娩・小児・新生児医療体制を支えている。助産師・看護師には、新進気鋭の若手が増えており、医師も当院研修医から育った気鋭の若手が帰巢してきている、喜ばしい傾向にある。

2. 業務概要

外来業務を、月曜日～金曜日の午前／午後で産科／婦人科に分けて行っている。超ベテランの吉田医師が外来の顔として、延命医師が女性医師希望のニーズに応えるべく、健診センターの婦人科検診業務も合わせて行っている。産科外来では師長助産師 2 名と専属の看護師 2 名で、日々の妊婦健診、助産師外来、父母教室など、多忙多岐にわたる母子保健衛生業務を支えている。

病棟では、上述の病棟スタッフで、年間 148 件に及ぶ手術室手術（分娩室、処置室等での手術は含まない）と、263 件の分娩が、52 件（緊急 24 件）の帝王切開を含めて行われている。母体と胎児・新生児の若い 2 つの命に関わる超高度なストレス・リスクの中、昼夜分かたず一致協力して、途切れることの許されない安全を維持するべく頑張っている。

3. 今後の目標

若手の産科医、助産師の確保が厳しさを増す状況下ではあるが、風前の灯火である藤岡・多野地域及び本庄・児玉地域の周産期医療を、厳しい状況下奮闘を続ける当院小児科とともに安全に支え続けなければならない。このためにも、医師・助産師を含めた後達の育成が求められ、若い

医療者に選択される魅力の発信も続けなければならない。

(文責：遠藤 究)

(15) リハビリテーション科

1. スタッフ

リハビリテーション科の医師は常勤2名、療法士は理学30名、作業13名、言語聴覚7名でリハビリを実施しています。

2. 業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)」「運動器リハビリテーション料(Ⅰ)」「呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)」「がん患者リハビリテーション」「心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)」「廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準で運用しています。

令和元年度リハビリの新規依頼件数は、入院患者では総数3114件、内訳は脳血管疾患等リハビリ579件、運動器リハビリ451件、呼吸器疾患リハビリ107件、がん患者リハビリ554件、心大血管疾患リハビリ94件、廃用症候群リハビリ1329件でした。外来患者では総数475件、内訳は脳血管疾患等リハビリ81件、運動器リハビリ218件、呼吸器疾患リハビリ63件、摂食機能療法8件、訪問リハビリ30件、診断書に関わる身体計測は74件でした。回復期病棟への新規入棟患者は181件でした。

入院部門では、急性期からのリハビリの必要な廃用症候群の患者が増加し、リハビリの早期介入が入院期間の短縮につながっています。入院患者のほぼ半数にリハビリが提供されています。

外来部門では、前年に比べ依頼数は減少していますが、がん患者の術前指導訓練や慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸理学療法、診断書に関わる身体測定は増加しています。

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折など発症し急性期治療後に病状が安定した患者に引き続き集中的なリハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士など多職種が密に連携して業務を行っています。

訪問リハビリは訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動し、在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

3. 今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、入院リハビリ、外来リハビリ、訪問リハビリを行っていきます。

入院患者には病初期からリハビリが介入し早期退院、回復期リハビリへの移行をすすめ、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問リハビリでは、在宅でのリハビリを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。

今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

(16) 放射線治療科

1. スタッフ

常勤1名、非常勤2名(水曜日午後、金曜日午後)

2. 業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子線治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

3. 業務実績

令和元年度の治療患者数(新患)は129例でした。

4. 今後の目標

他科との連携をとりつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思っております。

(文責：塩谷 真里子)

(17) 放射線診断科

1. スタッフ

神宮晶子、山田宏明の常勤2名。週3-4日半日は大学から非常勤医師の応援

2. 業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CTガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療

3. 業務実績

令和元年度の実施件数はCT 18560件、MRI 5504件、RI 680件、PET 454件、CTガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて24件で前年度とほぼ同様でした。

4. 今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等に貢献できるようにしていきたいと思っております。各診療科とも積極的に連絡を取り合いながら、診断していきたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思っております。

(文責：神宮 晶子)

(18) 麻酔科

1. スタッフ

日本専門医機構による名称変更で麻酔科専門医荒井、牛込、金井、田口、萩原の5名で手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

2. 診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することも多くなりました。

そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連

痛、慢性疼痛、顔面けいれんなどを扱っています。また、筋肉由来の疼痛、例えば重症な肩こりや腰痛に対して、筋膜リリースの即効性があり患者さんに感謝されています。

昨年の麻酔科管理は 1844 例で内訳は全身麻酔（硬膜外麻酔併用を含む）1265 例、腰椎麻酔 345 例、硬膜外麻酔 97 例、伝達麻酔 67 例でした。このうち、緊急手術は 292 例でした。前年より全体では 40 例ほど減少しましたが、緊急手術は 60 例ほど増加しておりその分、忙しさを感じています

3. 今後の目標

手術部門システムの導入により効率的な手術運営及び医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。しかし、麻酔器やモニタの更新は否応なくやってきます。安全な医療を目指す観点からも更新を病院にお願いしたいと思っています。

(文責：荒井 賢一)

(19) 歯科口腔外科

1. スタッフ

高山 優、大隅麻貴子、飯沼 瞳（歯科衛生士）、安井由佳（歯科衛生士）

2. 業務内容

歯科口腔外科は今年度で 2 年目を迎えました。今年度、藤岡歯科医師会に入会したこともあり、紹介患者は月平均 88 人と昨年 78 人と比較して増加し、手術件数も昨年度 22 例から今年度 41 例と増加しております。今後も地域の 2 次医療機関として、また総合病院の歯科口腔外科として地域医療および病院内でも他診療科と連携を組み良質な医療を提供して行きたいと考えております。

3. 業務実績

外来：初診患者数は 1062 人、周術期等口腔機能管理初診患者総数は 208 人（手術：139 人、化学療法：69 人）でした。外来局所麻酔下の高頻度手術である普通抜歯は 387 例、埋伏抜歯は 133 例、生検・腫瘍摘出は 93 例でした。顕微鏡下歯根端切除術は 11 例でした。

入院：入院患者総数は 64 人、全身麻酔下手術症例は 41 例でした。手術症例内訳は、悪性腫瘍 2 例（下顎歯肉癌 1 例、頬粘膜癌 1 例）、良性腫瘍 4 例、顎骨嚢胞 14 例、上顎洞疾患 3 例、抜歯 17 例、骨折 1 例、唾液腺疾患 1 例、顎関節疾患 1 例、その他 2 例でした。

4. 目標

昨年度の同様に外来患者および手術件数増加と考えております。

入会した藤岡歯科医師会と病診連携を組むことでこれらの増加を図ろうと考えております。また、患者数が増えても、治療の質、安全性は落とさず診療を行いたいと思います。教育面では、来年度から歯科医師臨床研修医の受け入れが確定しており、教育の面でも貢献して行きたいです。

(文責：高山 優)

(20) 健康管理センター

1. スタッフ

人間ドック：飯島徹、田村勝、石崎政利、中村卓郎、壁谷健志、神保貴宏
山岸美保（非常勤）

脳ドック：田村勝

婦人科検診：吉田光典、片貝栄樹、周藤周、延命みゆき（非常勤）

2. 業務内容

一泊 2 日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等の業務を行っている。

3. 業務実績

人間ドック健診機能評価 ver.4 を受審し認定された。

一泊 2 日ドック 131 件、日帰りドック 3,835 件、脳ドック 178 件、生活習慣病健診 1,915 件、企業健診 2,797 件、特定健診 208 件、特定保健指導 44 件、藤岡市等乳がん・甲状腺がん検診 677 件など。

収益は平成 27 年度と比較し 2.1%増益だった。

4. 今後の目標

①保健指導をドック当日に受けられるようにする。

②脂質、血糖値などが要経過観察となった受診者を対象に再検査を受けられるコースの新設を検討する。

（文責：飯島 徹）

（21）病理診断科

1. スタッフ

常勤医師一人：吉田孝友

2. 診療業務の現況

月～金曜日の全日体制で、病理診断、術中病理診断、病理解剖に対応している。病理解剖は担当医と協議により適宜施行しており、ほぼ 100%の実施率である。

毎月第一月曜日に、外科、放射線科、臨床検査との合同乳がんカンファレンスを施行している。

3. CPC

病理解剖を通して症例毎の病態・病因を究明し、研修医とともに病理解剖診断書を作成している。また、研修医による症例示説を行い、質疑応答を経て、より一層の理解を深めている。

4. 今後の目標

大学病理学教室、病理部その他関連施設の病理医との意見交換やコンサルテーションにより、迅速で正確な病理診断を心掛ける。

（文責：吉田 孝友）

2. 薬剤部

1. スタッフ

公立藤岡総合病院：薬剤部長 1 名 室長 1 名 グループリーダー 3 名

薬剤員 17 名（再任用 1 名、臨時職員 1 名を含む） 薬剤助手 3 名

2. 業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 常に最適な薬物治療を提供する。

2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、指導する。
3. 薬剤師としての考えをしっかりと持って、チーム医療をささえる。
全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と服薬指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い服薬計画を提案している。

2019年度の実績は、薬剤管理指導件数は1,101件/月、病棟薬剤業務実施加算件数1,639件/月、退院時薬剤情報管理指導件数240件/月という算定に至った。院内感染対策チーム(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)、栄養サポートチーム(NST)、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用、購入、在庫管理において細心の注意を払い経済損失リスクの管理に取り組んでいる。日々更新される医薬品情報の管理はDIを通じて、安全性情報、DIニュースの発行等でその発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、長期実務実習は3名の実習生を受け入れ、未来の薬剤師の育成および薬学生実務実習受け入れ施設としての役割を果たすことができた。

全病棟および部門の救急カートの管理、毒薬、劇薬、向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、またHCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など医薬品リスクマネジメント管理において重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェック、ミキシング、個々の患者への説明・服薬指導および副作用のモニタリング等を行い外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、医薬連絡協議会による問題点の検討、薬業連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら地域薬剤師会との連携をはかり安全な院外処方に努めている。また、後発医薬品の普及促進のため一般名処方も可能にしている。

医薬品市販後調査については、16件の調査協力を行った。

3. 今後の目標

服薬指導を通して、患者の薬学的管理を行うことは、疾患に対する医学的知識が必要である。その上で薬剤師としての見解を持つべきである。処方箋による調剤そして服薬指導は、それらを通じて薬剤師としてのアセスメントを持つことであり、それがチーム医療の成就といえよう。チーム医療を謳うのであれば、それを担う一員としてそれが本来の威力を発揮するよう努力したい。

(文責：小幡 輝夫)

3. 診療支援部

(1) 放射線室

1. スタッフ

診療放射線技師 21名(内1名育休中) 看護師 1名 受付事務 1名

2. 令和元年度事業目標

- ①SPECT装置の更新。
- ②脳定位放射線治療を開始し増収を図る。
- ③安全安心の検査体制再整備。

3. 令和元年度事業目標達成状況

- ①9月に入れ替え工事が済み、当初の予定通り10月より稼働を開始することができた。
検査件数も順調に推移している。
- ②脳定位放射線治療のための基礎データの確認が順調に進んで対応出来るようになったが、治療対象患者がいなかったため実施できなかった。
- ③昨年発生したMRI吸着事故の再発防止や、その他潜んでいる危険に対応するための体制づくり

をし、一人一人確認作業を行いながら検査を進めている。

4. 今後の課題

- ①入院棟 CT・MRI への看護師常設配置は、検査効率の向上、安全・安心の検査体制に欠かすことが出来ないと考えている。前処置の完全実施、ラインの安定確保により、造影剤漏出などの危険因子を、最小限に抑えることが期待されていて、最重要課題ととらえているが、看護師の人員不足により実現できていない。
- ②病院が統合され、運用面での効率アップのための改革を進めている。午前・午後での人員配置換えや、忙しい部署に人を投入していくことなどをすることで、残業時間の短縮をはかり、業務改善につなげていきたい。
- ③1) 患者の氏名確認。2) 注意事項の確認。3) 検査内容の確認。について確認作業を徹底することで、引き続き安全安心の検査を実施できるように努めていく。
- ④使用している放射線量の管理を適正化し、より少ない被ばく線量で最大限の効果が生まれるように、安全・安心の放射線診断・治療を目指す。

(文責：高田 哲也)

(2) 検査室

1. スタッフ

入院棟；総数 13 名 検体検査 7 名 生理機能検査 3 名 総括 1 名 (産休 1 名) 臨時 1 名
外来棟；総数 14 名 検体検査 3 名 生理機能検査 5 名 臨時 6 名 (週一日 2 名を含む)

2. 業務の現況

検査室の業務は外来部門と入院部門に分かれています。外来部門が外来患者と健診業務を担っています。また、入院部門は救急外来患者と入院患者、そして病理検査部門・細菌検査部門・輸血検査部門があり、宿日直業務をそこで行っています。

外来検査部門には、採血室と一般検査(尿検査)と生理機能検査、そして採血検体を 2 階の検体検査部門で処理しています。この検体検査部門の自動分析機は、大量検体を処理するための能力が備わっていますので、病棟患者の至急検査依頼でないものも処理しています。

採血業務では患者さんと触れ合う良い機会でもありますが、時には待ち時間が長くなり迷惑をかけてしまうこともあります。そのために看護部より採血補助をお願いすることも多くありました。この部門を円滑に運用するために、パートを入れ強化していますが解消するところまで至っておりません。今後は、この部分のさらなる強化が課題となります。

生理機能検査においては、外来部門にしか置いていない検査機器もあり入院患者さんを外来生理機能検査室まで連れて来ていただく必要もあります。こちらの検査室においては女性スタッフを配置し、女性患者さんに配慮する形を長きに渡り実施しています。また、乳腺エコーの認定資格保有者を 1 人増やすことが出来て、現在 3 名となりました。

入院部門においては、心臓カテーテル検査の補助を始め、検体検査は緊急検査業務をメインに行っております。他に、病理・細菌・輸血検査部門がありますので、宿日直業務を合わせ、こちらの検査室は 24 時間体制にて検体処理を行い救急外来や入院患者さんの検査を滞らせることなく検査を実施しています。分析機の処理能力は外来部門に比較して半分以下程度しかありません。ゆえに至急検体でないものは外来 2 階検査室へ運んでいただく形をとっています。

今年度は、外来部門の血液ガス分析装置が不調であったことから、血液ガス分析は入院部門の機器 1 つに集約させていただきました。新規検査項目は特にこれといったものを導入しておりませんが、外注検査を含め電子カルテの最新化には富士通と共に力を入れて対応しています。

3. 今後の目標

1. 自動分析機の集約化
2. 試薬コスト・ランニングコストの削減
3. 臨床から望まれる検査項目の導入
4. 採算の取れない項目の外注化あるいは撤退
5. 修理頻度の高い分析機の保守契約を結ぶ
6. 認定資格（超音波・乳腺・輸血・細胞診など）取得者を増やす

（文責：柴崎 洋一）

（3）リハビリテーション室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	リハビリ医師 2 名	兼務医師 13 名			
	理学療法士 26 名	作業療法士 12 名	言語聴覚士 7 名	看護師 1 名	
訪問リハビリ部門	理学療法士 4 名	作業療法士 1 名			
介護老人保健施設	理学療法士 2 名	作業療法士 2 名			

2. 業務の状況

病院部門は平成 30 年 1 月より回復期リハビリテーション病棟を 30 床より開設したことで急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡等チーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なリハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っています。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しています。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、直接ご自宅にお伺いしリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっており、難病やがん終末期の患者様にも対応しています。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。今後は、対象地域拡大など地域包括ケアシステム推進に向けて、さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、入所・通所でのリハビリを実施しております。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。この部門も地域包括ケアシステム推進に向けて、今後さらなる充実が必要な部門です。

リハビリテーション室は「患者様の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、スタッフ一同日頃より臨床・地域貢献・研究・教育に邁進しております。

（文責：関根 圭介）

（4）栄養室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院

管理栄養士 6名（再任用 1名）

業務委託職員 24名（管理栄養士 4名、栄養士 1名、調理師 5名、調理補助 14名）

介護老人保健施設しらさぎの里

管理栄養士 1名

業務委託職員 5名（管理栄養士 1名、栄養士 2名、調理師 2名、調理補助 2名）

2. 栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理

基本方針 ① 患者さん個人にあつた食事を提供します。

② 信頼される食のエキスパートを目指します。

3. 事業目標

① 栄養指導の実績をあげる。（栄養指導件数の増加）

② 診療報酬改定に伴う業務の拡大と業務の効率を図る。

4. 業務の現況

（入院棟）

① 給食管理業務

② 個人栄養指導・・・前年度比 8.4%減

③ 他部門との連携に努め、NST、褥瘡、緩和等のチーム医療にも積極的に参加しています。

④ 特別食割合・・・前年度比 9.1%増

⑤ 糖尿病患者会「カンナの会」・・・食事会を開催

⑥ 糖尿病支援チーム「糖尿病教室」・・・開催時に「簡単レシピ」を紹介

（外来棟）

① 個別栄養指導・・・前年度比 10.7%減

② 糖尿病透析予防管理料・・・前年度比 312.5%増

③ 人間ドック講和・・・テーマ「野菜の機能性を理解し、健康のために野菜をもっと食べましょう」

④ 両親学級栄養講和

（介護老人保健施設しらさぎの里）

管理栄養士は、入所時に食形態の写真を提示し食事内容の聞き取りを行い、安全に楽しく美味しく食事ができるよう取り組んでいます。

食欲不振や嚥下障害のある利用者には、ミールラウンドを行い適切な食事を検討しています。

また、低栄養、褥瘡、疾病等にも状態に合わせた食事の提供をしています。

5. 今後の目標

平成 30 年度に続き令和 2 年度診療報酬改定からも明らかなように栄養指導の拡大、病棟業務やチーム医療への参画など管理栄養士の活動の場は広がりを見せています。今後も職員一人一人がスキルアップに努め積極的に取り組みたいと思います。

また、適切な栄養管理、給食管理を行うために委託職員と連携し患者の症状や希望に応じて「食べる楽しみ」「生きる喜び」につながる栄養管理に努めていきます。

（文責：福田 智春）

（5）臨床工学室

1. スタッフ

臨床工学技士 7名

2. 業務内容

ME機器管理部門では日々及び月間点検機器予定がME機器管理システムにポップアップされるので、確実な定期点検が実施でき使用者と利用者の安全を保つことができています。新規では、原因が特定できない失神等に対して植込み型心臓モニタの管理も始まり、数症例が実施されました。ペースメーカーでは2社からリコールが出され、何れも修正プログラムアップデートで対応完了しました。ペースメーカー植込み患者のMRI撮像可否の明確化をME機器管理システムを用いて、電カルにも反映させることができました。また離床センサーを看護部から引き継ぎ、中央管理を開始して故障対応も行っています。血液浄化部門では過去最多延べ透析回数を更新する月が度々みられ、年間最多回数を更新することが出来ました。そして特殊血液浄化療法も46回と前年度の倍近く実施することができました。

3. 目標

ME機器管理部門では各機器の Preventive Maintenance を実施して定期点検のコストを軽減し、使用者と利用者の安全で効果的な治療をサポートしていきます。血液浄化部門ではバスキュラーアクセス管理を徹底するために超音波診断装置によるシャントマッピング等を実施し、患者サービスや加算で収益増を図りたいと考えています。そして今後も保守管理業務を強化し、修理費等の経費削減も図り、臨床工学技士全員がME機器の先には常に患者様がいることを意識し、安全管理を第一に考えME機器を最良の状態に維持していくことで医療サービスの充実を図ることに努めます。

4. 業務実績

<臨床業務>

1. 血液浄化：透析療法年間回数 14,042 回、血液浄化新規導入数 31 人、出張透析 69 回、CART12 回、血漿交換 2 回、G-CAP32 回、
2. 人工呼吸器：年間稼働日数 1,961 日、NPPV 年間稼働日数 422 日、HFT 年間稼働日数 406 日
3. ペースメーカー：新規埋め込み 40 件、ジェネレータ交換 15 件、フォローアップ 553 件、臨時チェック 89 件、計 697 件。
4. 夜間休日緊急呼び出し：34 回【血液浄化 13 回、人工呼吸器 2 回、PM・ECMO 等 19 回】
5. ME機器：年間メンテナンス数 136 件、11.3 件/月。血液浄化機器メンテナンス数 472 件。

<保守管理ME機器>

1. 人工呼吸器：21 機、
 2. テレメータ：283 機、
 3. IABP：4 機、
 4. 除細動機：17 機、
 5. 輸液ポンプ：163 機、
 6. シリジンポンプ：62 機
 7. 血液浄化関連装置：35 機、
 8. アナライザー：8 機、
 9. 超音波ネブライザー：7 機、
 10. 保育器：12 機、
 11. PCPS：2 機、
 12. 麻酔器：7 機、
 13. 体温管理システム：13 機、
 14. PCA ポンプ：5 機、
 15. 高流量酸素療法器：4 機、
 16. 自動心臓マッサージシステム：1 機、
 17. 電気メス他：18 機
 18. Spo2 モニタ：7 機、
 19. 離床センサー：56 機、
- 合計 725 機

(文責：金子 修)

(6) 視能訓練室

1. スタッフ

視能訓練士 2 名

2. 業務内容

診療日(月曜日・木曜日・金曜日午前)は主に眼科一般検査(視力・屈折検査、眼圧検査)や眼

底写真検査（デジタル・自発蛍光眼底造影）、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを行っております。

診療日以外である火～水曜日・医師が手術を行っている金曜日午後は眼鏡処方検査・視野検査（静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野）や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、白内障手術で使用する眼内レンズの度数測定などの手術前検査等専門的で時間を要する特殊検査を行っております。

3. 業務実績

眼科一般検査：視力検査 6,919 件・眼圧検査 6,613 件・屈折及び角膜曲率半径検査 5,098 件

眼科特殊検査：視野検査 761 件・斜視弱視検査及び訓練 103 件・眼球運動検査 20 件・眼鏡検査 136 件・光干渉断層計検査 2,693 件・眼底写真撮影（自発蛍光撮影を含む）833 件・網膜電位図 0 件・色覚検査 8 件・角膜内皮細胞検査 309 件・角膜形状解析検査 8 件・眼軸長測定 112 件 等

4. 今後の目標

H30年3月に視能訓練士1名退職し4月から新人1名入職しましたが、週3日診察体制は前年度と変わりはなく、診察日検査数は非常に多いため、これに対応できる視能訓練士を増員し、新たな体制を構築したいと思います。

今後も検査技術の向上、新しい知識の習得に取り組み 安全で精度の高い高品質な医療を患者様に提供出来るよう努めていきます。

（文責：宮本 恵子）

（7）歯科衛生室

1. スタッフ

歯科衛生士 2 名

2. 業務内容

（1）歯科診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に初診患者、午後は再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯、全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

（2）歯科予防処置、歯科保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、歯性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対して歯石除去、歯面清掃などの口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて指導を行っております。糖尿病教育入院患者に対しても、歯周病コントロールが糖尿病コントロールに関係することを説明し、定期的なかかりつけ歯科への受診の必要性を指導しております。

(3) その他

器材を含めた歯科口腔外科外来診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせや予約などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

さらに、水曜日の午後は歯科医師の先生方とともに栄養サポートチームのラウンドに参加させていただいております。

3. 業務実績

歯科衛生業務：診療補助 4752 件、外来外科処置補助 455 件、全身麻酔下での手術補助 39 件、歯周検査 306 件、歯石除去 521 件、機械的歯面清掃 453 件、歯科保健指導 100 件、歯面清掃や粘膜清掃などの口腔ケア 401 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）63 件（術後）16 件、Ⅱ（術前）108 件（術後）222 件、Ⅲ（化学療法）396 件（放射線治療）23 件（緩和ケア）0 件

歯科口腔外科が開設され 1 年が経過し、院内外ともに紹介患者が大幅に増加しました。それに伴い外来での外科処置や全身麻酔下の手術だけでなく、周術期等口腔機能管理や口腔衛生管理なども増えております。

4. 今後の目標

歯科衛生士は歯科医師の指示のもと、単独で歯科予防処置や歯科保健指導を行うことが可能です。歯科口腔外科開設 1 年目と比べ、歯科衛生士単独で行うことができる業務の量は増加しております。しかし歯科衛生士の人数が少ないこと、歯科医師の補助業務やその他周辺業務が滞ってしまうことから歯科衛生士単独で行うことができる業務を効率よく行うことが難しいのが現状です。また、安全かつ円滑に外来業務をすすめるために看護師の配置を希望しておりましたが、残念ながら叶いませんでした。これらを踏まえ職種別の業務内容を再確認し、歯科衛生士の業務のスリム化や効率化、残業時間短縮に繋がるよう、業務マニュアルの見直しを行う予定です。

（文責 安井由佳）

4. 看護部

(1) 看護部長室

令和元年度は、病院機能評価 3rd G. Ver2.0 受審、適時調査、輸血 A&I、ドック機能評価受審などを通して日頃の業務を見直し、医療機能強化に向けて安全で質の高い看護を提供するため看護業務改善に取り組んだ。

看護部は、例年同様に病院運営の課題と目標に基づき、看護部として事業目標を提示し各病棟運営を進めた。

I. 令和元年度看護部事業目標

1. 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

1) 安全かつ質の高い看護の提供

(1) 医療安全対策の徹底と評価

① 医療安全対策を評価し改善に繋げる

② 処方・与薬、転倒・転落、ドレーン・チューブエラーの発生が前年度比 95%以下とする

(2) 感染防止対策の徹底と評価

① 感染防止対策を評価し改善に繋げる

② 耐性菌の院内発生を前年度比 95%以下とする

- 2) 人材育成と自己啓発の推進
 - (1) 安全管理者の育成
 - (2) 感染管理者の育成
 - (3) 新人教育プログラムの見直しと評価
 - (4) 認定看護師資格取得支援
 - 3) 接遇強化
 - (1) 看護師の接遇による患者満足度が90%以上に向上する
 - (2) 投書ご意見に対して改善策提示と実施
 - (3) 看護職員としての身だしなみや態度を育成する
 - 4) 病院機能評価受審に向けた取り組み
 - (1) 看護記録の充実
 - (2) 療養環境の整備
2. 健全な経営基盤の確立
- 1) 診療報酬算定要件を満たし急性期病棟維持
 - (1) 重症度、医療・看護必要度の分析と精度管理
 - (2) 急性期病棟の病床回転率向上
 - (3) 差額ベッドの稼働率向上
 - 2) 人事評価制度の精緻化
 - (1) 評価者の育成
 - ① 評価担当者の研修会参加に向けた支援
 - (2) ラダーの周知
 - ① ラダーに沿った目標設定
3. 職員の働き方改革による元気の出る職場づくり
- 1) 働き方改革法適用に向けた取り組み
 - (1) 有休休暇5日以上取得への取り組み
 - ① 計画的な休暇取得の推進
 - ② 休暇取得基準の作成
 - (2) 超過勤務規制への取り組み
 - ① 勤務環境の改善
 - ② 勤務間インターバル（11時間）の確保
 - ③ 短時間夜勤の導入拡大
 - (3) 人員確保
 - ① 新規採用者の確保（看護師・看護助手）
 - 2) 業務改善
 - (1) フィールド・イノベーションによる業務改善
 - (2) 多職種協働により、重複する業務内容の改善と効率化
 - (3) 看護助手の効果的活用

II. 業務の概要

看護部では、上記の事業目標の中でも計画的に診療報酬算定要件に関する内容に取り組む事で病院経営に大きく貢献し、働き方改革法適用に関する事では安全で効率的な働き方を中心に検討し勤務時間や業務内容の見直しを行う事で看護職員のやりがいにに向けた成果に繋ると共に

今後の課題を見いだすことが出来たと思う。

- ①令和元年9月から「夜間看護職員配置加算 16:1」を取得するにあたり、算定要件を基に看護体制を整備し、看護職員への周知を図ったことで病院経営に関わる事ができた。今後も取得した加算の維持及び次年度から求められる診療報酬改定による新加算取得に向けた体制の整備が必要である。
- ②差額ベッドの運用について感染管理認定看護師から感染対策管理委員会に提案し、感染患者の個室利用に関する管理基準を検討し稼働率上昇に向けて取り組んだ。
- ③フィールドイノベーション活動のモデルとして1病棟を選択し、約6ヶ月間にわたり病棟の現状分析、課題抽出、実践・評価とPDCAサイクルを回しながら可視化し業務改善を図った。モデル病棟として取り組んだスタッフの意識改革にも繋がったと思われる。次年度は、モデル病棟から得られた成果と課題をもとに各病棟にフィールドイノベーション活動を拡大していく。
- ④今年度、全病棟に通信機能付きバイタルサイン測定機器を導入した事により日々の看護業務の中で大きく占めている記録について、ベッドサイドで測定した検温情報を即座に診療録に反映させる事が出来るようになった。その結果、検温情報の入力時間を削減する事ができ、看護業務の効率化と誤入力を回避しリスク軽減を図る事ができた。また、医療スタッフが検温結果をリアルタイムに情報共有する事が出来るようになった。
- ⑤日本看護協会が推奨する勤務間インターバルを考慮し、1病棟だけではあるが短時間夜勤、長日勤勤務の本格的導入をすることができた。今後は、他病棟に導入拡大し看護職員の勤務負担軽減を図って行く事が課題である。

(文責 田村幸子)

(2) 南3階病棟 (HCU)

1. スタッフ

兼任医師1名、看護師27~29名、薬剤師1名、MSW1名、医療事務1名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

- (1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - 1) 医療安全対策の周知・徹底
 - 2) 感染防止対策の徹底と評価
 - 3) 標準予防策を徹底する
 - 4) 5S活動の推進
 - 5) HCU入室患者に適切に対応できる専門性を高める
 - 6) PCI専門看護師、救急センター兼務看護師の育成
 - 7) 中途採用者・異動者への教育体制の整備
 - 8) 看護職員としての身だしなみや態度を育成する

当病棟は、集中治療室病床24床、感染病床4床を有する病棟である。集中治療室では、各科の重症患者や救急センターからの緊急入院患者、手術後の全身管理が必要な患者、PCI予定入院患者を受け入れ、集中治療および看護を行っている。HCUの今年度の実績は、入院患者延べ数5549

名、平均在院日数 3.8 日、平均病床回転率 7.8%、平均病床稼働率 63.2%であった。感染症病床では、令和 2 年 2 月から COVID-19 の患者を 2 名受け入れ、緊張と不安の中、感染症看護に取り組んだ。今後も、集中治療室と感染症病床で質の高い医療サービスの提供を行うため、専門性を高め、看護の質向上に取り組んでいきたい。

(文責：樋口 美恵子)

(3) 南 4 階病棟

1. スタッフ

循環器内科医師 5 名、腎臓内科医師 6 名、糖尿病内科医師 1 名、看護師 28 名、看護助手 2 名、薬剤師 3 名 (兼任)、医療事務 2 名 MSW1 名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 質の高い看護の提供
- (2) 人材育成
- (3) 接遇強化 (患者満足度の向上)
- (4) 病院機能評価受審

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 入退院支援の強化と急性期病棟の維持
- (2) ラダーに沿った人事評価

3) 職員の働き方改革による元気の出る職場作り

- (1) 勤務負担軽減
- (2) 業務改善

令和元年度の実績は、入院患者延べ数 15,901 人、平均在院日数 10.6 日、平均病床稼働率 92.4%、平均病床回転率 2.9%であった。

チーム医療の推進を強化し質の高い看護の提供や医療安全、感染防止に努めた。また、病院機能評価受審では、スタッフ一丸となって準備を進めケアプロセス審査に参加することができた。クリニカルパスは新たに PET 検査を追加し、患者満足度の向上を目指して医療サービスの提供に努めた。年々高齢化が進む中、患者背景も複雑なことがあり入退院調整が困難な事例も増えているが、今後も MSW や他職種と連携をとり入退院支援の強化をしていく。そして、スタッフがスキルアップできるように勉強会を継続して、専門知識・技術の習得や医療の質の向上を図っていきたい。

(文責：高橋 富士美)

(4) 南 5 階病棟

1. スタッフ

整形外科医師 6 名、脳神経外科医師 3 名、看護師 27 名 (認知症看護認定看護師 1 名) 看護助手 (臨時職員) 2 名、MSW1 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 2 名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

- 1) 健全な経営基盤の確立
 - (1) 急性期病棟の維持
 - (2) 人事評価
- 2) 医療機能の強化と良質なサービスの提供
 - (1) 安全かつ質の高い看護の提供
 - (2) 人材育成
 - (3) 接遇
 - (4) 病院機能評価受審
- 3) 職場環境の改善
 - (1) 計画的な休暇取得
 - (2) 業務改善

病床数 47 床を有する整形外科と脳神経外科の混合病棟である。令和元年度の実績は、入院患者延べ数 14862 人、平均在院日数 9.9 日、平均病床回転率 3.2%、平均病床稼働率 86.1%。整形外科手術件数 675 件、脳神経外科手術 127 件 血管内治療 68 件であった。

今年度は安全かつ質の高い看護の提供に対し、医師・看護師・認知症看護認定看護師・リハビリスタッフ（院内・訪問）と共同し離床チームを結成し早期離床・せん妄について専門性の高い看護の提供ができるように取り組んだ。また、整形外科と脳神経外科の混合病棟の中、多くの急性期患者の受け入れに対しスタッフの超過勤務が増大し、看護師の疲弊もみられた。事業目標で計画的な休暇取得、業務改善についてフィールド・イノベーションのサポートもあり業務内容の可視化・問題点抽出・効率化を図る施策を立案・施策を実施し超過勤務の削減ができた。今後も、スタッフのワークライフバランスの充実と患者が住み慣れた地域で生活できるように患者支援に取り組んでいきたい。

（文責：藤巻 淳子）

（5）南 6 階病棟

1. スタッフ

医師 7 名（泌尿器科 3 名、血液内科 4 名）、看護師 26 名、准看護師 1 名、看護助手 1 名 MSW1 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 2 名

2. 業務の概要

平成 31 年度は、看護部の目標に沿って以下の内容で取り組んだ。

- 1) 医療機能強化
 - (1) 医療安全対策の徹底と評価
 - (2) 感染防止対策の徹底と評価
- 2) 良質な医療サービス提供
 - (1) 専門的知識、技術の習得
 - (2) 接遇強化
- 3) 健全経営
 - (1) 重症度、医療・看護必要度の精度の向上
- 4) いきいきとした職場づくり
 - (1) 勤務負担軽減をはかる

病床数 46 床を有する泌尿器科と血液内科の混合病棟である。46 床のうち 13 床は無菌管理区域病床であり、白血病や悪性リンパ腫など血液がん患者の抗がん剤治療を行っている。

平成 31 年度の実績は、延べ入院患者数 14,254 人、月平均入院患者数 1,188 人、平均在院日数 10.9 日、平均病床回転率 2.8%、平均病床稼働率 84.6%であった。

医療安全対策として、薬剤 5 確認のロールプレイを実施し、確認の徹底を図った。多職種参加の病棟カンファレンスで、医師に治療方針を確認し、情報を共有し、退院支援も意識した関わりを持ち、在院日数の減少に努めた。次年度も患者家族に寄り添い、多職種で連携し、安心な医療の提供を目指し取り組んでいきたい。

看護師が勉強会を月 1 回計画、実施し、スタッフの知識、技術の向上に努めた。今年度はがん化学療法看護認定看護師教育課程を 1 名が 3 月に終了し、来年度に資格試験を予定している。次年度も引き続き専門的知識、技術の習得を行っていききたい。

(文責：藤野 妙子)

(6) 南 7 階病棟

1. スタッフ

医師 1 名、看護師 19 名 (認知症看護認定看護師 1 名含む)、看護助手 3 名
薬剤師 1 名 (兼任)、理学療法士 1 名 (専従)、MSW1 名 (専従)
医療事務 1 名 (兼任)

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

1) 医療機能強化

- (1) 医療安全対策の徹底
- (2) 感染防止対策の徹底

2) 人材育成

- (1) 認知症ケアに対する知識・実践能力を高める

3) 健全経営

- (1) 在宅復帰率 70%の維持
- (2) 働き方改革法に向けた取り組み・超過勤務の削減

令和元年度は、在院患者数 1108 名、平均在院日数 8.4 日、在宅復帰率 76.6%であった。

科別割合は内科 957 名、外科 270 名、整形外科 174 名、脳外科 93 名、泌尿器 58 名、皮膚科 6 名、産婦人科 2 名であった。退院先としては自宅 950 名、施設 285 名、転院 300 名という内訳となっている。在宅復帰率は維持できているが、病床稼働率が 77.3%と前年度に比較し 5.5%低下している。病院全体の入院患者数が前年度 350.5 人/日から 338 人/日と減少傾向であったことと、在宅復帰率を維持するために数日間の在棟で退院される短期滞在患者が多かったことが要因として挙げられる。そのため平均在院日数も 8.4 日と短期となった。

認知症ケアについては、認知症看護認定看護師を中心に身体拘束解除に向けたカンファレンスについて取り組んだ。身体拘束について勉強会を開催することで知識を共有し、共通認識をもって適切なカンファレンスが実施でき、一時的でも拘束解除ができるように実践した。

超過勤務の削減については、業務改善と、前年度からの短時間夜勤への取り組みの中で、2 月から勤務時間を変更し年間平均の超過勤務時間を 12.6 時間から 9.3 時間へ削減することができた。

今後も病院経営への貢献と認知症患者への適切な看護、退院支援、またスタッフの労働環境の改善へ向けて取り組んでいきたい。

(文責：江原 忍)

(7) 北2階病棟 (回復期リハビリテーション)

1. スタッフ

リハビリテーション科医師 2 名、看護師 17 名、介護福祉士 1 名、看護助手 3 名、理学療法士 5 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 1 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 1 名

2. 業務概要

令和元年度事業目標

1) 医療安全対策の徹底を図る

- (1) 環境調整を行い、転倒転落の防止、抑制の軽減を行う
- (2) せん妄対策、誤嚥防止対策を行う
- (3) 感染防止対策を行う

2) 高品質の医療サービスを提供する

- (1) 院内外の多職種と連携を強化して、安心して退院後の生活を維持できる様個別性のあるサポートを行う

3) 多職種で連携し効率的な病床管理を行い、入院基本料 1 を維持する

4) 人材育成

- (1) 患者の権利を意識した看護を提供する看護師を育成する
- (2) 多職種連携のできる看護助手を育成する

今年度は多職種連携し環境調整を図り、転倒転落件数は (69 件→49 件) 減少、身体抑制 0 件、IA レポートレベル 3b 0 件、3a (6 件→5 件) と減少した。せん妄対策では睡眠、食事、排泄、運動等日常生活を整えることに重点を置き、効果を上げている。多職種カンファレンス用紙を変更し、目標、課題を明確にしたカンファレンスを実施している。リハビリと協力し、嚥下 FIM を導入、嚥下カンファレンスの継続を行い、誤嚥防止、食事環境の質向上を図った。

看護師は第 23 回群馬県看護学会で「回復期リハビリテーション病棟における身体抑制軽減への取り組み」をポスター発表、日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会で「早期退院を希望した患者へ多職種連携を意識した看護師の関わり」をポスター発表した。また高崎健康福祉大学人材開発センターが行っている〈身体拘束を第一選択としない看護の実践シリーズ〉の取り組み実践報告会で「身体抑制を軽減するための回復期リハビリテーション病棟の取り組み」を発表した。

リハビリを兼ねた病棟行事では七夕、運動会、クリスマス、お正月等季節を感じる催しを実施した。今後も患者が楽しくリハビリを実施し、希望を持って地域に戻ることが出来るよう患者に寄り添った看護の提供を心掛けていく。

(文責：菊地 弘美)

(8) 北4階病棟

1. スタッフ

医師 8 名、非常勤医師 5 名、助産師 11 名、看護師 16 名、看護助手・保育士 1 名

薬剤師 1 名（兼任）、MSW1 名（兼任）、医療事務 2 名（兼任）

2. 業務の概要

令和元年度は、看護部の目標に沿って以下のような取り組みを行った。

1) 医療機能強化

リスクカンファレンスの実施と共有化を行い医療安全対策の徹底を図った。また手指衛生を徹底し感染防止対策を行った。ハイリスク妊産褥婦および新生児についての勉強会を行うとともに地域との連携を図り、周産期医療の充実に努めた。

2) 良質な看護サービスの提供

各診療科のクリニカルパスの 10 の新規作成および全てのクリニカルパスの改訂を行い、効率化と標準化を推進した。

3) 人材育成

9 割以上のスタッフが新生児蘇生法の資格取得または資格更新を行うための講習会を実施し専門職としてのキャリアを高めることができた。

当病棟は、病床数 38 床の小児科、産婦人科、歯科口腔外科、眼科、内科の混合病棟である。主に産科では周産期管理、婦人科、歯科口腔外科および眼科では手術治療、婦人科、歯科口腔外科では化学療法、終末期医療を行い、平成 31 年度の延べ入院患者数は 9038 名、分娩件数 265 件、手術件数 361 件、産後ケア件数延べ 9 件、平均在院日数 6.1 日、平均入院患者数 24.6 人/月、病床回転率 5.4%/月、病床稼働率 65.2%/月であった。

NICU を持つ小児科と分娩を扱う産婦人科を含む混合病棟であり、助産師・NICU 担当看護師などそれぞれ役割を担いつつ、多職種と連携して様々な患者さんおよびご家族のケアを行った。クリニカルパスを作成・運用し、様々な診療科の患者さんに対して水準を担保したケアを行うことに努めた。

今後も分娩、手術、治療、そして終末期を過ごす患者さん一人一人に寄り添い、患者様の満足と看護者のやりがいに満ちた看護を提供するため、スタッフ一同看護実践能力を高め、看護の質向上につなげていきたい。

（文責：木部 和枝）

（9）北 5 階病棟

1. スタッフ

医師 11 名、看護師 27 名、臨時看護助手 1～2 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、医療事務 1 名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 医療安全対策の徹底
- (2) 感染防止対策の徹底
- (3) 緩和ケア病床の体制作り
- (4) 人材育成

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 退院支援

- (2) 看護必要度の精度の向上
- 3) 職場環境の改善
 - (1) 勤務負担軽減
 - (2) 業務改善

令和元年度の実績は、入院患者数延べ14,679名、平均在院日数7.7日、平均病床稼働率86.4%、平均病床回転率3.9%、手術件数438件であった。

事業目標である良質な医療の提供及び業務改善として看護師のチーム編成を見直し、プライマリーチームナーシング体制を開始した。また、認定看護師や多職種チームと協働し、個々の患者にとって最善のケアを提供できるよう、勉強会や事例検討を通して、ストーマ造設患者や乳癌術後患者ケアにおける知識や技術の向上に努めた。

緩和ケア病床においては、日勤での緩和ケア担当看護師を配置し、緩和ケアチームとの連携強化を図った。カンファレンスを1~2回/週で開催し、症状緩和、退院支援、病床登録者の情報共有を行い、入院時の受け入れがスムーズになるよう体制を整備した。

今後も、患者・家族の気持ちに寄り添った質の高い看護が提供できるよう努力していきたい。

(文責：神宮 由香)

(10) 北6階病棟

1. スタッフ

医師6名 看護師28名 臨時看護師1名 臨時看護助手2名 薬剤師3名 (交代制)
MSW1名 医療事務2名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標

- 1) 安全かつ質の高い看護の提供
 - (1) 医療安全対策の徹底
 - (2) 感染防止対策の徹底
 - (3) 接遇強化
- 2) 人材育成の強化
 - (1) 専門的な臨床実践能力を高める
 - (2) 新人教育の強化
 - (3) 既卒、異動スタッフに対する教育
- 3) 看護業務の負担軽減への取り組み
 - (1) 有給休暇取得平均8日
 - (2) 超過勤務の削減
 - (3) 看護体制を見直し業務改善を行う
- 4) 多職種と連携し退院調整を推進する
 - (1) 平均在院日数12日以下を維持する
 - (2) 包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟の有効な利用を実践する

令和元年の実績は、延べ入院患者数15381名、平均在院日数11.6日、病床回転率2.6、稼働率87.9%であった。呼吸器系の疾患は、肺炎・肺癌・COPD・間質性肺炎の患者増加しており、癌

化学療法や放射線治療、緩和ケア、終末期看護に加え嚥下機能訓練や栄養管理、呼吸リハビリなどチーム医療を中心とした関わりを推進している。また、化学療法では新薬の導入や新しい治療法など、常に新たな知識と技術が求められるため、医師や専門看護師、認定看護師の勉強会を開催し看護の質の向上に努めている。また、入院時より MSW と共に退院支援に取り組み、患者や家族の希望に添いながら在院日数の短縮に努めている。

次年度も患者や家族に寄り添いながら、安らぎのある安全な医療を提供できるよう取り組んでいきたい。

(文責：原 敦子)

(11) 人工透析室

1. スタッフ

医師 5 名、看護師 8 名、准看護師 1 名、臨床工学士 7 名

2. 業務概要

令和元年度事業目標

1) 安全かつ質の高い看護の提供

(1) 透析中断・終了後の転倒が無くなる

① 中断後のトイレは、全員車イス移動とする

② トイレ終了後、返血担当者が見守り、状態に応じベッドからの移動は見合わせる

2) 人材育成と自己啓発の推進

(1) 全スタッフが学会・研修会に参加後、伝達講習し、新人教育マニュアル・業務マニュアルを最新化する

① 各担当を決め期日までに見直しをする

② 見直し後、病棟会議で決定し改正する

3) 診療報酬算定要件を満たす

(1) フットケアの充実と取り忘れのないコスト請求

① フットケアを毎月行う

② コスト請求を必ずする

③ 下肢末梢動脈管理指導者の増員

令和元年度の透析実績は、外来維持血液透析患者 86 名、腹膜透析患者 11 名、他近隣、埼玉県からの紹介患者含む、年間透析数 13521 件（月平均 1127 件）年間新規導入件数は 42 件であった。血液透析はもちろん、近年の傾向として腹膜透析患者の増加が著しかった。腹膜透析外来は、透析室で診察・処置・チューブ交換等を行っている。フットケアでは、新たに 1 名の看護師が糖尿病合併症管理料加算の対象である技術の習得をし、現在は 2 名の看護師が病棟患者も合わせ実施している。

下肢末梢動脈疾患管理指導管理料加算については、看護師 7 名・准看護 1 名で実施しフットケアの総件数は 1091 件であった。

また、MDS（腎代替療法）では、医師が外来で説明し、後日透析看護師が療法選択相談と透析室見学を行うようになった。患者が実際に透析現場を見学することで、血液透析をイメージしてもらえる機会となった。

今後は、積極的に腎臓リハビリを実施し、フレイル予防に努め、患者にとって何が最

善かを考え、常に寄り添うことが出来る透析看護を目指し、さらに努力していきたい。

(文責：野村 香)

(12) 中央手術室

1. スタッフ

看護師 16 名

2. 業務の概要

令和元年度事業目標と達成状況

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 手術室の感染防止対策の徹底、改善
- (2) 災害対策の確立
- (3) 手術室看護記録の充実

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 中央滅菌業務（委託業者）の整備
- (2) 手術室看護師ラダーの整備

3) 職員の働き方改革による元気の出る職場作り

- (1) 業務改善

2019 年度手術件数は 2455 件で前年度と比較して 34 件減少し、全身麻酔件数は 1270 件であり、前年度と比較して 8 件減少した。

今年度より感染対策として手指消毒薬をスタッフ個々が携帯したところ、SSI（手術部位感染）は昨年度より減少し、発生率は 0.004%となった。

質の高い手術を行うため勉強会を毎月実施し、手術室看護師のクリニカルラダーを用い、継続教育や新しく配属されたスタッフ教育にも力を入れ、安全な手術ができるよう努めている。手術室の災害対策についてはシナリオ作りから実践まで行い、全員が訓練に参加し意見を出し合いアクションカードを作成した。

手術室看護師は、疾病およびリスクに対応するに豊富な知識と熟達した手技だけでなく、患者さんが安心して手術が受けられるような環境作りや態度が求められる。今後もスタッフ教育を継続しながら、多数ある手術物品の整備を行い、安全で質の高い手術が行えるよう努めてきたい。

(文責：千木良 直子)

(13) 外来・救急センター

1. スタッフ

看護師 16 名（保健師 1 名・助産師 3 名含む）そのうち 9 名は救急センターの夜勤を行う。非常勤看護師 25 名、看護補助者 4 名

2. 業務の概要

令和元年度外来患者数は 181,662 人/年（平均 15,139 人/月）で、前年度比 6%の増加であった。

外来部門は 26 科の診療科の診察介助、並びに医師の指示のもと外来化学療法、中央処置室での注射・輸血療法などを実施している。

内科外来では、5 名の糖尿病療養指導士が、透析予防指導を実施しており指導者数も増加している。

インスリンポンプの導入も開始され、使用患者も増加しているためスタッフ研修会を開き患者対応できるように情報共有をしている。

ストーマ外来では、週1回5～6名の予約患者を受け入れている。

産婦人科では、平成31年4月から産後2週間検診が開始となり、助産師が対応している。

外来化学療法室は、今年度の治療実績、2,984件（前年度比28%増加）で年々増加している。実施するレジメンも多岐にわたり薬剤部・緩和ケアチームと連携し、がんと共に生きるを支えている。救急センターの今年度受診患者数は11,142人/年（平均929人/月）で、救急車収容数は4,566件（平均381件/月 収容率89%）となっている。平成31年4月から救急科医師が移動のため不在となったが、各診療科の協力により前年度と比較しても大幅な減少なく救急患者を受け入れることができている。今年度は都道府県知事の推薦のもと、長年にわたる救急医療への貢献を評価され救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞することができた。

令和2年1月頃から新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3月下旬より発熱外来を開設し地域の医療機関と連携を図っている。

今後も外来・救急医療の充実を図り、地域住民から信頼される医療・看護の提供に努めていきたい。

（文責：吉田富子・飯島京子）

（14）内視鏡センター

1. スタッフ

消化器内科医師2名、看護師11名、准看護師1名（再任用1名、臨時職員2名含む）

2. 業務概要

令和元年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 医療安全対策の徹底と評価

- ・薬剤の誤投与防止 指さし呼称の徹底
- ・転倒転落の防止

(2) 感染防止対策の徹底と評価

- ・感染経路別マニュアルに従い予防対策が実施できる

(3) 接遇強化

(4) 病院機能評価受診に向けた取り組み

- ・5Sの徹底
- ・内視鏡検査記録の見直し

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 内視鏡センターとして効率的で機能的な運用を行う

(2) 内視鏡検査に於ける使用物品の見直し

3) 働き方改革法適に向けた取り組み

(1) 超過勤務の削減

(2) 年次休暇取得の促進

令和元年度の内視鏡センター実績は、上部消化管検査5855件、下部消化管検査1627件、内視鏡的膽管造影84件、気管支ファイバー105件、経食道エコー18件、膀胱鏡546件、内視鏡的異物摘出術11件、ポリペクトミー（上部）含むEMR10件、ポリペクトミー（下部）含むEMR419件、ESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）16件、止血術（クリップ・APC含む）404件、EUS（超

音波内視鏡検査) 5 件、点墨・色素撒布 139 件、マーキングクリップ 96 件、内視鏡的拡張術 33 件、EVL (内視鏡的静脈瘤結紮術) 2 件、留置スネア 13 件、EST (内視鏡的乳頭括約筋切開術) 47 件、ERBD (内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ) 22 件、PEG (内視鏡的胃瘻造設術) 11 件、イレウス管挿入 45 件、経肛門的減圧術 5 件であった。

今年度は効率的で機能的な内視鏡センターの運営を目標に取り組んだ。医師、病棟看護師の協力を得ながら、センターとして機能できるように業務改善を進めてきた。外来棟内視鏡室では健診内視鏡検査、外来患者及び、一部入院患者に対して外来棟内視鏡室で検査を実施した。入院棟内視鏡室では、緊急内視鏡検査に対して 24 時間、迅速に対応できる体制を整え、特殊検査、内視鏡治療に対応している。スタッフ間の連携を図り入院棟、外来棟の内視鏡室を使い分けて、検査・治療を実施している。今年度は臨床検査技師と協同して、病理検体の確認方法を明確化し、意思統一を図り患者誤認の防止に努めた。次年度も安全、安心な内視鏡検査の提供に取り組み、円滑な内視鏡センターの運営に繋げていきたい。

(文責：與口 裕)

(15) 訪問看護ステーションはるかぜ

1. スタッフ

看護師 9 (非常勤 3 名) 常勤換算 8.5 名

リハビリスタッフ 5 名 訪問リハビリ事業所と兼務

2. 業務概要

令和元年度利用者数 256 名 (看護師 256 名 リハビリ主体 23 名 併用 48 名)

月平均利用者数 139 名 月平均訪問件数 882 件 (看護師 669 件・リハビリ 213 件) 1 日平均訪問件数 44 件 (看護師 33.2 件・リハビリ 10.3 件)

当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また看護師 24 時間連絡対応体制をとっており、待機は毎日 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、年間緊急訪問 355 件、休日訪問件数年間 583 件であった。休日も訪問看護が必要な状態の利用者は多く、褥瘡や潰瘍の処置、輸液など毎日訪問が必要な利用者には休日も計画的に訪問をしている。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が最も多く、病院の緩和ケアと連携を行っている。リハビリにおいてもターミナルや進行疾患などの対応を行っている。癌以外の看取りも含めて、令和元年度の在宅での看取りは 25 名だった。

3. 令和元年度の事業目標

I. 健全経営

- 1) 看護体制強化加算を維持する
- 2) 機能強化型訪問看護管理療養費 3 の維持
- 3) 在宅療養へ円滑に移行する
- 4) 他職種との連携強化

機能強化型訪問看護管理療養費 3 は継続できたが、看護体制強化加算 I (600 単位) は介護保険での看取り件数減少のため維持できず、看護体制強化加算 II (300 単位) に変更した。

II. 在宅の医療機能強化と質の高い医療サービスの提供

- 1) 医療安全対策の徹底
- 2) 感染防止対策の徹底
- 3) スタッフ教育の充実
- 4) 利用者満足度の強化を図る

新型コロナウイルス出現により感染防止対策を強化した。接遇アンケートでは満足度90%以上得られた。

Ⅲ. 働き方改革により働き続けられる職場づくり

1) 働き方改革 2) 業務改善

有給休暇取得は目標を達成した。iPad 導入により記録の充実が図れた。

(文責：山口 明子)

(16) しらさぎの里看護部

1. スタッフ

施設長1名、看護師長1名、看護師3名、准看護師7名、介護福祉士20名(臨時職員1名)、介護員5名(臨時職員4名)、リハビリスタッフ4名、管理栄養士1名、事務管理職員3名、居宅支援事業所・介護支援専門員3名、施設介護支援専門員1名、支援相談員1名、調理委託

2. 業務概要

入所定数80床、デイケア定数1日50名で運営している。実入所者数117名、実退所者数113名、延べ入所者数25,468名であった。デイケアの延べ利用者数10,811名、施設での看取り利用者数は11名であった。

介護老人保健施設の主たる機能の一つであるリハビリテーションの実施により利用者の自立支援や生活機能維持・向上を目指し、他職種連携のもと職員が一丸となって、常に思いやりの心で接し、高齢者ケアを実践した。さらに生活の場であることを考慮し「春の祭典」や「しらさぎ祭り」などを計画し、心和む空間を提供できるよう努めた。

また、毎月の施設内研修の開催や、群馬県老人保健施設大会での演題発表などにより職員の知識・技術の向上を図っている。

(文責：武井 浩之)

5. 経営管理部

(1) 総務課

1. スタッフ

課長外 7名(内、臨時職員1名)

2. 業務の現況

- ・組合議会に関すること
- ・組合例規の制定及び改正
- ・職員の採用に関すること
- ・職員共済会に関すること
- ・職員の人事給与に関すること
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・医師の採用の確保(医師支援業務の充実)
- ・人事評価制度の活用
- ・組織の業務内容の見直し
- ・個人情報管理の徹底
- ・働き方改革の推進

- ・藤岡市との人事交流の促進

(文責：堀越 輝雄)

(2) 用度課

1. スタッフ

課長外 7名

2. 業務の現況

- ・医療機器、薬品、診療材料、消耗品等の購入業務
- ・薬品、診療材料、消耗品等の管理、供給等物流業務
- ・委託、賃借等契約業務
- ・医療機器の保守、修繕等管理業務
- ・その他資産の管理業務

3. 今後の目標

- ・安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
- ・経費削減における取り組みの検証、及び見直しを行い更なる経費節減・抑制をする。
- ・診療部、薬剤部と連携しジェネリック薬品の採用増等を図り、薬品費の抑制及び診療材料費の削減。
- ・病院としらさぎの里の一元管理。

(文責：新井 誠十郎)

(3) 医事情報課

1. スタッフ

課長外 15名、医事業務委託職員、医療情報システム業務委託職員

2. 業務の現況

(医事グループ)

- ・医事業務管理業務
- ・施設基準等の届出業務
- ・各種調査、統計業務
- ・地域がん診療拠点病院に関する業務
- ・訪問看護請求管理業務

(診療情報グループ)

- ・診療録、サマリーの点検業務
- ・診療録等の保管管理業務
- ・診療統計、各学会等のデータ登録業務
- ・診療情報開示に関する業務
- ・がん登録、がん統計に関する業務

(診療支援グループ)

- ・医師事務作業補助業務
- ・診断書等の文書作成支援業務

(システム管理グループ)

- ・電子カルテ及び連携する各システムの運用管理
- ・各種統計等の作成業務
- ・組合全般の情報管理業務

3. 今後の目標

- ①病歴管理システムの入替検討。
- ②2020年度診療報酬改定の対応。
- ③2020年4月に日本消化器内視鏡学会（JED）対応の内視鏡レポートシステムを新規導入して稼働する。

(文責：五十嵐 哲二)

(4) 企画財政課

1. スタッフ

課長外 5名

2. 業務の現状

予算編成および資金計画の作成
決算の調整及び執行
現金預金及び財産の記録管理、経理業務
各種補助金の実施申請
企業債の実施申請
各種病院基準の申請
財務統計データの作成

3. 今後の目標

新公立病院改革プランの管理・評価
中期計画の作成
機器等の適正な整備計画
旧病院の解体準備
運営資金の確保

(文責：中里 光夫)

(5) 経営戦略室

1. スタッフ

室長外 2名

2. 業務の現況

- ・TQM（QC活動）に関すること
2月26日 QCサークル活動院内発表会
- ・病院機能評価3rdG Ver2.0更新認定受審に関すること
12月2～3日 訪問審査 3月6日 認定
- ・日本医療マネジメント学会第9回群馬県支部学術集会開催に関すること
1月26日 参加人数275名
特別講演2講演・シンポジウム（基調講演1講演・シンポジスト5名）
一般演題（口演20題・ポスター14題）
- ・業務実績の取り纏め、報告に関すること

- ・経営戦略の立案に関すること
室料差額ベッド・室料加算の収入増
逆紹介率アップ
機能評価係数Ⅱ対策 外
- ・診療報酬収入情報の抽出、分析及び活用に関すること
- ・病院指標に関すること
- ・各種統計の作成、分析及び活用に関すること
- ・その他経営戦略に関すること

3.今後の目標

- ・所属別行動計画の実施
- ・室料差額ベッド、室料加算の収入増
- ・医療材料、消耗品等の費用削減
- ・病院広報誌のリニューアル
- ・紹介率向上
- ・DPC データを基にしたクリニカルパスの改訂

(文責：清宮きよ江)

6. 研修管理センター

1. スタッフ

研修管理センター長 臨床研修統括部長 臨床研修医 12名(2年次5名・1年次7名)
事務統括(医局秘書兼務)・事務(医局秘書兼務)・図書司書(医局秘書兼務)

2. 業務実績

1) 職員研修に関すること (人材育成)

院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握
全職種合同新入職者オリエンテーションの実施(4/1~4/3)
新入職者コミュニケーション研修 (5/18)
階層別研修(初級・中級)の実施
院内学会の実施(10/4)
シミュレーター室の管理及び運用

2) 職員の資格取得に関すること

全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理

3) 人材育成・新人研修プログラムの把握管理

4) 地域の医療人の教育・研修のための研修会・講演会実績管理

5) 医学生の実習に関すること

6) 臨床研修に関すること (卒後臨床研修機能評価認定)

ぐんまレジデントグランプリ参加 (11/8) グランプリ獲得
研修医発表会の実施(12/17)
研修医合同ガイダンス参加(4月・6月)

7) 新専門医制度に関すること

8) 図書に関すること (図書管理・文献検索・学会支援)

9) 医局秘書に関すること

3. 今後の目標

- ・階層別研修などについて、計画的な実施を検討し研修評価や改善を図る。
- ・臨床研修医を確実に確保し、修了認定までのサポートを行う。
- ・新専門医制度について他病院との連携を図り進める。

(文責：金澤 祐子)

7. 安全管理センター

1. スタッフ

センター長 1名(病院長補佐)

事務統括 1名(総務課長兼務)

安全管理グループ

- ・医療安全管理者(専従リスクマネージャー) 1名
- ・院内感染管理者(感染管理認定看護師) 1名
- ・事務員 1名

施設グループ

- ・課長補佐 1名
- ・事務員 5名
- ・電気主任技術者 1名(非常勤)

2. 業務内容

- ・医療安全管理委員会開催(毎月)
- ・リスクマネージャー専門部会(毎週)
- ・全リスクマネージャー会議(5/31)
- ・I/Aレポートの集計、報告、分析、対策
- ・院内安全巡視(毎月)
- ・医療安全キャンペーンの実施
 - 4月～5月 : 薬剤・内服誤投与実施
 - 6月～10月 : 転倒・転落防止
 - 11月～3月 : 確実な薬剤投与
- ・医療安全地域対策連携加算相互評価
 - 2/12 当院が富岡総合病院を評価
 - 2/19 富岡総合病院が当院を評価
 - 3/3 当院が篠塚病院、吉井中央診療所を評価
- ・院内感染予防対策委員会開催(毎月)
- ・ICT活動(毎週ICTラウンド、会議月2回)
- ・AST活動(毎週カンファレンスの実施)
- ・藤岡地域感染防止対策カンファレンス(第1回6/20、第2回9/19、第3回12/19)
- ・感染対策地域連携加算相互評価(6/28 県立小児医療センター 10/7 済生会前橋病院受審)
- ・院内感染対策研修会
- ・地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
- ・職員手帳発行準備
- ・患者安全文化アンケート(1月)
- ・地震災害総合訓練(9/4)

- ・院内災害医療訓練 (11/2)
- ・火災避難訓練 (2/27)
- ・委託、賃借等契約業務
- ・施設設備の維持
- ・その他資産の管理業務

3. 研修業績

研修会の開催

【医療安全研修会】

- ① 医療安全必須研修会 職員全員対象
前期 6月 全8回
後期 9月 全9回
- ② 医療安全研修会 外部講師
説明義務違反 (8/29)
- ③ 新入職者-職種別-実習生関連の医療安全研修会 (4/4)
- ④ シュミレーター研修 (4/3)
- ⑤ 新人看護師研修 (4/4)
- ⑥ 老健施設医療安全研修会 (7/22 11/7)
- ⑦ 栄養室医療安全研修会 (12/12 12/13)
- ⑧ 看護補助業務における医療安全 (4/1 3/2)
- ⑨ 診療部会に対する医療安全研修会 (6/24、1/27)

【感染防止対策研修】

- ① 感染対策必須研修会 職員全員対象
前期 6月 全8回
後期 9月 全5回
- ② 院内感染対策研修会
- ③ 新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会 (4/1)
- ④ シュミレーター研修 (4/3)
- ⑤ 標準予防策 (新入職看護職員、リハビリテーション室) (4/5)
- ⑥ 中途採用者研修 (適宜)
- ⑦ 栄養室 (12/12 12/13)
- ⑧ 東朋産業 (9/27)
- ⑨ 看護学生実習オリエンテーション (2/6)
- ⑩ リハビリテーション室 (8/28)
- ⑪ 老健施設感染対策研修会 (7/22 11/7)
- ⑫ 看護補助業務における感染管理 (4/1 3/2)
- ⑬ 診療部会 (6/24、1/27)
- ⑭ 薬剤部 (2/27)

4. 今後の目標

- ・安全管理指針、感染対策マニュアルの改訂
- ・薬剤関連エラー、ドレーンチューブエラー、転倒転落防止対策の徹底
- ・災害対策

(BCP、マニュアル、一斉連絡配信システムオクレンジャー登録者の整備)

- ・医療安全・感染防止対策加算、施設基準継続の取り組み
- ・安全管理センターにおける業務整理と改善
- ・施設設備管理の徹底
- ・節電対策

(文責：斉藤 康行)

8. 患者支援センター

1. スタッフ

センター長(副院長兼患者支援センター長) 1名
副看護部長兼病床管理 1名・課長兼事務統括 1名
グループリーダー 1名・副看護師長 1名
看護師 5名・相談員 8名・事務員 3名 (育児休暇中及び再任用職員含む)

2. 業務の現況

入退院支援室、地域医療支援連携室、総合相談室

- ・医療・福祉の相談及び患者支援。
- ・病床管理と入退院のコーディネート。
- ・地域医療機関との連携。福祉施設等との調整及び連携。
- ・病院ボランティアの対応とサポート。

3. 今後の目標

- ・地域包括ケアシステムの構築・推進に向けて当院の役割を担い、退院・転院調整に掛かる業務を改善して医療及び福祉相談の充実を図る。
- ・地域の医療機関及び介護施設職員との、入院時・退院前カンファレンスの体制をつくり、顔の見える連携を構築する。
- ・スタッフの教育及び技術の向上を図り、患者さん及びそのご家族が納得及び了承する相談支援を行う。
- ・病院の利益追求だけでなく社会貢献も我々の業務ととらえ、地域の人々の幸せの向上を目指して様々な部門と連携を図り、地域全体で患者さんを支えるネットワークの構築と研修会等を開催する。

(文責：横坂 政彦)

9. 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、すべてのがん患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心とし、多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

1. スタッフ

緩和ケアセンター長 (専任医師) 1名
専従看護師 1名、専任看護師 1名、医療相談員 1名、兼任看護師 2名 (火・木)

2. 業務内容

- 1) 緩和ケアチームが中心となり、身体的症状や心の痛み、経済的問題など患者や家族が抱えている苦痛の軽減に向けた支援を行う。

- 2) がんに関する高次の相談に対応し、正しいがん情報を提供することで患者や家族が正しい判断や選択ができるよう支援する。
- 3) 緩和ケア外来やがん看護外来、がんサロンを実施する。
- 4) がんの地域連携パスの運用を行う。
- 5) 緩和ケア病床の運営、管理を行う。
- 6) 地域の医療機関の診療従事者と協働した緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを定期開催する。
- 7) 連携協力している医療機関等を対象にした患者の診療情報にかかる相談等、いつでも連絡が取れる体制を整備する。
- 8) 院内外の医療従事者に対する研修会等の運営を行う。
- 9) 緩和ケアセンターの運営に関するカンファレンスを定期開催する。

3. 今後の目標

- ・質の高い緩和ケアを遂行するため、外来通院中及び入院患者の早期介入に努め、患者・家族の意思決定支援を行う。
- ・カンファレンスを充実させ、院内外との多職種連携を強化していく。
- ・緩和ケア病床の利用により、急性期緩和ケアを確立させ、在宅療養や在宅看取りに繋がる支援を行う。
- ・グリーンケアの充実を図る。
- ・院内外を対象とした緩和ケアにおける知識や技術の向上につながる研修会等を企画する。

(文責：古池 きよみ)

10. しらさぎの里管理課

1. スタッフ

課長 外7名

2. 業務の現況

管理

事務 2名 庶務・経理・用度・修繕・車輛等 施設全般の管理業務

介護老人保健施設

・支援相談員 1名 入退所の調整や入所相談など

・介護支援専門員 1名 入所者の療養計画の作成や家族への連絡・調整など

居宅介護支援事業

・介護支援専門員 3名 在宅高齢者の介護計画やサービス事業者との調整など

3. 今後の目標

増収を図るための利用者の確保

入所者 一日平均：73人

通所者 一日平均：44人

サービスの質向上を図るための接遇の強化

全職員の改善意識

研修会の参加

医療機関等との連携の強化

(文責：中里 光夫)

病 院 行 事

病院行事

1. 主な病院行事

実施年月日	行 事 名
平成31年4月1日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
令和元年5月16日	藤岡多野医師会との懇話会
5月17日	全国自治体病院協議会関東地方会議（神奈川県）
6月10日	全国自治体病院協議会群馬県支部総会（前橋市）
6月23日	臨床研修指定病院合同セミナー（東京ビックサイト）
7月5日	群馬県公立病院協議会（渋川市）
7月11日	第2回組合議会臨時会
7月13日	職員採用試験
8月10日	職員採用試験
8月14日	令和2年度臨床研修医採用試験
8月20日	平成30年度決算審査
8月28日	令和2年度臨床研修医採用試験
8月31日	職員採用試験
9月4日	地震災害総合訓練
10月4日	第9回院内学会
10月29日	組合議会行政視察（神奈川県～30日）
11月2日	災害医療訓練
11月19日	第3回組合議会定例会
11月26日	全国自治体病院協議会群馬県支部総会（高崎市）
12月17日	臨床研修医症例検討会
12月27日	仕事納め
令和2年1月6日	仕事始め、辞令交付式
1月11日	職員採用試験
1月31日	群馬県公立病院協議会（渋川市）
2月10日	職員採用予定者説明会
2月14日	第1回組合議会定例会
2月27日	火災災害避難訓練
3月31日	定年退職者等辞令交付式

2. 職員健康管理

実施年月日	内 容
令和元年6月17日～1月30日	HBワクチン接種
6月24日～7月5日	前期職員健康診断
8月2日～8月23日	前期電離放射線健康診断
10月3日～12月25日	インフルエンザワクチン接種（混合）
12月9日～12月26日	後期職員健康診断
令和2年2月14日～3月9日	後期電離放射線健康診断

3. 職員共済行事

実施年月日	行 事 名
令和元年6月9日	理事会・評議員会
6月30日	群馬県公的病院バレーボール大会（館林市）
9月14日	西毛地区公立病院親善野球大会（富岡市）
10月24日	体育部 ボウリング大会（藤岡ボウル）
11月14日	厚生部 勤続10年記念品配布
令和2年3月11日	理事会・評議員会

<令和元年度> 病院年報

発行日 令和2年11月

発行 多野藤岡医療事務市町村組合

公立藤岡総合病院

〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1

TEL 0274-22-3311 (代表)

企画・編集 経営管理部 企画財政課